

# 平成17年の犯罪情勢

平成18年4月

警 察 庁

# 凡 例

1 本資料における用語等の意義は次のとおりである。

## (1) 刑法犯

道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷を除いた「刑法」に規定する罪並びに「爆発物取締罰則」、「決闘罪二関スル件」、「暴力行為等処罰二関スル法律」、「盗犯等ノ防止及処分二関スル法律」、「航空機の強取等の処罰に関する法律」、「火炎びんの使用等の処罰に関する法律」、「航空の危険を生じさせる行為等の処罰に関する法律」、「人質による強要行為等の処罰に関する法律」、「流通食品への毒物の混入等の防止等に関する特別措置法」、「サリン等による人身被害の防止に関する法律」、「組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律」、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」及び「公衆等脅迫目的の犯罪行為のための資金の提供等の処罰に関する法律」に規定する罪をいう。

## (2) 包括罪種

刑法犯を「凶悪犯」、「粗暴犯」、「窃盗犯」、「知能犯」、「風俗犯」、「その他の刑法犯」の6種に分類したものをいう。

凶悪犯.....殺人、強盗、放火、強姦

粗暴犯.....暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合

窃盗犯.....窃盗

知能犯.....詐欺、横領（占有離脱物横領を除く。）、偽造、汚職、背任、「公職にある者等のあつせん行為による利得等の処罰に関する法律」に規定する罪

風俗犯.....賭博、わいせつ

その他の刑法犯.....公務執行妨害、住居侵入、逮捕・監禁、器物損壊、占有離脱物横領等上記に掲げるもの以外の刑法犯

## (3) 認知件数

警察において発生を認知した事件の数をいう。

## (4) 検挙件数

刑法犯において警察で検挙した事件の数をいい、特に断りのない限り、解決事件の件数を含む。

## (5) 検挙人員

警察において検挙した事件の被疑者の数をいい、解決事件に係る者を含まない。

## (6) 解決事件（件数）

刑法犯として認知され、既に統計に計上されている事件であって、これを捜査した結果、刑事責任無能力者の行為であること、基本事実がないことその他の理由により犯罪が成立しないこと又は訴訟条件・処罰条件を欠くことが確認された事件（件数）をいう。

(7) 検挙率

認知件数に対する検挙件数の割合を百分率で表したものをいい、その算式は次による。

$$\text{検挙率} = \frac{\text{検挙件数（当該年以前の認知事件の検挙を含む。）}}{\text{当該年の認知件数}} \times 100$$

(8) 成人事件、少年事件、成人少年共犯事件

成人事件とは20歳以上の者が犯した事件を、少年事件とは14歳以上20歳未満の者が犯した事件をいい、両者の共犯事件を成人少年共犯事件という。

(9) 少年の検挙人員

特に断りのない限り、犯行時及び処理時の年齢がともに14歳以上20歳未満の少年の検挙人員をいう。

(10) 犯罪手口の名称変更

平成16年から、「部品盗」を「部品ねらい」に、「自動販売機荒し」を「自動販売機ねらい」に、「空き巣ねらい」を「空き巣」に改めた。

(11) 発生場所

ア 「共同住宅（4階建以上）」とは、中高層（4階建以上）住宅とし、「共同住宅（3階建以下）」とは、その他の住宅（住宅のうち、一戸建住宅及び中高層（4階建以上）住宅を除く）とした。

イ 「一般事務所」とは、その他の会社・事務所とした。

ウ 「商店」とは、デパート、コンビニエンスストア、ドラッグストア、ディスカウントストア、その他のスーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店（平成15年は、デパート、スーパーマーケット、レンタルビデオ店、貴金属店、古物店、給油所及びその他の商店）とした。

エ 「生活環境営業」とは、一般ホテル・旅館、サウナ等公衆浴場、映画館劇場等、ぱちんこ屋・まあじゃん屋等、景品交換所、ゲームセンター、その他の風俗営業店、個室付浴場、モーテル・ラブホテル等、その他の店舗型性風俗特殊営業店、深夜飲食店、その他の飲食店（平成15年は、景品交換所の区分はない）とした。

オ 「金融機関等」とは、質屋、貸金業、銀行、郵便局、信用金庫・組合及び農（漁）業協同組合とした。

カ 「公共交通機関等」とは、地下鉄内、新幹線内、その他の列車内、駅、その他の鉄道施設、航空機内、空港、船舶内、海港及びバス内とした。

キ 「その他の交通機関」とは、タクシー内及びその他の自動車内とした。

ク 「その他の街頭」とは、地下街・地下道路及び高速道路とした。

ケ 「街頭」とは、道路上、駐車（輪）場、都市公園、空き地、公共交通機関等、その他の交通機関及びその他の街頭とした。

コ 「学校（幼稚園）」には、学校教育法第1条に掲げる学校（小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、盲学校、聾学校、養護学校、幼稚園）、同法第82条の2の専修学校及び同法第83条の各種学校のほか、その実態が幼稚園と同視されるような保育所を含む。

サ 「都市公園」とは、都市公園法第2条に規定する公園及び緑地で、同法第2条の2の規定に基づき設置されたものをいう。

(12) 来日外国人

来日外国人とは、我が国にいる外国人のうち、いわゆる定着居住者（永住権を有する者等）在日米軍関係者及び在留資格不明の者以外の者をいう。

(13) 暴力団構成員等

暴力団構成員等には、暴力団構成員のほか、準構成員を含む。

2 本資料の分析は、犯罪統計及び実務統計による（実務統計とは、警察庁において特別調査により集計する数値である。）

3 本資料中の図表による構成比については、四捨五入の関係で、合計の数値と内訳の数値の計が一致しない場合がある。

4 本資料中の事例の検挙月日は、特に断りのない限り、平成17年である。

# 目 次

## 第 1 全刑法犯の概況

1 刑法犯の認知・検挙状況の推移	1
2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	2
3 刑法犯の被害状況の推移	2

## 第 2 街頭犯罪・侵入犯罪の特徴的傾向

1 街頭犯罪	7
(1) 路上強盗	8
(2) ひったくり	10
(3) 街頭における強姦	12
(4) 街頭における強制わいせつ	14
(5) 街頭における略取・誘拐	16
(6) 街頭における暴行・傷害・恐喝	18
(7) 自動車盗	21
(8) オートバイ盗	23
(9) 自転車盗	25
(10) 車上ねらい	27
(11) 部品ねらい	29
(12) 自動販売機ねらい	31
2 侵入犯罪	33
(1) 侵入強盗	33
(2) 侵入窃盗	35
(3) 住居侵入	38

## 第 3 振り込め詐欺の特徴的傾向

1 詐欺の状況	43
2 振り込め詐欺（恐喝）の状況	43
(1) いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）	45
(2) 架空請求詐欺（恐喝）	48
(3) 融資保証金詐欺	49

## 第4 刑法犯の現況

1 重要犯罪	5 5
(1) 重要犯罪の認知・検挙状況	5 5
(2) 殺人事件の状況	5 6
ア 捜査本部設置事件の状況	5 8
イ 通り魔殺人事件	5 8
ウ 保険金目的殺人事件	5 9
(3) 強盗事件の状況	6 0
ア 金融機関・郵便局対象強盗事件	6 2
イ サラリーマン金融対象強盗事件	6 4
ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件	6 4
エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件	6 6
オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件	6 6
カ 現金輸送車対象強盗事件	6 7
キ タクシー対象強盗事件	6 8
(4) 主な性犯罪の状況	6 9
(5) 略取・誘拐事件の状況	7 0
(6) 放火事件の状況	7 2
2 重要窃盗犯	7 4
(1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況	7 4
(2) 組織窃盗事件の状況	7 5
(3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件	7 7
3 特殊事件・事故	7 8
(1) 人質立てこもり事件	7 8
(2) 業務上過失致死傷事件・事故	7 8
4 構造的な不正事案等	7 9
(1) 政治的・構造的な不正事案	7 9
ア 贈収賄事件	7 9
イ 談合・競売入札妨害事件	8 0
ウ 公職選挙法違反・政治資金規正法違反事件	8 1
エ 公務員犯罪	8 3
(2) 金融・不良債権関連事犯及び企業犯罪	8 4
ア 金融・不良債権関連事犯	8 4
イ 企業犯罪	8 6

(3) 通貨偽造犯罪及びその他の知能犯罪	88
ア 通貨偽造犯罪	88
イ その他の知能犯罪	89
5 風俗犯の認知・検挙状況	90
(1) 強制わいせつの認知・検挙状況	90
(2) 公然わいせつの認知・検挙状況	90
(3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況	90
(4) 賭博の認知・検挙状況	91
6 その他の特徴的な犯罪	92
(1) 薬物常用者による犯罪	92
(2) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪	93
(3) 高齢者による犯罪	95
(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪	96
ア カードの窃盗被害の状況	96
イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況	97
ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況	98
7 少年による犯罪	99
(1) 少年の刑法犯検挙状況	99
(2) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	100
(3) 触法少年の補導状況	101
8 来日外国人による犯罪	102
(1) 刑法犯の検挙状況	102
(2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況	102
(3) 凶悪犯の検挙状況	103
(4) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況	104
(5) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況	105
9 暴力団による犯罪	106
(1) 暴力団構成員等の状況	106
(2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況	106
10 被疑者の国外逃亡	108
(1) 国外逃亡被疑者の推移	108
(2) 罪種等別の国外逃亡被疑者数	108
(3) 国籍・地域別の国外逃亡被疑者数	109
(4) 推定逃亡先国・地域別の国外逃亡被疑者数	109
(5) 国外逃亡被疑者の検挙状況	109

11	女性・子ども・高齢者を被害者とする犯罪	1 1 0
(1)	女性を被害者とする犯罪	1 1 0
ア	女性の犯罪被害の状況	1 1 0
イ	年齢層別の犯罪被害の状況	1 1 1
ウ	場所別被害の発生状況	1 1 2
エ	配偶者による暴力事件	1 1 3
(2)	子どもを被害者とする犯罪	1 1 4
ア	子どもの犯罪被害の状況	1 1 4
イ	就学別の犯罪被害の状況	1 1 6
ウ	場所別被害の発生状況	1 1 6
エ	子ども対象・暴力的性犯罪被害の状況	1 1 7
(3)	高齢者を被害者とする犯罪	1 1 8
ア	高齢者の犯罪被害の状況	1 1 8
イ	場所別被害の発生状況	1 2 0

## 第 5 資料

1	刑法犯の認知・検挙状況の推移	1 2 3
2	刑法犯の罪種別犯罪率の推移	1 2 4
3	刑法犯の都道府県別認知件数の推移	1 2 6
4	刑法犯の都道府県別検挙件数の推移	1 2 8
5	刑法犯の都道府県別検挙人員の推移	1 3 0
6	刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移	1 3 2
7	凶悪犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 3 2
8	粗暴犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 3 4
9	窃盗犯の手口別認知・検挙状況の推移	1 3 4
10	侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	1 3 6
11	乗り物盗の手口別認知・検挙状況の推移	1 3 6
12	非侵入窃盗の手口別認知・検挙状況の推移	1 3 8
13	知能犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 3 8
14	風俗犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 4 0
15	その他の刑法犯の罪種別認知・検挙状況の推移	1 4 0
16	街頭犯罪・侵入犯罪の認知・検挙状況の推移	1 4 2
17	来日外国人刑法犯の罪種・手口別検挙状況の推移	1 4 4
18	来日外国人刑法犯の国籍別検挙状況の推移	1 4 6
19	刑法犯の発生場所別認知件数(全刑法犯、凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯)	1 4 8
20	刑法犯の発生場所別認知件数(非侵入窃盗、知能犯、風俗犯、その他の刑法犯)	1 5 0



## 第1 全刑法犯の概況

# 1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

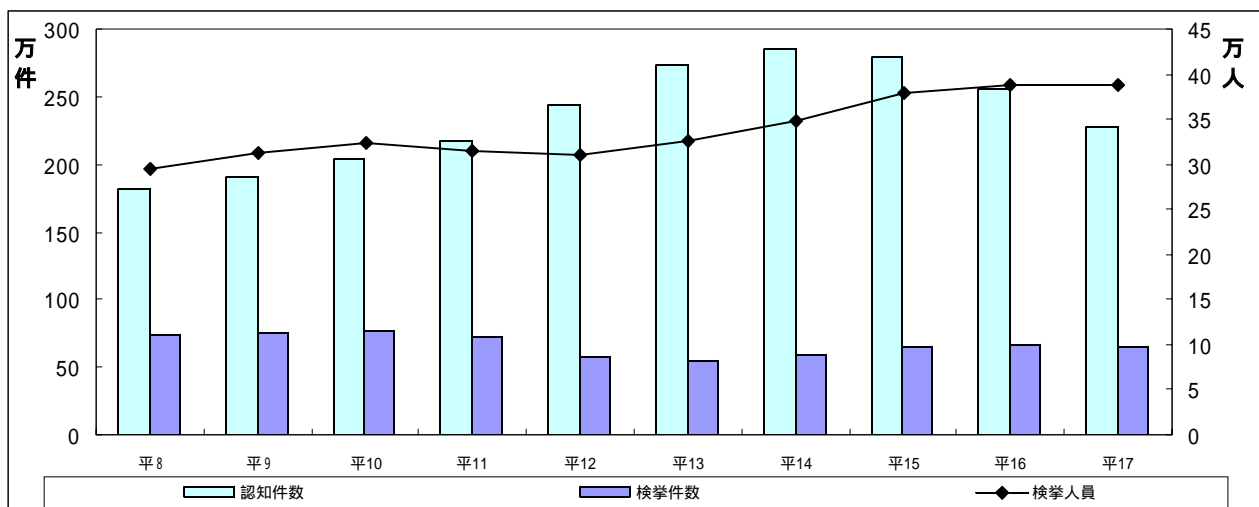
刑法犯の認知件数は、平成14年まで7年連続して戦後最多を記録していたが、平成15年は前年に比べ2.2%減少し、平成16年には前年に比べ8.1%減少しており、平成17年も226万9,293件と、前年に比べ29万3,474件(11.5%)の減少と3年連続して減少している。その中でも、減少件数が多いものとして、車上ねらい、乗り物盗、侵入窃盗等がある。一方、増加件数の多いものとして詐欺、暴行等がある。

検挙件数は、平成11年以降減少していたが、平成14年以降増加に転じ、平成16年は前年に比べ3.0%増加したものの、平成17年は64万9,503件で、前年に比べ1万8,117件(2.7%)減少している。その中でも、減少件数が多いものとして、車上ねらい、自動販売機ねらい等がある。一方、増加件数の多いものとして詐欺、暴行、空き巣等がある。

検挙人員は、平成13年以降毎年増加しており、平成16年は前年に比べ2.5%増加したものの、平成17年は38万6,955人で前年に比べ2,072人(0.5%)減少している。その中でも、減少人数が多いものとして、占有離脱物横領、乗り物盗、侵入窃盗等がある。一方、増加人数の多いものとして、暴行、万引き等がある。

検挙率は、平成7年以降低下傾向にあったが、平成14年以降上昇に転じ、平成17年は28.6%で、前年に比べ2.5ポイント上昇している(図表1-1)。検挙件数が減少する中、検挙率が上昇したのは、認知件数の大幅な減少による(図表1-1、図表5-7~15)。

図表1-1 刑法犯の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	件(人)数	率(%)
認知件数	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	-293,474	-11.5
検挙件数	735,881	759,609	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	648,319	667,620	649,503	-18,117	-2.7
検挙人員	295,584	313,573	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	379,602	389,027	386,955	-2,072	-0.5
うち少年	133,581	152,825	157,385	141,721	132,336	138,654	141,775	144,404	134,847	123,715	-11,132	-8.3
(割合%)	45.2	48.7	48.5	44.9	42.7	42.6	40.8	38.0	34.7	32.0	-2.7	-
うち来日外国人	6,026	5,435	5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	8,725	8,898	8,505	-393	-4.4
(割合%)	2.0	1.7	1.7	1.9	2.0	2.2	2.2	2.3	2.3	2.2	-0.1	-
うち暴力団構成員等	18,779	18,540	20,207	19,611	19,668	19,650	20,405	20,265	19,472	18,629	-843	-4.3
(割合%)	6.4	5.9	6.2	6.2	6.4	6.0	5.9	5.3	5.0	4.8	-0.2	-
検挙率	40.6	40.0	38.0	33.8	23.6	19.8	20.8	23.2	26.1	28.6	2.5ポイント	

注：本表の少年、来日外国人及び暴力団構成員等は、対象ごとの検挙人員及び占める割合を記述したもので、検挙人員は重複するものもある。

## 2 刑法犯の包括罪種別認知・検挙状況の推移

平成17年の刑法犯認知件数を包括罪種別に見ると、前年に比べ、凶悪犯は1,704件（13.0%）、粗暴犯は2,844件（3.7%）、窃盗犯は25万6,502件（12.9%）、知能犯は1,758件（1.8%）、風俗犯は261件（2.1%）それぞれ減少している。

刑法犯認知件数全体に占める割合を包括罪種別に見ると、凶悪犯は0.5%、粗暴犯は3.3%、窃盗犯は76.0%、知能犯は4.3%、風俗犯は0.5%、その他の刑法犯は15.4%となっている。

検挙件数は、前年に比べ、凶悪犯は506件（6.4%）、窃盗犯は1万8,912件（4.2%）ともに減少しているが、粗暴犯は2,909件（7.1%）、知能犯は1,852件（5.1%）、風俗犯は352件（5.8%）それぞれ増加している。

検挙人員は、前年に比べ、凶悪犯は472人（6.3%）、窃盗犯は1,032人（0.5%）ともに減少しているが、粗暴犯は2,355人（5.0%）、知能犯は203人（1.4%）、風俗犯は685人（12.0%）それぞれ増加している。（図表1-2）。

図表1-2 包括罪種別の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
刑法犯総数	認知件数(件)	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	-293,474	-11.5
	検挙件数(件)	735,881	759,609	772,282	731,284	576,771	542,115	592,359	648,319	667,620	649,503	-18,117	-2.7
	検挙人員(人)	295,584	313,573	324,263	315,355	309,649	325,292	347,558	379,602	389,027	386,955	-2,072	-0.5
凶悪犯	認知件数	7,010	7,684	8,253	9,087	10,567	11,967	12,567	13,658	13,064	11,360	-1,704	-13.0
	検挙件数	6,237	6,733	6,991	6,859	7,175	7,320	7,604	8,238	7,924	7,418	-506	-6.4
	検挙人員	5,459	6,633	6,949	7,217	7,488	7,490	7,726	8,362	7,519	7,047	-472	-6.3
粗暴犯	認知件数	37,506	40,570	41,751	43,822	64,418	72,801	76,573	78,759	76,616	73,772	-2,844	-3.7
	検挙件数	28,046	29,967	29,638	28,488	39,211	39,924	40,425	42,296	41,128	44,037	2,909	7.1
	検挙人員	37,110	40,432	39,755	37,874	50,419	50,428	49,615	49,530	46,801	49,156	2,355	5.0
窃盗犯	認知件数	1,588,698	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	-256,502	-12.9
	検挙件数	566,207	586,648	597,283	561,148	407,246	367,643	403,872	433,918	447,950	429,038	-18,912	-4.2
	検挙人員	162,675	175,632	181,329	172,147	162,610	168,919	180,725	191,403	195,151	194,119	-1,032	-0.5
知能犯	認知件数	61,187	61,316	59,271	53,528	55,184	53,007	62,751	74,754	99,258	97,500	-1,758	-1.8
	検挙件数	58,178	57,811	55,118	47,827	44,322	37,800	39,884	40,574	36,299	38,151	1,852	5.1
	検挙人員	11,478	11,639	11,286	10,562	11,341	11,539	13,173	13,653	14,850	15,053	203	1.4
風俗犯	認知件数	6,439	6,763	6,686	7,448	9,801	11,841	12,220	13,034	12,346	12,085	-261	-2.1
	検挙件数	5,841	6,124	5,899	5,438	5,809	6,066	5,633	6,165	6,070	6,422	352	5.8
	検挙人員	7,655	6,923	7,239	6,110	6,112	6,166	5,912	5,886	5,688	6,373	685	12.0
その他の刑法犯	認知件数	111,279	117,688	128,536	141,348	172,336	245,485	312,140	374,087	379,909	349,504	-30,405	-8.0
	検挙件数	71,372	72,326	77,353	81,524	73,008	83,362	94,941	117,128	128,249	124,437	-3,812	-3.0
	検挙人員	71,207	72,314	77,705	81,445	71,679	80,750	90,407	110,768	119,018	115,207	-3,811	-3.2

## 3 刑法犯の被害状況の推移

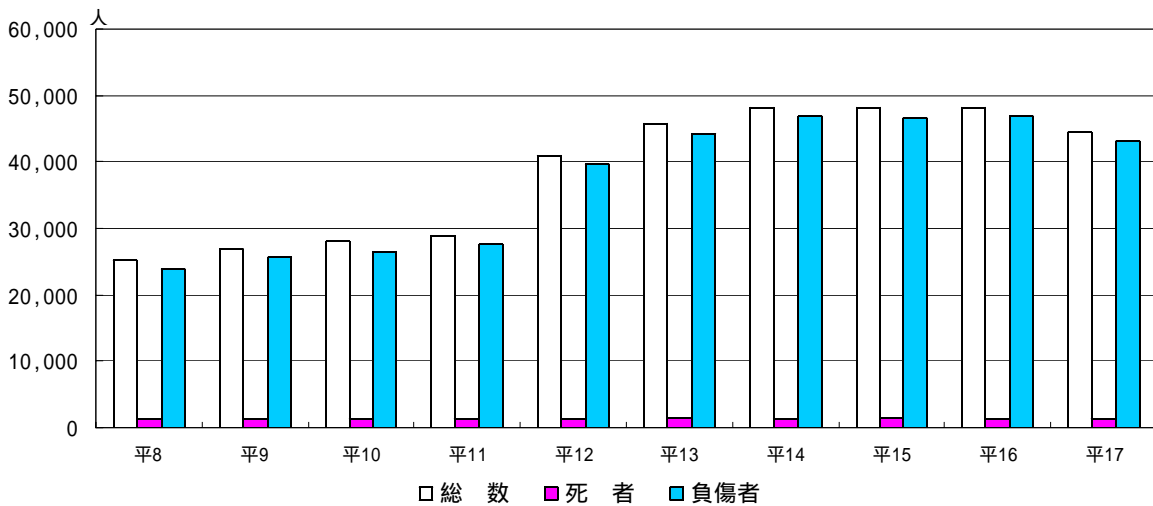
刑法犯の死傷被害者数は、平成8年以降増加しており、平成14年からは4万8千人台で推移し、平成17年は4万4,464人で、前年に比べ3,726人（7.7%）減少している。

平成17年の死傷被害者数の内訳を見ると、死者は1,353人で、前年に比べ44人（3.1%）、負傷者は4万3,111人で、前年に比べ3,682人（7.9%）ともに減少している（図表1-3-(1)）。

財産犯の被害額は、平成11年以降増加していたが、平成15年に減少に転じ、平成17年は約2,805億3,600万円で、前年に比べ約453億1,000万円（13.9%）減少している。

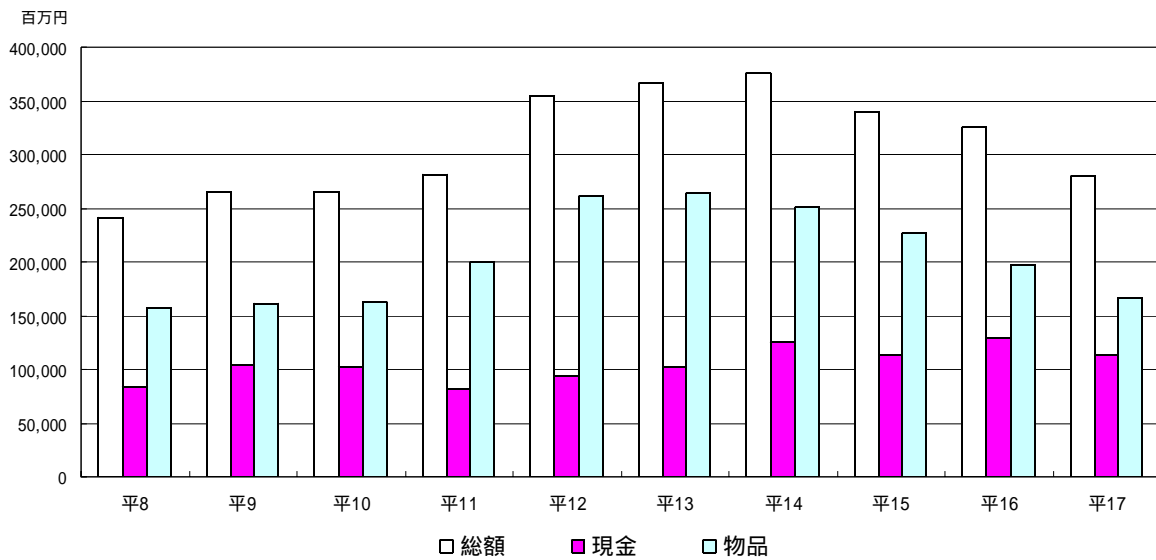
平成17年の被害の内訳を見ると、現金の被害は約1,133億8,600万円で、前年に比べ約155億4,200万円（12.1%）、物品の被害は約1,671億5,000万円で、前年に比べ約297億6,800万円（15.1%）ともに減少している（図表1-3-(2)）。

図表 1 - 3 - (1) 刑法犯 死傷被害者数の推移



年次 区分	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
											人数	率 (%)
総数	25,079	26,985	27,928	28,973	40,897	45,778	48,130	48,097	48,190	44,464	-3,726	-7.7
死者	1,249	1,296	1,350	1,334	1,345	1,441	1,368	1,432	1,397	1,353	-44	-3.1
負傷者	23,830	25,689	26,578	27,639	39,552	44,337	46,762	46,665	46,793	43,111	-3,682	-7.9

図表 1 - 3 - (2) 財産犯 被害額の推移



年次 区分	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
											金額	率 (%)
総額(百万円)	241,393	265,941	265,185	280,684	354,388	366,539	375,881	339,787	325,846	280,536	-45,310	-13.9
現金(百万円)	84,535	104,031	102,003	81,024	92,812	103,026	124,948	113,321	128,928	113,386	-15,542	-12.1
物品(百万円)	156,858	161,910	163,182	199,660	261,576	263,513	250,933	226,466	196,918	167,150	-29,768	-15.1

(余白)

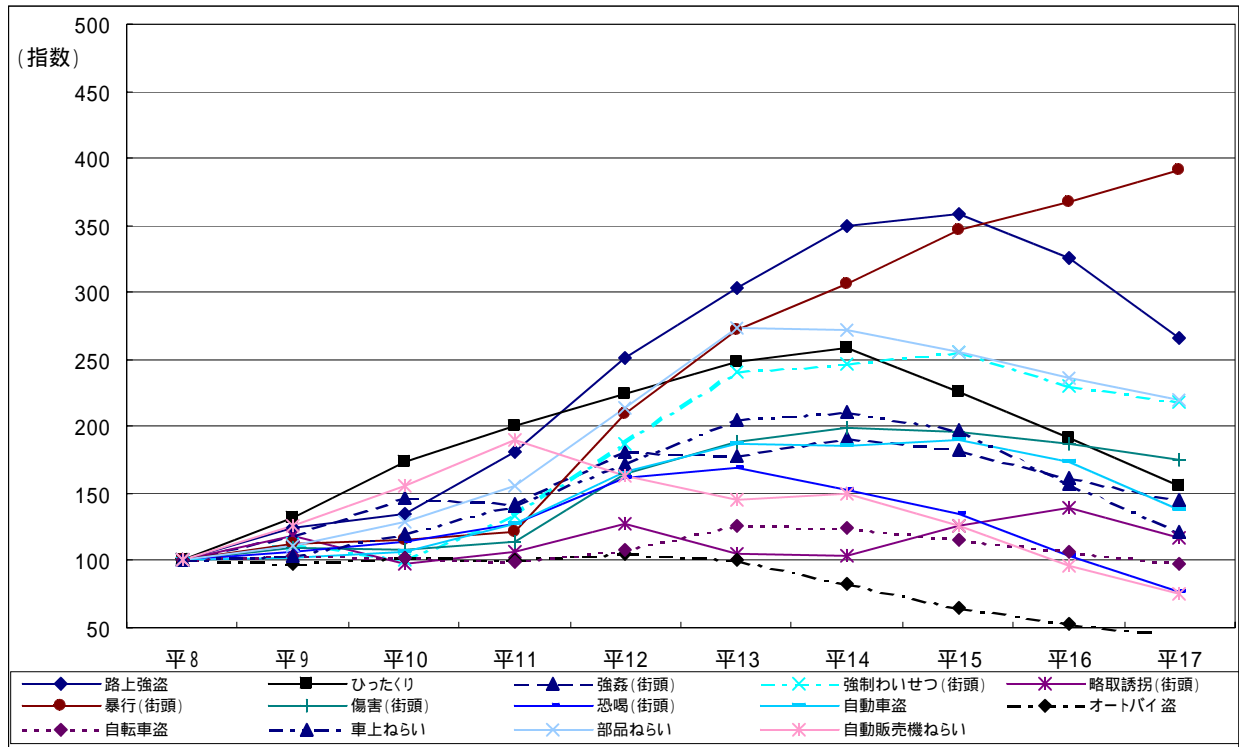
## 第2 街頭犯罪・侵入犯罪の特徴的傾向

(余白)

# 1 街頭犯罪

平成17年の主な街頭犯罪の認知件数は、前年に比べ、街頭における暴行を除き減少している。特に、街頭における恐喝、車上ねらい、自動販売機ねらい、自動車盗、自動二輪車・原動機付自転車を対象とする窃盗（以下「オートバイ盗」という。）路上強盗及びひったくりは大幅に減少している（図表2-1）。

図表2-1 街頭犯罪の認知状況の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
路上強盗	826	1,034	1,119	1,495	2,070	2,509	2,888	2,955	2,695	2,192	-503	-18.7	
(指数)	100	125	135	181	251	304	350	358	326	265	-	-	
ひったくり	20,515	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	-7,382	-18.7	
(指数)	100	132	174	201	225	248	258	226	192	156	-	-	
強姦(街頭)	454	535	668	648	825	806	869	832	732	663	-69	-9.4	
(指数)	100	118	147	143	182	178	191	183	161	146	-	-	
強制わいせつ(街頭)	2,400	2,686	2,399	3,196	4,475	5,786	5,915	6,145	5,510	5,254	-256	-4.6	
(指数)	100	112	100	133	186	241	246	256	230	219	-	-	
略取誘拐(街頭)	170	202	166	181	216	179	175	213	237	199	-38	-16.0	
(指数)	100	119	98	106	127	105	103	125	139	117	-	-	
暴行(街頭)	4,177	4,722	4,801	5,051	8,734	11,352	12,814	14,477	15,319	16,332	1,013	6.6	
(指数)	100	113	115	121	209	272	307	347	367	391	-	-	
傷害(街頭)	10,273	11,306	11,157	11,687	16,965	19,400	20,465	20,098	19,218	17,961	-1,257	-6.5	
(指数)	100	110	109	114	165	189	199	196	187	175	-	-	
恐喝(街頭)	8,199	8,802	9,344	10,419	13,230	13,856	12,514	11,089	8,534	6,346	-2,188	-25.6	
(指数)	100	107	114	127	161	169	153	135	104	77	-	-	
自動車盗	33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	-12,009	-20.4	
(指数)	100	102	106	128	167	188	186	190	174	139	-	-	
オートバイ盗	240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	-22,562	-17.8	
(指数)	100	98	102	101	105	101	83	64	53	43	-	-	
自転車盗	413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	-38,164	-8.6	
(指数)	100	103	102	99	108	126	124	115	107	98	-	-	
車上ねらい	210,080	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	-72,327	-22.0	
(指数)	100	103	120	140	173	206	211	197	157	122	-	-	
部品ねらい	47,348	52,726	61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	120,726	112,161	103,772	-8,389	-7.5	
(指数)	100	111	129	156	214	273	271	255	237	219	-	-	
自動販売機ねらい	116,853	146,674	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	147,878	112,965	88,180	-24,785	-21.9	
(指数)	100	126	155	190	163	146	150	127	97	75	-	-	

注：指数は、平成8年を100とした場合の値である。



(1) 路上強盗

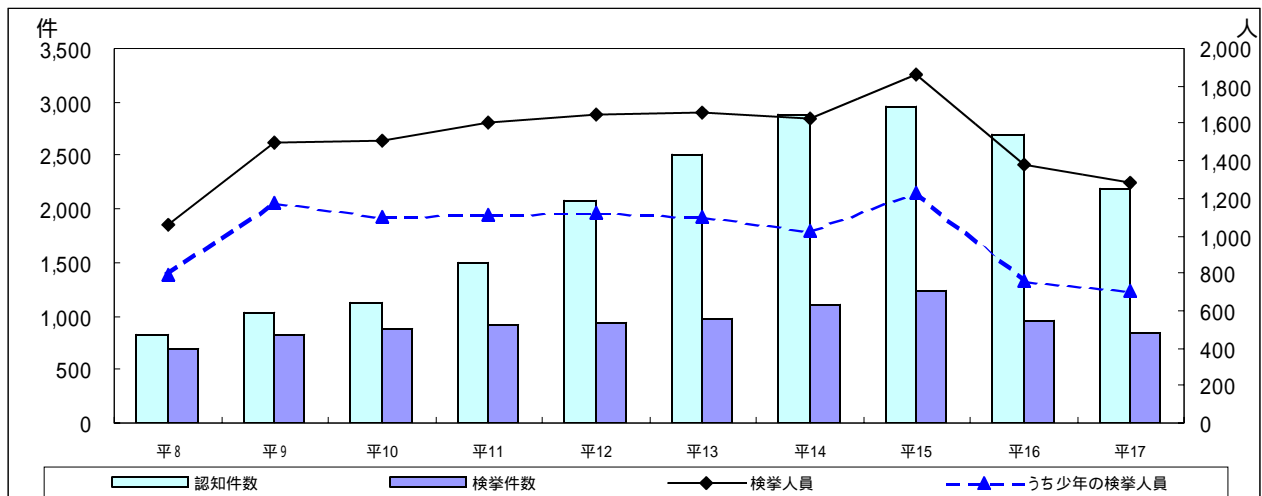
路上強盗の認知件数は、平成8年以降一貫して増加し、平成15年には平成7年の4.8倍となったが、平成16年は2,695件で、前年に比べ260件(8.8%)減少し、平成17年は2,192件で、前年に比べ503件(18.7%)減少している。

検挙件数、検挙人員は、ここ10年、ほぼ一貫して増加していたが、平成16年の検挙件数、検挙人員はともに減少し、平成17年にあっても検挙件数は836件で、前年に比べ119件(12.5%)、検挙人員は1,285人で、前年に比べ92人(6.7%)ともに減少している。また、検挙人員に占める少年の割合は、平成9年には78.7%を占め、以後年々減少しているが、平成17年は検挙人員全体の55.0%(前年に比べ0.4ポイント低下)となっている(図表2-1-(1)-1)。

平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後10時から午前0時、被害者は20歳代の男性が最も多い(図表2-1-(1)-2、3、4)。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段は、その他・該当なしを除くと自動車を利用したものが最も多い(図表2-1-(1)-5、6)。

図表2-1-(1)-1 路上強盗の認知・検挙状況の推移



区分	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
											件(人)数	率(%)
認知件数	826	1,034	1,119	1,495	2,070	2,509	2,888	2,955	2,695	2,192	-503	-18.7
うち未遂	47	63	69	84	96	126	154	186	155	148	-7	-4.5
検挙件数	684	824	873	925	930	968	1,104	1,226	955	836	-119	-12.5
検挙人員	1,058	1,497	1,503	1,609	1,645	1,658	1,631	1,865	1,377	1,285	-92	-6.7
うち少年	791	1,178	1,098	1,111	1,122	1,103	1,027	1,227	763	707	-56	-7.3
(割合%)	74.8	78.7	73.1	69.0	68.2	66.5	63.0	65.8	55.4	55.0	-0.4	-
検挙率	82.8	79.7	78.0	61.9	44.9	38.6	38.2	41.5	35.4	38.1	2.7	ポイント

図表 2 - 1 - (1) - 2 路上強盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		2,695	100.0	2,192	100.0	-503	-18.7
街頭		2,591	96.1	2,101	95.8	-490	-18.9
道路上		2,238	83.0	1,806	82.4	-432	-19.3
駐車(輪)場		259	9.6	216	9.9	-43	-16.6
都市公園		62	2.3	58	2.6	-4	-6.5
空き地		14	0.5	10	0.5	-4	-28.6
公共交通機関等		12	0.4	4	0.2	-8	-66.7
その他の交通機関		2	0.1	2	0.1	0	0.0
その他の街頭		4	0.1	5	0.2	1	25.0
その他		104	3.9	91	4.2	-13	-12.5

図表 2 - 1 - (1) - 3 路上強盗の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
		平16	567	378	173	50	48	56	53	75	95	233	365	602	0
平17	467	306	114	59	48	47	38	64	85	153	305	503	3	2,192	
(割合%)		21.3	14.0	5.2	2.7	2.2	2.1	1.7	2.9	3.9	7.0	13.9	22.9	0.1	100.0
増減	件数	-100	-72	-59	9	0	-9	-15	-11	-10	-80	-60	-99	3	-503
率(%)		-17.6	-19.0	-34.1	18.0	0.0	-16.1	-28.3	-14.7	-10.5	-34.3	-16.4	-16.4	-	-18.7

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (1) - 4 路上強盗の被害者の年齢・性別認知件数(平成17年)

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	2,192	391	796	352	203	218	232
男性	1,305	261	470	219	126	136	93
(割合%)	59.5	11.9	21.4	10.0	5.7	6.2	4.2
女性	887	130	326	133	77	82	139
(割合%)	40.5	5.9	14.9	6.1	3.5	3.7	6.3

図表 2 - 1 - (1) - 5 路上強盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		942	100.0	829	100.0	-113	-12.0
成人事件の総数		529	56.2	470	56.7	-59	-11.2
単独		299	56.5	280	59.6	-19	-6.4
共犯		230	43.5	190	40.4	-40	-17.4
少年事件の総数		330	35.0	270	32.6	-60	-18.2
単独		66	20.0	59	21.9	-7	-10.6
共犯		264	80.0	211	78.1	-53	-20.1
成人・少年共犯事件の総数		83	8.8	89	10.7	6	7.2

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (1) - 6 路上強盗の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

区分	年次		平16		平17		増減	
	検挙件数	割合 (%)	検挙件数	割合 (%)	件数	率 (%)	件数	率 (%)
検挙件数	942	100.0	829	100.0	-113	-12.0		
自動車	382	40.6	303	36.6	-79	-20.7		
うち盗難自動車	82	8.7	69	8.3	-13	-15.9		
自二車・原付車	101	10.7	126	15.2	25	24.8		
うち盗難自二車・原付車	36	3.8	37	4.5	1	2.8		
自転車	70	7.4	86	10.4	16	22.9		
その他・該当なし	389	41.3	314	37.9	-75	-19.3		

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

## (2) ひったくり

ひったくりの認知件数は、平成3年以降年々増加し、平成14年には平成2年の5.2倍となったが、平成15年からは減少に転じ、平成16年は3万9,399件で、前年に比べ6,955件（15.0%）減少し、平成17年は3万2,017件で、前年に比べ7,382件（18.7%）減少している。

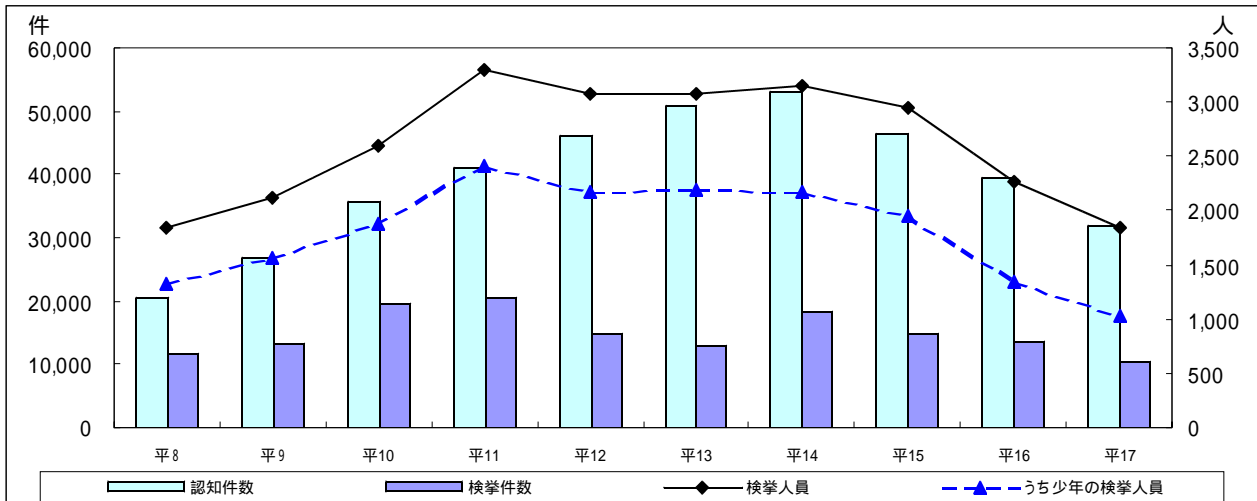
検挙件数、検挙人員は増加傾向にあったが、平成15年から検挙件数、検挙人員ともに減少し、平成17年の検挙件数は1万406件で、前年に比べ3,155件（23.3%）、検挙人員は1,851人で、前年に比べ408人（18.1%）ともに減少している。

また、検挙人員に占める少年の割合は減少傾向にあり、平成17年は1,025人で、検挙人員全体の55.4%（前年に比べ4.4ポイント低下）となっている（図表2-1-(2)-1）。

平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後8時から午後10時、被害者は60歳以上の女性が最も多い（図表2-1-(2)-2、3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多く、被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段は、自動二輪車・原動機付自転車を利用したものが最も多い（図表2-1-(2)-5、6）。

図表 2 - 1 - (2) - 1 ひったくりの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		20,515	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	-7,382	-18.7
うち未遂		689	938	1,286	1,681	2,320	2,718	3,027	3,031	2,489	1,903	-586	-23.5
検挙件数		11,696	13,373	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	14,861	13,561	10,406	-3,155	-23.3
検挙人員		1,845	2,118	2,605	3,304	3,072	3,078	3,158	2,953	2,259	1,851	-408	-18.1
うち少年		1,331	1,568	1,871	2,420	2,179	2,190	2,166	1,957	1,352	1,025	-327	-24.2
(割合%)		72.1	74.0	71.8	73.2	70.9	71.2	68.6	66.3	59.8	55.4	-4.4	-
検挙率		57.0	49.6	54.9	50.0	32.1	25.4	34.8	32.1	34.4	32.5	-1.9	ポイント

図表 2 - 1 - (2) - 2 ひったくりの発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		39,399	100.0	32,017	100.0	-7,382	-18.7
街頭		38,718	98.3	31,521	98.5	-7,197	-18.6
道路上		38,178	96.9	31,065	97.0	-7,113	-18.6
駐車(輪)場		408	1.0	354	1.1	-54	-13.2
都市公園		47	0.1	39	0.1	-8	-17.0
空き地		5	0.0	3	0.0	-2	-40.0
公共交通機関等		56	0.1	45	0.1	-11	-19.6
その他の交通機関		1	0.0	1	0.0	0	0.0
その他の街頭		23	0.1	14	0.0	-9	-39.1
その他		681	1.7	496	1.5	-185	-27.2

図表 2 - 1 - (2) - 3 ひったくりの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平16	3,183	1,286	835	1,133	1,464	2,421	2,659	3,038	3,380	6,310	7,796	5,893	1
平17	2,532	1,123	749	994	1,237	1,903	2,113	2,536	2,806	5,149	6,238	4,626	11	32,017	
(割合%)		7.9	3.5	2.3	3.1	3.9	5.9	6.6	7.9	8.8	16.1	19.5	14.4	0.0	100.0
増減	件数	-651	-163	-86	-139	-227	-518	-546	-502	-574	-1,161	-1,558	-1,267	10	-7,382
率(%)		-20.5	-12.7	-10.3	-12.3	-15.5	-21.4	-20.5	-16.5	-17.0	-18.4	-20.0	-21.5	1000.0	-18.7

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (2) - 4 ひったくりの被害者の年齢・性別認知件数（平成17年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	32,008	2,082	7,253	4,141	3,721	5,450	9,361
男性	2,163	165	361	278	289	403	667
(割合%)	6.8	0.5	1.1	0.9	0.9	1.3	2.1
女性	29,845	1,917	6,892	3,863	3,432	5,047	8,694
(割合%)	93.2	6.0	21.5	12.1	10.7	15.8	27.2

注：被害者が団体・法人のものを除く。

図表 2 - 1 - (2) - 5 ひったくりの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		13,493	100.0	10,353	100.0	-3,140	-23.3
成人事件の総数		9,078	67.3	7,079	68.4	-1,999	-22.0
単独		7,500	82.6	5,814	82.1	-1,686	-22.5
共犯		1,578	17.4	1,265	17.9	-313	-19.8
少年事件の総数		3,976	29.5	2,906	28.1	-1,070	-26.9
単独		1,286	32.3	1,200	41.3	-86	-6.7
共犯		2,690	67.7	1,706	58.7	-984	-36.6
成人・少年共犯事件の総数		439	3.3	368	3.6	-71	-16.2

注：解決事件を除く。

図表 2 - 1 - (2) - 6 ひったくりの検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

区分	年次	平16		平17		増減	
		検挙件数	割合(%)	検挙件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		13,493	100.0	10,353	100.0	-3,140	-23.3
自動車		2,013	14.9	1,352	13.1	-661	-32.8
うち盗難自動車		737	5.5	653	6.3	-84	-11.4
自二車・原付車		9,124	67.6	7,236	69.9	-1,888	-20.7
うち盗難自二車・原付車		4,433	32.9	2,851	27.5	-1,582	-35.7
自転車		1,630	12.1	1,052	10.2	-578	-35.5
その他・該当なし		726	5.4	713	6.9	-13	-1.8

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

### (3) 街頭における強姦

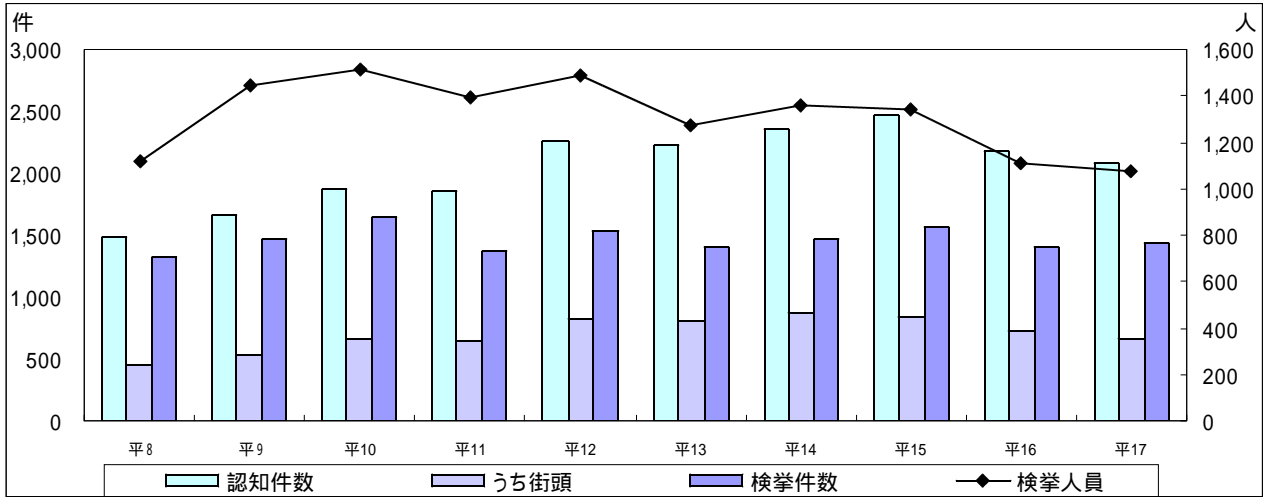
強姦の認知件数は、平成15年まで増加傾向にあったが、平成16年は2,176件で、前年に比べ296件（12.0%）減少し、うち街頭における強姦は平成15年に引き続き2年連続で減少している。平成17年は2,076件で、前年に比べ100件（4.6%）減少し、うち街頭における強姦は663件で、強姦全体の31.9%を占めており、前年に比べ69件（9.4%）減少している。

検挙件数、検挙人員は1,500件（人）前後で推移しており、平成17年の検挙件数は1,443件で、前年に比べ40件（2.9%）増加し、検挙人員は1,074人で、前年に比べ33人（3.0%）減少している（図表 2 - 1 - (3) - 1）。

平成17年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後10時から午前0時、被害女性は20歳未満が最も多い(図表2-1-(3)-2、3、4)。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い(図表2-1-(3)-5)。

図表2-1-(3)-1 強姦の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率(%)
認知件数		1,483	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	-100	-4.6
	うち街頭	454	535	668	648	825	806	869	832	732	663	-69	-9.4
	うち未遂	110	137	189	137	172	149	148	158	161	138	-23	-14.3
検挙件数		1,317	1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	40	2.9
検挙人員		1,117	1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	-33	-3.0
検挙率		88.8	88.8	88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	5.0ポイント	

図表2-1-(3)-2 街頭における強姦の発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		2,176	100.0	2,076	100.0	-100	-4.6
街頭		732	33.6	663	31.9	-69	-9.4
	道路上	296	13.6	243	11.7	-53	-17.9
	駐車(輪)場	177	8.1	179	8.6	2	1.1
	都市公園	56	2.6	49	2.4	-7	-12.5
	空き地	61	2.8	61	2.9	0	0.0
	公共交通機関等	15	0.7	13	0.6	-2	-13.3
	その他の交通機関	126	5.8	117	5.6	-9	-7.1
	その他の街頭	1	0.0	1	0.0	0	0.0
その他		1,444	66.4	1,413	68.1	-31	-2.1

図表 2 - 1 - (3) - 3 街頭における強姦の発生時間帯別認知件数

年次	時間 0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
平16	147	116	59	20	12	11	13	12	26	72	118	121	5	732
平17	115	113	50	22	9	9	10	20	39	65	90	118	3	663
(割合%)	17.3	17.0	7.5	3.3	1.4	1.4	1.5	3.0	5.9	9.8	13.6	17.8	0.5	100.0
増減 件数	-32	-3	-9	2	-3	-2	-3	8	13	-7	-28	-3	-2	-69
率 (%)	-21.8	-2.6	-15.3	10.0	-25.0	-18.2	-23.1	66.7	50.0	-9.7	-23.7	-2.5	-40.0	-9.4

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (3) - 4 街頭における強姦の被害者の年齢別認知件数（平成17年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	663	368	238	42	10	4	1
(割合%)	100.0	55.5	35.9	6.3	1.5	0.6	0.2

図表 2 - 1 - (3) - 5 強姦の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		1,345	100.0	1,373	100.0	28	2.1
成人事件の総数		1,206	89.7	1,249	91.0	43	3.6
単独		1,113	92.3	1,161	93.0	48	4.3
共犯		93	7.7	88	7.0	-5	-5.4
少年事件の総数		122	9.1	104	7.6	-18	-14.8
単独		97	79.5	88	84.6	-9	-9.3
共犯		25	20.5	16	15.4	-9	-36.0
成人・少年共犯事件の総数		17	1.3	20	1.5	3	17.6

注：解決事件を除く。

#### (4) 街頭における強制わいせつ

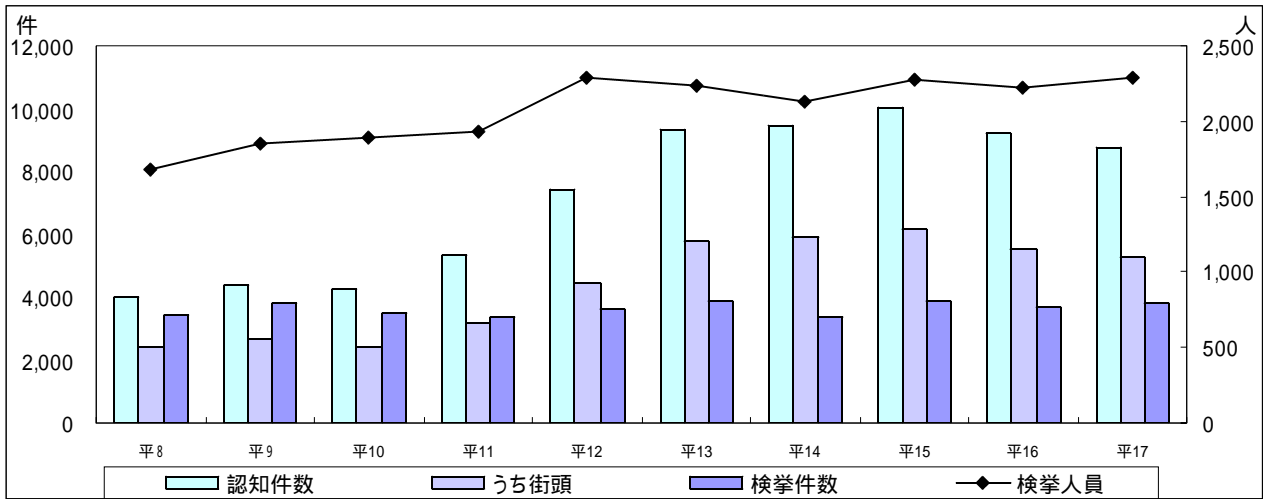
強制わいせつの認知件数は、平成11年以降増加しており、平成15年には1万件に達したが、平成16年は9,184件で、前年に比べ845件（8.4%）減少し、平成17年は8,751件で、前年に比べ433件（4.7%）減少している。うち街頭における強制わいせつは5,254件で、強制わいせつ全体の60.0%を占めており、前年に比べ256件（4.6%）減少している。

検挙件数は3千件台、検挙人員は2千人前後で推移しており、平成17年の検挙件数は3,797件で、前年に比べ141件（3.9%）、検挙人員は2,286人で、前年に比べ61人（2.7%）ともに増加している（図表 2 - 1 - (4) - 1）。

平成17年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後8時から午後10時、被害者は20歳未満の女性が最も多い（図表 2 - 1 - (4) - 2、3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表 2 - 1 - (4) - 5）。

図表 2 - 1 - (4) - 1 強制わいせつの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17	増減	
													件(人)数
認知件数		4,025	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	-433	-4.7
	うち街頭	2,400	2,686	2,399	3,196	4,475	5,786	5,915	6,145	5,510	5,254	-256	-4.6
	うち未遂	188	179	164	216	289	364	353	413	311	320	9	2.9
検挙件数		3,438	3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	141	3.9
検挙人員		1,675	1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	61	2.7
検挙率		85.4	86.1	82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	3.6ポイント	

図表 2 - 1 - (4) - 2 街頭における強制わいせつの発生場所別認知件数

区分	年次	平 16		平 17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		9,184	100.0	8,751	100.0	-433	-4.7
街頭		5,510	60.0	5,254	60.0	-256	-4.6
道路上		3,722	40.5	3,510	40.1	-212	-5.7
駐車(輪)場		688	7.5	650	7.4	-38	-5.5
都市公園		259	2.8	259	3.0	0	0.0
空き地		103	1.1	79	0.9	-24	-23.3
公共交通機関等		647	7.0	636	7.3	-11	-1.7
その他の交通機関		76	0.8	94	1.1	18	23.7
その他の街頭		15	0.2	26	0.3	11	73.3
その他		3,674	40.0	3,497	40.0	-177	-4.8

図表 2 - 1 - (4) - 3 街頭における強制わいせつの発生時間帯別認知件数

年次	時間	0 ~ 2時	2 ~ 4時	4 ~ 6時	6 ~ 8時	8 ~ 10時	10 ~ 12時	12 ~ 14時	14 ~ 16時	16 ~ 18時	18 ~ 20時	20 ~ 22時	22 ~ 24時	不明	総数
		平 16	681	312	162	345	355	144	171	340	544	787	881	778	10
平 17	664	324	128	335	326	141	146	288	465	733	850	838	16	5,254	
(割合%)		12.6	6.2	2.4	6.4	6.2	2.7	2.8	5.5	8.9	14.0	16.2	15.9	0.3	100.0
増減	件数	-17	12	-34	-10	-29	-3	-25	-52	-79	-54	-31	60	6	-256
率(%)		-2.5	3.8	-21.0	-2.9	-8.2	-2.1	-14.6	-15.3	-14.5	-6.9	-3.5	7.7	60.0	-4.6

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。



図表 2 - 1 - (4) - 4 街頭における強制わいせつの被害者の年齢・性別認知件数（平成17年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	5,254	3,189	1,610	346	78	20	11
男性	80	65	13	2	0	0	0
(割合%)	1.5	1.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0
女性	5,174	3,124	1,597	344	78	20	11
(割合%)	98.5	59.5	30.4	6.5	1.5	0.4	0.2

図表 2 - 1 - (4) - 5 強制わいせつの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		3,496	100.0	3,683	100.0	187	5.3
成人事件の総数		3,117	89.2	3,228	87.6	111	3.6
単独		3,086	99.0	3,199	99.1	113	3.7
共犯		31	1.0	29	0.9	-2	-6.5
少年事件の総数		374	10.7	446	12.1	72	19.3
単独		360	96.3	437	98.0	77	21.4
共犯		14	3.7	9	2.0	-5	-35.7
成人・少年共犯事件の総数		5	0.1	9	0.2	4	80.0

注：解決事件を除く。

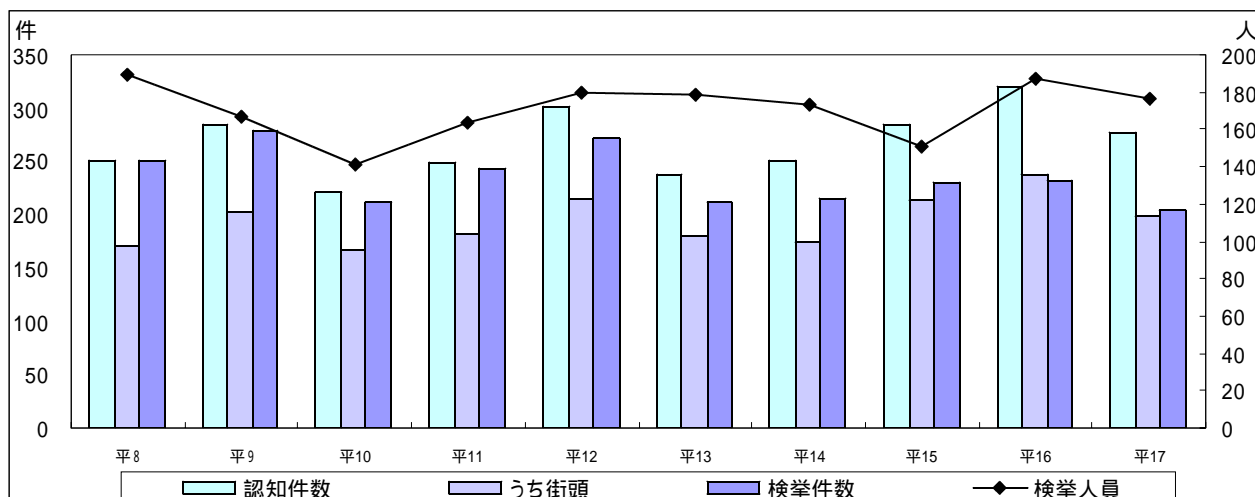
#### (5) 街頭における略取・誘拐

略取・誘拐の認知件数は、ここ10年、200件から300件の間で推移し、平成16年は320件で、前年に比べ36件（12.7%）増加したが、平成17年は277件で、前年に比べ43件（13.4%）減少している。うち街頭における略取・誘拐は199件で、略取・誘拐全体の71.8%を占めており、前年に比べ38件（16.0%）減少している。また、検挙件数は200件台で、検挙人員は100人台で推移しており、平成17年の検挙件数は204件で、前年に比べ28件（12.1%）、検挙人員は176人で、前年に比べ11人（5.9%）ともに減少している（図表 2 - 1 - (5) - 1）。

平成17年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は道路上、発生時間帯は午後2時から午後4時、被害者は20歳未満の女性が最も多い（図表 2 - 1 - (5) - 2、3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表 2 - 1 - (5) - 5）。

図表 2 - 1 - (5) - 1 略取・誘拐の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
認知件数		251	284	221	249	302	237	251	284	320	277	-43	-13.4
	うち街頭	170	202	166	181	216	179	175	213	237	199	-38	-16.0
	うち未遂	32	33	31	26	59	35	44	61	77	55	-22	-28.6
検挙件数		250	279	211	244	272	211	215	231	232	204	-28	-12.1
検挙人員		189	167	141	164	180	179	173	151	187	176	-11	-5.9
検挙率		99.6	98.2	95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	1.1	ポイント

図表 2 - 1 - (5) - 2 街頭における略取・誘拐の発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		320	100.0	277	100.0	-43	-13.4
街頭	街頭	237	74.1	199	71.8	-38	-16.0
	道路上	183	57.2	158	57.0	-25	-13.7
	駐車(輪)場	32	10.0	21	7.6	-11	-34.4
	都市公園	11	3.4	11	4.0	0	0.0
	空き地	1	0.3	1	0.4	0	0.0
	公共交通機関等	8	2.5	2	0.7	-6	-75.0
	その他の交通機関	1	0.3	6	2.2	5	500.0
	その他の街頭	1	0.3	0	0.0	-1	-100.0
その他		83	25.9	78	28.2	-5	-6.0

図表 2 - 1 - (5) - 3 街頭における略取・誘拐の発生時間帯別認知件数

年次	時間	0~2時	2~4時	4~6時	6~8時	8~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~22時	22~24時	不明	総数
		平16	19	10	4	12	18	15	12	32	44	22	22	25	2
平17	18	9	3	6	11	8	16	34	33	21	20	20	0	199	
(割合%)		9.0	4.5	1.5	3.0	5.5	4.0	8.0	17.1	16.6	10.6	10.1	10.1	0.0	100.0
増減	件数	-1	-1	-1	-6	-7	-7	4	2	-11	-1	-2	-5	-2	-38
率 (%)		-5.3	-10.0	-25.0	-50.0	-38.9	-46.7	33.3	6.3	-25.0	-4.5	-9.1	-20.0	-100.0	-16.0

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 1 - (5) - 4 街頭における略取・誘拐の被害者の年齢別認知件数（平成17年）

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	199	157	25	10	3	2	2
男性	26	22	0	2	1	1	0
(割合%)	13.1	11.1	0.0	1.0	0.5	0.5	0.0
女性	173	135	25	8	2	1	2
(割合%)	86.9	67.8	12.6	4.0	1.0	0.5	1.0

図表 2 - 1 - (5) - 5 略取・誘拐の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		224	100.0	200	100.0	-24	-10.7
成人事件の総数		201	89.7	185	92.5	-16	-8.0
単独		172	85.6	140	75.7	-32	-18.6
共犯		29	14.4	45	24.3	16	55.2
少年事件の総数		13	5.8	8	4.0	-5	-38.5
単独		5	38.5	7	87.5	2	40.0
共犯		8	61.5	1	12.5	-7	-87.5
成人・少年共犯事件の総数		10	4.5	7	3.5	-3	-30.0

注：解決事件を除く。

## (6) 街頭における暴行・傷害・恐喝

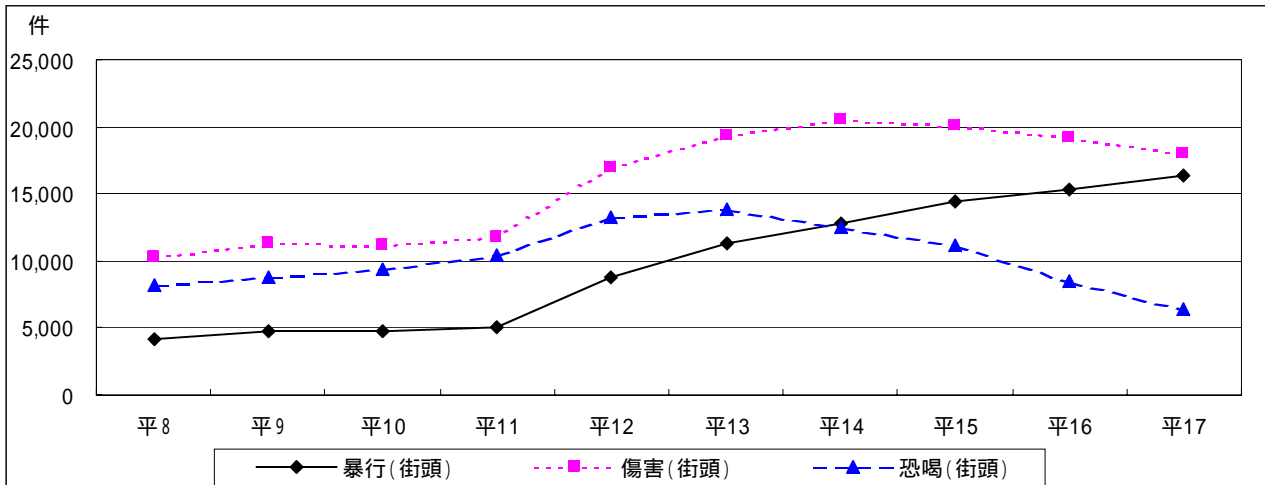
暴行の認知件数は平成12年以降急激に増加し、平成16年は2万3,691件で、前年に比べ1,745件（8.0%）増加し、平成17年は2万5,815件で、前年に比べ2,124件（9.0%）増加している。うち街頭における暴行は1万6,332件で、暴行全体の63.3%を占めており、前年に比べ1,013件（6.6%）増加している。

傷害の認知件数は平成12年以降急激に増加していたが、平成16年は3万5,937件で、前年に比べ631件（1.7%）減少し、平成17年は3万4,484件で前年に比べ1,453件（4.0%）減少している。うち街頭における傷害は1万7,961件で、傷害全体の52.1%を占めており、前年に比べ1,257件（6.5%）減少している。

恐喝の認知件数は平成13年まで増加していたが、平成14年以降減少し、平成16年は1万4,424件で、前年に比べ3,171件（18.0%）減少し、平成17年は1万978件で、前年に比べ3,446件（23.9%）減少している。うち街頭における恐喝は6,346件で、恐喝全体の57.8%を占めており、前年に比べ2,188件（25.6%）減少している（図表 2 - 1 - (6) - 1）。

平成17年に街頭において発生した事件を見ると、発生場所は暴行、傷害、恐喝のいずれも道路上が最も多く、被害者は暴行、傷害が20歳代の男性、恐喝は20歳未満の男性が最も多い。また、凶器を使用したものは、傷害、恐喝のいずれも包丁類（その他の刃物を含む。）が最も多い（図表 2 - 1 - (6) - 2、3、4）。

図表 2 - 1 - (6) - 1 街頭における暴行・傷害・恐喝の認知状況の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
													件(人)数
暴行		6,469	7,254	7,367	7,792	13,225	16,928	19,442	21,937	23,691	25,815	2,124	9.0
	うち街頭	4,177	4,722	4,801	5,051	8,734	11,352	12,814	14,477	15,319	16,332	1,013	6.6
	(割合%)	64.6	65.1	65.2	64.8	66.0	67.1	65.9	66.0	64.7	63.3	-1.4	-
傷害		17,876	19,288	19,476	20,233	30,184	33,965	36,324	36,568	35,937	34,484	-1,453	-4.0
	うち街頭	10,273	11,306	11,157	11,687	16,965	19,400	20,465	20,098	19,218	17,961	-1,257	-6.5
	(割合%)	57.5	58.6	57.3	57.8	56.2	57.1	56.3	55.0	53.5	52.1	-1.4	-
恐喝		12,226	12,947	13,900	14,768	18,926	19,566	18,403	17,595	14,424	10,978	-3,446	-23.9
	うち街頭	8,199	8,802	9,344	10,419	13,230	13,856	12,514	11,089	8,534	6,346	-2,188	-25.6
	(割合%)	67.1	68.0	67.2	70.6	69.9	70.8	68.0	63.0	59.2	57.8	-1.4	-
	うち未遂	861	957	1,159	1,200	1,861	1,967	1,789	1,797	1,484	1,163	-321	-21.6

図表 2 - 1 - (6) - 2 街頭における暴行・傷害・恐喝の発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
暴行の認知件数		23,691	100.0	25,815	100.0	2,124	9.0
街頭		15,319	64.7	16,332	63.3	1,013	6.6
道路上		11,431	48.3	11,731	45.4	300	2.6
駐車(輪)場		1,500	6.3	1,657	6.4	157	10.5
都市公園		431	1.8	473	1.8	42	9.7
空き地		90	0.4	84	0.3	-6	-6.7
公共交通機関等		1,646	6.9	2,135	8.3	489	29.7
その他の交通機関		155	0.7	198	0.8	43	27.7
その他の街頭		66	0.3	54	0.2	-12	-18.2
その他		8,372	35.3	9,483	36.7	1,111	13.3
傷害の認知件数		35,937	100.0	34,484	100.0	-1,453	-4.0
街頭		19,218	53.5	17,961	52.1	-1,257	-6.5
道路上		13,217	36.8	12,170	35.3	-1,047	-7.9
駐車(輪)場		3,080	8.6	2,973	8.6	-107	-3.5
都市公園		1,060	2.9	968	2.8	-92	-8.7
空き地		227	0.6	224	0.6	-3	-1.3
公共交通機関等		1,334	3.7	1,330	3.9	-4	-0.3
その他の交通機関		229	0.6	233	0.7	4	1.7
その他の街頭		71	0.2	63	0.2	-8	-11.3
その他		16,719	46.5	16,523	47.9	-196	-1.2
恐喝の認知件数		14,424	100.0	10,978	100.0	-3,446	-23.9
街頭		8,534	59.2	6,346	57.8	-2,188	-25.6
道路上		5,530	38.3	3,981	36.3	-1,549	-28.0
駐車(輪)場		1,921	13.3	1,486	13.5	-435	-22.6
都市公園		573	4.0	457	4.2	-116	-20.2
空き地		115	0.8	81	0.7	-34	-29.6
公共交通機関等		250	1.7	223	2.0	-27	-10.8
その他の交通機関		108	0.7	94	0.9	-14	-13.0
その他の街頭		37	0.3	24	0.2	-13	-35.1
その他		5,890	40.8	4,632	42.2	-1,258	-21.4

図表 2 - 1 - (6) - 3 街頭における暴行・傷害・恐喝の被害者の年齢・性別認知件数(平成17年)

	総数	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
暴行(街頭)認知件数	16,332	4,650	4,573	2,965	1,786	1,461	897
男性	10,260	2,035	2,635	2,117	1,430	1,289	754
(割合%)	62.8	12.5	16.1	13.0	8.8	7.9	4.6
女性	6,072	2,615	1,938	848	356	172	143
(割合%)	37.2	16.0	11.9	5.2	2.2	1.1	0.9
傷害(街頭)認知件数	17,961	3,904	4,949	3,650	2,240	1,858	1,360
男性	14,441	3,080	3,891	2,906	1,850	1,610	1,104
(割合%)	80.4	17.1	21.7	16.2	10.3	9.0	6.1
女性	3,520	824	1,058	744	390	248	256
(割合%)	19.6	4.6	5.9	4.1	2.2	1.4	1.4
恐喝(街頭)認知件数	6,324	3,521	1,667	519	256	204	157
男性	5,790	3,302	1,499	454	227	179	129
(割合%)	91.6	52.2	23.7	7.2	3.6	2.8	2.0
女性	534	219	168	65	29	25	28
(割合%)	8.4	3.5	2.7	1.0	0.5	0.4	0.4

注：被害者が団体・法人のものを除く。

図表 2 - 1 - (6) - 4 街頭における傷害・恐喝の発生時の犯罪供用物の状況

区分	年次		平16		平17		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
街頭における傷害の認知件数	19,218	100.0	17,961	100.0	-1,257	-6.5		
銃砲類(けん銃様のものを含む)	24	0.1	13	0.1	-11	-45.8		
刀剣類	53	0.3	37	0.2	-16	-30.2		
包丁類(その他の刃物を含む)	333	1.7	293	1.6	-40	-12.0		
凶器以外	0	0.0	1	0.0	1	-		
不明	242	1.3	206	1.1	-36	-14.9		
該当なし、供用物なし	18,566	96.6	17,411	96.9	-1,155	-6.2		
街頭における恐喝の認知件数	8,534	100.0	6,346	100.0	-2,188	-25.6		
銃砲類(けん銃様のものを含む)	11	0.1	4	0.1	-7	-63.6		
刀剣類	23	0.3	9	0.1	-14	-60.9		
包丁類(その他の刃物を含む)	183	2.1	113	1.8	-70	-38.3		
凶器以外	50	0.6	80	1.3	30	60.0		
不明	78	0.9	44	0.7	-34	-43.6		
該当なし、供用物なし	8,189	96.0	6,096	96.1	-2,093	-25.6		

注1：街頭における傷害の「凶器以外」の内訳は、平成17年は電話・ファックスが1件である。

注2：街頭における恐喝の「凶器以外」の内訳は、平成16年は電話・ファックスが48件、チラシ・パンフレットが2件、17年は電話・ファックスが80件である。

## (7) 自動車盗

自動車盗の認知件数は、平成11年以降急激に増加し、平成14年に若干減少したものの、平成15年には再び増加したが、平成16年は5万8,737件で、前年に比べ5,486件(8.5%)減少し、平成17年は4万6,728件で、前年に比べ1万2,009件(20.4%)減少している。

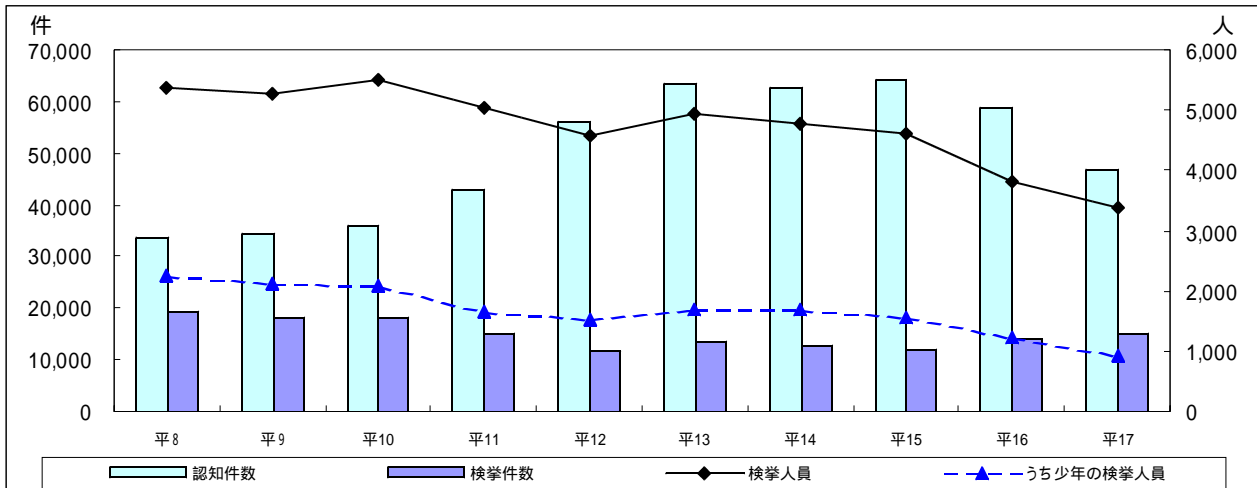
検挙件数、検挙人員はともに減少傾向にあったが、平成16年の検挙件数は1万3,765件で、前年に比べ1,834件(15.4%)増加し、検挙人員は3,823人で、前年に比べ776人(16.9%)減少しており、平成17年においても検挙件数は1万4,898件で、前年に比べ1,133件(8.2%)増加し、検挙人員は3,366人で、前年に比べ457人(12.0%)減少している。また、検挙人員に占める少年の割合は減少傾向にあり、平成17年は938人で、検挙人員全体の27.9%(前年に比べ3.9ポイント低下)を占めている(図表2-1-(7)-1)。

平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車(輪)場が最も多い。また、被害時にエンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものの割合は年々減少傾向にあるが、平成17年は全体の28.2%で、前年に比べ1.0ポイント上昇している。更に、平成9年以降年々増加していた被害額300万円未満の自動車盗は、平成16年に減少し、平成17年も減少している(図表2-1-(7)-2、3、4)。

被害自動車の還付率は、平成12年まで減少し、以降横ばいであったが、平成17年は30.1%で、前年に比べ0.2ポイント低下している(図表2-1-(7)-5)。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯、共犯の数に大きな差はなく、少年事件では共犯が多い(図表2-1-(7)-6)。

図表 2 - 1 - (7) - 1 自動車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	-12,009	-20.4
検挙件数		19,264	18,291	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	11,931	13,765	14,898	1,133	8.2
検挙人員		5,380	5,264	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	4,599	3,823	3,366	-457	-12.0
うち少年		2,257	2,106	2,091	1,658	1,531	1,691	1,680	1,542	1,216	938	-278	-22.9
(割合%)		42.0	40.0	38.1	33.0	33.4	34.3	35.2	33.5	31.8	27.9	-3.9	-
検挙率		57.1	53.0	50.7	35.4	20.3	21.2	20.4	18.6	23.4	31.9	8.5	ポイント

図表 2 - 1 - (7) - 2 自動車盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		58,737	100.0	46,728	100.0	-12,009	-20.4
街頭		45,774	77.9	35,757	76.5	-10,017	-21.9
道路上		7,203	12.3	5,519	11.8	-1,684	-23.4
駐車(輪)場		37,083	63.1	29,036	62.1	-8,047	-21.7
都市公園		15	0.0	11	0.0	-4	-26.7
空き地		1,428	2.4	1,154	2.5	-274	-19.2
公共交通機関等		40	0.1	35	0.1	-5	-12.5
その他の街頭		5	0.0	2	0.0	-3	-60.0
その他		12,963	22.1	10,971	23.5	-1,992	-15.4

図表 2 - 1 - (7) - 3 自動車盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
認知件数		33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	-12,009	-20.4
キーあり		18,981	18,052	18,752	19,234	21,195	21,743	20,204	18,568	15,999	13,186	-2,813	-17.6
(割合%)		56.3	52.3	52.3	44.6	37.7	34.4	32.2	28.9	27.2	28.2	1.0	-
キーなし		14,741	16,437	17,132	23,858	35,010	41,532	42,469	45,655	42,738	33,542	-9,196	-21.5

注:「キーあり」とは、エンジンキー(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (7) - 4 自動車盗の被害額別認知件数の推移

区分	年次	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
認知件数		33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	-12,009	-20.4
200万円未満		25,673	25,317	25,509	27,671	34,284	40,405	42,089	44,538	41,484	33,972	-7,512	-18.1
(割合%)		76.1	73.4	71.1	64.2	61.0	63.9	67.2	69.3	70.6	72.7	2.1	-
200～300万円未満		3,355	3,697	4,164	5,657	8,311	9,563	9,693	9,736	8,535	5,982	-2,553	-29.9
(割合%)		9.9	10.7	11.6	13.1	14.8	15.1	15.5	15.2	14.5	12.8	-1.7	-
300万円以上		4,254	4,990	5,757	9,107	12,447	11,499	8,932	7,373	6,195	4,696	-1,499	-24.2
(割合%)		12.6	14.5	16.0	21.1	22.1	18.2	14.3	11.5	10.5	10.0	-0.5	-
被害なし・被害額認定困難		440	485	454	657	1,163	1,808	1,959	2,576	2,523	2,078	-445	-17.6

図表 2 - 1 - (7) - 5 被害自動車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
認知件数		33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	-12,009	-20.4
還付件数		18,261	17,912	17,764	16,512	16,914	19,579	19,422	20,036	17,806	14,081	-3,725	-20.9
還付率(%)		54.2	51.9	49.5	38.3	30.1	30.9	31.0	31.2	30.3	30.1	-0.2	-

注：還付に関する統計は、平成8年以降。また、還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (7) - 6 自動車盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		13,140	100.0	14,201	100.0	1,061	8.1
成人事件の総数		11,553	87.9	12,991	91.5	1,438	12.4
単独		5,862	50.7	6,147	47.3	285	4.9
共犯		5,691	49.3	6,844	52.7	1,153	20.3
少年事件の総数		1,261	9.6	899	6.3	-362	-28.7
単独		389	30.8	287	31.9	-102	-26.2
共犯		872	69.2	612	68.1	-260	-29.8
成人・少年共犯事件の総数		326	2.5	311	2.2	-15	-4.6

注：解決事件を除く。

## (8) オートバイ盗

オートバイ盗の認知件数は、平成13年まで24万件前後で推移していたが、平成14年以降急激に減少し、平成16年は12万6,717件で、前年に比べ2万8,262件(18.2%)減少し、平成17年は10万4,155件で、前年に比べ2万2,562件(17.8%)減少している。

検挙件数は平成10年以降、検挙人員はここ10年連続して減少しており、平成17年においても検挙件数は1万1,621件で、前年に比べ94件(0.8%)、検挙人員は8,665人で、前年に比べ538人(5.8%)ともに減少している。

検挙人員に占める少年の割合は特に高く、平成17年は8,188人で、検挙人員全体の94.5%(前年に比べ0.4ポイント低下)を占めている(図表2-1-(8)-1)。

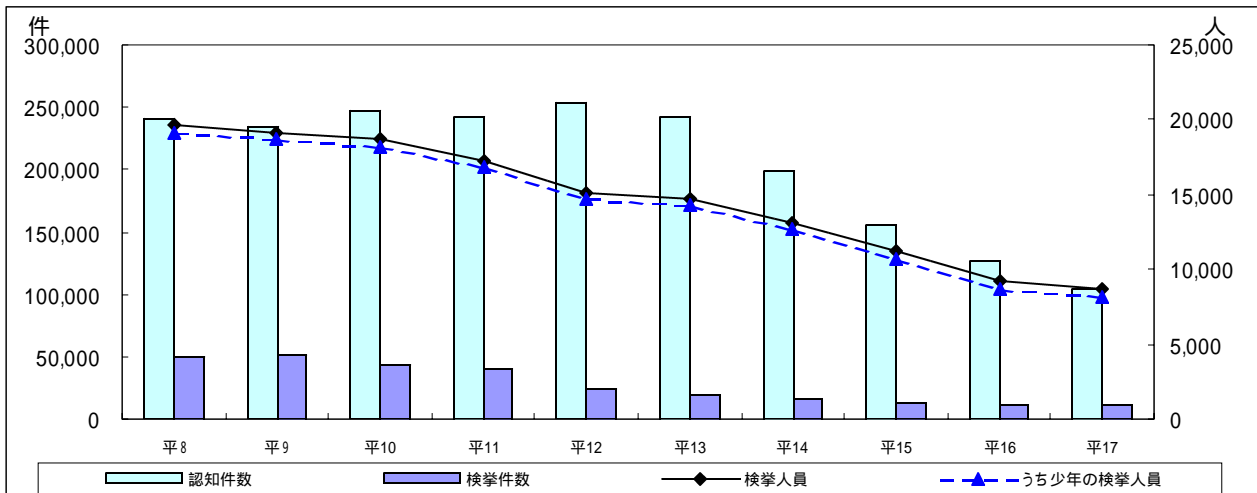
平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車(輪)場が最も多く、被害時にエンジンキー



(イグニッションキー)がメーンスイッチ(イグニッションスイッチ)に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていた状態で盗まれているものは、全体の22.8%となっている。また、被害自動二輪車・原動機付自転車の還付率は38.8%で、前年に比べ1.1ポイント上昇している(図表2-1-(8)-2、3、4)。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件とも共犯が多い(図表2-1-(8)-5)。

図表2-1-(8)-1 オートバイ盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	件(人)数	率(%)
認知件数	240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	-22,562	-17.8
検挙件数	49,883	50,610	43,678	40,356	23,708	19,440	15,725	12,447	11,715	11,621	-94	-0.8
検挙人員	19,669	19,131	18,697	17,296	15,143	14,707	13,106	11,213	9,203	8,665	-538	-5.8
うち少年 (割合%)	19,109 97.2	18,749 98.0	18,202 97.4	16,872 97.5	14,746 97.4	14,288 97.2	12,650 96.5	10,669 95.1	8,735 94.9	8,188 94.5	-547 -0.4	-6.3 -
検挙率	20.8	21.6	17.7	16.6	9.4	8.0	7.9	8.0	9.2	11.2	2.0	ポイント

図表2-1-(8)-2 オートバイ盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		126,717	100.0	104,155	100.0	-22,562	-17.8
街頭		88,578	69.9	73,342	70.4	-15,236	-17.2
道路上		28,052	22.1	22,183	21.3	-5,869	-20.9
駐車(輪)場		58,930	46.5	49,977	48.0	-8,953	-15.2
都市公園		260	0.2	190	0.2	-70	-26.9
空き地		933	0.7	708	0.7	-225	-24.1
公共交通機関等		400	0.3	283	0.3	-117	-29.3
その他の街頭		3	0.0	1	0.0	-2	-66.7
その他		38,139	30.1	30,813	29.6	-7,326	-19.2

図表 2 - 1 - (8) - 3 オートバイ盗のキーの有無別認知件数の推移

区分	年次	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
													件数
認知件数		240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	-22,562	-17.8
キーあり (割合%)		51,680	53,379	55,019	53,941	54,254	50,346	43,039	33,969	28,574	23,758	-4,816	-16.9
		21.5	22.7	22.3	22.2	21.4	20.8	21.7	21.9	22.5	22.8	0.3	-
キーなし		188,720	181,270	191,345	189,036	199,179	192,171	155,603	121,010	98,143	80,397	-17,746	-18.1

注：「キーあり」とは、エンジンキー（イグニッションキー）がメーンスイッチ（イグニッションスイッチ）に差し込まれていたか、運転席又はその周辺に放置されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (8) - 4 被害自動二輪車・原動機付自転車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
													件数
認知件数		240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	198,642	154,979	126,717	104,155	-22,562	-17.8
還付件数		87,662	93,841	89,790	88,123	85,483	86,163	72,503	59,599	47,796	40,421	-7,375	-15.4
還付率(%)		36.5	40.0	36.4	36.3	33.7	35.5	36.5	38.5	37.7	38.8	1.1	-

注：還付に関する統計は、平成8年以降。また、還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (8) - 5 オートバイ盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		10,754	100.0	10,727	100.0	-27	-0.3
成人事件の総数		1,772	16.5	2,766	25.8	994	56.1
	単独	1,321	74.5	1,251	45.2	-70	-5.3
	共犯	451	25.5	1,515	54.8	1,064	235.9
少年事件の総数		8,399	78.1	7,688	71.7	-711	-8.5
	単独	3,571	42.5	3,224	41.9	-347	-9.7
	共犯	4,828	57.5	4,464	58.1	-364	-7.5
成人・少年共犯事件の総数		583	5.4	273	2.5	-310	-53.2

注：解決事件を除く。

## (9) 自転車盗

自転車盗の認知件数は、平成13年まで増加傾向にあったが、平成14年以降減少傾向に転じ、平成16年は44万4,268件で、前年に比べ3万2,321件（6.8%）減少し、平成17年は40万6,104件で、前年に比べ3万8,164件（8.6%）減少している。

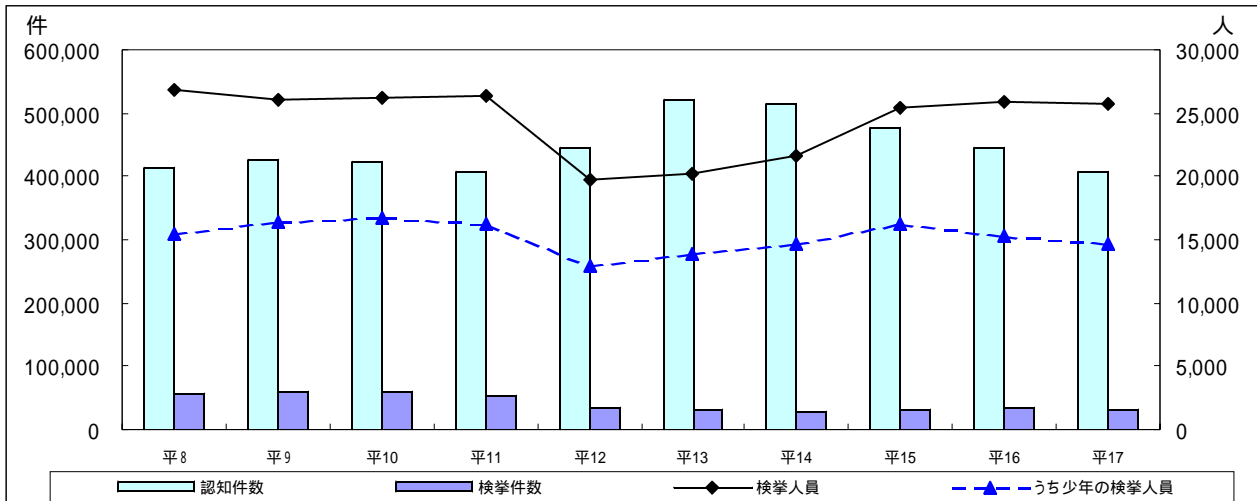
検挙件数、検挙人員は、平成12年以降急激に減少したのち、検挙件数は平成15年以降、検挙人員は平成13年以降増加に転じたが、平成17年の検挙件数は3万2,322件で、前年に比べ3,506件（9.8%）、検挙人員は2万5,737人で、前年に比べ189人（0.7%）ともに減少している。

検挙人員に占める少年の割合は高く、平成17年は1万4,732人で、検挙人員全体の57.2%（前年に比べ2.0ポイント低下）を占めている（図表 2 - 1 - (9) - 1）。

平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車（輪）場が最も多く、被害時の状況を見ると、盗難防止のための施錠がなされていなかったものは、全体の45.8%を占めている。また、被害自転車の還付率は39.4%で、前年に比べ1.2ポイント上昇している（図表 2 - 1 - (9) - 2、3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表 2 - 1 - (9) - 5）。

図表 2 - 1 - (9) - 1 自転車盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	-38,164	-8.6
検挙件数		55,970	58,803	59,187	53,060	34,575	32,605	29,412	32,489	35,828	32,322	-3,506	-9.8
検挙人員		26,871	26,006	26,234	26,348	19,736	20,173	21,708	25,453	25,926	25,737	-189	-0.7
うち少年		15,466	16,476	16,675	16,271	12,991	13,843	14,710	16,316	15,342	14,732	-610	-4.0
(割合%)		57.6	63.4	63.6	61.8	65.8	68.6	67.8	64.1	59.2	57.2	-2.0	-
検挙率		13.5	13.8	14.0	13.0	7.8	6.2	5.7	6.8	8.1	8.0	-0.1	ポイント

図表 2 - 1 - (9) - 2 自転車盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		444,268	100.0	406,104	100.0	-38,164	-8.6
街頭		341,493	76.9	314,367	77.4	-27,126	-7.9
道路上		103,496	23.3	95,732	23.6	-7,764	-7.5
駐車(輪)場		228,586	51.5	210,391	51.8	-18,195	-8.0
都市公園		2,020	0.5	1,884	0.5	-136	-6.7
空き地		2,377	0.5	1,975	0.5	-402	-16.9
公共交通機関等		4,999	1.1	4,356	1.1	-643	-12.9
その他の街頭		15	0.0	29	0.0	14	93.3
その他		102,775	23.1	91,737	22.6	-11,038	-10.7

図表 2 - 1 - (9) - 3 自転車盗の施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
認知件数		413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	-38,164	-8.6
施錠あり		242,635	245,268	238,717	233,778	258,421	313,920	311,787	280,444	249,951	220,210	-29,741	-11.9
施錠なし		171,203	181,964	184,466	174,528	186,880	207,881	202,333	196,145	194,317	185,894	-8,423	-4.3
(割合%)		41.4	42.6	43.6	42.7	42.0	39.8	39.4	41.2	43.7	45.8	2.1	-

注: 「施錠あり」とは、被害時に盗難防止のため施錠されていたものをいう。

図表 2 - 1 - (9) - 4 被害自転車の還付数・還付率の推移

区分	年次	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
認知件数		413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	514,120	476,589	444,268	406,104	-38,164	-8.6
還付件数		122,063	134,920	138,528	128,274	127,050	154,784	166,185	179,352	169,792	159,849	-9,943	-5.9
還付率(%)		29.5	31.6	32.7	31.4	28.5	29.7	32.3	37.6	38.2	39.4	1.2	-

注：還付に関する統計は、平成8年以降。また、還付率は、還付年の認知件数を基に算出した。

図表 2 - 1 - (9) - 5 自転車の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		28,797	100.0	26,628	100.0	-2,169	-7.5
成人事件の総数		14,537	50.5	13,297	49.9	-1,240	-8.5
単独		13,435	92.4	13,021	97.9	-414	-3.1
共犯		1,102	7.6	276	2.1	-826	-75.0
少年事件の総数		14,024	48.7	13,189	49.5	-835	-6.0
単独		11,017	78.6	10,278	77.9	-739	-6.7
共犯		3,007	21.4	2,911	22.1	-96	-3.2
成人・少年共犯事件の総数		236	0.8	142	0.5	-94	-39.8

注：解決事件を除く。

## (10) 車上ねらい

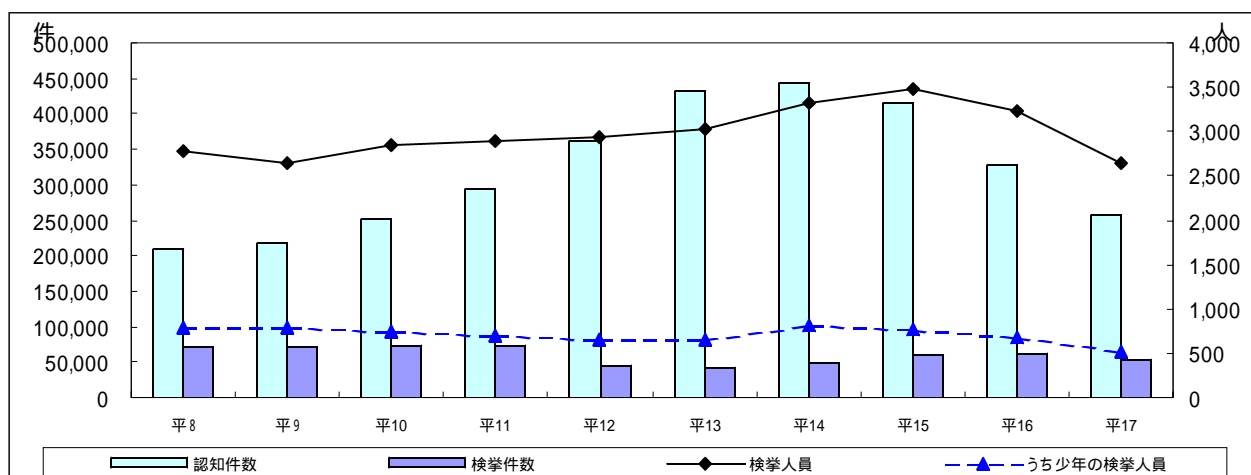
車上ねらいの認知件数は、平成14年まで増加傾向にあったが、平成15年には減少し、平成16年は32万8,921件で、前年に比べ8万5,898件(20.7%)減少し、平成17年は25万6,594件で前年に比べ7万2,327件(22.0%)減少している。

検挙件数は、平成11年まで7万件台で推移していたが、平成12年以降4万件台に減少し、平成15年以降は再び6万件台に増加しているが、平成17年は5万3,465件で、前年に比べ9,706件(15.4%)減少している。また、検挙人員は、3千人前後で推移しており、平成17年は2,634人で、前年に比べ604人(18.7%)減少している(図表2-1-(10)-1)。

平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車(輪)場が最も多く、被害時の状況を見ると、施錠なしで被害に遭っているものは、全体の31.9%を占めている(図表2-1-(10)-2、3)。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では共犯が多い(図表2-1-(10)-4)。

図表2 - 1 - (10) - 1 車上ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	件(人)数	率(%)
認知件数	210,080	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	-72,327	-22.0
検挙件数	70,207	71,028	74,473	73,715	45,666	43,176	48,881	60,479	63,171	53,465	-9,706	-15.4
検挙人員	2,772	2,639	2,857	2,892	2,933	3,027	3,322	3,491	3,238	2,634	-604	-18.7
うち少年 (割合%)	798 28.8	793 30.0	742 26.0	704 24.3	658 22.4	663 21.9	816 24.6	776 22.2	681 21.0	527 20.0	-154 -1.0	-22.6 -
検挙率	33.4	32.7	29.5	25.0	12.6	10.0	11.0	14.6	19.2	20.8	1.6ポイント	

図表2 - 1 - (10) - 2 車上ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次		平16		平17		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数	328,921	100.0	256,594	100.0	-72,327	-22.0		
街頭	273,116	83.0	213,926	83.4	-59,190	-21.7		
道路上	55,241	16.8	46,156	18.0	-9,085	-16.4		
駐車(輪)場	212,222	64.5	163,167	63.6	-49,055	-23.1		
都市公園	1,418	0.4	1,254	0.5	-164	-11.6		
空き地	3,781	1.1	3,010	1.2	-771	-20.4		
公共交通機関等	397	0.1	267	0.1	-130	-32.7		
その他の街頭	57	0.0	72	0.0	15	26.3		
その他	55,805	17.0	42,668	16.6	-13,137	-23.5		

図表2 - 1 - (10) - 3 車上ねらいの施錠の有無別認知件数の推移

区分	年次										増減	
	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	件数	率(%)
認知件数	210,080	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	443,298	414,819	328,921	256,594	-72,327	-22.0
施錠あり	105,549	116,132	146,461	185,318	245,071	312,380	324,713	305,871	233,481	174,862	-58,619	-25.1
施錠なし (割合%)	104,531 49.8	101,039 46.5	105,631 41.9	109,317 37.1	117,691 32.4	119,760 27.7	118,585 26.8	108,948 26.3	95,440 29.0	81,732 31.9	-13,708 2.9	-14.4 -

注：「施錠あり」とは、施錠されている自動車の車室、トランク、荷物庫等から金品を窃取するものをいう。また、オートバイ（自動二輪車、原動機付自転車）及び自転車を対象とする「車上ねらい」については、施錠の有無にかかわらず、すべて「車上ねらい(施錠なし)」とする。

図表 2 - 1 - (10) - 4 車上ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次		平16		平17		増減	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数	62,404	100.0	52,556	100.0	-9,848		-15.8	
成人事件の総数	57,773	92.6	48,537	92.4	-9,236		-16.0	
単独	36,974	64.0	32,042	66.0	-4,932		-13.3	
共犯	20,799	36.0	16,495	34.0	-4,304		-20.7	
少年事件の総数	2,865	4.6	1,844	3.5	-1,021		-35.6	
単独	1,010	35.3	821	44.5	-189		-18.7	
共犯	1,855	64.7	1,023	55.5	-832		-44.9	
成人・少年共犯事件の総数	1,766	2.8	2,175	4.1	409		23.2	

注：解決事件を除く。

### (11) 部品ねらい

部品ねらいの認知件数は、平成12年から急激に増加し、平成13年を頂点に平成14年、15年と減少し、平成16年は11万2,161件で、前年に比べ8,565件（7.1%）減少し、平成17年は10万3,772件で前年に比べ8,389件（7.5%）減少している。

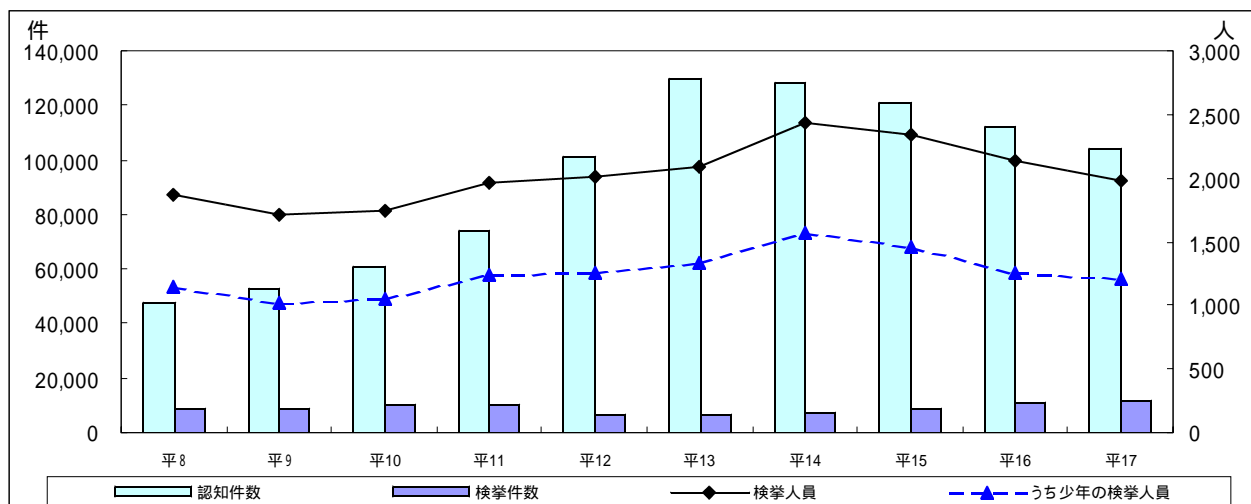
検挙件数は平成13年以降増加傾向にあり、平成17年の検挙件数は1万1,786件で、前年に比べ1,118件（10.5%）増加している。検挙人員は平成10年以降年々増加していたが、平成15年から減少に転じており、平成17年は1,973人で、前年に比べ161人（7.5%）減少している。

検挙人員に占める少年の割合は高く、平成17年は1,204人で、検挙人員全体の61.0%（前年に比べ2.2ポイント上昇）を占めている（図表 2 - 1 - (11) - 1）。

平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は駐車（輪）場が最も多い（図表 2 - 1 - (11) - 2）。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では単独犯、共犯の数に大きな差はない（図表 2 - 1 - (11) - 3）。

図表 2 - 1 - (11) - 1 部品ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		47,348	52,726	61,192	73,824	101,338	129,380	128,539	120,726	112,161	103,772	-8,389	-7.5
検挙件数		9,000	8,699	10,548	10,206	6,527	6,650	7,260	8,515	10,668	11,786	1,118	10.5
検挙人員		1,875	1,716	1,745	1,965	2,006	2,082	2,429	2,345	2,134	1,973	-161	-7.5
うち少年 (割合%)		1,149 61.3	1,024 59.7	1,054 60.4	1,234 62.8	1,259 62.8	1,329 63.8	1,574 64.8	1,468 62.6	1,255 58.8	1,204 61.0	-51	-4.1
検挙率		19.0	16.5	17.2	13.8	6.4	5.1	5.6	7.1	9.5	11.4	1.9ポイント	-

図表 2 - 1 - (11) - 2 部品ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		112,161	100.0	103,772	100.0	-8,389	-7.5
街頭		90,615	80.8	84,274	81.2	-6,341	-7.0
道路上		9,515	8.5	8,591	8.3	-924	-9.7
駐車(輪)場		79,042	70.5	73,970	71.3	-5,072	-6.4
都市公園		101	0.1	107	0.1	6	5.9
空き地		1,355	1.2	1,072	1.0	-283	-20.9
公共交通機関等		590	0.5	530	0.5	-60	-10.2
その他の街頭		12	0.0	4	0.0	-8	-66.7
その他		21,546	19.2	19,498	18.8	-2,048	-9.5

図表 2 - 1 - (11) - 3 部品ねらいの共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		10,503	100.0	11,630	100.0	1,127	10.7
成人事件の総数		8,464	80.6	9,352	80.4	888	10.5
単独		4,818	56.9	5,862	62.7	1,044	21.7
共犯		3,646	43.1	3,490	37.3	-156	-4.3
少年事件の総数		1,652	15.7	1,576	13.6	-76	-4.6
単独		885	53.6	797	50.6	-88	-9.9
共犯		767	46.4	779	49.4	12	1.6
成人・少年共犯事件の総数		387	3.7	702	6.0	315	81.4

注：解決事件を除く。

## (12) 自動販売機ねらい

自動販売機ねらいの認知件数は、平成11年を頂点に減少傾向にあり、平成16年は11万2,965件で、前年に比べ3万4,913件(23.6%)減少し、平成17年は8万8,180件で前年に比べ2万4,785件(21.9%)減少している。

検挙件数は平成13年に1万件台に減少したのち、平成14年以降は2万件台に増加しており、平成17年は2万3,409件で、前年に比べ6,339件(21.3%)減少している。

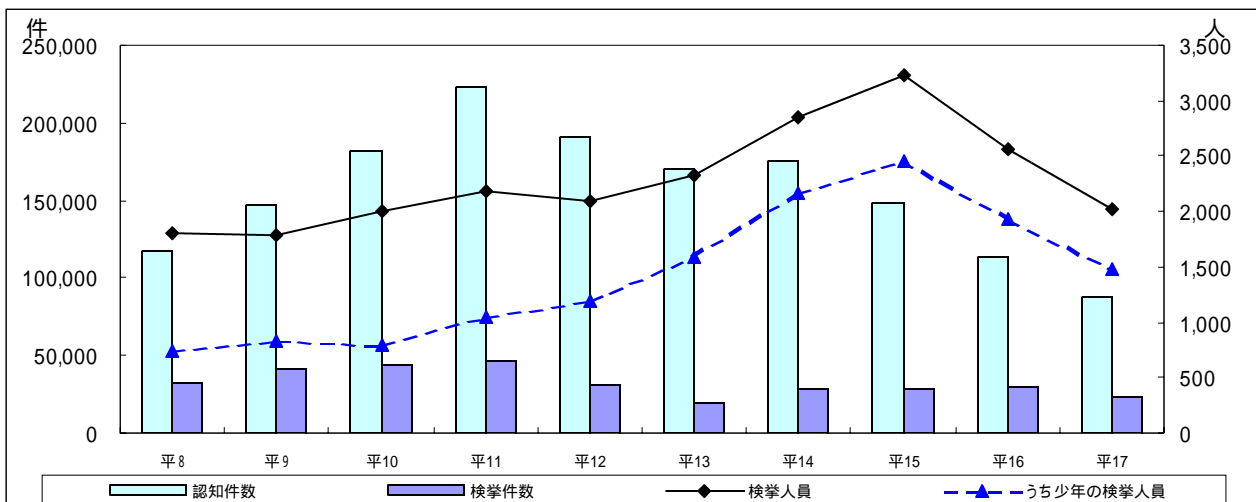
検挙人員は平成13年以降増加傾向にあったが、平成16年は減少に転じ、平成17年においても2,027人で、前年に比べ533人(20.8%)減少している。

検挙人員に占める少年の割合は高く、平成17年は1,479人で、検挙人員全体の73.0%(前年に比べ2.5ポイント低下)となっている(図表2-1-(12)-1)。

平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は商店が最も多い(図表2-1-(12)-2)。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに共犯が多い(図表2-1-(12)-3)。

図表2-1-(12)-1 自動販売機ねらいの認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	件(人)数	率(%)
認知件数	116,853	146,674	181,444	222,328	190,490	170,470	174,718	147,878	112,965	88,180	-24,785	-21.9
検挙件数	32,459	41,746	43,906	45,754	30,707	18,851	28,962	28,152	29,748	23,409	-6,339	-21.3
検挙人員	1,803	1,781	2,010	2,192	2,084	2,329	2,850	3,231	2,560	2,027	-533	-20.8
うち少年 (割合%)	740 41.0	821 46.1	789 39.3	1,044 47.6	1,196 57.4	1,593 68.4	2,163 75.9	2,453 75.9	1,933 75.5	1,479 73.0	-454	-23.5
検挙率	27.8	28.5	24.2	20.6	16.1	11.1	16.6	19.0	26.3	26.5	0.2ポイント	-



図表 2 - 1 - (12) - 2 自動販売機ねらいの発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
認知件数		112,965	100.0	88,180	100.0	-24,785	-21.9
街頭		36,981	32.7	30,234	34.3	-6,747	-18.2
道路上		17,962	15.9	15,059	17.1	-2,903	-16.2
駐車(輪)場		14,224	12.6	11,845	13.4	-2,379	-16.7
都市公園		775	0.7	524	0.6	-251	-32.4
空き地		3,450	3.1	2,365	2.7	-1,085	-31.4
公共交通機関等		541	0.5	434	0.5	-107	-19.8
その他の街頭		29	0.0	7	0.0	-22	-75.9
一般事務所		15,724	13.9	11,016	12.5	-4,708	-29.9
商店		26,193	23.2	18,249	20.7	-7,944	-30.3
その他		34,067	30.2	28,681	32.5	-5,386	-15.8

図表 2 - 1 - (12) - 3 自動販売機ねらいの共犯形態別検挙件数

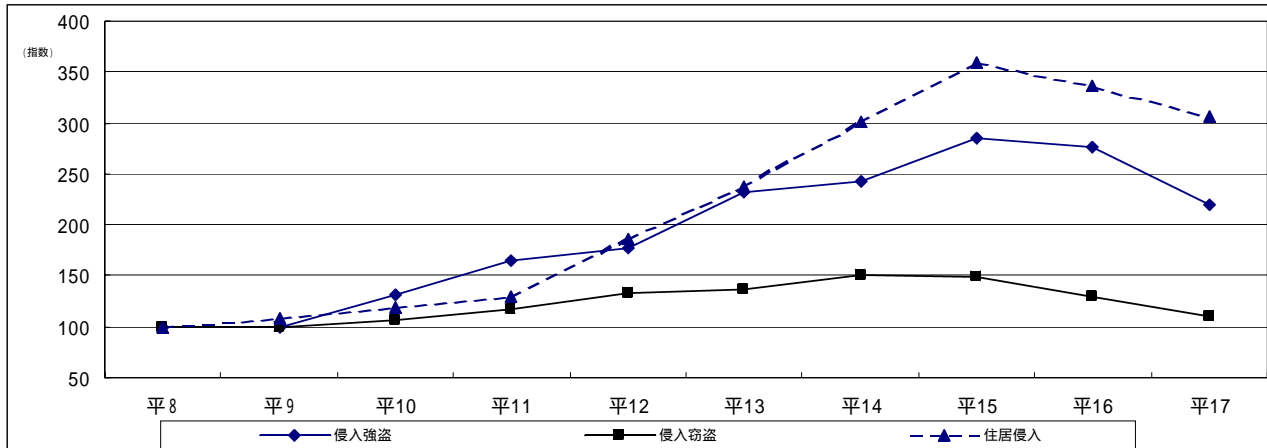
区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		29,710	100.0	23,381	100.0	-6,329	-21.3
成人事件の総数		25,127	84.6	19,904	85.1	-5,223	-20.8
単独		8,683	34.6	8,248	41.4	-435	-5.0
共犯		16,444	65.4	11,656	58.6	-4,788	-29.1
少年事件の総数		3,482	11.7	2,153	9.2	-1,329	-38.2
単独		570	16.4	371	17.2	-199	-34.9
共犯		2,912	83.6	1,782	82.8	-1,130	-38.8
成人・少年共犯事件の総数		1,101	3.7	1,324	5.7	223	20.3

注：解決事件を除く。

## 2 侵入犯罪

平成17年の主な侵入犯罪の認知件数は、前年に比べ、侵入強盗、侵入窃盗及び住居侵入ともに減少している（図表2-2）。

図表2-2 侵入犯罪の認知状況の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
侵入強盗		1,004	1,002	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436	2,865	2,776	2,205	-571	-20.6
(指数)		100	100	131	164	178	233	243	285	276	220	-	-
侵入窃盗		223,590	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	-45,819	-15.8
(指数)		100	99	106	117	133	136	151	149	130	109	-	-
住居侵入		11,246	12,281	13,308	14,549	20,976	26,686	33,872	40,348	37,857	34,518	-3,339	-8.8
(指数)		100	109	118	129	187	237	301	359	337	307	-	-

注：指数は、平成8年を100とした場合の値である。

### (1) 侵入強盗

侵入強盗の認知件数は、平成10年以降急激に増加し、平成15年には平成9年の2.9倍となったが、平成16年は2,776件で、前年に比べ89件（3.1%）減少し、平成17年は2,205件で、前年に比べ571件（20.6%）減少している。また、侵入強盗に伴う身体犯の認知件数は、年々増加していたが、平成16年に減少し、平成17年は570件で、前年に比べ157件（21.6%）減少している。

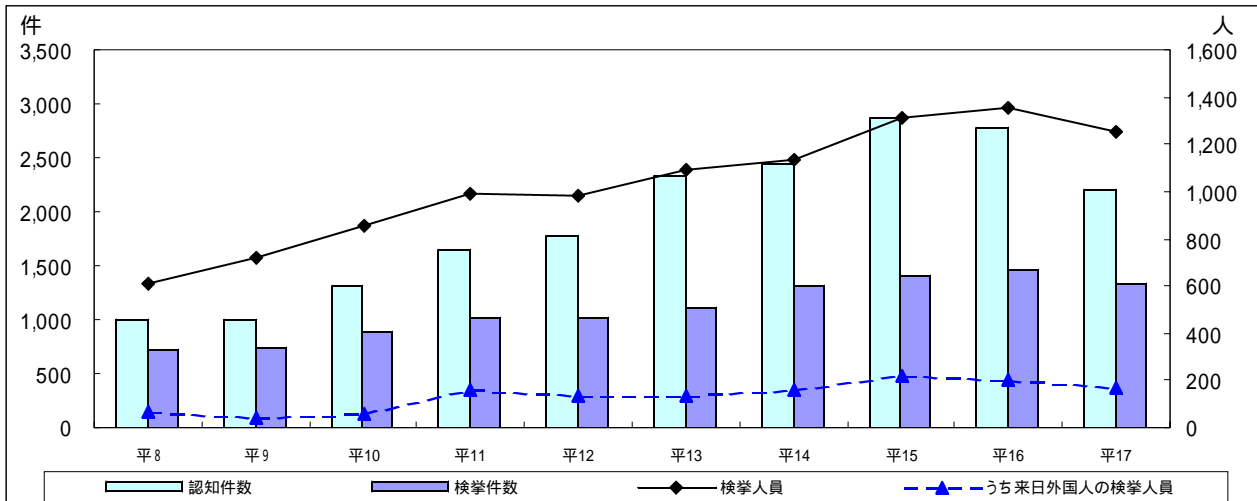
検挙件数、検挙人員は、平成9年以降ともに増加しているが、平成17年の検挙件数は1,328件で、前年に比べ130件（8.9%）、検挙人員は1,255人で、前年に比べ101人（7.4%）ともに減少している。

来日外国人の検挙人員は、平成11年以降急激に増加し、平成16年は201人で、前年に比べ17人（7.8%）減少したが、平成9年の4.7倍となっている。平成17年は170人で前年に比べ31人（15.4%）減少しており、検挙人員全体の13.5%を占めている（図表2-2-(1)-1、2）。

平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は商店が46.3%、住宅が31.9%（うち一戸建住宅が14.6%、4階建以上の共同住宅が8.6%、3階建以下の共同住宅が8.7%）、生活環境営業が10.4%となっており、発生時間帯は午前2時から午前4時が最も多い（図表2-2-(1)-3、4）。

検挙した事件を見ると、成人事件、少年事件ともに単独犯が多い（図表2-2-(1)-5）。

図表 2 - 2 - (1) - 1 侵入強盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次										増減	
	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	件(人)数	率(%)
認知件数	1,004	1,002	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436	2,865	2,776	2,205	-571	-20.6
うち未遂	174	192	267	329	338	453	414	561	521	449	-72	-13.8
検挙件数	727	734	897	1,020	1,024	1,116	1,314	1,402	1,458	1,328	-130	-8.9
検挙人員	610	719	854	993	982	1,094	1,134	1,310	1,356	1,255	-101	-7.4
うち来日外国人 (割合%)	65 10.7	43 6.0	63 7.4	160 16.1	132 13.4	138 12.6	163 14.4	218 16.6	201 14.8	170 13.5	-31 -1.3	-15.4 -
検挙率	72.4	73.3	68.3	61.9	57.3	47.8	53.9	48.9	52.5	60.2	7.7	ポイント

図表 2 - 2 - (1) - 2 侵入強盗に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次										増減	
	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	件数	率(%)
侵入強盗	1,004	1,002	1,314	1,649	1,786	2,335	2,436	2,865	2,776	2,205	-571	-20.6
侵入強盗に伴う身体犯	335	340	379	527	550	627	689	741	727	570	-157	-21.6
侵入強盗殺人・致死	16	24	44	44	42	58	52	48	51	44	-7	-13.7
侵入強盗傷人	271	252	287	398	446	477	557	572	552	431	-121	-21.9
侵入強盗強姦	48	64	48	85	62	92	80	121	124	95	-29	-23.4

注：「侵入強盗に伴う身体犯」とは、侵入強盗殺人・致死、侵入強盗傷人、侵入強盗強姦とした。

図表 2 - 2 - (1) - 3 侵入強盗の発生場所別認知件数

区分	平16		平17		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数	2,776	100.0	2,205	100.0	-571	-20.6
住宅	954	34.4	703	31.9	-251	-26.3
一戸建住宅	464	16.7	322	14.6	-142	-30.6
共同住宅(4階建以上)	263	9.5	190	8.6	-73	-27.8
共同住宅(3階建以下)	227	8.2	191	8.7	-36	-15.9
一般事務所	57	2.1	45	2.0	-12	-21.1
商店	1,242	44.7	1,020	46.3	-222	-17.9
生活環境営業	292	10.5	229	10.4	-63	-21.6
金融機関等	189	6.8	172	7.8	-17	-9.0
その他	42	1.5	36	1.6	-6	-14.3

注：「その他」とは、学校(幼稚園)、病(医)院診療所及び神社仏閣等を発生場所とするものとした。

図表 2 - 2 - (1) - 4 侵入強盗の発生時間帯別認知件数

年次	時間 0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明	総数
平16	280	493	423	95	105	203	172	172	164	224	234	210	1	2,776
平17	193	447	337	75	99	116	148	153	122	159	175	180	1	2,205
(割合%)	8.8	20.3	15.3	3.4	4.5	5.3	6.7	6.9	5.5	7.2	7.9	8.2	0.0	100.0
増減 件数	-87	-46	-86	-20	-6	-87	-24	-19	-42	-65	-59	-30	0	-571
率 (%)	-31.1	-9.3	-20.3	-21.1	-5.7	-42.9	-14.0	-11.0	-25.6	-29.0	-25.2	-14.3	0.0	-20.6

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 2 - 2 - (1) - 5 侵入強盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数		1,443	100.0	1,319	100.0	-124	-8.6
成人事件の総数		1,311	90.9	1,229	93.2	-82	-6.3
単独		996	76.0	910	74.0	-86	-8.6
共犯		315	24.0	319	26.0	4	1.3
少年事件の総数		84	5.8	51	3.9	-33	-39.3
単独		56	66.7	38	74.5	-18	-32.1
共犯		28	33.3	13	25.5	-15	-53.6
成人・少年共犯事件の総数		48	3.3	39	3.0	-9	-18.8

注：解決事件を除く。

## (2) 侵入窃盗

侵入窃盗の認知件数は、平成10年以降増加していたが、平成15年からは減少に転じ、平成16年は29万595件で、前年に比べ4万2,638件(12.8%)減少し、平成17年は24万4,776件で、前年に比べ4万5,819件(15.8%)減少している。

検挙件数、検挙人員は、平成12年以降急激に減少し、検挙件数は平成14年、検挙人員は平成15年に増加に転じたが、平成16年には検挙件数、検挙人員とも減少した。平成17年においても、検挙件数は10万4,454件で、前年と比べ362件(0.3%)、検挙人員は1万2,564人で、前年と比べ984人(7.3%)ともに減少している。

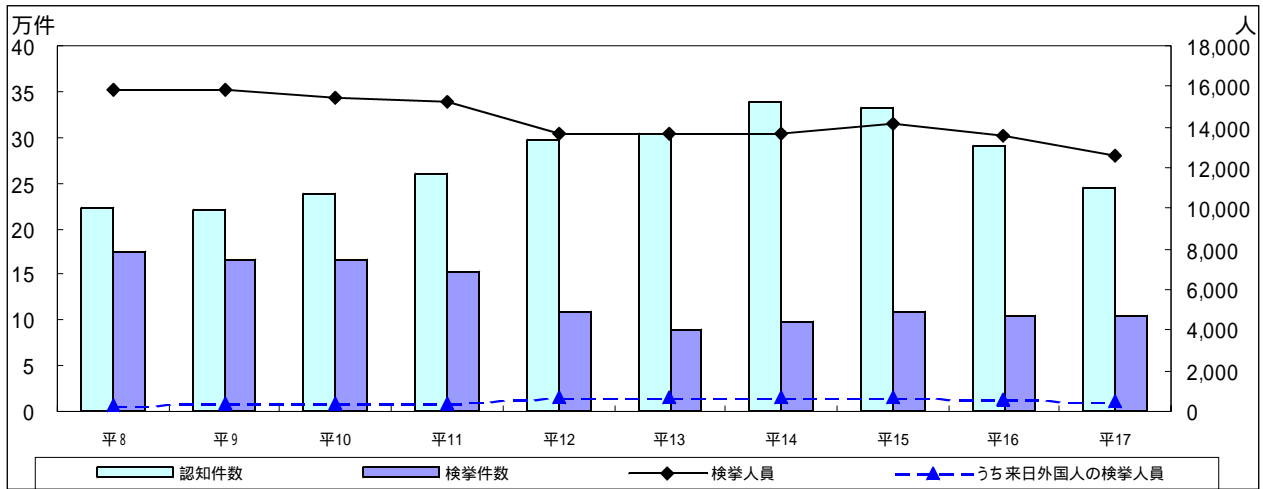
来日外国人の検挙人員は、平成12年以降急激に増加したが、平成16年は565人で、前年に比べ139人(19.7%)減少し、平成17年においても524人で、前年と比べ41人(7.3%)減少している(図表2-2-(2)-1)。

平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は住宅が59.7%(うち一戸建住宅が34.9%、4階建以上の共同住宅が9.3%、3階建以下の共同住宅が15.5%)、一般事務所が14.1%、商店9.3%、生活環境営業が7.9%を占めている。また、侵入口・侵入手段を発生場所別に見ると、侵入口は、一戸建住宅及び3階建以下の共同住宅、一般事務所は窓、4階建以上の共同住宅、商店及び生活環境営業は表出入口が最も多く、侵入手段は、一戸建住宅、3階建以下の共同住宅、一般事務所、商店及び生活環境営業はガラス破り、4階建以上の共同住宅は施錠開けが最も多い(図表2-2-(2)-2、3)。

平成14年まで多発していたピッキング用具を使用した侵入窃盗は、平成15年以降急激に減少しており、平成17年は2,171件で前年に比べ2,184件（50.1%）減少している。また、平成15年に多発したドリルを使用したサムターン回しによる侵入窃盗（ドリル等で出入口ドアに穴を開けた上、サムターン回しで開錠する手口）は、平成16年には減少し、平成17年は735件で前年に比べ1,028件（58.3%）減少している（図表2-2-(2)-4、5）

侵入窃盗の検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多いが、少年事件では単独犯、共犯の数に大きな差はない（図表2-2-(2)-6）。

図表2-2-(2)-1 侵入窃盗の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		223,590	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	-45,819	-15.8
検挙件数		174,116	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	109,920	104,816	104,454	-362	-0.3
検挙人員		15,866	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	-984	-7.3
うち来日外国人 (割合%)		308	362	390	438	674	688	658	704	565	524	-41	-7.3
		1.9	2.3	2.5	2.9	4.9	5.0	4.8	5.0	4.2	4.2	0.0	-
検挙率		77.9	74.9	69.8	58.6	36.8	29.5	29.1	33.0	36.1	42.7	6.6	11.1

図表2-2-(2)-2 侵入窃盗の発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		290,595	100.0	244,776	100.0	-45,819	-15.8
住宅	住宅	174,519	60.1	146,243	59.7	-28,276	-16.2
	一戸建住宅	101,711	35.0	85,537	34.9	-16,174	-15.9
	共同住宅(4階建以上)	27,242	9.4	22,864	9.3	-4,378	-16.1
	共同住宅(3階建以下)	45,566	15.7	37,842	15.5	-7,724	-17.0
一般事務所		41,362	14.2	34,572	14.1	-6,790	-16.4
商店		26,404	9.1	22,703	9.3	-3,701	-14.0
生活環境営業		21,893	7.5	19,269	7.9	-2,624	-12.0
金融機関等		626	0.2	516	0.2	-110	-17.6
その他		25,791	8.9	21,473	8.8	-4,318	-16.7

注：「その他」とは、学校（幼稚園）、病（医）院診療所及び神社仏閣等を発生場所とするものとした。

図表 2 - 2 - (2) - 3 侵入窃盗の発生場所別の侵入口・侵入手段（平成17年）

		総数	施錠開け	錠破り	ガラス破り	その他の破壊	戸外し	開け放し	施錠設備なし	施錠せず	その他	不明
一戸建住宅	認知件数	85,537	2,568	934	39,402	2,922	948	2,772	450	29,478	2,324	3,739
	表出入口	11,282	1,351	239	745	149	43	612	155	7,344	339	305
	非常口	7	0	1	4	0	0	0	0	2	0	0
	その他の出入口	15,418	766	439	4,844	1,292	109	378	140	6,688	450	312
	窓	53,305	418	240	33,382	1,402	770	1,549	130	13,767	1,168	479
	その他	1,370	20	15	421	78	24	65	15	406	227	99
	不明	4,155	13	0	6	1	2	168	10	1,271	140	2,544
共同住宅（4階建以上）	認知件数	22,864	7,305	447	6,370	1,333	55	492	26	4,436	599	1,801
	表出入口	11,994	7,136	357	76	1,139	8	131	8	2,174	309	656
	非常口	40	12	3	8	2	0	1	0	13	1	0
	その他の出入口	63	3	6	11	5	0	3	5	26	4	0
	窓	9,464	122	79	6,250	179	46	348	11	2,134	189	106
	その他	175	17	1	23	8	1	4	2	28	58	33
	不明	1,128	15	1	2	0	0	5	0	61	38	1,006
共同住宅（3階建以下）	認知件数	37,842	4,020	440	18,948	799	242	995	155	9,265	865	2,113
	表出入口	9,215	3,685	275	263	363	25	225	45	3,424	301	609
	非常口	40	4	4	6	5	1	3	1	12	1	3
	その他の出入口	1,596	87	24	621	108	19	77	41	526	47	46
	窓	25,144	203	137	17,961	300	189	643	64	5,064	363	220
	その他	407	17	0	93	21	8	17	4	93	108	46
	不明	1,440	24	0	4	2	0	30	0	146	45	1,189
一般事務所	認知件数	34,572	2,642	2,100	17,590	3,646	686	513	214	4,755	1,177	1,249
	表出入口	12,525	1,899	1,466	4,215	1,828	237	267	103	1,844	374	292
	非常口	402	53	40	140	84	5	4	3	49	14	10
	その他の出入口	6,961	516	476	3,016	1,199	89	130	61	1,074	273	127
	窓	12,537	134	77	9,636	340	333	59	24	1,529	278	127
	その他	1,293	27	40	581	194	22	29	15	137	193	55
	不明	854	13	1	2	1	0	24	8	122	45	638
商店	認知件数	22,703	1,471	1,716	9,266	4,262	580	417	266	2,933	1,080	712
	表出入口	7,936	839	892	2,620	1,644	201	187	92	882	393	186
	非常口	312	28	47	86	92	5	4	1	30	11	8
	その他の出入口	7,527	522	705	2,431	1,944	123	120	118	1,077	345	142
	窓	5,594	61	39	3,851	297	231	70	31	793	148	73
	その他	963	13	32	277	284	19	24	17	105	162	30
	不明	371	8	1	1	1	12	7	46	21	273	
生活環境営業	認知件数	19,269	1,820	1,749	6,598	3,799	459	331	129	2,668	899	817
	表出入口	7,126	1,130	1,056	1,799	1,404	121	129	35	874	359	219
	非常口	443	49	58	95	128	5	5	4	71	14	14
	その他の出入口	6,440	569	598	2,073	1,841	78	84	45	777	252	123
	窓	4,102	39	24	2,470	241	236	86	26	806	124	50
	その他	656	26	12	161	183	19	15	10	77	120	33
	不明	502	7	1	0	2	0	12	9	63	30	378

図表 2 - 2 - (2) - 4 ピッキング用具を使用した認知・検挙状況の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
							件数	率(%)
認知件数		19,568	19,121	9,351	4,355	2,171	-2,184	-50.1
検挙件数		-	4,736	3,299	2,418	1,095	-1,323	-54.7
検挙率		-	24.8	35.3	55.5	50.4	-5.1	ポイント

注：平成15年以前は、実務統計による集計数値である（認知件数は平成12年から、検挙件数は平成14年から調査を開始した。）。また、平成16年以降は犯罪統計によるものである。

図表 2 - 2 - (2) - 5 ドリルを使用したサムターン回しによる認知・検挙状況の推移

区分	年次	平14	平15	平16	平17	増減	
						件数	率(%)
認知件数		840	4,366	1,763	735	-1,028	-58.3
検挙件数		-	182	999	869	-130	-13.0
検挙率		-	4.2	56.7	118.2	61.5	ポイント

注：平成15年以前は、実務統計による集計数値である（認知件数は平成14年から、検挙件数は平成15年から調査を開始した。）。また、平成16年以降は犯罪統計によるものである。

図表 2 - 2 - (2) - 6 侵入窃盗の共犯形態別検挙件数

区分	年次		平16		平17		増減	
	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	率 (%)
検挙件数	103,555	100.0	103,168	100.0	-387	-0.4		
成人事件の総数	96,528	93.2	96,854	93.9	326	0.3		
単独	75,080	77.8	75,527	78.0	447	0.6		
共犯	21,448	22.2	21,327	22.0	-121	-0.6		
少年事件の総数	4,872	4.7	4,719	4.6	-153	-3.1		
単独	2,690	55.2	2,342	49.6	-348	-12.9		
共犯	2,182	44.8	2,377	50.4	195	8.9		
成人・少年共犯事件の総数	2,155	2.1	1,595	1.5	-560	-26.0		

注：解決事件を除く。

### (3) 住居侵入

住居侵入の認知件数は、平成12年以降急激に増加したが、平成16年は3万7,857件で、前年に比べ2,491件(6.2%)減少し、平成17年は3万4,518件で、前年に比べ3,339件(8.8%)減少している。

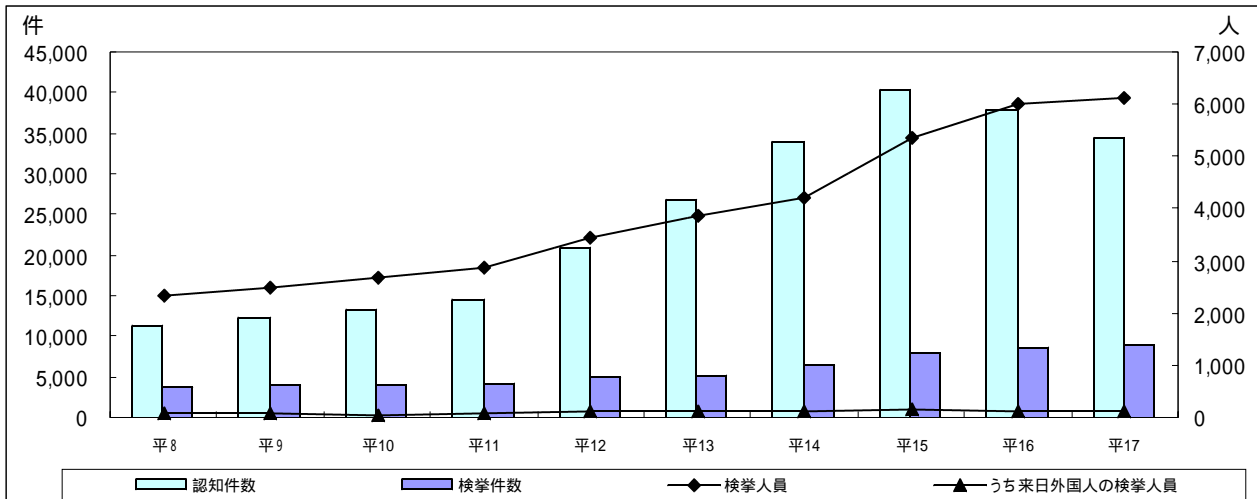
検挙件数、検挙人員は年々増加しており、平成17年の検挙件数は8,961件で、前年に比べ395件(4.6%)、検挙人員は6,107人で、前年に比べ114人(1.9%)ともに増加している。

来日外国人の検挙人員は、平成11年以降増加したが、平成16年は127人で、前年に比べ7人(5.2%)減少し、平成17年は114人で、前年に比べ13人(10.2%)減少している(図表2-2-(3)-1)。

平成17年に認知した事件を見ると、発生場所は住宅が62.6%(うち一戸建住宅が34.5%、4階建以上の共同住宅が9.9%、3階建以下の共同住宅が18.1%)、一般事務所が9.2%、商店が7.4%、生活環境営業が5.6%を占めている(図表2-2-(3)-2)。

検挙した事件を見ると、成人事件では単独犯が多く、少年事件では共犯が多い(図表2-2-(3)-3)。

図表 2 - 2 - (3) - 1 住居侵入の認知・検挙状況の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数		11,246	12,281	13,308	14,549	20,976	26,686	33,872	40,348	37,857	34,518	-3,339	-8.8
検挙件数		3,666	3,999	4,013	4,094	4,818	5,245	6,461	7,820	8,566	8,961	395	4.6
検挙人員		2,336	2,489	2,679	2,868	3,445	3,856	4,214	5,361	5,993	6,107	114	1.9
うち来日外国人 (割合%)		65	67	44	78	98	99	110	134	127	114	-13	-10.2
		2.8	2.7	1.6	2.7	2.8	2.6	2.6	2.5	2.1	1.9	-0.2	-
検挙率		32.6	32.6	30.2	28.1	23.0	19.7	19.1	19.4	22.6	26.0	3.4 ポイント	

図表 2 - 2 - (3) - 2 住居侵入の発生場所別認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知件数		37,857	100.0	34,518	100.0	-3,339	-8.8
住宅		23,730	62.7	21,608	62.6	-2,122	-8.9
一戸建住宅		13,065	34.5	11,919	34.5	-1,146	-8.8
共同住宅(4階建以上)		3,776	10.0	3,433	9.9	-343	-9.1
共同住宅(3階建以下)		6,889	18.2	6,256	18.1	-633	-9.2
一般事務所		3,517	9.3	3,161	9.2	-356	-10.1
商店		2,649	7.0	2,570	7.4	-79	-3.0
生活環境営業		2,137	5.6	1,948	5.6	-189	-8.8
金融機関等		149	0.4	174	0.5	25	16.8
その他		5,675	15.0	5,057	14.7	-618	-10.9

注：「その他」とは、学校(幼稚園)、病(医)院診療所及び神社仏閣等を発生場所とするものとした。

図表 2 - 2 - (3) - 3 住居侵入の共犯形態別検挙件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
検挙件数		8,365	100.0	8,803	100.0	438	5.2
成人事件の総数		6,925	82.8	7,354	83.5	429	6.2
単独		6,091	88.0	6,412	87.2	321	5.3
共犯		834	12.0	942	12.8	108	12.9
少年事件の総数		1,307	15.6	1,340	15.2	33	2.5
単独		545	41.7	578	43.1	33	6.1
共犯		762	58.3	762	56.9	0	0.0
成人・少年共犯事件の総数		133	1.6	109	1.2	-24	-18.0

注：解決事件を除く。



(余白)

### **第3 振り込め詐欺の特徴的傾向**

(余白)

## 1 詐欺の状況

詐欺の認知件数は、平成8年以降4万件台で推移していたが、平成15年に6万件を超え、平成16年は8万件を超えた。平成17年は8万5,596件で、前年に比べ2,581件（3.1%）増加している。その中でも増加件数の多いものとして、ネットワーク利用による詐欺事件等が挙げられる。

検挙件数は平成9年以降減少傾向にあったが、平成17年は2万9,384件で、前年に比べ2,767件（10.4%）増加している。また、検挙人員は平成12年以降増加し、平成17年は1万1,648人で、前年に比べ410人（3.6%）増加している（図表3-1）。検挙件数及び検挙人員の増加は、振り込め詐欺のほか、ネットワーク利用による詐欺事件の増加の影響が大きい。

図表3-1 詐欺の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
											件(人)数	率
認知件数	49,394	49,426	48,279	43,431	44,384	43,104	49,482	60,298	83,015	85,596	2,581	3.1%
検挙件数	46,582	46,233	44,405	38,340	35,255	30,017	31,547	30,364	26,617	29,384	2,767	10.4%
検挙人員	8,256	8,748	8,651	8,178	8,492	8,495	9,507	10,194	11,238	11,648	410	3.6%
検挙率	94.3%	93.5%	92.0%	88.3%	79.4%	69.6%	63.8%	50.4%	32.1%	34.3%	2.2	

## 2 振り込め詐欺（恐喝）の状況

近時、息子等親族を装い交通事故示談金等名下に現金を騙し（脅し）取る広域多額詐欺事件等のいわゆるオレオレ詐欺や架空の事実を口実として金品を要求する文書等を送付するなどして金品を騙し（脅し）取る架空請求詐欺、実際には融資をしないにもかかわらず、融資する旨の文書等を送付して、融資を申し込んできた者に対し、保証金等名下に金品を騙し取る融資保証金詐欺が多発し、被害は全国に及んでいる（これら3種類の詐欺のほとんどが預貯金口座への振り込みを要求するものであることから、被害予防の観点から、「すぐに振り込まないこと」を国民へ注意喚起するため、これらを総称して「振り込め詐欺」（恐喝）と呼称している。）

振り込め詐欺（恐喝）は、電話、文書、インターネット等を利用して不特定多数から金員を騙し（脅し）取るものであり、一度に高額な被害が発生するとともに、犯行に利用される携帯電話や預貯金口座が不正に入手した他人・架空名義のものであり、犯行の匿名性が高いなどの特徴を有している。

平成17年中の振り込め詐欺（恐喝）の認知事件数は2万1,612件（うち既遂1万9,840件）、被害額は251億5,186万7,404円で、検挙事件数は2,539件、検挙人員は819人である（図表3-2）。

図表3-2 振り込め詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

年次 区分	平16	平17	増減
認知事件数	25,667	21,612	-4,055
うち既遂	20,194	19,840	-354
被害総額	28,378,657,974	25,151,867,404	-3,226,790,570
検挙事件数	1,305	2,539	1,234
検挙人員	548	819	271

注：本表は、実務統計による集計数値である。

また、振り込め詐欺（恐喝）に使用された金融機関の口座は、他人名義や架空名義等不正に開設されたり、売買等により入手された口座であるが、平成17年中の、こうした口座の不正入手について、金融機関被害の詐欺罪又は盗品等有償譲受け罪として検挙したものの検挙事件数は1,370件、検挙人員は1,027人である。

なお、インターネット等を通じて売買された他人名義の預貯金口座等を不正に利用した詐欺等の犯罪が多発している現状にかんがみ、金融機関等による顧客等の本人確認等に関する法律が改正され、新たに預貯金通帳等の有償譲受け等が処罰されることとなった（平成16年12月30日施行）。

#### 【事例1】改正後のいわゆる「金融機関本人確認法」違反（勧誘）事件（警視庁）

1月ころ、無職の男(22)らは、他人になりすまして金融機関等との間における預貯金契約に係る役務の提供を第三者に受けさせる目的で、有償で預貯金通帳等を譲り受けようと企て、「チョットしたおこづかい稼ぎしませんか。皆さまの銀行口座を買い取ります。1通20,000円。」等と記載のある郵便はがきを郵送し、もって、文章を用いて勧誘した（1月19日検挙）。

#### 【事例2】改正後のいわゆる「金融機関本人確認法」違反（有償譲渡し）事件（静岡）

1月ころ、無職の男(41)は、有償で預金通帳等を譲り渡すことを企て、通常の商取引又は金融取引として行われるものであることその他の正当な理由がないのに、預金契約に係る預金通帳1通、キャッシュカード1枚、暗証番号を記入した紙1枚等を東京都所在の私設私書箱へ郵送し、その代金として1万円を被疑者名義の預金口座へ振込送金させ、もって、有償で預金通帳1通等を譲り渡した（1月26日検挙）。

#### 【事例3】改正後のいわゆる「金融機関本人確認法」違反（譲渡しの誘引）事件（愛知・山口）

1月ころ、無職の男(29)は、他人になりすまして金融機関等との間における預貯金契約に係る役務の提供を第三者に受けさせる目的で、預貯金通帳等を譲り受けることを企て、インターネット上に公開されたホームページの掲示板に「全国各地のどなたでも可です。あなたの口座を高額・安心にお引き取り致します。カード&通帳の2点セットで大丈夫です。」等の情報を送信して掲示し、不特定多数のインターネット利用者に対して預貯金通帳等を譲り渡すよう誘引した（5月20日検挙）。

同様に、インターネット等を通じて売買されたプリペイド式携帯電話等の契約者や利用者が特定できない携帯電話が振り込め詐欺等に多く利用され、捜査上も問題となっていることから、「携帯音声通信事業者による契約者等の本人確認等及び携帯音声通信役務の不正な利用の防止に関する法律」の一部が施行され、氏名等を確認しないで業として携帯電話を有償貸与すること等が処罰されることとなった（平成17年4月15日及び5月5日一部施行）。

【事例】いわゆる「携帯電話不正利用防止法」違反（匿名貸与営業の禁止等）事件（愛知）

携帯電話端末の貸与業を営む男(32)は、7月ころ2回にわたり、会社経営の男(25)の氏名、居所又は電話番号等を確認することなく、合計8台の携帯電話端末を同人に送付して貸与し、もって匿名貸与営業をし、前記会社経営の男は、その事情を知らず、氏名等の確認を受けることなく有償で携帯電話端末の貸与を受けた(11月22日検挙)。

(1) いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）

平成17年中におけるいわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の認知事件数は6,854件（うち既遂5,682件）で、前年に比べ8,020件減少（うち既遂3,833件減少）しており、被害額は128億6,201万3,578円で前年に比べ62億6,671万5,526円減少している（図表3-2-(1)-1、2）。

認知した事件を形態別（文言別）に見ると、交通事故示談金名目が1,248件（構成比18.2%）、サラ金等借金返済名目が1,204件（同17.6%）、妊娠中絶手術費用名目が65件（同0.9%）、身代金目的誘拐等名目が132件（同1.9%）となっているほか、その他の名目（会社でのトラブル（損失補てん、資金繰り）、刑事事件（痴漢行為、強姦、窃盗、傷害、器物損壊等）の示談金名目など）が4,205件（同61.4%）と最も多くなっている（図表3-2-(1)-3）。

また、平成17年中における既遂事件1件当たりの被害額（被害総額÷既遂事件の認知事件数）は、226万3,642円で、前年に比べ25万3,266円増加している。これを月別で見ると、平成16年9月に250万6,360円でピークを迎えた後、同17年中も200万円代から240万円代の間で推移している（図表3-2-(1)-4）。

また、犯行の態様は、平成16年の典型例であった「交通事故示談金名目」が減少する一方で、「痴漢行為等刑事事件の示談金又は慰謝料名目」、「会社での横領発覚による穴埋め名目」が増加するなど、態様が一層悪質・多様化している。

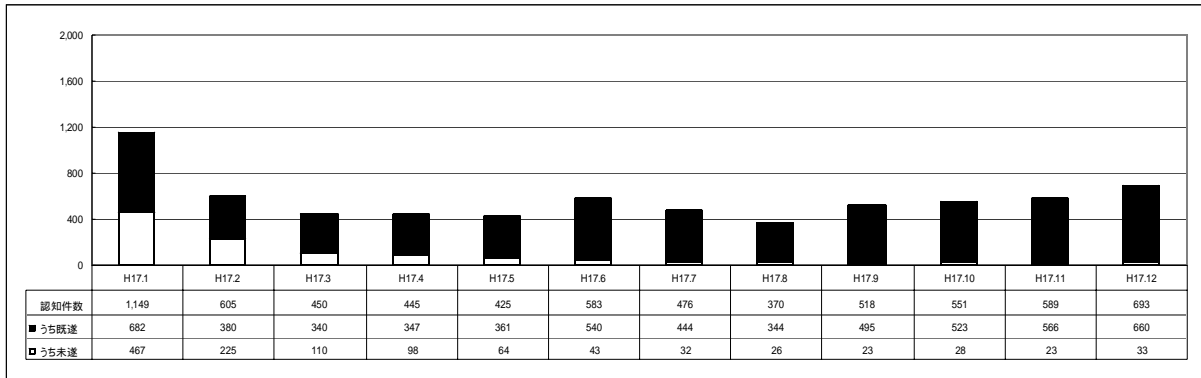
一方、平成17年中のいわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の検挙事件数は1,142件で、前年に比べ188件増加しており、検挙人員は325人で前年に比べ20人増加している（図表3-2-(1)-1、5）。

図表3-2-(1)-1 いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

区分	年次		増 減
	平成16年	平成17年	
認知事件数	14,874	6,854	-8,020
うち既遂	9,515	5,682	-3,833
被害総額	19,128,729,104	12,862,013,578	-6,266,715,526
1件当たりの被害額	2,010,376	2,263,642	253,266
検挙事件数	954	1,142	188
検挙人員	305	325	20

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (1) - 2 いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の月別認知事件数の推移



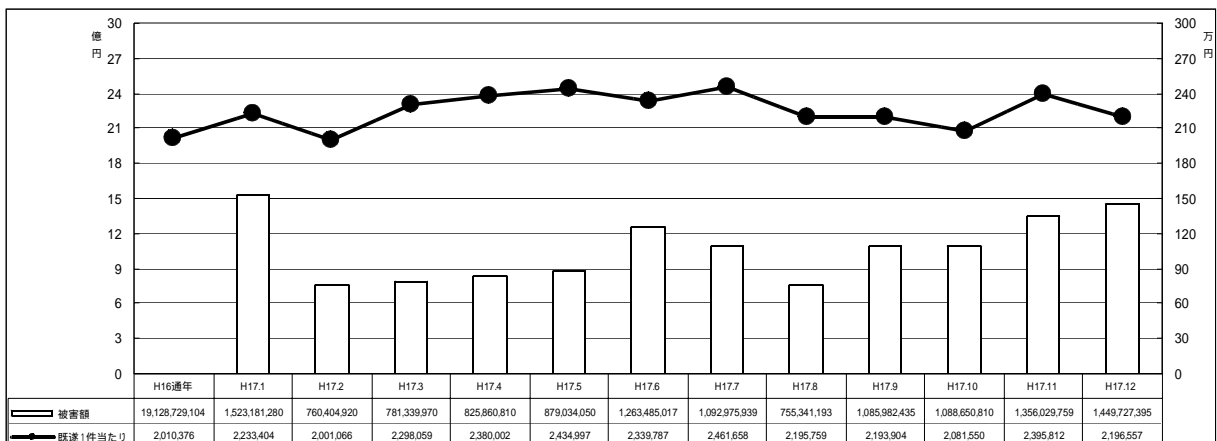
注：本表は、実務統計による集計数値である

図表3 - 2 - (1) - 3 いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の形態別（文言別）認知事件数

区分	平成16		平成17	
	件数	構成比（%）	件数	構成比（%）
交通事故示談金名目	8,832	59.4	1,248	18.2
サラ金等借金返済名目	3,430	23.1	1,204	17.6
妊娠中絶手術費用名目	693	4.7	65	0.9
身代金目的誘拐等	415	2.8	132	1.9
その他の名目	1,504	10.1	4,205	61.4
合計	14,874	100.0	6,854	100.0

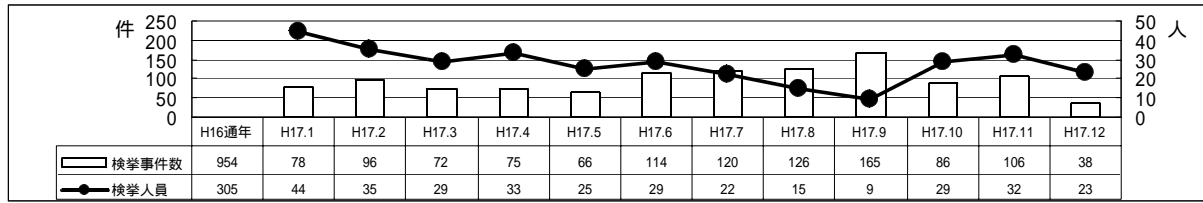
注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - 2 - (1) - 4 いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の月別被害総額と既遂1件当たりの被害額



注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表3 - (2) - 1 - 5 いわゆるオレオレ詐欺（恐喝）の月別検挙状況の推移



注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】妊娠中絶費用名下による組織的な振り込め詐欺（組織的犯罪処罰法違反）事件（新潟・神奈川県・奈良・和歌山・香川）

平成16年8月ころ、無職の男（27）らは、事務所を設け、組織的に不特定多数人から反復して金員を詐取する団体を形成して、共謀の上、被害者に電話をかけ、同人の甥になりすまして、「彼女が子宮外妊娠し手術させないといけない。手術には百数十万円必要だ。」「昨日手術したところ、子宮ガンになっている。その手術代が数百万円必要だ。」などと嘘を言い、同人をしてその旨誤信させ、3回にわたり現金約300万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った。1月19日までに被疑者5名を組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律違反（組織的詐欺）等で検挙した。

【事例2】自衛官の息子を装った門扉修理代金名下のいわゆる「オレオレ詐欺」事件（北海道）

1月ころ、会社員の女（22）らは、被害者に電話をかけ、同人の息子になりすまして、「戦車を運転していて自衛隊の門にぶつけてしまった。修理代として今日中に百数十万円振り込んで欲しい。」などと嘘を言い、同人をして、電話の相手が息子本人であり緊急に資金の融通を依頼してきたものと誤信させ、現金約100万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った（2月1日検挙）。

【事例3】痴漢示談金名下のいわゆる「オレオレ詐欺」事件（警視庁・鳥取）

3月ころ、会社員の男（25）らは、被害者に電話をかけ、弁護士等になりすまして、「ご主人が痴漢行為で警察に捕まっている。あなたも女性なら判るだろうけどどうしてくれるんだ。ご主人が携帯で写真も撮っていた。マスコミに発表する。」などと嘘を言い、同人をして、電話の相手が弁護士であり現金を支払えば示談できるものと誤信させ、現金約400万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った。6月11日までに被疑者4名を詐欺罪で検挙した。

【事例4】山口組系暴力団組織による通帳等詐欺事件及び振り込め恐喝事件（警視庁・群馬）

平成16年9月ころ、山口組系暴力団組織の総長（45）らは、娘になりすまして被害者に電話をかけ、「事故を起こした。」「お子さんが飛び出し、これを避けるためにやくざの親分の車が壊れた。修理代を用意しろ。用意しないと娘さんを売り飛ばすことも殺すこともできる。」などと申し向け、同人をして、その要求に応じなければ親族の生命・身体に危害が及ぶものと畏怖させ、現金500万円を銀行口座に振り込ませて脅し取った。



また、平成15年9月ころ、第三者に譲渡する目的を秘して口座を開設し、普通預金通帳等を騙し取った。  
1月25日までに被疑者5名を恐喝罪等で検挙した。

【事例5】横領示談金名下のいわゆる「オレオレ詐欺」事件（埼玉）

4月ころ、無職の男（24）らは、被害者に電話をかけ、被害者の夫の会社上司や弁護士等になりすまして、「ご主人が会社の伝票を誤魔化して会社の金を横領したため拘束されています。お金を振り込んで何とか穏便に済ませましょう。」などと嘘を言い、同人をして、電話の相手が弁護士等であり、現金を支払えば示談できるものと誤信させ、現金約1,300万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った。11月8日までに被疑者7名を詐欺罪で検挙した。

【事例6】痴漢示談金名下のいわゆる「オレオレ詐欺」事件（警視庁）

7月ころ、無職少年（19）らは、被害者に電話をかけ、警察官や弁護士等になりすまして、「今、お宅の息子さんが痴漢をして捕まっている。被害者の御主人がとても怒っているが、示談に応じます。」などと嘘を言い、同人をして、息子が痴漢をはたらき、緊急に示談金を支払う必要があるものと誤信させ、現金300万円を銀行口座に振り込ませて騙し取った。10月25日までに被疑者3名を詐欺罪で検挙した。

(2) 架空請求詐欺（恐喝）

平成17年中の架空請求詐欺（恐喝）事件の認知事件数は4,826件（うち既遂4,258件）で、前年に比べ275件減少（うち既遂753件減少）し、被害総額は56億591万8,855円で、前年に比べ2億58万7,921円増加している。また、検挙事件数は821件で、前年に比べ527件増加しており、検挙人員は285人で、前年に比べ78人増加している（図表3-2-(2)-1）。

認知した事件を形態別（詐欺・恐喝文言別）に見ると、有料サイト利用料金名目が2,908件（構成比60.3%）で最も多く、次いで借金返済・債権回収名目が1,008件（同20.9%）、探偵業者等を装った調査結果処分料等のその他の名目が910件（同18.9%）となっている（図表3-(2)-2-2）。

図表3-2-(2)-1 架空請求詐欺（恐喝）の認知・検挙状況

区分	年次	平16	平17	増減
認知事件数		5,101	4,826	-275
うち既遂		5,011	4,258	-753
被害総額		5,405,330,934	5,605,918,855	200,587,921
検挙事件数		294	821	527
検挙人員		207	285	78

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表 3 - 2 - ( 2 ) - 2 架空請求詐欺（恐喝）事件の形態別（詐欺・恐喝文言別）認知事件数

区分	年次	平17	
		件数	構成比（％）
有料サイト利用料金名目		2,908	60.3
借金返済・債権回収名目		1,008	20.9
その他の名目		910	18.9
合計		4,826	100.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例 1】ダイレクトメールによる架空請求詐欺事件（栃木）

平成16年11月ころ、無職の男（20）らは、被害者に「あなたが利用した有料番組サイトの債権回収の依頼を受けた。支払がなければ、裁判手続、金融機関の全停止、ブラックリストへの登録、給料の差押えを行う。」などと虚偽の内容を記したはがきを送付し、現金約10万円を振り込ませて騙し取った。6月26日までに被疑者5名を詐欺罪で検挙した。

【事例 2】顧客データを利用した電話による架空請求詐欺事件（福島）

7月ころ、アダルトサイト関係会社役員（38）らは、雑誌へ掲載した広告を見て電話を架けてきた者の顧客データを利用し、従業員を使って、顧客の携帯電話等に電話をかけて、「アダルト番組の利用料金が未払いになっています。延滞料金、ペナルティ料金、調査料金等を支払っていただきます。」などと嘘を言い、同人をして支払義務があるものと誤信させ、現金約18万円を振り込ませて騙し取った。10月14日までに被疑者8名を詐欺罪で検挙した。

【事例 3】有料サイト利用料金回収名下の架空請求詐欺等事件（埼玉・奈良・福井・京都）

6月ころ、無職の男（22）らは、被害者に電話をかけて、「サイト運営会社から、あなたの調査依頼をされました。裁判手続を弁護士に依頼しているが、和解することもできる。弁護士費用と未納金を支払う必要があります。」などと嘘を言い、同人をして支払義務があるものと誤信させ、現金約180万円を山口組暴力団員が調達した銀行口座等へ振り込ませて騙し取った。10月12日までに被疑者9名を詐欺罪又は盗品等有償譲受罪で検挙した。

(3) 融資保証金詐欺

平成17年中の融資保証金詐欺の認知事件数は9,932件（うち既遂9,900件）で、前年に比べ4,240件増加（うち既遂4,232件増加）し、被害総額は66億8,393万4,971円で、前年に比べ28億3,933万7,035円増加している。また、検挙事件数は576件で、前年に比べ519件増加しており、検挙人員は209人で、前年に比べ173人増加）している（図表 3 - 2 - ( 3 )）。

図表 3 - 2 - (3) 融資保証金詐欺の認知・検挙状況

区分 \ 年次	平16	平17	増減
認知事件数	5,692	9,932	4,240
うち既遂	5,668	9,900	4,232
被害総額	3,844,597,936	6,683,934,971	2,839,337,035
検挙事件数	57	576	519
検挙人員	36	209	173

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例 1】金融業者を騙った融資保証金名下の詐欺事件（岡山）

平成15年10月ころ、会社員(23)らは、金融業者を騙って被害者に架電し、「うちの会社は保証人も担保もなしに融資することができます。どうですか。」などと嘘を言い、これに応じた被害者に対して更に「融資を受けるのに振込カードや書類の作成に数万円必要です。」などと嘘を言い、被害者から順次現金約30万円を振り込ませて騙し取った。3月17日までに被疑者3名を詐欺罪で検挙した。

【事例 2】郵便はがきを使用した融資保証金名下の詐欺事件（警視庁）

平成16年10月ころから同17年4月ころまでの間、無職の男(22)らは、それぞれ「500万円まで融資可能」、「ご融資のご案内、融資可能額135万円」、「融資限度額1,000万円」等と記載したはがきを郵送し、電話で申込みをしてきた被害者に対し、それぞれ保証金名目等で現金合計約40万円を振り込ませて騙し取った。

また、平成16年10月ころ、同人らは、都市銀行支店において、普通預金口座の開設を申込み、普通預金通帳1通とキャッシュカード1枚を交付させて騙し取った。4月20日までに被疑者13名を詐欺罪で検挙した。

【事例 3】「暮らしの応援団」を名乗る融資保証金名下の詐欺事件（神奈川）

平成16年6月ころ、無職の男(21)らは、被害者に架電し「私ども、暮らしの応援団では多重債務者に対しても信用できると判断すれば低金利で連帯保証人を付けなくても融資し、人生を応援しています。当社から無利子で融資しますが、その前に保証金を入金してください。保証金は後で返金されます。」などと嘘を言い、これに応じた被害者に対し、1月上旬から下旬までの間、真実は入金された保証金を返金する意思はないのにもかかわらず「更新料の未納がある。入金されれば全額返金できる。」などと嘘を言い、現金合計9万円を振り込ませて騙し取った。5月10日までに被疑者4名を詐欺罪で検挙した。

**【事例4】ダイレクトメールによる融資保証金詐欺事件（群馬・北海道）**

平成16年7月ころから同年11月ころまでの間、無職の男（26）らは、組織的に不特定多数の融資申込者から金員を反復して詐取する団体を形成し、不特定多数の者に融資申込みを勧誘するダイレクトメールを送りつけ、これを閲覧して融資を申し込んだ被害者に対し、財務局に対する保証人申請料等の名目で現金合計約130万円を振り込ませて騙し取った。9月30日までに被疑者9名を組織的な犯罪の処罰及び犯罪収益の規制等に関する法律違反（組織的詐欺）等で検挙した。

**【事例5】多重債務者リストを利用した融資保証金詐欺事件（滋賀）**

平成16年10月ころ、無職の男（21）らは、入手した債務者リストを利用し、被害者に対して電話で「融資の前に利息分が必要。融資をするには借金のデータを消す費用が必要です。」等と嘘を言い、手数料名目で現金約25万円を振り込ませて騙し取った。4月25日までに被疑者4名を詐欺罪で検挙した。

(余白)

## 第4 刑法犯の現況

(余白)

# 1 重要犯罪

## (1) 重要犯罪の認知・検挙状況

重要犯罪（殺人、強盗、放火、強姦の凶悪犯に略取・誘拐、強制わいせつを加えたものをいう。以下同じ。）の認知件数は、強盗と強制わいせつの増加に伴い、平成11年以降急増していたが、平成16年に減少に転じ、平成17年の認知件数は2万388件で、重要犯罪のすべての罪種の認知件数が減少したため、前年に比べ2,180件（9.7%）減少している。特に、強盗の大幅な減少（前年比 - 1,307件、 - 17.9%）の影響が大きい。

検挙件数は1万1,419件で、前年に比べ393件（3.3%）減少している。特に、強盗の大幅な減少（前年比 - 397件、 - 10.8%）の影響が大きい。

検挙人員は9,509人で、強制わいせつ以外のすべての罪種の検挙人員が減少したため、前年に比べ422人（4.2%）減少している。特に、強盗の減少（前年比 - 310人、 - 7.5%）の影響が大きい。

検挙率は56.0%で、前年に比べ3.7ポイント上昇している。検挙件数が減少する中、検挙率が上昇したのは、認知件数の大幅な減少によるもの（図表4-1-(1)）。

なお、強盗のうち、路上強盗の認知・検挙状況については、第2-1-(1)「路上強盗」、侵入強盗の認知・検挙状況については、第2-2-(1)「侵入強盗」をそれぞれ参照。

図表4-1-(1) 重要犯罪の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
重要犯罪	認知件数	11,286	12,366	12,725	14,682	18,281	21,530	22,294	23,971	22,568	20,388	-2,180	-9.7
	検挙件数	9,925	10,798	10,700	10,491	11,049	11,418	11,186	12,362	11,812	11,419	-393	-3.3
	検挙人員	7,323	8,654	8,980	9,307	9,954	9,905	10,029	10,786	9,931	9,509	-422	-4.2
	検 挙 率	87.9	87.3	84.1	71.5	60.4	53.0	50.2	51.6	52.3	56.0	3.7ポ	イント
殺人	認知件数	1,218	1,282	1,388	1,265	1,391	1,340	1,396	1,452	1,419	1,392	-27	-1.9
	検挙件数	1,197	1,225	1,356	1,219	1,322	1,261	1,336	1,366	1,342	1,345	3	0.2
	検挙人員	1,242	1,284	1,365	1,313	1,416	1,334	1,405	1,456	1,391	1,338	-53	-3.8
	検 挙 率	98.3	95.6	97.7	96.4	95.0	94.1	95.7	94.1	94.6	96.6	2.0ポ	イント
強盗	認知件数	2,463	2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	-1,307	-17.9
	検挙件数	1,974	2,232	2,614	2,813	2,941	3,115	3,566	3,855	3,666	3,269	-397	-10.8
	検挙人員	2,390	3,152	3,379	3,762	3,797	4,096	4,151	4,698	4,154	3,844	-310	-7.5
	検 挙 率	80.1	79.5	76.3	66.4	56.9	48.7	51.1	50.3	50.3	54.6	4.3ポ	イント
放火	認知件数	1,846	1,936	1,566	1,728	1,743	2,006	1,830	2,070	2,174	1,904	-270	-12.4
	検挙件数	1,749	1,804	1,369	1,458	1,372	1,540	1,234	1,448	1,513	1,361	-152	-10.0
	検挙人員	710	749	693	750	789	783	815	866	867	791	-76	-8.8
	検 挙 率	94.7	93.2	87.4	84.4	78.7	76.8	67.4	70.0	69.6	71.5	1.9ポ	イント
強姦	認知件数	1,483	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	-100	-4.6
	検挙件数	1,317	1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	40	2.9
	検挙人員	1,117	1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	-33	-3.0
	検 挙 率	88.8	88.8	88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	5.0ポ	イント
略取・誘拐	認知件数	251	284	221	249	302	237	251	284	320	277	-43	-13.4
	検挙件数	250	279	211	244	272	211	215	231	232	204	-28	-12.1
	検挙人員	189	167	141	164	180	179	173	151	187	176	-11	-5.9
	検 挙 率	99.6	98.2	95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	1.1ポ	イント
強制わいせつ	認知件数	4,025	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	-433	-4.7
	検挙件数	3,438	3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	141	3.9
	検挙人員	1,675	1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	61	2.7
	検 挙 率	85.4	86.1	82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	3.6ポ	イント



## (2) 殺人事件の状況

平成17年の殺人の認知件数は1,392件、検挙件数は1,345件、検挙人員は1,338人で、前年に比べ、認知件数が27件（1.9%）減少、検挙件数が3件（0.2%）増加、検挙人員が53人（3.8%）減少し、検挙率は96.6%で、前年に比べ2.0ポイント上昇している（図表4-1-(2)-1）。

認知した事件を見ると、発生時間帯では、午後8時から午後10時まで及び午後10時から午前0時までが、それぞれ137件で最も多く、次いで午前0時から午前2時まで及び午後6時から午後8時までが119件となっている（図表4-1-(2)-2）。

また、発生場所は、住宅が802件（57.6%）で最も多く、次いで道路上が215件（15.4%）となっている（図表4-1-(2)-3）。

検挙した事件を見ると、被疑者の性別では、男性が1,064人（79.5%）、女性が274人（20.5%）となっている。少年被疑者は67人で、前年に比べ10人（17.5%）増加している。

動機別に見ると、「憤怒」が515件、「怨恨」が210件、「痴情」が59件となっており、これらで全体の64.0%を占めている。また、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが245件と、全体の20.0%を占めている（図表4-1-(2)-4）。

図表4-1-(2)-1 殺人事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,218	1,282	1,388	1,265	1,391	1,340	1,396	1,452	1,419	1,392	-27	-1.9
検挙件数(件)		1,197	1,225	1,356	1,219	1,322	1,261	1,336	1,366	1,342	1,345	3	0.2
検挙人員(人)		1,242	1,284	1,365	1,313	1,416	1,334	1,405	1,456	1,391	1,338	-53	-3.8
検挙率(%)		98.3	95.6	97.7	96.4	95.0	94.1	95.7	94.1	94.6	96.6	2.0ポイント	
被害(死亡)者数		652	710	775	736	678	696	662	697	699	643	-56	-8.0
	男性	360	398	419	398	348	382	347	379	366	324	-42	-11.5
	女性	292	312	356	338	330	314	315	318	333	319	-14	-4.2

図表4-1-(2)-2 殺人事件の発生時間帯別認知件数の状況

認知件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
1,392	119	112	76	74	99	79	82	88	75	119	137	137	195

図表4-1-(2)-3 殺人事件の発生場所別認知件数の状況

認知件数	住宅	道路上	駐車(輪)場	その他
1,392	802	215	59	316

図表4-1-(2)-4 殺人事件の検挙被疑者が犯行現場から逃走する際に用いた交通手段

検挙件数	盗難車	盗難車以外の車両	自転車	その他・該当なし
1,224	45	200	30	949

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例1】寝屋川市内の小学校における持凶器殺人・殺人未遂事件（大阪）

2月14日、少年(17)は、刃物を携帯して小学校に侵入し、男性教諭を刺して殺害、さらに、女性教諭ら2人を刺して傷害を負わせた（2月14日検挙）。

【事例2】相生市内所在不明に係る女性殺人・死体遺棄事件（兵庫）

1月9日ころ、男(39)は、自宅で知人女性2人の頭部をハンマーで殴打するなどして殺害し、その死体を姫路市内の海中等に遺棄した（5月20日検挙）。

【事例3】板橋区社員寮における管理人夫婦殺人事件（警視庁）

6月20日、少年(15)は、会社社員寮の管理人室で、父親を鈍器で殴打し、母親を刃物で刺すなどして、それぞれ殺害した上、発火装置をセットし、流出させたガスに引火爆発させた（6月22日検挙）。

【事例4】架空請求詐欺グループによる逮捕監禁・殺人・死体遺棄事件（千葉）

平成16年10月中旬ころ、男(26)は、他の被疑者10数名と共謀し、男性4人を東京都新宿区内の事務所に監禁した上、金属バットで殴打するなどして次々に殺害し、その死体を茨城県内の山林に遺棄した（7月22日検挙）。

【事例5】河内長野市内における殺人・死体遺棄事件（大阪）

2月19日、男(36)は、いわゆる自殺サイトを通じて知り合った女性を誘い出し、駐車場に止めた車両内において、女性の鼻や口を塞ぐなどして殺害した上、その死体を河川敷に遺棄した。男は、同様の手口で、他に男性2人を殺害していた（8月5日検挙）。

【事例6】町田市内における女子高校生殺人事件（警視庁）

11月10日、少年(16)は、集合住宅の一室において、この部屋に住む女子高校生を刃物で切りつけるなどして殺害した（11月12日検挙）。

【事例7】広島市内における女子児童殺人・死体遺棄事件（広島）

11月22日、ペルー国籍の男(33)は、下校途中の小学女子児童の首を絞めるなどして殺害した上、その死体を空き地に遺棄した（11月30日検挙）。

【事例8】宇治市内の学習塾における女子児童殺人事件（京都）

12月10日、男(23)は、学習塾の教室において、小学女子児童を刃物で刺すなどして殺害した（12月10日検挙）。

## ア 捜査本部設置事件の状況

平成17年の捜査第一課又は国際捜査担当課の主管する捜査本部設置事件（注）は116件で、前年に比べ29件（20.0％）減少している。捜査本部設置事件の解決率は87.9％で、前年に比べ7.2ポイント上昇している（図表4-1-(2)-5）。

捜査本部設置事件を見ると、殺害方法については、刺殺29件（25.0％）、扼殺26件（22.4％）、撲殺15件（12.9％）、絞殺12件（10.3％）の順になっている。このうち、検挙した82件を見ると、動機別では、借金・金銭に絡むものが40件（48.8％）で、これに続いて怨恨10件（12.2％）、痴情7件（8.5％）などとなっている。

平成17年の暴力団犯罪捜査担当課の主管する捜査本部設置事件は7件、解決事件数は8件、解決率は114.3％となっている。

注：ここでいう「捜査本部設置事件」とは、殺人、強盗殺人等殺人の絡む事件のうち刑事部長（警視庁については、組織犯罪対策部長を含む。）を長とする捜査本部（警視庁については特別捜査本部）を設置した事件である。

図表4-1-(2)-5 捜査本部設置・解決状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減率 (%)
設置件数(件)		120	144	140	135	152	165	176	145	145	116	-20.0
								19	27	13	7	-46.2
解決事件数(件)		104	113	114	106	102	122	140	118	117	102	-12.8
								17	15	16	8	-50.0
解決率(%)		86.7	78.5	81.4	78.5	67.1	73.9	79.5	81.4	80.7	87.9	7.2ポイント
								89.5	55.6	123.1	114.3	-8.8ポイント

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：解決事件数については、解決した年次に計上した。

注3：平成14年以降については、暴力団犯罪捜査担当課において設置したものを下段に外数で示した。

## イ 通り魔殺人事件

平成17年の通り魔殺人事件（注）の認知事件数は6件、検挙事件数は6件で、前年に比べ、認知事件数が3件、検挙事件数が3件、それぞれ増加している（図表4-1-(2)-6）。

注：通り魔殺人事件とは、人の自由に出入りできる場所において、確たる動機がなく通りすがりに不特定の者に対し、凶器を使用するなどして、殺傷等の危害を加える事件をいう。

図表4-1-(2)-6 通り魔殺人事件の認知検挙の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
認知事件数(件)		11	4	10	6	7	6	8	9	3	6	3	100.0
検挙事件数(件)		10	3	10	6	7	6	6	9	3	6	3	100.0

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：検挙事件数は、その年の認知事件数に対する事件数で、平成17年中に検挙したものである。

注3：未遂を含む。

【事例1】安城市における幼児被害通り魔殺人事件（愛知）

2月4日、男(34)は、スーパーの子供服売場で、男児の頭部にナイフを突き刺して殺害し、近くにいた女兒と女性にも頭部や顔面を蹴るなどの暴行を加え、それぞれ傷害を負わせた（2月4日検挙）。

【事例2】広島市における連続通り魔殺人未遂事件（広島）

5月3日、男(60)は、歩道を通行中の男女3人を、ナイフで次々と突き刺し殺害しようとしたが、それぞれ傷害を負わせるにとどまった（5月3日検挙）。

【事例3】豊中市における刃物使用連続殺人未遂事件（大阪）

5月29日、男(18)は、自転車で通行中の男性2人を、鎌で次々と切りつけて殺害しようとしたが、それぞれ傷害を負わせるにとどまった（8月21日検挙）。

【事例4】仙台市アーケード商店街における殺人未遂事件（宮城）

12月25日、男(52)は、車両をアーケード商店街に乗り入れ、歩行者の男女7人に次々と車両を衝突させ殺害しようとしたが、それぞれ傷害を負わせるにとどまった（12月25日検挙）。

ウ 保険金目的殺人事件

平成17年の保険金目的殺人事件の検挙事件数は2件で、前年に比べ7件減少している（図表4-1-(2)-7）。

被疑者の被害者との関係は、すべてが親族によるものであり、かつ親族以外の共犯者がいた。

図表4-1-(2)-7 保険金目的殺人事件の検挙件数の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
検挙事件数(件)		5	4	6	8	9	9	11	10	9	2	-7	-77.8

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：未遂を含む。

【事例】南那珂郡南郷町における保険金目的殺人事件（宮崎）

平成13年3月9日、女(58)は、他の被疑者2名と共謀し、夫を殺害して生命保険金を得ようと企て、自宅で夫に睡眠導入剤を飲ませて眠らせ、鼻や口を手で塞ぐ<sup>ふさ</sup>などして殺害した（5月10日検挙）。

### (3) 強盗事件の状況

平成17年の強盗の認知件数は5,988件、検挙件数は3,269件、検挙人員は3,844人で、前年に比べ、認知件数は1,307件（17.9%）、検挙件数は397件（10.8%）、検挙人員は310人（7.5%）それぞれ減少し、検挙率は54.6%で、前年に比べ4.3ポイント上昇している（図表4-1-(3)-1）。

認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが844件（14.1%）と最も多く、午後8時から午前4時までで全体の49.1%を占めている（図表4-1-(3)-2）。

また、認知件数を手口別に見ると、侵入強盗は2,205件、非侵入強盗は3,783件で、前年に比べ、侵入強盗は571件（20.6%）減少し、非侵入強盗は736件（16.3%）減少している。犯罪供用物は、強盗全体では刃物類を使用したものが31.8%と最も多く、うち侵入強盗は57.2%で、侵入強盗の中でも、特にコンビニ強盗は75.5%と高くなっている（図表4-1-(3)-3）。

また、強盗に伴う身体犯の認知件数は、年々増加していたが、平成16年から減少に転じ、平成17年は2,576件で、前年に比べ672件（20.7%）減少している（図表4-1-(3)-4）。

検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが1,470件と、全体の45.4%を占めている（図表4-1-(3)-5）。

図表4-1-(3)-1 強盗事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
		件(人)	件(人)	件(人)	件(人)	件(人)	件(人)	件(人)	件(人)	件(人)	件(人)	件(人)	率(%)
認知件数(件)		2,463	2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	-1,307	-17.9
検挙件数(件)		1,974	2,232	2,614	2,813	2,941	3,115	3,566	3,855	3,666	3,269	-397	-10.8
検挙人員(人)		2,390	3,152	3,379	3,762	3,797	4,096	4,151	4,698	4,154	3,844	-310	-7.5
検挙率(%)		80.1	79.5	76.3	66.4	56.9	48.7	51.1	50.3	50.3	54.6	4.3	ポイント

図表4-1-(3)-2 強盗事件の発生時間帯別認知件数の状況

認知件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
5,988	752	844	489	158	173	243	287	318	345	424	591	756	608

注：発生時間は、犯罪に着手した時間を計上。

図表4 - 1 - (3) - 3 強盗事件の発生時の犯罪供用物の状況（平成17年）

強盗手口	犯罪供用物	総数	銃器		刀剣類		刃物類		犯罪供用物なし・該当なし	不明	その他		
			うちけん銃等										
			認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)	認知件数	割合(%)				認知件数	割合(%)
強盗		5,988	111	1.9	91	1.5	90	1.5	1,902	31.8	3,721	163	1
侵入強盗		2,205	80	3.6	65	2.9	57	2.6	1,261	57.2	736	71	0
住宅強盗		675	10	1.5	8	1.2	11	1.6	274	40.6	348	32	0
金融機関強盗		131	10	7.6	9	6.9	4	3.1	78	59.5	37	2	0
コンビニ強盗		664	25	3.8	22	3.3	23	3.5	501	75.5	104	11	0
その他の店舗強盗		587	27	4.6	21	3.6	17	2.9	361	61.5	164	18	0
その他		148	8	5.4	5	3.4	2	1.4	47	31.8	83	8	0
非侵入強盗		3,783	31	0.8	26	0.7	33	0.9	641	16.9	2,985	92	1
途中強盗		61	2	3.3	2	3.3	1	1.6	20	32.8	35	3	0
タクシー強盗		187	6	3.2	5	2.7	4	2.1	89	47.6	86	2	0
自動車強盗		128	6	4.7	5	3.9	3	2.3	40	31.3	73	6	0
路上強盗		2,192	11	0.5	9	0.4	17	0.8	313	14.3	1,792	59	0
その他		1,215	6	0.5	5	0.4	8	0.7	179	14.7	999	22	1

注1：本表の数値は犯罪統計による認知件数であり、実務統計である(3)ア 金融機関・郵便局対象強盗事件、(3)ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件、(3)キ タクシー対象強盗事件の認知事件数と異なるものである。

注2：「銃器」とは、けん銃、けん銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のもの、「刀剣類」とは、日本刀、その他の刀剣類、「刃物類」とは、包丁類、その他の刃物類をいう。また、「けん銃等」には、けん銃様のものを含む。

図表4 - 1 - (3) - 4 強盗に伴う身体犯の認知件数の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
		件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)	件数	率(%)
強盗		2,463	2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	-1,307	-17.9
強盗に伴う身体犯		1,167	1,401	1,598	2,016	2,488	3,022	3,285	3,400	3,248	2,576	-672	-20.7
強盗殺人・致死		39	41	78	73	71	96	93	78	89	66	-23	-25.8
強盗傷人		1044	1262	1411	1815	2280	2755	3038	3119	2958	2351	-607	-20.5
強盗強姦		84	98	109	128	137	171	154	203	201	159	-42	-20.9

注：「強盗に伴う身体犯」とは、強盗殺人・致死、強盗傷人、強盗強姦とした。

図表4 - 1 - (3) - 5 強盗事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成17年）

検挙件数	盗難車	盗難車以外の車両	自転車	その他・該当なし
3,237	338	1,132	235	1,532

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例1】鉾田町における連続強盗殺人事件（茨城）

1月28日、男(43)は、民家に侵入し、家人女性の首を絞めるなどして殺害し、室内を物色して金品を強取しようとしたが、金品を発見できず未遂に終わった。男は、1月18日にも同じ町内の別の民家に侵入し、家人女性の首を絞めて殺害した上、現金を強取していた（1月31日検挙）。

【事例2】福岡県下における女性対象連続路上強盗殺人等事件（福岡）

平成16年12月から同17年1月ころまでの間、男(35)は、公園や路上で女性3人を刃物で刺すなどして殺害し、手提げバッグ等を強取した（3月10日検挙）。

【事例3】静岡市における強盗殺人事件（静岡）

1月29日、男(24)は、健康関連商品販売店において、女性従業員2人を刃物で切りつけて殺害し、現金を強取した（3月10日検挙）。

【事例4】那覇市における路上強盗致死事件（沖縄）

2月26日、男(25)は、路上において、男性の頭部をコンクリート片で殴打し、顔面を傘で突き刺すなどの暴行を加えて、財布を強取し、その際に負わせた傷害で男性を死亡させた（5月2日検挙）。

【事例5】広域にわたる会社役員宅等対象の連続強盗殺人等事件（千葉、警視庁）

平成14年8月5日、男(62)は、他の被疑者と共謀し、松戸市内の民家において、家人女性2人の首を絞めるなどして殺害し、貴金属品等を強取した上、家屋に放火した。男らは、同年9月には東京都目黒区内で、同年11月には我孫子市内で、それぞれ強盗殺人等を敢行していた（10月21日検挙）。

ア 金融機関・郵便局対象強盗事件

平成17年の金融機関（注）・郵便局対象強盗事件の認知事件数は128件（うち郵便局対象は93件、72.7%）、検挙事件数は97件で、前年に比べ、認知事件数が1件（0.8%）減少し、検挙事件数が14件（16.9%）増加している（図表4-1-(3)-6、7）。

平成17年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午後2時から午後4時までが34件（26.6%）と最も多い（図表4-1-(3)-8）。

また、防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、非常通報装置及び防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル及びカラーボールの活用率は低い（図表4-1-(3)-9）。

注：金融機関とは、銀行、信用金庫・組合、商工中金、労働金庫、農（漁）業協同組合をいう。

図表4-1-(3)-6 金融機関・郵便局対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
											件数	率(%)
認知事件数	84	117	161	120	135	229	141	142	129	128	-1	-0.8
検挙事件数	54	86	117	97	92	147	111	113	83	97	14	16.9
検挙率	64.3	73.5	72.7	80.8	68.1	64.2	78.7	79.6	64.3	75.8	11.5	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-7 金融機関・郵便局対象強盗事件の内訳

年次	平16		平17		増減	
	件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
認知事件数	129	100.0	128	100.0	-1	-0.8
金融機関	37	28.7	35	27.3	-2	-5.4
銀行	19	14.7	19	14.8	0	0.0
信用金庫	10	7.8	8	6.3	-2	-20.0
信用組合	0	0.0	2	1.6	2	-
農(漁)業協同組合	8	6.2	6	4.7	-2	-25.0
その他	0	0.0	0	0.0	0	-
郵便局	92	71.3	93	72.7	1	1.1
普通郵便局	2	1.6	0	0.0	-2	-100.0
特定郵便局	82	63.6	86	67.2	4	4.9
簡易郵便局	8	6.2	7	5.5	-1	-12.5

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-8 金融機関・郵便局対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数(平成17年)

認知事件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
128	0	0	0	2	16	17	29	34	27	3	0	0	0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-9 防犯設備の設置・活用状況(平成17年)

防犯設備	区分	設置あり			設置なし
		活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	126	103	20	3
	(割合%)	98.4	80.5	15.6	2.3
非常ベル	認知事件数	100	34	59	7
	(割合%)	78.1	26.6	46.1	5.5
防犯カメラ	認知事件数	126	121	5	0
	(割合%)	98.4	94.5	3.9	0.0
カラーボール	認知事件数	126	30	78	18
	(割合%)	98.4	23.4	60.9	14.1
屋外赤色灯	認知事件数	68	41	26	1
	(割合%)	53.1	32.0	20.3	0.8

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：活用不要とは、検挙等により活用する必要がなかったもの。

【事例1】札幌市内の農協におけるガソリン使用強盗事件(北海道)

2月7日、男(45)は、農協において、ペットボトルに入れたガソリンをカウンター上にまいて職員を脅迫し、現金約50万円を強取した(2月8日検挙)。

【事例2】横浜市内の特定郵便局における強盗傷人事件(神奈川)

5月12日、男(52)は、特定郵便局において、ナイフを局員に突き付けて脅迫し、現金約500万円を強取したが、別の局員らに取り押さえられそうになったことから、ナイフで抵抗し、局員らに傷害を負わせた(5月12日検挙)。

【事例3】桶川市内の信用金庫におけるけん銃使用強盗事件(埼玉)

平成16年10月4日、男(54)は、他の被疑者と共謀して、信用金庫において、けん銃1発を発射するなどして職員を脅迫し、現金約1,100万円を強取した。被疑者らは、同年12月にも同様の手口で、同じ信用金庫から現金約700万円を強取していた(6月28日検挙)。



## イ サラリーマン金融対象強盗事件

平成17年のサラリーマン金融対象強盗事件の認知事件数は26件で、前年に比べ16件（38.1%）減少している（図表4-1-(3)-10）。

平成17年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前10時から午後0時までが8件（30.8%）と最も多い（図表4-1-(3)-11）。

また、防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、非常通報装置及び防犯カメラの活用率は高いものの、非常ベル及びカラーボールの活用率は低い（図表4-1-(3)-12）。

図表4-1-(3)-10 サラリーマン金融対象強盗事件の認知状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
認知事件数		29	30	26	30	33	104	46	53	42	26	-16	-38.1

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-11 サラリーマン金融対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成17年）

認知事件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
26	0	0	0	0	1	8	5	4	3	4	0	1	0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-12 防犯設備の設置・活用状況（平成17年）

防犯設備	区分	設置あり				設置なし
		認知事件数 (割合%)	活用あり	活用なし	活用不要	
非常通報装置	認知事件数	21	18	3	0	5
	(割合%)	80.8	69.2	11.5	0.0	19.2
非常ベル	認知事件数	10	1	9	0	16
	(割合%)	38.5	3.8	34.6	0.0	61.5
防犯カメラ	認知事件数	24	22	2	0	2
	(割合%)	92.3	84.6	7.7	0.0	7.7
カラーボール	認知事件数	14	0	11	3	12
	(割合%)	53.8	0.0	42.3	11.5	46.2
屋外赤色灯	認知事件数	8	4	4	0	18
	(割合%)	30.8	15.4	15.4	0.0	69.2

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：活用不要とは、検挙等により活用する必要がなかったもの。

### 【事例】大阪市におけるサラリーマン金融対象持凶器強盗事件（大阪）

2月18日、男（41）は、サラリーマン金融の店舗において、店員に包丁を突きつけて脅迫し、現金約60万円を強取した（2月18日検挙）。

## ウ 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件

平成17年の深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件（注）の認知事件数は561件で、前年に比べ119件（17.5%）減少し、検挙事件数は337件で、前年に比べ90件（36.4%）増加している（図表4-1-(3)-13）。

平成17年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが253件（45.1%）と最も多く、午前2時から午前6時までで全体の80.4%を占めている（図表4-1-(3)-14）。

また、防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、防犯カメラの設置及び利用率は高くなっているが、非常通報装置、非常ベルやカラーボールの利用率はいずれも低い（図表4-1-(3)-15）。

注：「深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件」とは、午後10時から午前7時までの間に、営業しているコンビニエンスストアやスーパーマーケットの売上金等を目的として敢行された強盗事件をいう。

図表4-1-(3)-13 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
											件数	率(%)
認知事件数	146	137	308	340	394	527	468	742	680	561	-119	-17.5
検挙事件数	78	91	149	173	188	163	225	259	247	337	90	36.4
検挙率	53.4	66.4	48.4	50.9	47.7	30.9	48.1	34.9	36.3	60.1	23.8	ポイント

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-14 深夜におけるコンビニエンスストア・スーパーマーケット対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成17年）

認知事件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
561	68	253	198	17	-	-	-	-	-	-	-	25	0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-15 防犯設備の設置・活用状況（平成17年）

防犯設備	区分	設置あり			設置なし
		認知事件数 (割合%)	活用あり	活用なし	
非常通報装置	認知事件数	349	155	189	212
	(割合%)	62.2	27.6	33.7	37.8
非常ベル	認知事件数	447	62	379	114
	(割合%)	79.7	11.1	67.6	20.3
防犯カメラ	認知事件数	558	515	43	3
	(割合%)	99.5	91.8	7.7	0.5
カラーボール	認知事件数	468	13	435	93
	(割合%)	83.4	2.3	77.5	16.6
屋外赤色灯	認知事件数	271	42	227	290
	(割合%)	48.3	7.5	40.5	51.7

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：活用不要とは、検挙等により活用する必要がなかったもの。

【事例】広域にわたる深夜スーパーマーケット対象連続強盗事件（長野・埼玉・茨城）

3月18日から4月13日までの間、ブラジル国籍の男(23)は、他の被疑者らと共謀して、長野・埼玉・茨城の各県下のコンビニエンスストア7店舗において、店員に包丁を突きつけるなどして脅迫し、現金合計約80万円等を強取した（4月17日検挙）。

エ ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗事件

平成17年のぱちんこ屋・まあじゃん屋等（注）を発生場所とする強盗事件の認知件数は51件で、前年に比べ7件（15.9%）増加している（図表4-1-(3)-16）

平成17年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午後0時から午後2時、午後10時から午前0時までがそれぞれ8件（15.7%）と最も多い（図表4-1-(3)-17）。

注：「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とは、ぱちんこ店やまあじゃん店のほか、パチスロ店やスマートボール店等のように設備を設けて客に射幸心をそそるおそれのある遊技をさせる場所をいう。

図表4-1-(3)-16 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の認知状況の推移

年次 区分	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
											件数	率(%)
認知件数	74	63	76	71	66	77	95	110	44	51	7	15.9

注：強盗の認知件数の内、発生場所を「ぱちんこ屋・まあじゃん屋等」とするものとした。

図表4-1-(3)-17 ぱちんこ屋・まあじゃん屋等を発生場所とする強盗の発生時間帯別認知件数

（平成17年）

認知件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
51	4	2	1	1	5	1	8	4	7	6	4	8	0

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

オ ぱちんこ景品買取所対象強盗事件

平成17年のぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知事件数は32件で、前年に比べ10件（23.8%）減少している（図表4-1-(3)-18）。

平成17年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前8時から午後0時までが10件、全体の31.3%を、午後6時から午前0時までが19件、全体の59.4%を占めている（図表4-1-(3)-19）。

図表4 - 1 - (3) - 18 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の認知件数の推移

年次 区分	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
											件数	率(%)
認知事件数	68	45	76	47	38	80	42	75	42	32	-10	-23.8

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4 - 1 - (3) - 19 ぱちんこ景品買取所対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成17年）

認知事件数	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明
32	0	0	0	0	5	5	2	0	1	6	6	7	0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】豊田市におけるぱちんこ景品買取所対象強盗事件（愛知）

6月17日、男(24)は、他の被疑者3名と共謀して、ぱちんこ景品買取所から現金を強取することを企て、現金搬入時に待ち伏せし、現れた従業員にナイフを突きつけて脅迫し、現金約6,700万円を強取した（6月17日検挙）。

カ 現金輸送車対象強盗事件

平成17年の現金輸送車対象強盗事件の認知事件数は3件で3件とも検挙している（図表4 - 1 - (3) - 20）。

図表4 - 1 - (3) - 20 現金輸送車対象強盗事件の認知・検挙状況の推移

年次 区分	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
											件数	率(%)
認知事件数	7	24	10	12	8	9	8	7	3	3	0	0.0
検挙事件数	3	6	12	4	2	4	5	1	9	3	-6	-66.7
検挙率	42.9	25.0	120.0	33.3	25.0	44.4	62.5	14.3	300.0	100.0	-200.0	ホィト

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例】常陸大宮市における現金輸送車対象強盗事件（茨城）

1月11日、男(41)は、他の被疑者と共謀して、現金輸送車から現金を強取することを企て、農協の駐車場において現金輸送業務に就いていた警備員2名に金属バットで殴打するなどの暴行を加え、現金約1,300万円を強取した（3月11日検挙）。

【事例2】成田市における現金輸送車を対象としたけん銃使用強盗事件（千葉）

1月31日、男(54)は、他の被疑者2名と共謀して、現金輸送車から現金を強取することを企て、家電販売店駐車場において、現金輸送車に現金を積み込んでいた警備員2人にけん銃を突き付け、更に、けん銃1発を発射するなどして、現金約870万円を強取した（5月8日検挙）。

## キ タクシー対象強盗事件

平成17年のタクシー対象強盗事件の認知事件数は196件で、前年に比べ12件（5.8%）減少している（図表4-1-(3)-20）。

平成17年に認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが60件（30.6%）と最も多く、午前0時から午前6時までで全体の63.3%を占めている（図表4-1-(3)-21）。

なお、防犯設備の設置及び活用の状況について見ると、防犯仕切板を設置した車両は全体の50.5%となっており、防犯仕切板を設置した場合には、負傷等を負う割合が低くなっている（図表4-1-(3)-22）。

図表4-1-(3)-20 タクシー対象強盗事件の認知事件数の推移

年次 区分	平14	平15	平16	平17	増減	
					件数	率(%)
認知事件数	168	226	208	196	-12	-5.8

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-21 タクシー対象強盗事件の発生時間帯別認知事件数（平成17年）

認知事件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
196	37	60	27	7	3	2	3	4	2	8	19	24	0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

図表4-1-(3)-22 防犯仕切板の活用と負傷等の状況（平成17年）

設置状況 区分	被害件数	負傷等あり			負傷等なし	
		死亡	重体	軽傷		
タクシー対象強盗の総数(件)	196	61	1	4	56	135
防犯仕切板あり (割合%)	99 100.0	24 24.2	0 -	1 1.0	23 23.2	75 75.8
防犯仕切板なし (割合%)	97 100.0	37 38.1	1 -	3 3.1	33 34.0	60 61.9

注：本表は、実務統計による集計数値である。

### 【事例】奈良・京都にわたるタクシー強盗事件（奈良、京都）

1月9日、男(32)は、他の被疑者らと共に、客を装ってタクシーに乗り込み、奈良県内の路上において運転手に刃物を突きつけるなどして現金を強取するとともに、タクシー代金の支払いを免れた。被疑者らは、奈良県内や京都府内において、タクシー強盗等を繰り返していた（5月17日検挙）。

#### (4) 主な性犯罪の状況

平成17年の強姦の認知件数は2,076件で、前年に比べ100件（4.6%）減少している。検挙件数は1,443件、検挙人員は1,074人で、前年に比べ、検挙件数が40件（2.9%）増加し、検挙人員が33人（3.0%）減少している（図表4-1-(4)-1）。

また、平成17年の強制わいせつの認知件数は8,751件で、前年に比べ433件（4.7%）減少している。検挙件数は3,797件、検挙人員は2,286人で、前年に比べ、検挙件数が141件（3.9%）、検挙人員が61人（2.7%）それぞれ増加している（図表4-1-(4)-2）。

認知した事件を発生時間帯別に見ると、強姦については午前2時から午前4時までが201件（9.7%）と、強制わいせつについては午後10時から午前0時までが1,121件（12.8%）と、それぞれ最も多くなっている（図表4-1-(4)-3）。

また、検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが、強姦では575件（41.9%）、強制わいせつでは1,084件（29.4%）となっている（図表4-1-(4)-4）。

図表4-1-(4)-1 強姦の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,483	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	-100	-4.6
検挙件数(件)		1,317	1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	1,468	1,569	1,403	1,443	40	2.9
検挙人員(人)		1,117	1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	1,355	1,342	1,107	1,074	-33	-3.0
検挙率(%)		88.8	88.8	88.2	73.7	68.1	63.0	62.3	63.5	64.5	69.5	5.0	ポイント

図表4-1-(4)-2 強制わいせつの認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		4,025	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	-433	-4.7
検挙件数(件)		3,438	3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	3,367	3,893	3,656	3,797	141	3.9
検挙人員(人)		1,675	1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	2,130	2,273	2,225	2,286	61	2.7
検挙率(%)		85.4	86.1	82.3	63.4	48.6	41.7	35.5	38.8	39.8	43.4	3.6	ポイント

図表4-1-(4)-3 主な性犯罪の発生時間帯別認知件数の状況（平成17年）

	認知件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
強姦	2,076	182	201	128	53	33	47	44	66	67	91	131	173	860
強制わいせつ	8,751	951	643	329	358	380	275	277	608	817	978	1,077	1,121	937

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表4-1-(4)-4 主な性犯罪の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成17年）

	検挙件数	盗難車	盗難車以外の車両	自転車	その他・該当なし
強姦	1,373	75	500	75	723
強制わいせつ	3,683	100	984	445	2,154

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例1】女性居住アパートを対象とした連続強姦等事件（宮城）

平成15年6月、男(33)は、一人暮らしの女性が居住するアパートに侵入し、財布等を窃取した上、女性を強姦した。男は、平成11年8月から、同様の強姦や強制わいせつ等を20数件敢行していた（1月11日検挙）。

【事例2】病院勤務医師による準強制わいせつ事件（警視庁）

平成16年7月、病院に勤務する医師の男(51)は、医療行為を装って女性患者の服を脱がせ、写真を撮影するなどのわいせつな行為を行った。男は、数年前から、同様の犯行を繰り返していた（3月10日検挙）。

【事例3】教会牧師による信者に対する連続強姦等事件（京都）

平成14年1月、教会牧師の男(61)は、その立場を利用して信者の少女を強姦した。男は、平成10年ころから、同様の犯行を20数件以上繰り返していた（4月6日検挙）。

(5) 略取・誘拐事件の状況

平成17年の略取・誘拐の認知件数は277件、検挙件数は204件、検挙人員は176人で、前年に比べ、認知件数が43件（13.4%）、検挙件数が28件（12.1%）、検挙人員が11人（5.9%）それぞれ減少している（図表4-1-(5)-1）。

認知した事件を見ると、13歳未満の者を対象としたものが104件で、全体の37.5%を占めている（図表4-1-(5)-2）。

発生時間では、午後2時から午後4時までが28件と最も多く、全体の10.1%を占めている（図表4-1-(5)-3）。

検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが130件（65.0%）となっている（図表4-1-(5)-4）。

被疑者の年齢別では、20歳代が最も多く全体の32.4%となっており、次いで30歳代が31.8%となっている（図表4-1-(5)-5）。

また、平成17年の身の代金目的略取・誘拐事件の認知事件数は6件で、前年に比べ1件（14.3%）減少している（図表4-1-(5)-6）。

図表4-1-(5)-1 略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		251	284	221	249	302	237	251	284	320	277	-43	-13.4
検挙件数(件)		250	279	211	244	272	211	215	231	232	204	-28	-12.1
検挙人員(人)		189	167	141	164	180	179	173	151	187	176	-11	-5.9
検挙率(%)		99.6	98.2	95.5	98.0	90.1	89.0	85.7	81.3	72.5	73.6	1.1ポイント	

図表 4 - 1 - (5) - 2 略取・誘拐の被害者の年齢・性別認知件数の状況（平成17年）

	総数	0～5歳	6～12歳	13～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
認知件数	277	27	77	111	37	15	4	4	2
(割合%)	100	9.7	27.8	40.0	13.4	5.4	1.4	1.4	0.7
男性	48	15	19	5	1	3	2	3	0
(割合%)	17.3	5.4	6.9	1.8	0.4	1.1	0.7	1.1	0
女性	229	12	58	106	36	12	2	1	2
(割合%)	82.7	4.3	20.9	38.3	13.0	4.3	0.7	0.4	0.7

図表 4 - 1 - (5) - 3 略取・誘拐事件の発生時間帯別認知件数の状況（平成17年）

認知件数	0～2時	2～4時	4～6時	6～8時	8～10時	10～12時	12～14時	14～16時	16～18時	18～20時	20～22時	22～24時	不明
277	13	3	3	8	12	11	18	28	24	24	19	20	94

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 4 - 1 - (5) - 4 略取・誘拐事件の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成17年）

検挙件数	盗難車	盗難車以外の車両	自転車	その他・該当なし
200	22	108	13	57

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

図表 4 - 1 - (5) - 5 略取・誘拐の被疑者の年齢・性別検挙人員の状況（平成17年）

	総数	未成年	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
検挙人員	176	8	57	56	23	18	14
(割合%)	100	4.5	32.4	31.8	13.1	10.2	8.0
男性	147	8	51	46	18	13	11
(割合%)	83.5	4.5	29.0	26.1	10.2	7.4	6.3
女性	29	0	6	10	5	5	3
(割合%)	16.5	0	3.4	5.7	2.8	2.8	1.7

図表 4 - 1 - (5) - 6 身の代金目的略取・誘拐事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知事件数(件)		2	8	8	10	11	10	10	12	7	6	-1	-14.3
検挙事件数(件)		2	8	8	9	12	10	10	11	7	6	-1	-14.3
検挙人員(人)		4	45	22	24	23	24	35	24	24	21	-3	-12.5

注：本表は、実務統計による集計数値である。

【事例1】札幌市における未成年者誘拐事件（北海道）

1月15日、男(22)は、インターネットを通じて知り合った小学女子児童を車に乗せて連れ去り、札幌市内を約2時間にわたって連れ回した（2月23日検挙）。



【事例 2】袋井市における身の代金目的誘拐事件（警視庁）

6月7日、男(30)は、他の被疑者3名と共謀して、中国人男性を車で連れ去り、同人の親族に対し、身の代金を要求した（6月7日検挙）。

【事例 3】福岡市における未成年者略取事件(福岡)

10月4日、男(47)は、他の被疑者5名と共謀して、親権のない実子である小学女子児童を車に乗せて連れ去り、福岡市から名古屋市までの間を2日間にわたって連れ回した（10月5日検挙）。

【事例 4】今市市における未成年者誘拐・殺人・死体遺棄事件(栃木・茨城)

12月1日、被疑者不詳は、栃木県今市市内において、下校途中の小学女子児童を連れ去り、殺害し、茨城県常陸大宮市内に死体を遺棄した（捜査中）。

(6) 放火事件の状況

平成17年の放火の認知件数は1,904件、検挙件数は1,361件、検挙人員は791人で、前年に比べ、認知件数は270件（12.4%）、検挙件数は152件（10.0%）、検挙人員は76人（8.8%）それぞれ減少し、検挙率は71.5%で、前年に比べ1.9ポイント上昇している（図表4-1-(6)-1）。

認知した事件を見ると、発生時間帯では、午前2時から午前4時までが248件と最も多く、全体の13.0%を占めている（図表4-1-(6)-2）。

検挙した事件を見ると、犯行後の逃走手段は、車両（盗難車を含む。）を利用したものが230件と、全体の17.9%を占めている（図表4-1-(6)-3）。

図表4-1-(6)-1 放火の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		1,846	1,936	1,566	1,728	1,743	2,006	1,830	2,070	2,174	1,904	-270	-12.4
検挙件数(件)		1,749	1,804	1,369	1,458	1,372	1,540	1,234	1,448	1,513	1,361	-152	-10.0
検挙人員(人)		710	749	693	750	789	783	815	866	867	791	-76	-8.8
検 挙 率 (%)		94.7	93.2	87.4	84.4	78.7	76.8	67.4	70.0	69.6	71.5	1.9ポイント	

図表4-1-(6)-2 放火の発生時間帯別認知件数の状況（平成17年）

認知件数	0～ 2時	2～ 4時	4～ 6時	6～ 8時	8～ 10時	10～ 12時	12～ 14時	14～ 16時	16～ 18時	18～ 20時	20～ 22時	22～ 24時	不明
1,904	241	248	133	68	66	80	90	114	124	108	149	173	310

注：発生時間に幅がある場合は、その始期の時間を計上している。

図表 4 - 1 - (6) - 3 放火の検挙被疑者の逃走手段別検挙件数の状況（平成17年）

検挙件数	盗難車	盗難車以外の車両	自転車	その他・該当なし
1,283	28	202	178	875

注1：解決事件を除く。

注2：「その他・該当なし」には、徒歩、被疑者が犯行現場から立ち去らなかった場合を含む。

【事例】ディスカウントショップ等対象の連続放火事件（埼玉）

平成16年12月、女(47)は、さいたま市内のディスカウントショップ等に対し、連続7件の放火を繰り返し、従業員3名を死亡させた（1月25日検挙）。

## 2 重要窃盗犯

### (1) 重要窃盗犯の認知・検挙状況

平成10年以降急増していた重要窃盗犯（窃盗犯のうち、侵入窃盗、自動車盗、ひったくり、すりという。以下同じ。）の認知件数は、平成15年から減少に転じ、平成17年は33万8,967件で、すべての手口が大幅に減少したため、前年に比べ6万8,962件（16.9%）減少している（図表4-2-(1)）。

重要窃盗犯の検挙件数は13万3,390件で、自動車盗以外のすべての手口の検挙件数が減少したため、前年に比べ2,543件（1.9%）減少している。特に、ひったくりの大幅な減少（前年比-3,155件、-23.3%）の影響が大きい。

検挙人員は1万8,719人で、すべての手口の検挙人員が減少したため、前年に比べ1,881人（9.1%）減少している。

検挙率は39.4%で、前年に比べ6.1ポイント上昇している。検挙件数が減少する中、検挙率が上昇したのは、認知件数の大幅な減少による。

図表4-2-(1) 重要窃盗犯手口別認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
重要窃盗犯	認知件数	301,310	305,328	330,369	367,174	423,281	443,502	478,476	469,148	407,929	338,967	-68,962	-16.9
	検挙件数	216,794	208,847	213,261	197,011	140,351	120,183	133,960	140,861	135,933	133,390	-2,543	-1.9
	検挙人員	24,023	24,213	24,533	24,533	22,126	22,493	22,425	22,596	20,600	18,719	-1,881	-9.1
	検挙率	72.0	68.4	64.6	53.7	33.2	27.1	28.0	30.0	33.3	39.4	6.1	ポイント
侵入窃盗	認知件数	223,590	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	-45,819	-15.8
	検挙件数	174,116	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456	98,335	109,920	104,816	104,454	-362	-0.3
	検挙人員	15,866	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712	13,696	14,208	13,548	12,564	-984	-7.3
	検挙率	77.9	74.9	69.8	58.6	36.8	29.5	29.1	33.0	36.1	42.7	6.6	ポイント
うち 住宅対象	認知件数	113,827	113,782	123,863	134,492	154,074	161,883	189,336	190,473	170,991	142,945	-28,046	-16.4
	検挙件数	92,482	86,664	87,351	82,373	57,893	45,752	51,897	59,133	57,948	60,486	2,538	4.4
	検挙人員	5,774	5,688	5,813	5,755	5,275	5,144	5,241	5,318	5,209	4,875	-334	-6.4
	検挙率	81.2	76.2	70.5	61.2	37.6	28.3	27.4	31.0	33.9	42.3	8.4	ポイント
自動車盗	認知件数	33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	62,673	64,223	58,737	46,728	-12,009	-20.4
	検挙件数	19,264	18,291	18,210	15,241	11,415	13,390	12,791	11,931	13,765	14,898	1,133	8.2
	検挙人員	5,380	5,264	5,495	5,028	4,590	4,933	4,775	4,599	3,823	3,366	-457	-12.0
	検挙率	57.1	53.0	50.7	35.4	20.3	21.2	20.4	18.6	23.4	31.9	8.5	ポイント
ひったくり	認知件数	20,515	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	52,919	46,354	39,399	32,017	-7,382	-18.7
	検挙件数	11,696	13,373	19,636	20,597	14,796	12,925	18,434	14,861	13,561	10,406	-3,155	-23.3
	検挙人員	1,845	2,118	2,605	3,304	3,072	3,078	3,158	2,953	2,259	1,851	-408	-18.1
	検挙率	57.0	49.6	54.9	50.0	32.1	25.4	34.8	32.1	34.4	32.5	-1.9	ポイント
すり	認知件数	23,483	22,181	21,019	21,928	24,526	25,691	24,590	25,338	19,198	15,446	-3,752	-19.5
	検挙件数	11,718	11,064	9,597	8,189	5,012	4,412	4,400	4,149	3,791	3,632	-159	-4.2
	検挙人員	932	972	953	967	813	770	796	836	970	938	-32	-3.3
	検挙率	49.9	49.9	45.7	37.3	20.4	17.2	17.9	16.4	19.7	23.5	3.8	ポイント

注：「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

## (2) 組織窃盗事件の状況

平成9年から平成17年までの間に、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件（注1）は490件であり、そのうち、特に重要な82件を、警察庁登録組織窃盗事件（注2）として登録し、これまでに来日外国人や暴力団員等を含む被疑者2,799人、4万677件（被害総額約635億5,081万円相当）を検挙している（図表4-2-(2)）。

警察庁登録組織窃盗事件の検挙事例を見ると、窃盗組織は、いずれも来日外国人や暴力団員等を主要なメンバーとしたものである。数人から100人近くの者で構成され、首魁の指揮の下、1事件ごとに数人単位のグループで犯罪を敢行し、メンバーを入れ替えながら、連続して広域にわたる侵入窃盗や自動車盗等を敢行し、窃取した預貯金通帳を用いて不正に現金を引き下ろしたり、窃取した自動車の車台番号等を改ざんして不正に輸出するなどしている。

注1：「組織窃盗」とは、多数の被疑者が、首魁による指揮統制の下に、下見、窃取、盗品の運搬、処分などの各行為を分担又は共同して行う窃盗犯罪をいう。

注2：平成9年10月、警察庁では、組織窃盗事件登録要領を制定し、各都道府県警察が認定した組織窃盗事件のうち、特に重要な事件を「警察庁登録組織窃盗事件」として、全国警察に情報提供を求めるなど、組織の壊滅を主眼とする捜査を推進している。

図表4-2-(2) 組織窃盗事件(登録・認定)数の推移

区分	年次	総数	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
都道府県警察が認定した組織窃盗事件数(件)		490 (82)	65 (6)	57 (9)	56 (13)	49 (9)	43 (7)	43 (11)	64 (9)	62 (9)	51 (9)	-11 (0)	-17.7 (0)
終結事件数		433 (71)	65 (6)	57 (9)	56 (13)	49 (9)	43 (7)	43 (11)	63 (9)	48 (7)	9 (0)		
現在捜査中の事件数		57 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	14 (2)	42 (9)		

注1：本表は、実務統計による集計数値である。

注2：( )内は、警察庁登録組織窃盗事件の登録事件数を内数で示した。

注3：終結事件数及び現在捜査中の事件数は、平成17年12月末現在のものである。

### 【事例1】暴力団幹部を首魁とした広域組織窃盗事件（警察庁登録組織窃盗第66号事件）（神奈川、千葉、山形、滋賀）

平成12年8月から平成16年9月までの間、暴力団幹部の男（40）らは、配下の者らを集めて複数の窃盗グループを組織し、関東を中心に東北から近畿に至る全国各地において、飲食チェーン店から多額の現金を窃取したり、家電量販店からパソコン等を大量に窃取して質店等に売却したりしていたほか、RV車を対象とした自動車盗を敢行し、部品に解体した上、海外へ不正輸出するなどして処分していた。

平成17年3月までに、17都県にわたる出店荒し、自動車盗等窃盗事件等約1,700件（首魁を含む被疑者51名、被害総額約14億8,100万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例2】暴力団組員等による広域出店荒し・金庫破り事件（警察庁登録組織窃盗第68号事件）（山口、熊本、鹿児島、徳島、愛媛、高知）

平成15年1月から平成16年9月までの間、暴力団幹部の男(29)は、配下の組員等を集めて窃盗グループを組織し、中国・四国・九州において、あらかじめ窃取した盗難自動車やレンタカーを使用するなどして、貴金属店・ブランド商品店等を対象とした出店荒しや、スーパーマーケットを対象とした金庫破り等を敢行して、現金、貴金属等を窃取し、盗品を質店等に売却するなどしていた。

平成17年1月までに、13県にわたる出店荒し、金庫破り等窃盗事件等約360件（首魁を含む被疑者36名、被害総額約2億300万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例3】中国人・日本人グループによる組織的広域窃盗（病院荒し、空き巣等）事件（警察庁登録組織窃盗第69号事件）（警視庁、熊本、宮崎）

平成13年5月から平成16年7月までの間、中国籍の男(36)らは、福建省出身の不法滞在者らを中心に、日本人の運転手を雇い入れるなどして窃盗グループを組織し、関東及び九州において、中・大規模病院を対象とした病院荒しや、アパート・マンションを対象にピッキング用具・サムターン回し等を利用した空き巣を敢行して、現金、パソコン、貴金属等を窃取し、盗品を質店等に売却するなどしていた。

平成17年2月までに、14都県にわたる病院荒し、空き巣等窃盗事件等約1,100件（首魁を含む被疑者45名、被害総額約5億5,800万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例4】中国人等による高層マンション対象の広域組織窃盗（空き巣等）事件及び多額通帳詐欺等事件（警察庁登録組織窃盗第70号事件）（北海道、愛媛、富山、山口、長崎、石川、警視庁、熊本、宮城、福島、新潟、兵庫）

平成14年11月から平成17年3月までの間、中国籍の男(42)らは、上海出身の不法滞在者らを中心に窃盗グループを組織し、全国各地において、主に高層マンションを対象としたサムターン回し等を利用した空き巣を敢行して、預金通帳等を窃取した上、日本人による預金払戻しグループに、偽造印鑑等を使用して金融機関から多額の現金を払い戻させるなどしていた。

平成17年9月までに、24都道府県にわたる空き巣、払出盗等窃盗事件等約350件（首魁を含む被疑者58名、被害総額約5億800万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

【事例5】中国人・日本人グループによる総合病院を対象とした病院荒し等広域組織窃盗事件（警察庁登録組織窃盗第71号事件）（警視庁、福井、富山、山形、岩手、秋田、福島、千葉、長野、石川）

平成14年7月から平成16年6月までの間、中国籍の男（23）らは、福建省出身の不法滞在者らを中心に、日本人を運転手に雇い入れるなどして窃盗グループを組織し、東北・関東及び中部において、中・大規模病院を対象とした病院荒しや金庫破りを敢行して、現金、パソコン等を窃取し、盗品を質店等に売却するなどしていた。

平成17年8月までに、20都県にわたる病院荒し、金庫破り等窃盗事件等約210件（首魁を含む被疑者32名、被害総額約5億1,000万円相当）を検挙し、窃盗組織を壊滅させた。

### (3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件

平成17年の建設機械等を使用して現金自動支払機（ATM）等を収納ブースごと破壊した上、現金を窃取する窃盗事件の認知事件数は30件で、前年に比べ34件（53.1%）減少している（図表4-2-(3)）。

図表4-2-(3) 建設機械等を使用したATM等を対象とした窃盗事件の認知事件数の推移

区分	年次	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
							件数	率（%）
認知事件数(件)		9	57	44	64	30	-34	-53.1
うち未遂		8	31	32	39	16	-23	-59.0

注：本表は、実務統計による集計数値である。

### 3 特殊事件・事故

#### (1) 人質立てこもり事件

平成17年の人質立てこもり事件の認知事件数は7件であり、すべて被疑者を検挙している（図表4-3-(1)）。いずれも単独による犯行で、人質が負傷した事件は3件、警察官が負傷した事件は2件である。

図表4-3-(1) 人質立てこもり事件の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知事件数(件)		13	7	5	7	5	6	12	14	17	7	-10	-58.8
検挙事件数(件)		13	7	5	7	5	6	12	14	17	7	-10	-58.8
検挙人員(人)		13	7	5	7	5	6	12	14	17	7	-10	-58.8

注：本表は、実務統計による集計数値である。

#### 【事例1】今治市における人質立てこもり事件（愛媛）

2月17日、男(52)は、コンビニエンスストアに侵入し、女性店員に包丁を突き付けるなどして立てこもった（2月17日検挙）。

#### 【事例2】名古屋市中における人質立てこもり事件（愛知）

3月27日、男(28)は、カラオケ店に侵入し、女性客にカッターナイフを突き付けるなどして立てこもった（3月27日検挙）。

#### 【事例3】東大阪市における人質立てこもり事件（大阪）

7月9日、男(54)は、元勤務先会社に侵入し、女性従業員に包丁を突き付けるなどして立てこもった（7月10日検挙）。

#### (2) 業務上過失致死傷事件・事故

#### 【事例1】足立区内における踏切事故事件（警視庁）

3月15日、足立区内の踏切（手動式）において、列車が接近しているにもかかわらず、保安係員が誤って遮断機を上げたため、通行者ら4名がはねられ死傷した。同事故について、操作を誤った保安係員を3月16日、業務上過失致死傷罪で逮捕するとともに、同人の勤務する鉄道会社は、保安係員が同踏切において社内規程に反する遮断機操作を繰り返していたことを知りながら看過し、必要な措置を講じていなかったとして、同社幹部2名を同罪で送致した（6月24日検挙）。

【事例2】尼崎市市内における列車脱線事故（兵庫）

4月25日、尼崎市市内において、7両編成の列車が脱線、線路脇のマンションに衝突し、乗客ら107名が死亡、5百数十名が負傷した。

【事例3】静岡県警ヘリコプター墜落事故（静岡）

5月3日、静岡市内において、交通監視中の静岡県警察のヘリコプターが墜落し、操縦者ら5名が死亡した。

【事例4】庄内町内における列車脱線事故（山形）

12月25日、庄内町内において、6両編成の列車が脱線し、乗客5名が死亡、31名が負傷した。

#### 4 構造的な不正事案等

##### (1) 政治的・構造的な不正事案

平成17年中の政治的・構造的な不正事案（公職選挙法違反事件を除く。）の検挙事件数は84件で、前年に比べ1件（1.2%）増加している（図表4-4-(1)-1）。

図表4-4-(1)-1 政治的・構造的な不正事案の検挙事件数

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
贈収賄		60	89	71	67	64	85	73	55	72	65	-7	-9.7
談合・競売入札妨害		29	29	15	13	20	20	15	12	11	17	6	54.5
あっせん利得処罰法違反		-	-	-	-	-	-	1	0	0	1	1	-
政治資金規正法違反		1	1	1	2	1	1	4	1	0	1	1	-
合計		90	119	87	82	85	106	93	68	83	84	1	1.2

注：本表は、実務統計による集計数値である。統計中に、公職選挙法違反事件は含まない。

#### ア 贈収賄事件

平成17年中の贈収賄事件の検挙事件数は65件、検挙人員は181人で、元衆議院事務局庶務部電気施設課長らによる電気設備工事発注をめぐる贈収賄事件等の社会的反響の大きい事件を検挙している。

【事例1】元衆議院事務局庶務部電気施設課長らによる電気設備工事発注をめぐる贈収賄事件（警視庁）

元衆議院事務局庶務部電気施設課長（58）は、衆議院が発注する電気設備工事に際し、電気設備工事等を営む株式会社が受注できるよう有利かつ便宜な取り計らいを受けたい趣旨等の下に供与されるものであることを知りながら、平成14年3月から同15年9月までの間、前後3回にわたり、同社役員（53）らから現金合計100万円の供与を受けた（1月19日検挙）。



【事例2】近畿財務局上席監査官らによる国有財産物件の情報漏洩に絡む贈収賄事件（大阪）

平成14年1月ころから同年5月ころまでの間、近畿財務局管財部上席監査官（47）は、前後4回にわたり、不動産仲介業者から、同財務局事務所において随意契約で売り払うこととなった不動産数筆につき、不動産仲介業者が仲介する買受け希望者をして同不動産を有利な価格で購入させるなどの目的で、同財務局の秘密事項である予定価格を漏示してほしい旨の請託を受けてこれを承諾し、そのころ電話又は面談により不動産仲介業者に各不動産の予定価格を漏示して自己の職務上不正な行為をし、同年6月ころ、同不動産仲介業者から、上記不正な行為に対する謝礼等として供与されるものであることを知りながら、現金数十万円の供与を受けた（3月9日検挙）。

【事例3】前柏原市長らによる雨水ポンプ場等管理業務委託をめぐる事後贈収賄事件（大阪）

平成16年3月ころ、前柏原市長（75）は、同市が発注予定の雨水ポンプ場等管理業務の契約に関し、本来であれば、競争入札による契約手続を行わなければならないにもかかわらず、清掃会社の経営者から、「今までどおり同社に随意契約で発注して欲しい」旨の請託を受け、同社との間で同業務に関する随意契約を締結して職務上不正の行為をしたほか、過去十数年間についても同様の請託を受けて職務上不正の行為をしたことの謝礼等として現金数百万円の供与を受けた（6月29日検挙）。

【事例4】村山市長らによる市職員採用及び公共下水道工事発注をめぐる贈収賄事件（山形）

村山市長（60）は、同市の平成15年度及び同16年度の職員採用試験において、受験者4名の父兄等関係者から各々受験者を合格させて採用してもらいたい旨の依頼を受け、平成15年9月ころから同16年11月ころの間、前後4回にわたり、その謝礼として現金合計数百万円の供与を受け、また、同16年10月ころから同年11月ころの間、前後2回にわたり、同市が発注予定の公共下水道工事の指名競争入札に関し、土木建設会社経営者らから、指名業者に指名してもらいたいなどと依頼されて承諾し、その謝礼として現金合計数十万円の供与を受けた（7月15日検挙）。

【事例5】北海道議会議員らによる介護保険法に基づく実地指導の中止をめぐる贈収賄事件（北海道）

平成14年10月ころ、北海道議会議員（63）は、医療法人理事長らから、保健所が同医療法人経営の病院に対し予定していた介護保険法に基づく実地指導に関し、北海道幹部職員及び同保健所職員らに働きかけをしてこれを中止してもらいたい旨あっせん方の請託を受け、上記職務上不正な行為をさせるようあっせんすることの報酬として現金数百万円の供与を受けた（9月12日検挙）。

**イ 談合・競売入札妨害事件**

平成17年中の談合・偽計入札妨害事件の検挙事件数は17件で、検挙人員は101人である。

## ウ 公職選挙法違反・政治資金規正法違反事件

### (7) 第44回衆議院議員総選挙違反取締状況

第44回衆議院議員総選挙における選挙期日後90日（平成17年12月10日）現在の検挙件数は258件、検挙人員は579人（うち逮捕者139人）で、前回の第43回衆議院議員総選挙期日後90日に比べ、検挙件数が304件（54.1%）、検挙人員が211人（26.7%）、逮捕人員が67人（32.5%）それぞれ減少している。

罪種別に見ると、最も多いのは買収事件で、検挙事件数146件、検挙人員422人（うち逮捕人員80人）で、全検挙に占める割合は、検挙事件数が56.6%、検挙人員が72.9%、逮捕人員が57.6%となっている（図表4-4-(1)-2）。

図表4-4-(1)-2 罪種別検挙状況

区分 罪種	今回(第44回)			前回(第43回)			増 減		
	件数	人員	うち逮捕	件数	人員	うち逮捕	件数	人員	うち逮捕
買 収	146	422	80	414	623	125	-268	-201	-45
自由妨害	34	32	26	51	27	23	-17	+5	+3
戸別訪問	14	29	3	9	20	3	+5	+9	±0
文書違反	18	43	2	13	41	0	+5	+2	+2
詐偽投票	4	8	5	11	14	9	-7	-6	-4
投票干渉	19	20	8	41	24	14	-22	-4	-6
投票偽造	3	9	3	9	13	10	-6	-4	-7
公務員の地位利用	1	1	0	0	0	0	+1	+1	±0
その他	19	15	12	14	28	22	+5	-13	-10
合 計	258	579	139	562	790	206	-304	-211	-67

注：いずれも選挙期日後90日現在の統計である。

#### 【事例1】鳴門市議会議員らによる現金買収事件（徳島）

8月中旬ころ、鳴門市議会議員(53)は、選挙運動者である同市議会議員数名に対し、特定候補者への投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、現金合計百数十万円を供与した(9月12日検挙)。

#### 【事例2】知的障害者更正施設職員らによる投票干渉事件（宮崎）

9月上旬ころ、知的障害者更正施設指導部長(50)らは、期日前投票所において、同施設の利用者が投票するに当たり、候補者名等を記載したはがきを所持させた上、同投票所に入場させて投票させた(9月13日検挙)。

#### 【事例3】堺市議会議長らによる供応買収事件（大阪）

8月下旬ころ、堺市議会議長(59)らは、選挙人数十名に対して、特定候補者への投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬として、1人当たり数千円相当の酒食の供応接待をした(9月19日検挙)。

**【事例4】特別養護老人ホーム職員らによる投票偽造事件（兵庫）**

9月上旬ころ、不在者投票管理者を務める特別養護老人ホームの施設長(78)らは、不在者投票を行う施設として指定を受けた同施設において、入居有権者が投票を行ったものとして処理した投票用紙を市選挙管理委員会へ送致して、投票日当日、正規の投票中に混入させ、投票を偽造をした(9月28日検挙)。

**【事例5】出納責任者らによる日当買収事件（千葉）**

8月下旬ころから同年9月下旬ころまでの間に、当選候補者の出納責任者(38)は、労働者派遣会社役員と共謀の上、選挙運動者数十名に対し、当該候補者への投票を依頼するなどの選挙運動をしたことの報酬として、現金合計二百数十万円を供与した(9月29日検挙)。

**【事例6】落選候補者らによる日当買収事件（神奈川）**

9月中旬ころ、落選候補者(60)は、選挙運動員である私設秘書と共謀の上、選挙運動員数名に対し、自己の当選を得る目的で選挙運動をすることの報酬として、現金合計数十万円を供与した(10月25日検挙)。

**(イ) 一般地方選挙の違反取締状況**

市町村の合併に伴い一般地方選挙が多数施行され、立候補者等を検挙している。

**【事例1】浪岡町長解職投票における町長らによる地方自治法違反（現金買収）事件（青森）**

平成16年11月ころ、浪岡町長(53)らは、同町長解職投票に際し、選挙人数名に対し、同町長のための解職反対投票及び解職反対投票の取りまとめ等の運動をすることの報酬として、それぞれ現金数十万円を供与した(3月6日検挙)。

**【事例2】佐久穂町長選挙（合併に伴う選挙）における候補者らによる現金買収事件（長野）**

2月ころ、落選候補者(64)は、佐久穂町長選挙に際し、選挙運動者等と共謀の上、選挙運動者数十名に対し、自己のための投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬等として、それぞれ現金数万円を供与した(4月19日検挙)。

**【事例3】大仙市長選挙（合併に伴う選挙）における候補者による現金買収事件（秋田）**

平成16年8月ころから同17年1月ころまでの間、落選候補者(55)は、大仙市長選挙に際し、選挙運動者十数名に対し、自己のための投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬等として、それぞれ現金数万円を供与した(4月21日検挙)。

**【事例4】伊方町長選挙（合併に伴う選挙）における現金買収事件（愛媛）**

3月ころ、選挙運動者(71)らは、伊方町長選挙に際し、選挙運動者数十名に対し、候補者のための投票及び投票取りまとめ等の選挙運動をすることの報酬等として、それぞれ現金数万円を供与した（4月29日検挙）。

**【事例5】柏原市長選挙における新聞紙等の不法利用事件（大阪）**

1月ころ、前柏原市長(75)は、地方新聞社の経営者に対し、柏原市長選挙に際して特定候補者に有利となる記事を掲載するよう依頼し、同年4月ころ、当該記事を掲載した地方新聞を発行したことの報酬として、現金百万円を供与した（6月9日検挙）。

**(ウ) 公職選挙法の特定の寄附の禁止違反事件**

平成17年中の、特定の寄附の禁止違反事件の検挙事件数は1件で、検挙人員は2人である。

**エ 公務員犯罪**

公務員犯罪については、前伊香保町長らによる虚偽公文書作成・背任等事件等を検挙している。

**【事例1】前伊香保町長らによる生ごみ処理事業をめぐる虚偽公文書作成・背任等事件（群馬）**

平成14年7月ころ、元伊香保町長（70）は、化学機械等製造卸会社代表取締役らと共謀の上、自己及び同社の利益を図り、同町に損害を与える目的をもって、同町が同社から有機性廃棄物リサイクルシステム一式を購入して行う生ごみ処理事業に関し、法令等で規定された必要な手続を取らず、同社との間で4億数千万円で同システム一式を購入する売買契約書等の虚偽公文書を作成・行使して同契約を締結し、同町に同金額相当の損害を発生させた（1月13日検挙）。

**【事例2】滑川市議会議員による有印私文書偽造・同行使、詐欺及び政治資金規正法違反事件（富山）**

平成13年11月ころから同14年1月ころまでの間、滑川市議会議員（53）は、同人が取締役を務める建設会社社員と共謀の上、同社が請け負った土木工事につき、請負金額を水増しした注文書等を偽造した上、金融機関に提出・行使して、同請負代金を返済財源として融資を申し込んで同社への融資を決定させ、同社名義の当座預金口座に合計3千数百万円を入金させて騙し取った（5月11日検挙）。

また、同人は、平成12年4月から同13年12月までの間、富山県内に主たる事務所を置く政治団体の会計を担当していたが、同県選挙管理委員会に提出すべき同政治団体の平成12年分の収支報告書を作成するに当たり、収入額が実際には少なくとも4百数十万円あったのに、これが2百数十万円であった旨虚偽の記入をし、同選挙管理委員会に提出した（8月12日検挙）。

## (2) 金融・不良債権関連事犯及び企業犯罪

### ア 金融・不良債権関連事犯

平成17年中の金融・不良債権関連事犯の検挙事件数は116件で、前年に比べ28件減少している。検挙事件数の内訳を見ると、前年に比べ「融資過程における事件」は増減なし、「債権回収過程における事件」は5件減少、「その他の金融機関の役職員による事件」は23件減少となっている（図表4-4-(2)）。

図表4-4-(2) 金融・不良債権関連事犯の検挙事件数の推移

年次 区分	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
											件数	率(%)
融資過程	15 (4)	21 (2)	23 (11)	33 (18)	28 (19)	44 (27)	25 (9)	29 (13)	20 (11)	20 (12)	0 (1)	0 9.1
債権回収過程	56 (51)	87 (77)	107 (74)	103 (84)	117 (98)	93 (74)	73 (63)	75 (63)	52 (43)	47 (38)	-5 (-5)	-9.6 -11.6
その他の金融 機関役職員	36 (0)	64 (0)	84 (0)	62 (0)	71 (0)	65 (0)	75 (3)	63 (0)	72 (1)	49 (1)	-23 (0)	-31.9 0
合計	107 (55)	172 (79)	214 (85)	198 (102)	216 (117)	202 (101)	173 (75)	167 (76)	144 (55)	116 (51)	-28 (-4)	-19.4 -7.3

注：本表は、実務統計による集計数値である。( )内は、「暴力団等に係る金融・不良債権関連事犯」を示す。

### (7) 融資過程における金融・不良債権関連事犯

平成17年中の金融・不良債権関連事犯のうち、融資過程における詐欺事件等を20件検挙している。

#### 【事例1】銀行に対する偽造確定申告書等を利用した融資金名下の詐欺等事件（兵庫）

平成15年11月ころから同16年3月ころまでの間、運輸会社代表取締役（53）らは、共謀の上、真実は同社が債務超過の状態に陥っているにもかかわらず、優良な会社であるように装うため、同社の確定申告書や納税証明書等を偽造した上、銀行に提出し、融資の申込みをして、銀行を誤信させ、会社名義の口座に約9,000万円を振込入金させて騙し取った（1月26日検挙）。

#### 【事例2】宗教法人施設建設計画を騙った金融機関被害の多額詐欺等事件（警視庁）

平成15年1月ころから同年12月ころまでの間、健康食品販売業者（53）らは、共謀の上、宗教法人本部が迎賓館等の施設建設を計画しており、被疑者らが経営する自然食品販売会社が事業を担当するなど、架空の建設計画を都市銀行に持ち込んで銀行を誤信させ、合計約5億5,000万円を同社名義の口座に振込入金させて騙し取るとともに、騙し取った金で購入した土地の登記に際し、収入印紙を偽造して申請書類に添付の上、法務局に提出・行使した（5月8日検挙）。

### 【事例3】地方銀行に対する住宅ローン借入名下の多額詐欺事件（警視庁）

不動産会社実質経営者(45)らは、共謀の上、平成15年4月ころから同年5月ころにかけて前後2回にわたり、路上生活者の戸籍を入手して同人名義の内容虚偽の源泉徴収票、不動産売買契約書及び偽造の納税証明書を用い、同人になりすまして地方銀行に同人名義の住宅ローンの借入を申し込み、合計約9,000万円を騙し取った。9月14日までに詐欺罪で被疑者5名を検挙した。

### 【事例4】地面師グループによる不動産の根抵当権抹消登記・融資名下の詐欺事件（警視庁・兵庫）

不動産ブローカー(65)らいわゆる地面師グループは、共謀の上、平成13年7月ころクレジット会社において、同グループの一員が所有する不動産に信用組が設定した根抵当権を無断で抹消する意図であるにもかかわらず、「信用組は不良債権処理をしたいので抹消に応じてくれる。」等と嘘を言い、同社から約1億5,000万円を騙し取り、同年9月ころ、法務局において、偽造した同信用組の委任状、印鑑証明書等を提出して同不動産の根抵当権を抹消登記させ、更に同年10月ころ、同不動産を通常の売買取引を装って不動産業者等に売却し、約1億8,000万円を騙し取った（9月14日検挙）。

#### (1) 債権回収過程における金融・不良債権関連事犯

平成17年中の金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関の債権回収過程における詐欺事件等を47件検挙している。

### 【事例1】RCC被害の不動産会社代表取締役らによる根抵当権抹消（中抜き）詐欺事件（大阪）

不動産業者(51)らは、平成15年4月ころ、同社が所有し、株式会社整理回収機構（RCC）が債権の担保として極度額2億4,000万円とする第一順位の根抵当権を設定した土地に関し、売買取引により得た代金を弁済することを条件に同根抵当権を抹消することをRCCが承認していることを奇貨として、真実は約3億円で他社に売買したにもかかわらず、約8,000万円で売買したとする内容虚偽の買付証明書をファックス送信するなどしてRCCを誤信させて、同根抵当権抹消に同意させた上、法務局において同根抵当権登記を抹消させ、財産上不法の利益を得た（3月11日検挙）。

### 【事例2】地方銀行支店長らによる根抵当権抹消（中抜き）詐欺事件（埼玉）

地方銀行支店長(60)は、建設会社役員(72)らと共謀の上、平成13年4月ころ前後2回にわたり、同銀行が同建設会社に対する貸付の担保として各々極度額約10億円の根抵当権を設定していた土地に関し、同銀行が売買取引により得た代金を弁済することを条件に同銀行が同根抵当権を抹消することを承認していることを奇貨として、真実は合計約4億円で売却したにもかかわらず、合計約2億3,000万円で売却したとして同銀行を誤信させ、同根抵当権抹消に同意させた上、法務局において根抵当権登記を抹消させ、財産上不法の利益を得た（8月23日検挙）。

## (ウ) その他の金融機関役職員による金融・不良債権関連事犯

平成17年中の金融・不良債権関連事犯のうち、金融機関役職員による詐欺、業務上横領等（ア）及び(イ)で挙げた事例を除く）を49件検挙している。

### 【事例1】元地方銀行融資渉外課主任による詐欺事件（山形）

元地方銀行融資渉外課主任(34)は、平成14年2月ころから同16年3月ころまでの間、前後33回にわたり、顧客が定期預金証書を喪失したとして同預金の再交付及び解約を申し込むなどの方法で、同銀行から約1億円を騙し取った（4月27日検挙）。

### 【事例2】元証券会社営業部長代理による顧客勘定口座からの払戻名下の詐欺等事件（愛知）

元証券会社営業部長代理(43)は、平成14年5月ころから同16年6月ころまでの間、前後42回にわたり、顧客から累積投資信託の売却等を依頼されたように装って必要書類を偽造の上、同投資信託を売却したり、顧客に架空の上場株の購入を持ちかける等の方法で、その代金合計約1億6,000万円を騙し取った。また、顧客から業務上預かり保管中の株券（約3,200万円相当）を無断で債券の担保に差し入れて横領した（7月13日検挙）。

### 【事例3】元都市銀行派遣社員らによる多額詐欺・窃盗等事件（神奈川）

元都市銀行派遣社員(55)は、単独又は夫(57)と共謀の上、顧客の普通預金口座開設申込みの取次ぎをしたことを奇貨として、同顧客らにキャッシュカード発行の希望があるかのように装い、内容虚偽の口座開設申込書を銀行に提出の上、キャッシュカードを騙し取り、同キャッシュカードを使用して、平成13年11月ころから同17年5月ころまでの間、前後数十回にわたり、現金合計約6,000万円をATM機から引き出して窃取し、さらに平成15年12月ころから同17年4月ころまでの間、前後数十回にわたり、ATM機を操作して同銀行の電子計算機に対し、顧客名義の普通預金口座から自らが管理する普通預金口座に振替入金又は振込入金があったとする虚偽の情報を与え、合計約7,400万円相当の財産上不法の利益を得るなどした（12月7日検挙）。

## イ 企業犯罪

平成17年中の企業犯罪については、東証一部上場企業元社員らによるDPF売却名下の詐欺事件等社会的反響の大きい事件を検挙している。

### 【事例1】日本容器包装リサイクル協会被害に係る再商品化委託料名下の多額詐欺事件（宮城）

平成12年5月ころから同14年8月ころまでの間、産業廃棄物処理業者（65）らは、財団法人日本容器包装リサイクル協会との間で締結したプラスチック容器再商品化実施契約に関し、真実は同契約に基づく再商品化の事実も、これを再商品化製品利用業者に販売した事実もないのにもかかわらず、これが

あるかのように装い、内容虚偽の実績報告書等を同協会に提出・行使し、同人らの経営する各社の預金口座に合計約3億9,000万円を振込入金させて騙し取った(1月17日検挙)。

**【事例2】東証一部上場企業元社員らによるDPF売却名下の詐欺事件(警視庁)**

東証一部上場企業元社員(47)らは、共謀の上、東京都条例等により平成15年10月以降、基準値を超えた粒子状物質を排出する特定自動車を都内において運行する際には都知事が指定する粒子状物質減少装置(DPF)の装着が義務付けられることを奇貨として、同14年7月ころ、他のDPFから得られた試験データを申請に係る同装置の試験結果であるなどとして都に提出して虚偽の申請を行い、知事の指定を受けた上、同15年2月ころ、同都交通局において同装置が真正に都知事の指定を受けたものと誤信させて同装置数十台の物品供給契約を締結させ、同年4月ころ、同社名義の当座預金口座に5,700万円を振込入金させて騙し取った(6月14日検挙)。

**【事例3】元NPO法人代表理事らによる外国法人設立出資金名下の多額詐欺事件(警視庁・広島)**

元NPO法人代表理事(62)らは、共謀の上、平成14年9月ころから同15年3月ころまでの間、前後十数回にわたり、被害者数名に対し、「有害排出物の発生を抑制する焼却炉を開発しイギリスに会社を設立している。同社に出資すれば半年後に出資金の倍額の配当があるほか、毎月役員報酬を支払う。」等と嘘を言い、同設立出資金名下に約2,900万円を騙し取った(6月15日検挙)。

**【事例4】元全国農業協同組合連合会県本部長らによる業務上横領事件(秋田)**

元全国農業協同組合連合会県本部長(62)らは、共謀の上、平成16年3月ころから同年5月ころの間、前後約90回にわたり、同会が県内の農業協同組合を介して米の生産者約2,000名及び農事組合法人から売渡委託を受けて業務上預かり保管中の玄米合計7百数十トン(時価合計約2億5,000万円相当)を子会社の用途にあてる目的で、同社を通じて県外の米卸売業者に売却させて費消し、横領した(10月15日検挙)。

**【事例5】元社会福祉法人理事長らによる特別養護老人ホーム等施設・設備整備費補助金をめぐる補助金適正化法違反(不正受交付)事件(岐阜)**

元社会福祉法人理事長らは、共謀の上、特別養護老人ホームを建設するため、岐阜県に対し、国庫補助金を財源の一部とする間接補助金の交付を申請するに当たり、必要とされる自己資金を調達できなかったことから、他から借入れたいわゆる見せ金による残高証明書謄本等を提出して社会福祉法人の設立認可を得た上、同金員を同法人に寄附し同法人が自己資金を充実したかのように装い、同県に対して内容虚偽の建設計画書等を提出するなどして同補助金の交付を申請し、同県知事らをして同補助金の交付決定をさせ、もって偽りその他不正の方法により、平成15年5月ころ及び同16年5月ころの2回にわたり、同補助金合計約4億2,000万円の交付を受けた(11月15日検挙)。



### (3) 通貨偽造犯罪及びその他の知能犯罪

#### ア 通貨偽造犯罪

平成17年の通貨偽造罪等の検挙事件数は80件、検挙人員は199人である。また、平成17年中、届出等により警察が押収した偽造日本銀行券の枚数（発見枚数）は、12,203枚である（図表4 - 4 - (3)）。

図表4 - 4 - (3) 偽造日本銀行券の発見枚数の推移

	平 12	平 13	平 14	平 15	平 16	平 17
一万円券	2,394	3,207	6,815	6,138	8,828(3)	5,714(315)
五千円券	1,671	1,274	754	1,097	1,007(1)	557 (16)
二千円券	2	4	5	99	11	7
千円券	190	3,128	12,637	9,576	16,012(3)	5,925(148)
合 計	4,257	7,613	20,211	16,910	25,858(7)	12,203(479)
5百円貨幣	4,747	3,232	2,092	2,625	1,590	20,034

注：本表は、実務統計による集計数値である。

数値は、警察が届出等により押収したとして、警察庁に報告のあった枚数。平成16年及び平成17年の括弧内の数値は、新券の偽造券の枚数を内数で示している。

#### 【事例1】ATM等に対する偽造新500円硬貨行使等事件（福岡・熊本・警視庁）

平成16年12月ころ、無職の男（46）らは、中国から1万数千枚の偽造新500円硬貨を輸入し、同17年1月ころ、熊本県、福岡県及び東京都の郵便局のATM等で行使した。3月14日までに被疑者2名を偽造通貨行使罪等で検挙し、1名を指名手配した。

#### 【事例2】中国（台湾）人らによる偽造旧1万円券大量密輸等事件（沖縄・広島・岡山）

中国（台湾）人2名及び日本人4名は、共謀の上、4月ころ、数千枚の偽造旧1万円券（聖徳太子肖像）を中国（台湾）から沖縄県那覇空港に輸入した。また、同月ころ、上記日本人4名を含む日本人7名の間で上記輸入に係る偽造旧1万円券約1,000枚を売買し、広島県内の金融機関等で真券に交換するなどのために行使した。5月14日までに被疑者9名を偽造通貨輸入罪等で検挙した。

#### 【事例3】指定暴力団等幹部らによる数都府県に及ぶ大量偽造通貨行使等事件（神奈川）

平成16年11月ころから同17年1月ころまでの間、指定暴力団幹部(27)らは、偽造に係る金額1万円の日本銀行券計2百数十枚を神奈川県等1都1府6県のコンビニエンスストアや酒店等において行使するなどした。6月11日までに被疑者15名を偽造通貨行使罪等で検挙した。

【事例4】北海道神宮における偽造1万円券行使等事件（北海道・宮城・福島・愛知）

1月1日、無職の男(29)らは、共謀の上、北海道神宮授与所等において、偽造に係る金額1万円の日本銀行券数十枚を行使するなどした。また、指定暴力団幹部(28)は、平成16年12月ころ、偽造1万円券数百枚を上記無職の男に交付した。6月22日までに被疑者6名を偽造通貨行使罪等で検挙した。

**イ その他の知能犯罪**

一般知能犯罪については、難病小児等支援のための募金を仮装した詐欺事件等を検挙している。

【事例1】多額債務者による競売物件売買を仮装した立ち退き費用名下の多額詐欺事件（京都）

土木建設会社代表取締役(66)らは、共謀の上、平成14年3月ころ、地方裁判所において競売開始決定となった宗教法人が所有する日本庭園の土地・建物について、被害者2名に対し「同物件に設定されている担保権等を抹消すれば、学校法人が数十億円で同物件を購入すると言っている。抵当権抹消や引っ越し費用などで十数億円必要だ。」等と嘘を言い、さらに同物件の購入を約束した同学校法人理事長名の協定書を偽造した上、同人らに示して、抵当権抹消等に要する費用及び立ち退き料等を負担すれば同物件の売却により利益を得ることができる旨誤信させ、同費用のうち現金1億円の交付を受けて騙し取った（2月26日検挙）。

【事例2】NPO緊急支援グループ主宰者による難病小児等支援名下の募金詐欺等事件（大阪）

平成16年10月ころから同年12月ころまでの間、無職の男(34)は、難病の小児等の支援活動を装って、街頭募金名下に通行人から金員を詐取しようと企て、大阪市内等においてアルバイトとして雇用した情を知らない多数の募金活動員を配置して「難病の子供達を救うために募金に協力をお願いします。」等と連呼させ、不特定多数の通行人から応募金名下に現金合計約2,000万円を騙し取った（7月29日検挙）。

## 5 風俗犯の認知・検挙状況

### (1) 強制わいせつの認知・検挙状況

強制わいせつの認知・検挙状況については、第4 - 1 - (4)「主な性犯罪の状況」を参照。

### (2) 公然わいせつの認知・検挙状況

平成17年の公然わいせつの認知件数は2,420件で、前年に比べ29件（1.2%）増加している。検挙件数は1,741件、検挙人員は1,502人で、前年に比べ、検挙件数が72件（4.3%）、検挙人員が51人（3.5%）それぞれ増加している（図表4 - 5 - (2)）。

図表4 - 5 - (2) 公然わいせつの認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
													件(人)数
認知件数(件)		1,203	1,290	1,250	1,212	1,554	1,771	2,052	2,422	2,391	2,420	29	1.2
うちショーによるもの		48	29	10	12	7	5	22	52	11	10	-1	-9.1
検挙件数(件)		1,193	1,261	1,217	1,163	1,377	1,438	1,573	1,706	1,669	1,741	72	4.3
うちショーによるもの		45	28	10	11	5	4	9	14	8	7	-1	-12.5
検挙人員(人)		1,114	1,143	1,096	1,102	1,179	1,261	1,371	1,456	1,451	1,502	51	3.5
うちショーによるもの		94	95	79	85	15	16	16	29	21	14	-7	-33.3

【事例】ストリップ劇場経営者らによる公然わいせつ及び売春防止法（売春をさせる業）違反事件（佐賀）

ストリップ劇場経営者（61）らは、10月29日、同劇場内において、入店客に対し、ダンサーをして陰部を露出し観覧させるとともに、ダンサーらを自己が管理する場所に居住させ、劇場内の個室において売春させた（11月9日までに検挙）。

### (3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況

平成17年のわいせつ物頒布等の認知件数は693件で、前年に比べ171件（32.8%）増加している。検挙件数は671件、検挙人員は814人で、前年に比べ、検挙件数が169件（33.7%）、検挙人員が224人（38.0%）それぞれ増加している（図表4 - 5 - (3)）。

図表4 - 5 - (3) わいせつ物頒布等の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
													件(人)数
認知件数(件)		621	471	670	597	557	454	392	375	522	693	171	32.8
検挙件数(件)		622	473	669	596	552	451	393	364	502	671	169	33.7
検挙人員(人)		766	673	881	755	742	592	483	432	590	814	224	38.0

【事例1】インターネット利用によるわいせつ図画販売及び組織的犯罪処罰法（犯罪収益等隠匿）違反事件  
（山形）

DVD販売業者(37)らは、1月から5月までの間、インターネットを利用してわいせつ図画であるDVDを販売するとともに、わいせつDVD販売に関し、その代金を他人名義の郵便貯金口座を指定し振込入金させ、犯罪収益の取得につき事実を偽装した（6月29日までに検挙）。

【事例2】ビデオ販売店におけるわいせつ図画販売、販売目的所持事件（警視庁）

会社役員(36)らは、4月から12月までの間、東京都新宿区等において9店舗のビデオ販売店を営し、わいせつDVDを販売するとともに、12月、同販売店及び保管倉庫等において、わいせつDVD約7万5,000点を所持した（12月2日までに検挙）。

(4) 賭博の認知・検挙状況

平成17年の賭博の認知件数は221件で前年に比べ28件（11.2%）減少している。検挙件数は213件、検挙人員は1,771人で、前年に比べ、検挙件数が30件（12.3%）減少し、検挙人員が349人（24.5%）増加している（図表4-5-(4)）。

図表4-5-(4)賭博の認知・検挙状況の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件(人)数	率(%)
認知件数(件)		590	604	515	293	278	290	300	208	249	221	-28	-11.2
うち遊技機使用賭博		261	257	227	107	150	112	95	82	133	117	-16	-12.0
検挙件数(件)		588	604	515	291	278	290	300	202	243	213	-30	-12.3
うち遊技機使用賭博		261	262	227	108	150	113	95	81	127	111	-16	-12.6
検挙人員(人)		4,100	3,253	3,372	2,327	1,905	2,077	1,928	1,725	1,422	1,771	349	24.5
うち遊技機使用賭博		1,847	1,662	1,583	632	989	933	873	638	709	816	107	15.1

【事例1】インターネット利用による賭博場開張図利等事件（大阪）

法人役員(69)らは、平成16年3月から同17年1月までの間、インターネット上に野球賭博のホームページを開設し、不特定多数の客に野球賭博をさせた（7月14日までに検挙）。

【事例2】自称カジノ店における賭博場開張図利及び組織的犯罪処罰法（犯罪収益等収受）違反等事件  
（警視庁）

自称カジノ店経営者(62)らは、5月21日、東京都新宿区所在の雑居ビルの一室において、賭博場を開張し、不特定多数の客にバカラ賭博をさせた。胴元側34人、賭客40人及び同カジノ店から用心棒代等の名目で約1,000万円の犯罪収益を収受した暴力団幹部2人を逮捕するとともに、賭金約950万円、バカラ台7台等を押収した（11月8日までに検挙）。

## 6 その他の特徴的な犯罪

### (1) 薬物常用者による犯罪

薬物常用者（覚せい剤常用者、麻薬常用者、大麻常用者、その他の薬物常用者及び有機溶剤等乱用者をいう。以下同じ。）による刑法犯の検挙人員は、平成8年以降増加傾向にあったが、平成16年は971人で、前年に比べ40人（4.0%）減少した。平成17年は1,103人で前年に比べ132人（13.6%）増加している（図表4-6-(1)-1）。

平成17年に殺人、強盗等の凶悪犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものは90人で、前年に比べ6人（7.1%）増加し、暴行、傷害等の粗暴犯で検挙された者のうち、薬物常用者によるものが205人で、前年に比べ21人（11.4%）増加している（図表4-6-(1)-2）。

図表4-6-(1)-1 薬物常用者による刑法犯検挙人員の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												人数	率(%)
薬物常用者		909	818	879	958	993	985	954	1,011	971	1,103	132	13.6
覚せい剤等常用者		591	598	615	729	774	772	745	802	823	973	150	18.2
有機溶剤等乱用者		318	220	264	229	219	213	209	209	148	130	-18	-12.2

注1：覚せい剤等常用者とは、覚せい剤、麻薬、大麻又はあへん及び向精神薬を常用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

注2：有機溶剤等乱用者とは、トルエン等の有機溶剤又はこれらを含むシンナー、接着剤等を常習的に乱用している者をいい、中毒症状にあるか否かを問わない。

図表4-6-(1)-2 薬物常用者による刑法犯罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												人数	率(%)
検挙人員		909	818	879	958	993	985	954	1,011	971	1,103	132	13.6
凶悪犯		64	60	74	74	85	92	84	69	84	90	6	7.1
殺人		18	6	18	16	20	20	22	12	16	19	3	18.8
強盗		20	31	25	38	40	49	40	38	45	51	6	13.3
放火		11	9	9	9	12	12	10	10	5	8	3	60.0
強姦		15	14	22	11	13	11	12	9	18	12	-6	-33.3
粗暴犯		145	146	141	159	204	210	157	177	184	205	21	11.4
暴行		18	11	18	24	21	19	15	17	24	32	8	33.3
傷害		81	85	75	83	109	111	96	95	94	102	8	8.5
脅迫		7	7	4	8	19	11	11	9	8	6	-2	-25.0
恐喝		39	43	44	44	55	69	35	55	58	65	7	12.1
凶器準備集合		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	-
窃盗犯		484	422	472	531	470	482	497	507	466	526	60	12.9
その他		216	190	192	194	234	201	216	258	237	282	45	19.0

## (2) 銃砲刀剣類等を使用した犯罪

銃器使用事件（注1）の認知件数は年々増加傾向にあり、平成16年は517件で、前年に比べ112件（27.7%）増加したが、平成17年は412件で、前年に比べ105件（20.3%）減少している。このうちけん銃使用の強制わいせつが4件で、前年に比べ2件（100.0%）増加している（図表4-6-(2)-1）。

刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数は平成16年が9,111件で、前年に比べ1,860件（25.7%）増加している。平成17年は7,596件で、前年に比べ1,515件（16.6%）減少している。このうち脅迫が613件で、前年に比べ79件（14.8%）増加している（図表4-6-(2)-2）。

また、平成17年における殺人及び強盗事件で銃器、刀剣類・刃物類を使用した事件の割合は、殺人事件では銃器使用が1.7%、刀剣類・刃物類使用が51.6%、強盗事件では銃器使用が1.9%、刀剣類・刃物類使用が33.3%となっている（図表4-6-(2)-3）。

図表4-6-(2)-1 銃器使用事件の認知件数の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
認知件数		325	321	339	327	350	396	375	405	517	412	-105	-20.3
うちけん銃使用		221	210	221	229	230	264	251	242	289	207	-82	-28.4
殺人		43	42	53	42	43	56	47	51	42	24	-18	-42.9
うちけん銃使用		36	40	49	40	36	50	43	45	36	21	-15	-41.7
強盗		125	114	117	137	140	171	151	126	134	111	-23	-17.2
うちけん銃使用		104	90	92	108	115	142	128	99	126	91	-35	-27.8
強姦		8	11	8	5	8	1	5	8	7	3	-4	-57.1
うちけん銃使用		6	4	5	4	5	1	3	7	6	3	-3	-50.0
暴行		24	17	22	25	21	21	19	39	44	42	-2	-4.5
うちけん銃使用		10	1	6	2	3	1	4	7	12	6	-6	-50.0
傷害		30	26	26	21	26	30	30	29	33	20	-13	-39.4
うちけん銃使用		9	9	7	10	6	3	7	10	7	4	-3	-42.9
脅迫		20	26	18	13	17	13	20	19	26	24	-2	-7.7
うちけん銃使用		13	15	8	12	10	6	15	11	19	18	-1	-5.3
恐喝		19	19	19	18	23	14	18	13	21	14	-7	-33.3
うちけん銃使用		11	11	10	12	16	11	8	7	15	9	-6	-40.0
強制わいせつ		10	5	1	4	4	4	1	4	3	4	1	33.3
うちけん銃使用		5	3	1	3	2	1	0	4	2	4	2	100.0
器物損壊		18	32	45	38	39	48	63	91	141	121	-20	-14.2
うちけん銃使用		9	15	24	18	15	20	26	34	35	23	-12	-34.3
その他		28	29	30	24	29	38	21	25	66	49	-17	-25.8
うちけん銃使用		18	22	19	20	22	29	17	18	31	28	-3	-9.7

注1：「銃器」とは、けん銃、けん銃様のもの、その他の銃砲、その他の銃砲様のものをいう。なお、銃器使用事件のうち、「けん銃使用」とは、けん銃及びけん銃様のものを使用した事件をいい、また、けん銃様のものとは、けん銃らしきものを突き付け、見せるなどして犯行に及ぶ事件において、被害者、参考人等の供述により銃器と推定されるものをいう。

注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは、平成15年までの特定罪種に合わせて計上している。

図表4 - 6 - (2) - 2 刀剣類・刃物類を使用した事件の認知件数の推移

罪種	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
認知件数		3,854	4,217	4,522	4,626	5,337	6,174	6,852	7,251	9,111	7,596	-1,515	-16.6
殺人		689	738	711	651	720	701	732	747	712	718	6	0.8
強盗		764	866	1,189	1,444	1,500	1,997	1,990	2,373	2,366	1,992	-374	-15.8
強姦		213	185	267	232	204	278	271	291	249	237	-12	-4.8
暴行		150	181	213	143	245	242	322	333	405	362	-43	-10.6
傷害		815	879	892	801	949	905	990	995	1,048	967	-81	-7.7
脅迫		162	219	222	215	335	421	437	474	534	613	79	14.8
恐喝		245	273	254	239	225	286	284	282	318	210	-108	-34.0
強制わいせつ		154	174	139	244	322	352	352	388	330	261	-69	-20.9
器物損壊		529	551	506	528	688	816	1,304	1,167	2,736	1,866	-870	-31.8
その他		133	151	129	129	149	176	170	201	413	370	-43	-10.4

注1：刀剣類・刃物類を使用した事件とは、「日本刀」、「その他の刀剣類」、「包丁類」及び「その他の刃物類」を使用したものをいう。

注2：平成16年の犯罪統計から全罪種を対象として犯罪供用物を計上しているが、ここでは平成15年までの特定罪種に合わせて計上している。

図表4 - 6 - (2) - 3 殺人及び強盗における銃砲刀剣類等を使用した事件の認知件数

区分	年次	平16		平17		増減	
		件数	割合(%)	件数	割合(%)	件数	率(%)
殺人		1,419	100.0	1,392	100.0	-27	-1.9
銃器使用		42	3.0	24	1.7	-18	-42.9
刀剣類・刃物類使用		712	50.2	718	51.6	6	0.8
その他・不明		665	46.9	650	46.7	-15	-2.3
強盗		7,295	100.0	5,988	100.0	-1,307	-17.9
銃器使用		134	1.8	111	1.9	-23	-17.2
刀剣類・刃物類使用		2,366	32.4	1,992	33.3	-374	-15.8
その他・不明		4,795	65.7	3,885	64.9	-910	-19.0

注：「その他・不明」には、犯罪供用物が銃器、刀剣類・刃物類以外のもの、不明のもの及び犯罪供用物なしが含まれる。

平成17年に猟銃等（散弾銃、ライフル銃及び空気銃）を使用した事件は9件発生した。

このうち殺人は4件で、いずれも所持許可に係る猟銃等を使用したものであった（図表4 - 6 - (2) - 4）。

図表4 - 6 - (2) - 4 猟銃等使用事件の発生状況

区分	年次	平16	平17	増減	
				件数	率(%)
発生件数(件)		14	9	-5	-35.7
殺人(未遂を含む。)		3	4	1	33.3
強盗		0	0	0	0.0
その他		11	5	-6	-54.5

注1：事件の発生件数については、警察庁に報告のあったもの。

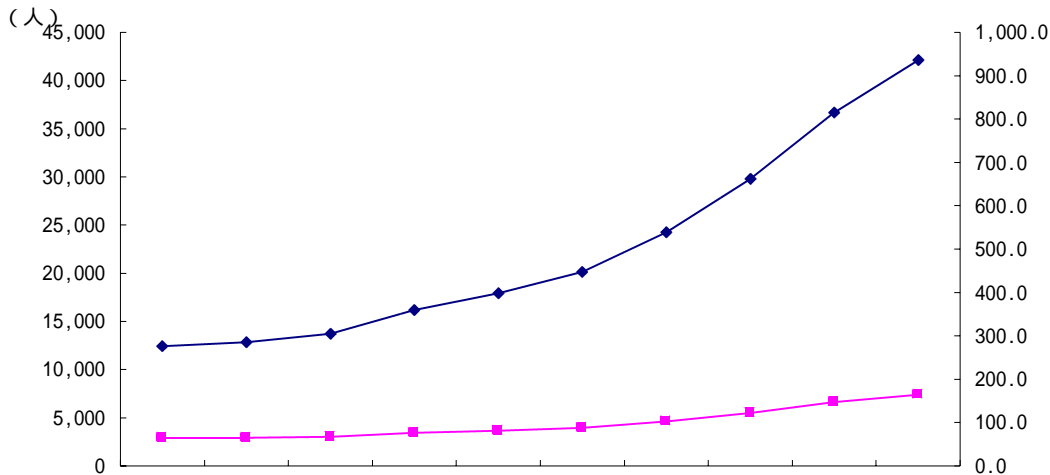
注2：数値は、刑法犯（暴力行為等処罰ニ関スル法律違反を含む。）のみを計上している。

### (3) 高齢者による犯罪

平成17年における高齢者（65歳以上）に係る刑法犯の検挙人員は4万2,108人で、前年に比べ5,412人（14.7%）増加した。中でも、増加人員の多いものとして窃盗、占有離脱物横領がある。

平成17年における窃盗の検挙人員は2万7,333人で、前年に比べ3,129人（12.9%）増加しており、窃盗全体の85.1%を占める万引きの検挙人員は2万3,252人で、前年に比べ2,585人（12.5%）増加した（図表4-6-(3)）。

図表4-6-(3) 高齢者の刑法犯検挙人員の推移



区分	年次	平8年	平9年	平10年	平11年	平12年	平13年	平14年	平15年	平16年	平17年	増減	
												人員(人)	率(%)
刑法犯総数		12,423	12,818	13,739	16,156	17,942	20,113	24,241	29,797	36,696	42,108	5,412	14.7
凶悪犯		125	153	195	192	234	242	272	316	321	308	-13	-4.0
うち)殺人		79	94	113	106	118	119	140	144	164	138	-26	-15.9
うち)強盗		13	26	41	40	56	57	61	83	84	95	11	13.1
粗暴犯		306	389	453	445	762	973	1,245	1,480	1,714	2,142	428	25.0
うち)暴行		76	101	97	115	204	275	348	488	598	880	282	47.2
うち)傷害		196	234	279	281	474	601	769	834	965	1,074	109	11.3
窃盗犯		8,968	9,517	10,272	11,910	13,352	14,619	17,377	20,218	24,204	27,333	3,129	12.9
うち)万引き		7,241	7,921	8,651	10,077	11,651	12,840	15,174	17,456	20,667	23,252	2,585	12.5
知能犯		396	444	460	489	548	586	702	742	826	921	95	11.5
うち)詐欺		269	298	331	353	387	441	509	581	640	705	65	10.2
風俗犯		214	176	174	149	195	186	248	247	258	313	55	21.3
その他の刑法犯		2,414	2,139	2,185	2,971	2,851	3,507	4,397	6,794	9,373	11,091	1,718	18.3
うち)占有離脱物横領		2,225	1,874	1,956	2,729	2,464	2,968	3,761	5,928	8,215	9,730	1,515	18.4
うち)器物損壊等		39	64	59	70	107	148	182	210	260	315	55	21.2
犯罪者率		65.3	64.5	67.0	76.3	81.4	87.9	102.6	122.6	147.5	164.5	17.0	11.5

注1：犯罪者率とは、人口10万人当たりの検挙人員をいう。

注2：犯罪者率算出に用いた人口は、総務省統計局の推計人口及び国勢調査人口（各年10月1日現在）である。



(4) カードの窃盗被害の状況等とカード使用犯罪

ア カードの窃盗被害の状況

平成17年における窃盗事件で被害品にキャッシュカードが含まれているものの認知件数は13万2,128件、同じくクレジットカードは8万4,125件であり、手口別に見ると、キャッシュカードは車上ねらいが4万624件(30.7%)、置引きが2万6,247件(19.9%)、ひったくりが1万4,289件(10.8%)となっており、クレジットカードは車上ねらいが2万5,640件(30.5%)、置引きが1万5,512件(18.4%)、ひったくりが9,910件(11.8%)となっている(図表4-6-(4)-1)。

図表4-6-(4)-1 カードの窃盗被害の状況(平成17年)

犯罪類型	キャッシュカード		クレジットカード		消費者金融カード		プリペイドカード	
	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合	件数	窃盗総数に対する割合
窃盗	132,128	100.0	84,125	100.0	2,430	100.0	7,957	100.0
侵入窃盗	13,701	10.4	7,996	9.5	195	8.0	883	11.1
住宅対象侵入窃盗	11,114	8.4	6,745	8.0	159	6.5	460	5.8
その他	2,587	2.0	1,251	1.5	36	1.5	423	5.3
非侵入窃盗	117,605	89.0	75,464	89.7	2,209	90.9	6,947	87.3
ひったくり	14,289	10.8	9,910	11.8	117	4.8	442	5.6
すり	8,446	6.4	6,835	8.1	81	3.3	413	5.2
置引き	26,247	19.9	15,512	18.4	434	17.9	1,133	14.2
車上ねらい	40,624	30.7	25,640	30.5	1,078	44.4	3,312	41.6
仮睡者ねらい	5,334	4.0	3,577	4.3	132	5.4	112	1.4
脱衣場ねらい	3,751	2.8	2,539	3.0	51	2.1	176	2.2
その他	18,914	14.3	11,451	13.6	316	13.0	1,359	17.1
乗り物盗	822	0.6	665	0.8	26	1.1	127	1.6

注1:「住宅対象侵入窃盗」は、空き巣、忍込み及び居空きとした。

注2:統計上、1件の被害に対し、3品まで被害品を計上できる。

## イ カード偽造犯罪の認知・検挙状況

カード偽造犯罪（刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪）の平成17年における認知件数は563件で、前年に比べ57件（9.2%）減少している。検挙件数は502件で、前年に比べ53件（9.5%）、検挙人員は279人で、前年に比べ105人（27.3%）ともに減少している（図表4-6-(4)-2）。

図表4-6-(4)-2 カード偽造犯罪の認知・検挙状況

区分	年次	平16	平17	増減	
				件(人)数	率(%)
総計	認知件数	620	563	-57	-9.2
	検挙件数	555	502	-53	-9.5
	検挙人員	384	279	-105	-27.3
支払用カード電磁的記録不正作出 (第163条の2第1項)	認知件数	17	30	13	76.5
	検挙件数	1	3	2	200.0
	検挙人員	1	3	2	200.0
不正作出支払用カード電磁的記録供用 (第163条の2第2項)	認知件数	227	272	45	19.8
	検挙件数	203	249	46	22.7
	検挙人員	54	50	-4	-7.4
不正電磁的記録カードの譲り渡し、 貸渡し、輸入(第163条の2第3 項)	認知件数	27	8	-19	-70.4
	検挙件数	24	7	-17	-70.8
	検挙人員	27	8	-19	-70.4
不正電磁的記録カード所持 (第163条の3)	認知件数	312	216	-96	-30.8
	検挙件数	299	214	-85	-28.4
	検挙人員	260	181	-79	-30.4
支払用カード電磁的記録不正取得 (第163条の4第1項前段)	認知件数	4	10	6	150.0
	検挙件数	1	3	2	200.0
	検挙人員	0	3	3	-
支払用カード電磁的記録不正提供 (第163条の4第1項後段)	認知件数	0	1	1	-
	検挙件数	0	0	0	-
	検挙人員	1	1	0	0.0
支払用カード不正記録情報保管 (第163条の4第2項)	認知件数	18	12	-6	-33.3
	検挙件数	18	12	-6	-33.3
	検挙人員	32	15	-17	-53.1
支払用カード不正作出器械、原料準備 (第163条の4第3項)	認知件数	15	14	-1	-6.7
	検挙件数	9	14	5	55.6
	検挙人員	9	18	9	100.0

注：刑法に規定する支払用カード電磁的記録に関する罪の保護対象となるカードとは、クレジットカードその他の代金又は料金の支払用のカード及び預貯金の引出用のカードである。代金又は料金の支払用カードとは、クレジットカード（代金後払い）プリペイドカード（前払い）デビットカード（預貯金の即時振替払い）等、商品の購入等の取引の対価を現金で支払うのに代え、所定のシステムにより代金を支払うために用いるカードをいう。

## ウ カードを使用した窃盗及び詐欺の状況

平成17年における不正に取得し、又は不正に作成したキャッシュカードやクレジットカード等のカードを利用して、ＡＴＭ（ＣＤ含む。）から現金を窃取する犯罪（払出盗）の認知件数は5,008件で、現金被害総額は28億6,766万9千円となっている（図表４－６－（４）－３）。

なお、ＡＴＭから現金を払出す際に必要となる暗証番号を推知する手口として、自動車運転免許証等の生年月日等から暗証番号を類推するもの、ＡＴＭを利用する者の背後から暗証番号をのぞき見るもの、警察官等を装い暗証番号を聞き出すものや、最近では隠しカメラを設置して暗証番号を盗み取るものがあり、また、電磁的記録の情報を取得する手口として、ゴルフ場・銭湯等の貴重品ボックスから不正に入手したカードをスキミングする方法が見られる。

また、平成17年におけるキャッシュカードやクレジットカード等のカードを使用した詐欺事件の認知件数は1,568件で、被害金総額は1億8,237万1千円となっている（図表４－６－（４）－４）。

図表４－６－（４）－３ カードを使用した窃盗（払出盗）の状況（平成17年）

区分	種別	計	キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード
認知件数		5,008	3,668	658	682
現金被害総額（千円）		2,867,669	2,343,881	259,298	264,490

図表４－６－（４）－４ カードを使用した詐欺の状況（平成17年）

区分	種別	計	キャッシュカード	クレジットカード	消費者金融カード	プリペイドカード
認知件数		1,568	4	1,389	81	94
被害金総額（千円）		182,371	1,000	148,204	29,582	3,585

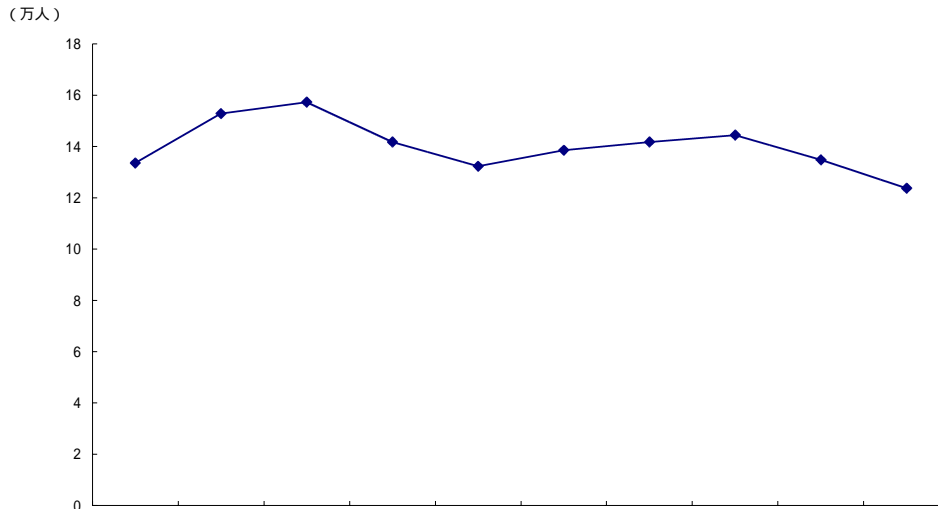
## 7 少年による犯罪

### (1) 少年の刑法犯検挙状況

平成17年における少年の刑法犯検挙人員は12万3,715人で、前年に比べ11,132人(8.3%)減少している。

罪種別で見ると、凶悪犯は143人(9.0%)、粗暴犯は981人(8.6%)、窃盗犯は5,490人(7.2%)、知能犯は80人(6.5%)減少している。人口比は、前年に比べ0.9ポイント減少した(図表4-7-(1))。

図表4-7-(1) 少年の刑法犯検挙人員の推移



区分	年次											増減数	増減率
	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17			
刑法犯総数	133,581	152,825	157,385	141,721	132,336	138,654	141,775	144,404	134,847	123,715	-11,132	-8.3	
凶悪犯	1,496	2,263	2,197	2,237	2,120	2,127	1,986	2,212	1,584	1,441	-143	-9.0	
殺人	96	74	115	110	105	99	80	93	57	67	10	17.5	
強盗	1,068	1,675	1,538	1,611	1,638	1,670	1,586	1,771	1,273	1,146	-127	-10.0	
放火	111	113	89	90	81	103	90	106	103	86	-17	-16.5	
強姦	221	401	455	426	296	255	230	242	151	142	-9	-6.0	
粗暴犯	15,568	17,981	17,321	15,930	19,691	18,416	15,954	14,356	11,439	10,458	-981	-8.6	
凶器準備集合	248	356	160	138	126	408	250	340	239	68	-171	-71.5	
暴行	1,699	2,095	1,650	1,418	2,009	1,915	1,794	1,714	1,608	1,532	-76	-4.7	
傷害	7,869	9,092	9,306	8,596	10,687	10,102	9,140	8,110	6,408	6,103	-305	-4.8	
脅迫	40	77	78	68	157	149	154	127	111	139	28	25.2	
恐喝	5,712	6,361	6,127	5,710	6,712	5,842	4,616	4,065	3,073	2,616	-457	-14.9	
窃盗犯	85,306	97,836	99,768	86,561	77,903	81,260	83,300	81,512	76,637	71,147	-5,490	-7.2	
うちひったくり	1,331	1,568	1,871	2,420	2,179	2,190	2,166	1,957	1,352	1,025	-327	-24.2	
うち万引き	36,264	48,313	50,944	39,429	36,779	38,804	40,511	38,648	38,865	36,450	-2,415	-6.2	
知能犯	532	628	715	561	584	526	632	784	1,240	1,160	-80	-6.5	
うち詐欺	437	555	641	492	510	449	559	672	1,077	1,030	-47	-4.4	
風俗犯	458	486	434	409	429	410	347	425	344	383	39	11.3	
うち強制わいせつ	330	353	301	314	344	321	256	331	253	282	29	11.5	
その他の刑法犯	30,221	33,631	36,950	36,023	31,609	35,915	39,556	45,115	43,603	39,126	-4,477	-10.3	
うち占有離脱物横領	27,217	30,349	33,212	32,072	27,110	30,965	34,263	38,547	37,194	32,326	-4,868	-13.1	
人口比	13.7	16.1	16.9	15.6	14.9	16.0	16.7	17.5	16.8	15.9	-0.9	-	

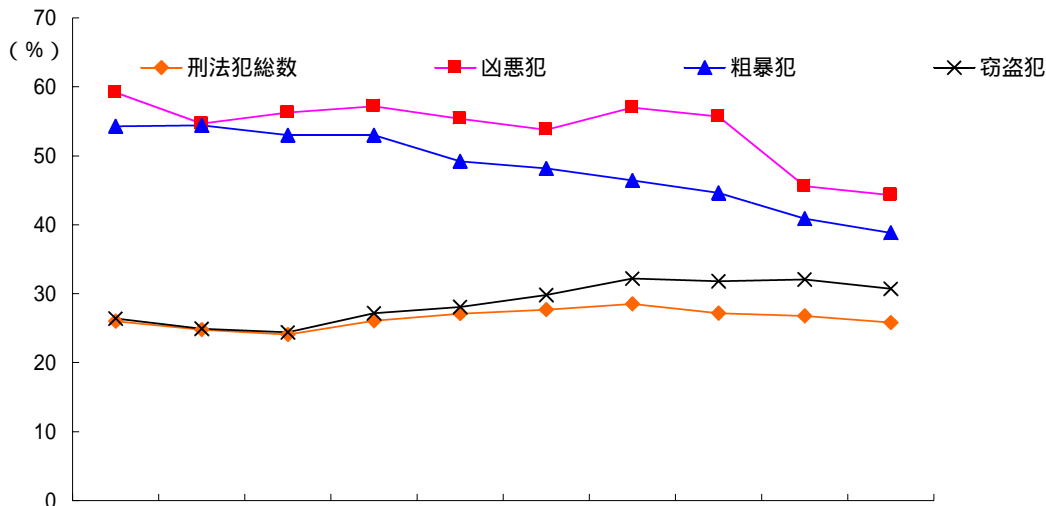
人口比は、厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく同年齢層人口1,000人当たりの検挙人員をいう。

## (2) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

平成17年における少年の刑法犯検挙件数に占める共犯率は25.8%で、前年に比べ1.0ポイント減少している。

共犯率の高い凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯については、凶悪犯は1.3ポイント、粗暴犯は2.1ポイント、窃盗犯は1.4ポイントと、それぞれ低下した(図表4-7-(2))。

図表4-7-(2) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の推移



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減数	増減率
刑法犯総数		184,693	199,254	199,430	176,875	137,333	136,602	139,942	140,045	130,779	116,909	-13,870	-10.6
	うち共犯 (共犯率%)	48,100 26.0	49,458 24.8	47,981 24.1	46,194 26.1	37,233 27.1	37,781 27.7	39,901 28.5	38,104 27.2	34,994 26.8	30,190 25.8	-4,804	-1.0
凶悪犯		828	1234	1072	1052	986	1039	1091	1146	895	763	-132	-14.7
	うち共犯 (共犯率%)	490 59.2	675 54.7	604 56.3	602 57.2	546 55.4	559 53.8	622 57.0	638 55.7	408 45.6	338 44.3	-70	-1.3
粗暴犯		8,978	9,984	9,656	9,399	11,423	10,347	9,114	8,498	7,129	6,638	-491	-6.9
	うち共犯 (共犯率%)	4,878 54.3	5,432 54.4	5,113 53.0	4,986 53.0	5,625 49.2	4,987 48.2	4,227 46.4	3,786 44.6	2,914 40.9	2,574 38.8	-340	-2.1
窃盗犯		145,625	155,500	153,702	132,467	95,027	91,261	92,153	87,379	80,862	72,145	-8,717	-10.8
	うち共犯 (共犯率%)	38,470 26.4	38,788 24.9	37,507 24.4	36,025 27.2	26,745 28.1	27,222 29.8	29,682 32.2	27,786 31.8	25,996 32.1	22,120 30.7	-3,876	-1.4

注1：共犯率とは、刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合をいい、少年と成人との共犯事件は含まれていない。

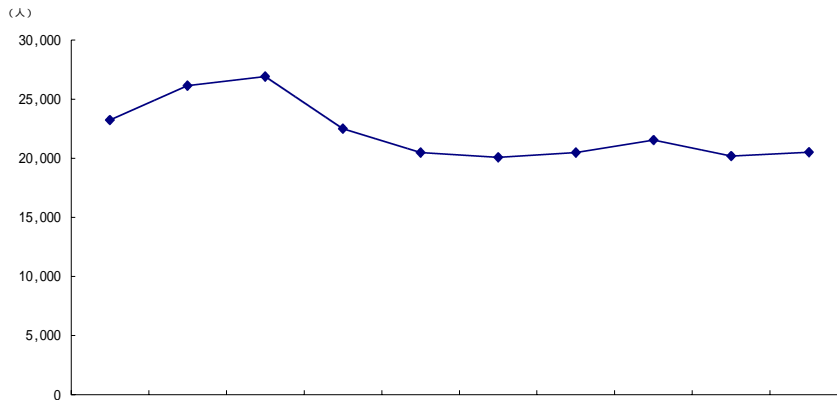
注2：グラフは、共犯率を示したものである。

### (3) 触法少年の補導状況

平成17年の触法少年（刑法）の補導人員は2万519人で、前年に比べ328人(1.6%)増加している。

罪種別で見ると、凶悪犯は17人（7.8%）、窃盗犯は374人（2.7%）減少したが、粗暴犯は323人（24.8%）、知能犯は11人（23.9%）増加している。人口比は、前年に比べ0.1ポイント増加した（図表4-7-(3)）。

図表4-7-(3) 触法少年（刑法）の補導状況



区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減数	増減率
刑法犯総数		23,242	26,125	26,905	22,503	20,477	20,067	20,477	21,539	20,191	20,519	328	1.6
凶悪犯		172	167	182	173	174	165	144	212	219	202	-17	-7.8
殺人		1	1	2	1	0	10	3	3	5	6	1	20.0
強盗		14	26	28	33	30	25	25	29	28	26	-2	-7.1
放火		151	132	147	127	129	125	102	166	179	159	-20	-11.2
強姦		6	8	5	12	15	5	14	14	7	11	4	57.1
粗暴犯		1,275	1,525	1,455	1,507	1,869	1,696	1,613	1,467	1,301	1,624	323	24.8
凶器準備集合		9	5	2	12	21	0	0	22	1	2	1	100.0
暴行		232	208	197	234	359	312	310	295	354	437	83	23.4
傷害		447	535	608	648	815	824	817	707	588	799	211	35.9
脅迫		12	4	8	8	21	18	13	34	30	26	-4	-13.3
恐喝		575	773	640	605	653	542	473	409	328	360	32	9.8
窃盗		18,189	20,745	21,493	16,968	14,840	14,128	14,257	14,448	13,710	13,336	-374	-2.7
うちひったくり		162	204	236	221	211	174	156	145	110	93	-17	-15.5
うち万引き		10,947	13,562	14,674	10,424	8,983	8,524	8,673	8,468	8,353	7,961	-392	-4.7
知能犯		34	24	32	21	30	37	31	39	46	57	11	23.9
うち詐欺		29	21	32	18	25	33	31	28	29	32	3	10.3
風俗犯		89	108	95	81	95	110	131	132	116	116	0	0.0
うち強制わいせつ		79	98	93	77	90	105	125	121	108	109	1	0.9
その他の刑法犯		3,483	3,556	3,648	3,753	3,469	3,931	4,301	5,241	4,799	5,184	385	8.0
うち占有離脱物横領		2,442	2,509	2,628	2,773	2,287	2,682	2,825	3,592	3,184	3,403	219	6.9
人口比		4.0	4.6	4.9	4.2	4.0	4.0	4.2	4.4	4.2	4.3	0.1	-

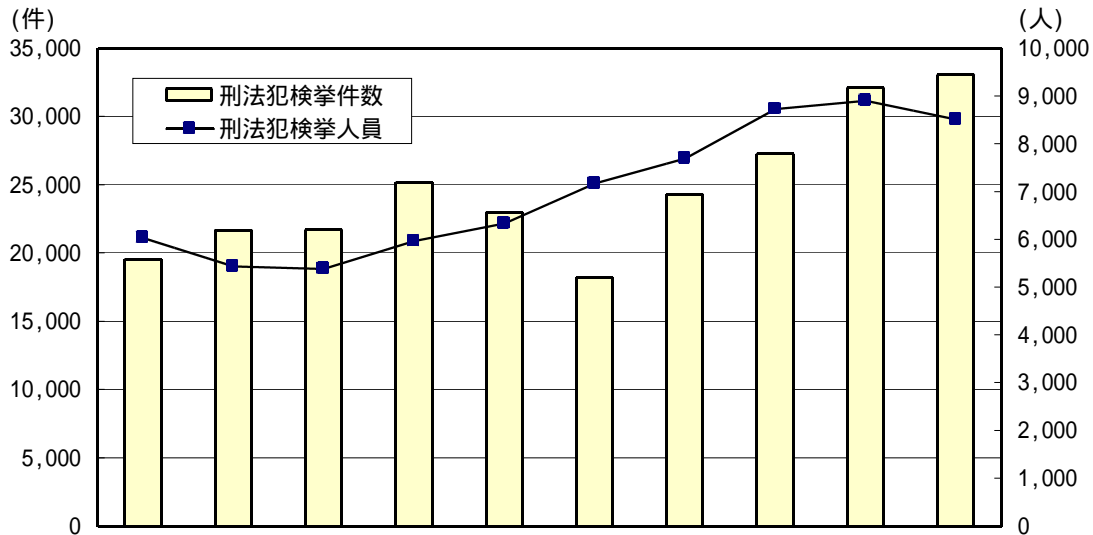
人口比は、厚生労働省国立社会保障・人口問題研究所の推計人口に基づく同年齢層人口1,000人当たりの検挙人員をいう。

## 8 来日外国人による犯罪

### (1) 刑法犯の検挙状況

平成17年における来日外国人に係る刑法犯の検挙件数、検挙人員はそれぞれ33,037件、8,505人で、年間の検挙件数、検挙人員が過去最多を記録した前年に比べ、件数で950件（3.0%）増加し、人員で393人（4.4%）減少した（図表4-8-(1)）。

図表4-8-(1) 来日外国人の刑法犯検挙状況の推移



	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	増減率
刑法犯検挙件数	19,513	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	27,258	32,087	33,037	950	3.0%
刑法犯検挙人員	6,026	5,435	5,382	5,963	6,329	7,168	7,690	8,725	8,898	8,505	-393	-4.4%

### (2) 国籍・地域別刑法犯検挙状況

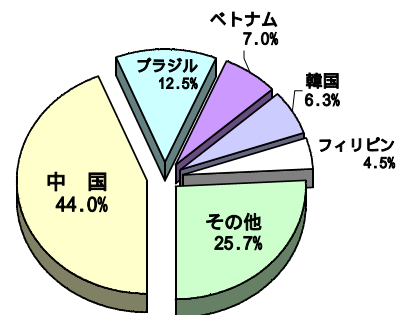
平成17年における刑法犯の国籍・地域別検挙状況をみると、検挙件数では中国（台湾、香港等を除く。以下同じ。）が11,366件（構成比34.4%）、次いでブラジルが6,811件（同20.6%）、トルコが6,779件（同20.5%）となっており、検挙人員では中国が3,739人（同44.0%）、次いでブラジルが1,064人（同12.5%）、ベトナムが592人（同7.0%）となっている（図表4-8-(2)-1、2）。

図表4-8-(2)-1 国籍・地域別検挙状況

	刑法犯検挙件数	
	件数	構成比
総数	33,037	100%
中国	11,366	34.4%
ブラジル	6,811	20.6%
トルコ	6,779	20.5%
ロシア	1,768	5.4%
韓国	1,466	4.4%
その他	4,847	14.7%

図表4-8-(2)-2 検挙人員構成比

	刑法犯検挙人員	
	人員	構成比
総数	8,505	100%
中国	3,739	44.0%
ブラジル	1,064	12.5%
ベトナム	592	7.0%
韓国	536	6.3%
フィリピン	386	4.5%
その他	2,188	25.7%



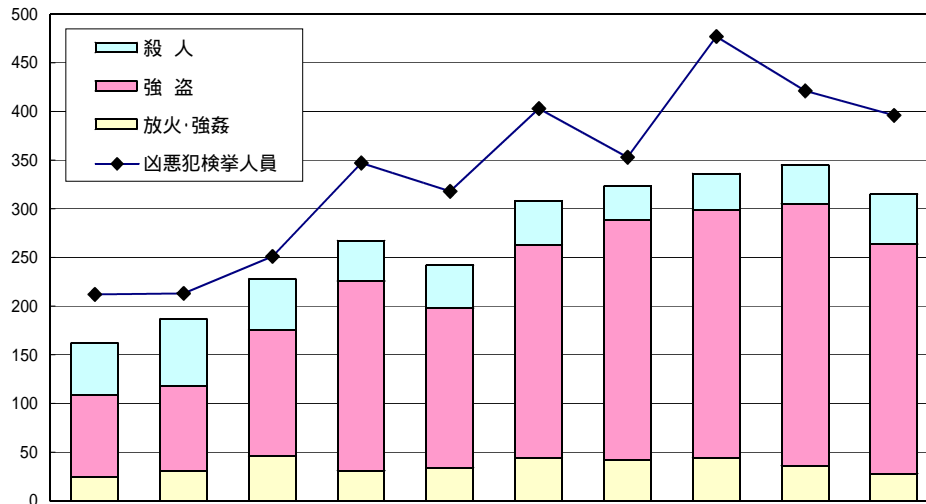
「中国」に「台湾」、「香港等」は含まない。

### (3) 凶悪犯の検挙状況

平成17年における凶悪犯（殺人、強盗、放火及び強姦）の検挙件数、検挙人員は、315件、396人で、前年と比べ、件数で30件、人員で25人減少した。

凶悪犯の大半を占める強盗の検挙件数、検挙人員は、236件、319人で、件数で33件、人員で19人減少した（図表4-8-(3)）。

図表4-8-(3) 来日外国人の凶悪犯検挙状況の推移



		平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	増減率
凶悪犯検挙	件数	162	187	228	267	242	308	323	336	345	315	-30	-8.7%
	人員	212	213	251	347	318	403	353	477	421	396	-25	-5.9%
殺人	件数	53	69	52	41	44	45	34	37	40	51	11	27.5%
	人員	73	83	62	50	54	59	41	61	52	52	±0	0.0%
強盗	件数	84	87	130	195	164	219	247	255	269	236	-33	-12.3%
	人員	114	103	160	278	236	309	280	369	338	319	-19	-5.6%
放火	件数	7	14	3	12	6	10	7	13	10	9	-1	-10.0%
	人員	7	11	3	1	6	11	7	13	9	4	-5	-55.6%
強姦	件数	18	17	43	19	28	34	35	31	26	19	-7	-26.9%
	人員	18	16	26	18	22	24	25	34	22	21	-1	-4.5%

#### 【事例1】 イラン人による刃物使用殺人未遂事件（警視庁）

9月7日、港区六本木のビル内の地下通路において、外国人が、大型ナイフ様のものによってイラン人を殺害しようとした事件で、10月17日までに、逃走中のイラン人2人を逮捕した。

#### 【事例2】 中国人グループによる資産家対象の緊縛強盗事件（警視庁、山梨、千葉、神奈川）

平成15年12月以降、首都圏を中心に資産家を対象とした緊縛強盗事件が相次ぎ発生した事件で、9月までに、中国人と日本人の犯罪グループ19人を逮捕するとともに、緊縛強盗事件7件（被害総額約1億1,200万円）を解明した。

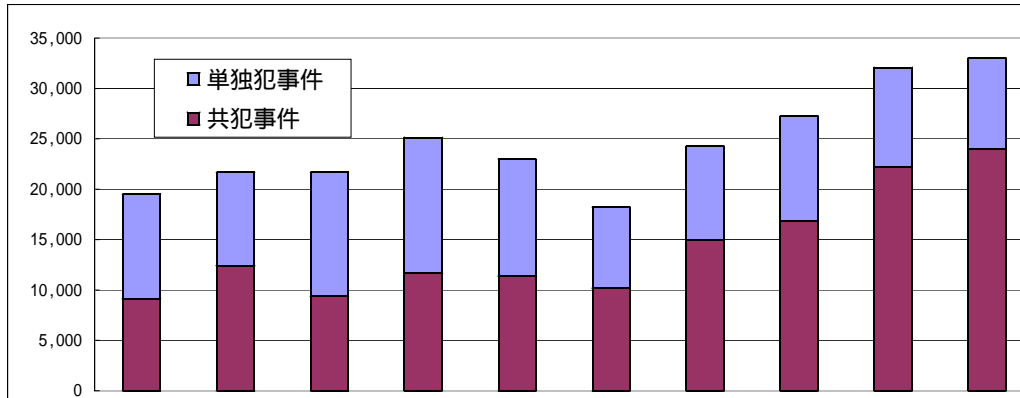


#### (4) 刑法犯検挙件数に占める共犯事件の状況

平成17年における刑法犯検挙件数に占める共犯事件の割合は、72.6%で、前年に比べ、3.6ポイント増加しており、日本人の検挙件数に占める共犯事件の割合（16.9%）と比べても、一層の組織化の進展がうかがわれる。

罪種別に見ると、窃盗犯（81.1%）、強盗（63.6%）での共犯率が高く、特に住宅対象の侵入窃盗（88.0%）の共犯率が高い（図表4-8-(4)-1、2）。

図表4-8-(4)-1 来日外国人の刑法犯検挙件数に占める「共犯事件」の推移



	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減数	増減率
刑法犯検挙件数	19,513	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199	24,258	27,258	32,087	33,037	950	3.0%
単独犯事件	10,373	9,262	12,340	13,476	11,584	8,022	9,339	10,438	9,936	9,048	-888	-8.9%
共犯事件	9,140	12,408	9,349	11,659	11,363	10,177	14,919	16,820	22,151	23,989	1,838	8.3%
構成比	46.8%	57.3%	43.1%	46.4%	49.5%	55.9%	61.5%	61.7%	69.0%	72.6%	+3.6ポイント	

図表4-8-(4)-2 刑法犯検挙件数 罪種等別・共犯形態（来日外国人・日本人）

	合計	来日外国人				日本人						
		単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上	単独犯	共犯	2人組	3人組	4人組以上	
刑法犯	33,037	9,048	23,989	5,561	11,154	7,274	589,497	489,762	99,735	66,347	18,142	15,246
	構成比	27.4%	<b>72.6%</b>	16.8%	33.8%	22.0%	構成比	83.1%	16.9%	11.3%	3.1%	2.6%
凶悪犯	315	155	160	55	39	66	6,642	5,421	1,221	596	288	337
	構成比	49.2%	<b>50.8%</b>	17.5%	12.4%	21.0%	構成比	81.6%	18.4%	9.0%	4.3%	5.1%
うち強盗	236	86	150	48	38	64	2,914	1,925	989	463	232	294
	構成比	36.4%	<b>63.6%</b>	20.3%	16.1%	27.1%	構成比	66.1%	33.9%	15.9%	8.0%	10.1%
窃盗犯	28,525	5,405	23,120	5,223	10,917	6,980	381,266	306,238	75,028	52,430	13,365	9,233
	構成比	18.9%	<b>81.1%</b>	18.3%	38.3%	24.5%	構成比	80.3%	19.7%	13.8%	3.5%	2.4%
うち侵入盗	9,160	1,184	7,976	831	3,255	3,890	92,587	75,573	17,014	10,439	3,792	2,783
	構成比	12.9%	<b>87.1%</b>	9.1%	35.5%	42.5%	構成比	81.6%	18.4%	11.3%	4.1%	3.0%
うち住宅対象	8,149	976	7,173	698	3,091	3,384	50,550	43,001	7,549	4,842	1,448	1,259
	構成比	12.0%	<b>88.0%</b>	8.6%	37.9%	41.5%	構成比	85.1%	14.9%	9.6%	2.9%	2.5%
その他	4,197	3,488	709	283	198	228	201,589	178,103	23,486	13,321	4,489	5,676
	構成比	83.1%	16.9%	6.7%	4.7%	5.4%	構成比	88.3%	11.7%	6.6%	2.2%	2.8%

注：来日外国人と日本人との共犯事件は、主たる被疑者の国籍等によりそれぞれ計上。

(5) 不法滞在者・正規滞在者の検挙状況

平成17年における刑法犯検挙人員に占める不法滞在者の割合は15.3%と前年に比べ、0.4ポイント減少した。凶悪犯全体でみると396人中142人で35.9%、そのうち強盗では319人中121人で37.9%、侵入強盗では170人中88人で51.8%となっているほか、偽造等の知能犯（46.1%）で高い割合を示している。また、窃盗犯全体で見ると4,344人中720人で16.6%と低い割合であるが、侵入窃盗では、524人中296人で56.5%と不法滞在者の割合が依然として高くなっている（図表4-8-(5)）。

図表4-8-(5) 来日外国人 罪種等別・在留資格別 検挙人員の比較

		刑 法 犯												
		凶悪犯	殺人	強盗	うち 侵入強盗	放火	強姦	粗暴犯	窃盗犯	うち侵入盗	知能犯	風俗犯	その他	
平成17年	検挙人員	8,505	396	52	319	170	4	21	774	4,344	524	525	133	2,333
	正規滞在	7,201	254	35	198	82	3	18	704	3,624	228	283	116	2,220
	構成比	84.7%	64.1%	67.3%	62.1%	48.2%	75.0%	85.7%	91.0%	83.4%	43.5%	53.9%	87.2%	95.2%
	興行	76	2		2	1			5	54		2		13
	短期滞在	593	14	3	11	4			31	338	41	31	20	159
	留学	999	13	1	10	4		2	61	416	22	42	12	455
	就学	930	17	3	12	4		2	53	462	29	43	13	342
	研修	503	8	1	7	4			15	325	4	15	5	135
	定住者	1,933	140	8	123	51	2	7	259	975	69	44	21	494
	その他	2,167	60	19	33	14	1	7	280	1,054	63	106	45	622
	不法滞在	1,304	142	17	121	88	1	3	70	720	296	242	17	113
	構成比	15.3%	35.9%	32.7%	37.9%	51.8%	25.0%	14.3%	9.0%	16.6%	56.5%	46.1%	12.8%	4.8%
	不法入国・上陸	264	26	4	20	20		2	10	163	105	50	1	14
	不法在留	397	49	6	42	34	1		23	215	108	77	6	27
	不法残留	643	67	7	59	34		1	37	342	83	115	10	72
	興行	8								4		2		2
	短期滞在	262	21	3	17	11		1	22	135	33	48	2	34
留学	91	8		8	7			3	50	11	15	3	12	
就学	125	16		16	10			3	72	25	22	2	10	
研修	55	10	1	9	3			2	28	1	8		7	
その他	102	12	3	9	3			7	53	13	20	3	7	
平成16年	検挙人員	8,898	421	52	338	201	9	22	591	4,717	565	564	139	2,466
	正規滞在	7,505	261	31	205	107	7	18	526	3,932	248	333	98	2,355
	構成比	84.3%	62.0%	59.6%	60.7%	53.2%	77.8%	81.8%	89.0%	83.4%	43.9%	59.0%	70.5%	95.5%
	興行	74	2		1				3	54				14
	短期滞在	617	15	3	10	3		2	33	349	29	34	13	173
	留学	1,083	30	3	25	18		2	34	473	33	53	4	489
	就学	1,097	36	4	32	19			40	553	26	55	7	406
	研修	515	5	2	3	2			10	369	4	7	1	123
	定住者	2,035	122	10	97	52	6	9	190	1,077	90	51	26	569
	その他	2,084	51	9	37	13	1	4	216	1,057	66	133	46	581
	不法滞在	1,393	160	21	133	94	2	4	65	785	317	231	41	111
	構成比	15.7%	38.0%	40.4%	39.3%	46.8%	22.2%	18.2%	11.0%	16.6%	56.1%	41.0%	29.5%	4.5%
	不法入国・上陸	350	43	1	40	35	1	1	7	228	147	58	2	12
	不法在留	345	30	7	23	13			11	205	88	63	8	28
	不法残留	698	87	13	70	46	1	3	47	352	82	110	31	71
	興行	17							3	12	3	1		1
	短期滞在	334	40	11	28	13		1	24	171	38	48	26	25
留学	74	10	1	9	7			4	35	10	6	2	17	
就学	129	23		23	20			8	65	14	21		12	
研修	42							1	26	2	10		5	
その他	102	14	1	10	6	1	2	7	43	15	24	2	12	

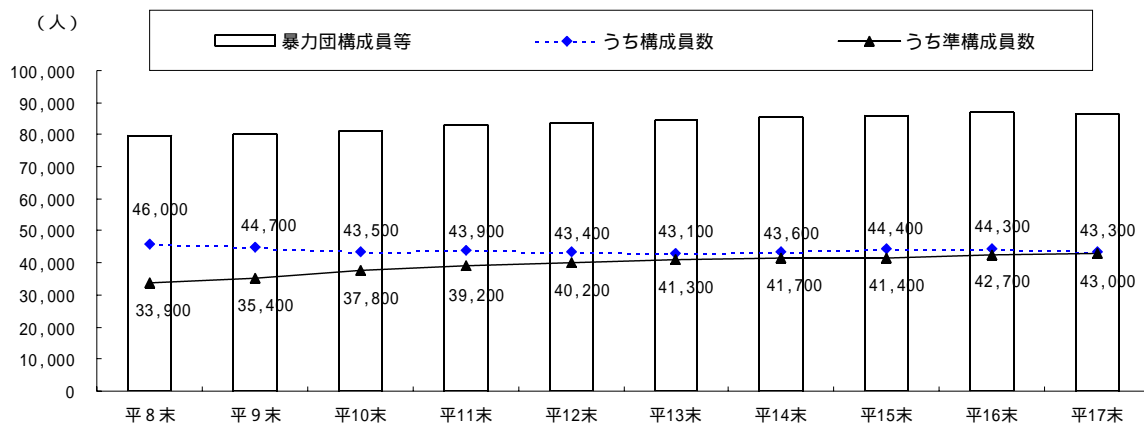
## 9 暴力団による犯罪

### (1) 暴力団構成員等の状況

暴力団構成員及び準構成員（以下「暴力団構成員等」という。）の合計数は、平成8年以降微増傾向にあったが、平成17年末現在約8万6,300人で、10年ぶりに減少した（前年比約7,00人（0.8%）減少）。うち暴力団構成員数は約4万3,300人で、前年に比べ1,000人減少している一方、準構成員数は4万3,000人で、約300人増加している（図表4-9-(1)）。

また、山口組、住吉会、稲川会の3団体の暴力団構成員等は約6万3,000人（全暴力団構成員等の73.0%）であり、主要3団体による寡占化が進んでいる。

図表4-9-(1) 暴力団構成員等の推移



### (2) 暴力団構成員等の刑法犯の検挙状況

平成17年中における暴力団構成員等の刑法犯の検挙件数は4万1,077件で、前年同期に比べ2,133件（5.5%）増加している（図表4-9-(2)-1）。

暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員は1万8,629人で、前年同期に比べ843人（4.3%）減少し、このうち構成員の検挙人員は6,043人で、前年同期に比べ418人（6.5%）減少している（図表4-9-(2)-2、3）。

また、暴力団構成員等の刑法犯の検挙人員を罪種別を見ると、傷害が3,972人（構成比21.3%）と最も多く、次いで窃盗が3,198人（同17.2%）、恐喝が2,619人（同14.1%）、詐欺が1,712人（同9.2%）の順になっている（図表4-9-(2)-2）。

図表 4 - 9 - (2) - 1 暴力団構成員等の罪種別検挙件数の推移

罪種	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
刑	殺人	129	181	168	175	172	170	159	184	173	146	-27	-15.6
	強盗	312	276	348	381	457	352	382	483	413	413	0	0.0
	放火	39	48	64	86	61	46	51	51	38	34	-4	-10.5
	強姦	154	160	142	193	162	119	146	127	99	110	11	11.1
	凶器準備集合	3	7	8	12	8	11	8	6	11	6	-5	-45.5
	暴行	974	994	1,046	876	996	997	1,040	1,050	1,074	1,166	92	8.6
	傷害	3,371	3,331	3,497	3,294	3,667	3,490	3,560	3,466	3,208	3,125	-83	-2.6
	脅迫	407	444	402	402	482	480	477	477	423	468	45	10.6
	恐喝	1,982	2,102	2,122	1,901	2,265	2,209	2,221	2,313	1,999	1,921	-78	-3.9
	窃盗	24,371	24,838	28,931	27,087	18,910	16,218	19,607	23,444	23,640	25,930	2,290	9.7
	詐欺	6,356	6,665	6,245	6,913	4,642	3,758	3,835	3,643	3,148	3,362	214	6.8
法	横領	172	159	160	102	108	144	116	126	105	99	-6	-5.7
	文書偽造	1,561	2,051	1,548	1,539	1,086	924	951	906	698	457	-241	-34.5
	賭博	373	397	350	222	176	228	238	133	136	138	2	1.5
	わいせつ物頒布等	102	79	108	86	81	73	40	59	102	135	33	32.4
	公務執行妨害	289	335	365	370	442	444	492	547	556	536	-20	-3.6
	うち競売等妨害	39	52	47	49	43	30	37	34	40	22	-18	-45.0
	犯人威迫	43	66	58	47	43	49	72	58	57	44	-13	-22.8
	証人威迫	5	6	4	3	7	11	5	7	3	11	8	266.7
	逮捕監禁	193	214	185	178	213	205	225	204	205	181	-24	-11.7
	信用毀損・威力業務妨害	39	37	50	50	63	74	47	62	52	53	1	1.9
	器物損壊	577	566	746	598	679	648	789	771	876	966	90	10.3
暴力行為	75	53	52	40	38	38	27	36	70	49	-21	-30.0	
その他刑法犯	885	754	884	817	775	943	1,326	1,422	1,858	1,705	-153	-8.2	
刑法犯合計	42,412	43,763	47,483	45,372	35,533	31,631	35,814	39,575	38,944	41,077	2,133	5.5	

図表 4 - 9 - (2) - 2 暴力団構成員等の罪種別検挙人員の推移

罪種	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
刑	殺人	210	265	257	305	305	294	299	313	310	258	-52	-16.8
	強盗	385	442	546	638	596	651	652	755	727	696	-31	-4.3
	放火	47	56	49	58	60	48	77	61	61	42	-19	-31.1
	強姦	189	195	194	185	201	163	180	132	137	114	-23	-16.8
	凶器準備集合	23	76	32	43	61	79	109	136	92	39	-53	-57.6
	暴行	1,168	1,280	1,285	1,087	1,185	1,222	1,231	1,273	1,233	1,297	64	5.2
	傷害	4,581	4,589	4,882	4,618	5,021	4,838	4,904	4,651	4,319	3,972	-347	-8.0
	脅迫	523	557	534	516	591	613	606	551	487	543	56	11.5
	恐喝	2,666	2,638	3,044	2,889	3,290	3,070	2,954	3,092	2,808	2,619	-189	-6.7
	窃盗	2,262	2,488	3,062	3,001	2,623	2,757	2,917	3,396	3,265	3,198	-67	-2.1
	詐欺	1,508	1,572	1,618	1,880	1,556	1,723	1,695	1,701	1,821	1,712	-109	-6.0
法	横領	160	133	136	104	113	107	117	101	108	86	-22	-20.4
	文書偽造	248	321	353	378	355	293	462	357	323	243	-80	-24.8
	賭博	2,482	1,728	1,881	1,575	1,164	1,238	1,374	780	837	845	8	1.0
	わいせつ物頒布等	113	105	142	134	126	112	62	80	128	202	74	57.8
	公務執行妨害	343	364	382	436	466	462	493	543	569	525	-44	-7.7
	うち競売等妨害	122	116	93	130	110	78	80	83	98	57	-41	-41.8
	犯人威迫	62	83	86	71	69	60	99	82	69	61	-8	-11.6
	証人威迫	4	10	8	3	11	15	6	13	3	16	13	433.3
	逮捕監禁	352	410	364	362	412	474	471	444	414	336	-78	-18.8
	信用毀損・威力業務妨害	62	66	102	90	119	108	86	82	102	88	-14	-13.7
	器物損壊	500	462	517	499	573	515	641	618	637	642	5	0.8
暴力行為	135	107	74	66	78	46	59	73	126	71	-55	-43.7	
その他刑法犯	756	593	659	673	693	762	911	1,031	896	967	71	7.9	
刑法犯合計	18,779	18,540	20,207	19,611	19,668	19,650	20,405	20,265	19,472	18,629	-843	-4.3	

図表 4 - 9 - (2) - 3 暴力団構成員の罪種別検挙人員の推移

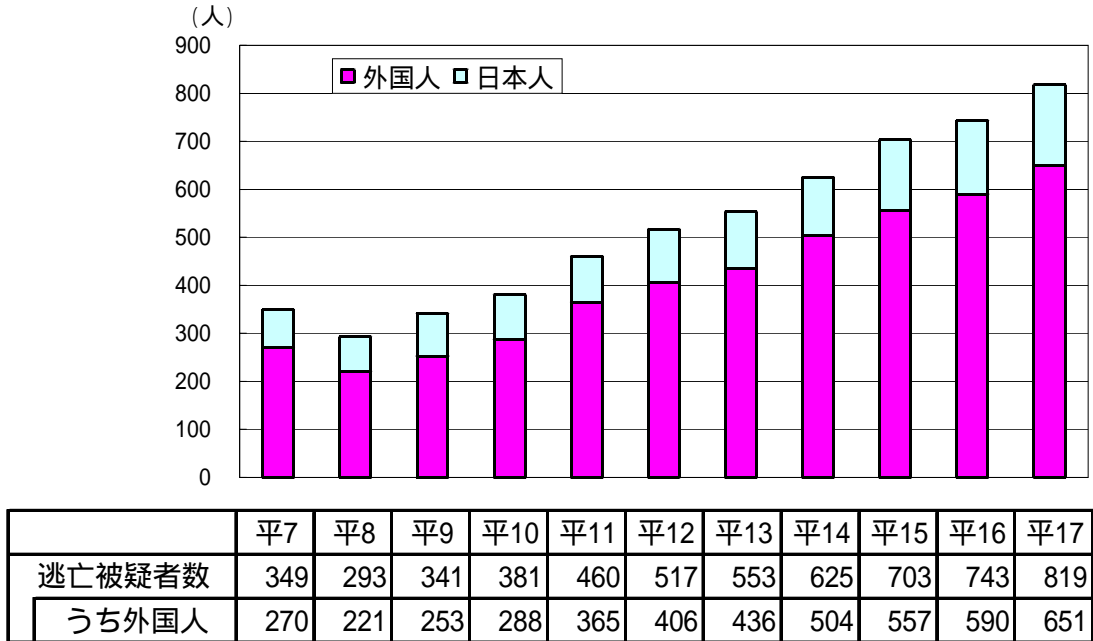
罪種	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
刑	殺人	109	120	114	150	152	152	151	169	156	108	-48	-30.8
	強盗	123	154	139	187	148	172	177	182	189	177	-12	-6.3
	放火	14	16	9	16	20	9	18	23	16	12	-4	-25.0
	強姦	49	51	33	33	33	42	46	40	33	24	-9	-27.3
	凶器準備集合	5	20	10	17	43	14	10	34	16	26	10	62.5
	暴行	526	602	567	496	520	464	466	499	446	446	0	0.0
	傷害	1,905	1,822	1,850	1,751	1,839	1,741	1,803	1,742	1,539	1,436	-103	-6.7
	脅迫	300	302	284	302	314	299	310	269	236	275	39	16.5
	恐喝	1,354	1,283	1,368	1,367	1,488	1,398	1,325	1,462	1,358	1,232	-126	-9.3
	窃盗	663	630	730	690	638	665	688	837	739	658	-81	-11.0
	詐欺	538	491	540	527	436	502	465	469	483	485	2	0.4
法	横領	71	32	42	26	37	32	29	30	31	24	-7	-22.6
	文書偽造	106	126	129	142	115	118	136	126	111	100	-11	-9.9
	賭博	484	364	238	188	131	118	117	72	90	97	7	7.8
	わいせつ物頒布等	38	28	19	23	21	10	8	9	8	15	7	87.5
	公務執行妨害	135	129	121	159	149	138	144	149	180	135	-45	-25.0
	うち競売等妨害	54	50	31	56	47	22	32	31	36	25	-11	-30.6
	犯人威迫	32	45	40	40	32	22	52	43	33	27	-6	-18.2
	証人威迫	3	8	6	1	9	11	2	8	3	10	7	233.3
	逮捕監禁	241	219	176	185	187	281	222	210	182	165	-17	-9.3
	信用毀損・威力業務妨害	39	35	47	43	50	45	37	47	36	27	-9	-25.0
	器物損壊	226	184	201	179	205	176	244	250	198	209	11	5.6
暴力行為	74	60	52	27	39	26	34	43	75	31	-44	-58.7	
その他刑法犯	327	189	250	245	232	274	306	377	303	324	21	6.9	
刑法犯合計	7,362	6,910	6,965	6,794	6,838	6,709	6,790	7,090	6,461	6,043	-418	-6.5	

## 10 被疑者の国外逃亡

### (1) 国外逃亡被疑者の推移

平成17年における国外逃亡被疑者は819人で、前年に比べ、76人（10.2%）増加しており、うち外国人被疑者は651人で、前年に比べ61人（10.3%）増加している（図表4 - 10 - (1)）。

図表4 - 10 - (1) 国外逃亡被疑者の推移



### (2) 罪種等別の国外逃亡被疑者数

平成17年における国外逃亡被疑者819人のうち、刑法犯被疑者648人を包括罪種別にみると、窃盗犯が234人で最も多く、次いで凶悪犯が215人、知能犯が127人の順となっている。

特別法犯被疑者171人では、入管法が63人で最も多く、次いで薬物事犯が53人となっている（図表4 - 10 - (2)）。

図表4 - 10 - (2) 包括罪種等別国外逃亡被疑者数

		人 員		構成比(%)	
			うち外国人		うち外国人
刑 法 犯	凶悪犯	215	193	26.3%	29.6%
	粗暴犯	33	23	4.0%	3.5%
	窃盗犯	234	213	28.6%	32.7%
	知能犯	127	65	15.5%	10.0%
	風俗犯	12	7	1.5%	1.1%
	その他	27	19	3.3%	2.9%
	小計	648	520	79.1%	79.9%
特 別 法 犯	薬物事犯	53	35	6.5%	5.4%
	銃刀法	5	1	0.6%	0.2%
	入管法	63	61	7.7%	9.4%
	その他	50	34	6.1%	5.2%
	小計	171	131	20.9%	20.1%
合 計		819	651	-	-

注：1人の被疑者につき数罪ある場合には、重い罪で計上した。

**(3) 国籍・地域別の国外逃亡被疑者数**

平成17年における国外逃亡被疑者を国籍・地域別にみると、中国人が281人（34.3%）、次いで日本人が168人（20.5%）となっている（図表4-10-(3)）。

図表4-10-(3) 国籍・地域別 国外逃亡被疑者数

		平16		平17	
		人員	構成比(%)	人員	構成比(%)
日	本	153	20.6	168	20.5
アジア州	韓国・朝鮮	47	6.3	56	6.8
	フィリピン	4	0.5	9	1.1
	中国	283	38.1	281	34.3
	中国(台湾)	13	1.7	14	1.7
	中国(香港等)	12	1.6	12	1.5
	イラン	14	1.9	22	2.7
	タイ	13	1.7	18	2.2
	その他	66	8.9	81	9.9
	小計	452	60.8	493	60.2
ヨーロッパ州		18	2.4	17	2.1
南北アメリカ州	アメリカ	6	0.8	6	0.7
	ペルー	11	1.5	14	1.7
	ブラジル	71	9.6	86	10.5
	その他	27	3.6	29	3.5
	小計	115	15.5	135	16.5
オセアニア・アフリカ州		4	0.5	6	0.7
無国籍・国籍不明		1	0.1		
合計		743	-	819	-

**(4) 推定逃亡先国・地域別の国外逃亡被疑者数**

平成17年における国外逃亡被疑者を推定逃亡先国・地域別にみると、中国が174人（21.2%）と最も多く、次いでブラジルが76人（9.3%）、韓国が48人（5.9%）、フィリピンが37人（4.5%）となっている。

**(5) 国外逃亡被疑者の検挙状況**

平成17年中に検挙した国外逃亡被疑者は59人（うち外国人被疑者32人）である。

また、国内の国際海・空港等において国外逃亡寸前に検挙した被疑者は17人（うち外国人被疑者15人）となっている。

## 11 女性・子ども・高齢者を被害者とする犯罪

### (1) 女性を被害者とする犯罪

#### ア 女性の犯罪被害の状況

平成17年における刑法犯に係る女性の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は64万3,788件で、刑法犯被害件数に占める女性の割合は34.4%となっている（図表4-11-(1)-1）。

女性の被害件数を主な罪種別に見ると、窃盗が50万8,046件（女性の被害全体の78.9%）で最も多く、次いで詐欺が2万3,643件（同3.7%）、暴行が9,761件（同1.5%）、傷害が9,555件（同1.5%）、強制わいせつが8,534件（同1.3%）などとなっている。

また、強姦、強制わいせつ及び公然わいせつのほか、女性が被害者となる割合の高い罪種について見ると、略取・誘拐（82.7%）、逮捕・監禁（47.2%）、脅迫（40.4%）及び強盗（39.4%）などが全刑法犯被害件数に占める女性の割合（34.4%）より高くなっている（図表4-11-(1)-2）。

図表4-11-(1)-1 女性の刑法犯被害件数

区分	年次	平16	平17	増減	
				件数	率（%）
全刑法犯	被害件数	2,137,322	1,871,293	-266,029	-12.4
	女性	735,849	643,788	-92,061	-12.5
	（割合%）	34.4	34.4	0.0	-
	男性	1,401,473	1,227,505	-173,968	-12.4
	（割合%）	65.6	65.6	0.0	-

図表4 - 11 - (1) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平16	平17	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,414	1,386	-28	-2.0
	うち女性	530	530	0	0.0
	(割合%)	37.5	38.2	0.7	-
強盗	被害件数	6,795	5,606	-1,189	-17.5
	うち女性	2,671	2,207	-464	-17.4
	(割合%)	39.3	39.4	0.1	-
強姦	被害件数	2,176	2,076	-100	-4.6
	うち女性	2,176	2,076	-100	-4.6
	(割合%)	100.0	100.0	0.0	-
暴行	被害件数	23,691	25,815	2,124	9.0
	うち女性	9,379	9,761	382	4.1
	(割合%)	39.6	37.8	-1.8	-
傷害	被害件数	35,937	34,484	-1,453	-4.0
	うち女性	9,518	9,555	37	0.4
	(割合%)	26.5	27.7	1.2	-
脅迫	被害件数	2,436	2,399	-37	-1.5
	うち女性	1,018	969	-49	-4.8
	(割合%)	41.8	40.4	-1.4	-
恐喝	被害件数	14,169	10,730	-3,439	-24.3
	うち女性	1,978	1,542	-436	-22.0
	(割合%)	14.0	14.4	0.4	-
窃盗	被害件数	1,698,380	1,459,925	-238,455	-14.0
	うち女性	591,092	508,046	-83,046	-14.0
	(割合%)	34.8	34.8	0.0	-
詐欺	被害件数	64,656	66,597	1,941	3.0
	うち女性	25,706	23,643	-2,063	-8.0
	(割合%)	39.8	35.5	-4.3	-
強制わいせつ	被害件数	9,184	8,751	-433	-4.7
	うち女性	8,917	8,534	-383	-4.3
	(割合%)	97.1	97.5	0.4	-
公然わいせつ	被害件数	981	1,045	64	6.5
	うち女性	937	979	42	4.5
	(割合%)	95.5	93.7	-1.8	-
逮捕・監禁	被害件数	639	576	-63	-9.9
	うち女性	320	272	-48	-15.0
	(割合%)	50.1	47.2	-2.9	-
略取・誘拐	被害件数	320	277	-43	-13.4
	うち女性	255	229	-26	-10.2
	(割合%)	79.7	82.7	3.0	-

## イ 年齢層別の犯罪被害の状況

平成17年における女性の被害件数を年齢層別に人口10万人当たり（以下「人口当たり」という。）で見ると、20歳代が1,939.74件で最も多く、次いで30歳代の1,175.01件、20歳未満の1,065.80件、40歳代の1,006.06件、50歳代の842.42件、60歳代の665.03件、70歳以上の397.33件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い年齢層について人口当たりで見ると、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、恐喝、窃盗及び逮捕・監禁では20歳代が高く、強制わいせつ、公然わいせつ及び略取・誘拐では20歳未満が高くなっている。更に詐欺では30歳代、殺人では70歳以上が高くなっている（図表4 - 11 - (1) - 3）。



図表4-11-(1)-3 年齢層別の犯罪被害件数(平成17年)

年齢層	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数		1,871,293	1,386	5,606	2,076	25,815	34,484	2,399	10,730	1,459,925	66,597	8,751	1,045	576	277	251,626
	人口当	1,464.73	1.08	4.39	1.62	20.21	26.99	1.88	8.40	1,142.74	52.13	6.85	0.82	0.45	0.22	196.96
女性計		643,788	530	2,207	2,076	9,761	9,555	969	1,542	508,046	23,643	8,534	979	272	229	75,445
	人口当	984.14	0.81	3.37	3.17	14.92	14.61	1.48	2.36	776.64	36.14	13.05	1.50	0.42	0.35	115.33
20歳未満		125,296	66	254	875	3,344	1,510	182	416	103,884	717	4,803	538	85	176	8,446
	人口当	1,065.80	0.56	2.16	7.44	28.45	12.84	1.55	3.54	883.67	6.10	40.86	4.58	0.72	1.50	71.84
20歳代		151,940	62	687	912	3,024	2,510	244	438	118,917	3,969	2,820	225	103	36	17,993
	人口当	1,939.74	0.79	8.77	11.64	38.61	32.04	3.12	5.59	1,518.15	50.67	36.00	2.87	1.31	0.46	229.71
30歳代		108,171	76	355	182	1,652	2,272	213	198	82,091	4,902	656	117	52	12	15,393
	人口当	1,175.01	0.83	3.86	1.98	17.94	24.68	2.31	2.15	891.71	53.25	7.13	1.27	0.56	0.13	167.21
40歳代		79,479	67	211	53	826	1,336	141	195	60,838	3,829	170	59	15	2	11,737
	人口当	1,006.06	0.85	2.67	0.67	10.46	16.91	1.78	2.47	770.10	48.47	2.15	0.75	0.19	0.03	148.57
50歳代		80,738	88	288	34	495	1,027	108	164	63,677	3,835	51	24	7	1	10,939
	人口当	842.42	0.92	3.01	0.35	5.16	10.72	1.13	1.71	664.41	40.01	0.53	0.25	0.07	0.01	114.14
60歳代		54,958	64	190	16	281	548	54	80	44,151	3,072	23	11	7	1	6,460
	人口当	665.03	0.77	2.30	0.19	3.40	6.63	0.65	0.97	534.26	37.17	0.28	0.13	0.08	0.01	78.17
70歳以上		43,206	107	222	4	139	352	27	51	34,488	3,319	11	5	3	1	4,477
	人口当	397.33	0.98	2.04	0.04	1.28	3.24	0.25	0.47	317.16	30.52	0.10	0.05	0.03	0.01	41.17
男性計		1,227,505	856	3,399	0	16,054	24,929	1,430	9,188	951,879	42,954	217	66	304	48	176,181
	人口当	1,969.02	1.37	5.45	-	25.75	39.99	2.29	14.74	1,526.89	68.90	0.35	0.11	0.49	0.08	282.61

注1:「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2:人口は、総務省統計局の推定人口(平成17年10月1日現在)による。

## ウ 場所別被害の発生状況

平成17年において罪種別に女性が被害に遭う割合の高い場所について見ると、強盗、暴行、傷害、恐喝、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕・監禁及び略取・誘拐については道路上、強姦については共同住宅、殺人、脅迫及び詐欺については一戸建住宅、窃盗については駐車(輪)場が高くなっている(図表4-11-(1)-4)。

図表4-11-(1)-4 罪種別・場所別被害発生件数(平成17年)

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害総数	女	530	2,207	2,076	9,761	9,555	969	1,542	508,046	23,643	8,534	979	272	229	75,445
	男	856	3,399	0	16,054	24,929	1,430	9,188	951,879	42,954	217	66	304	48	176,181
一戸建住宅	女	203	204	166	527	1,331	275	299	47,654	10,637	368	8	23	11	11,737
	男	200	139	0	408	1,125	279	410	115,186	16,093	9	0	12	5	148.57
共同住宅	女	167	375	779	1,328	2,186	249	239	57,421	4,982	1,774	45	71	18	15,393
	男	230	131	0	662	1,514	199	564	91,586	8,341	34	1	53	7	167.21
学校(幼稚園)	女	1	1	16	71	251	29	15	8,444	36	93	8	0	4	8,446
	男	3	7	0	287	881	49	157	12,438	98	5	1	0	2	71.84
道路上	女	47	866	243	4,797	2,362	131	306	99,503	682	3,472	548	89	143	229.71
	男	167	1,383	0	6,934	9,808	270	3,663	130,980	2,414	38	28	101	15	229.71
駐車(輪)場	女	12	167	179	532	618	37	141	174,625	274	643	106	24	14	17,993
	男	46	275	0	1,125	2,355	75	1,340	360,036	560	7	9	39	7	17,993
都市公園	女	6	10	49	122	172	11	39	2,590	7	242	45	2	8	17,993
	男	22	69	0	351	796	19	417	4,386	34	17	6	4	3	17,993
空き地	女	6	6	61	21	45	4	5	2,245	5	76	9	1	1	1,006.06
	男	5	11	0	63	179	8	75	7,888	10	3	2	0	0	1,006.06
列車内	女	0	0	0	175	72	3	3	3,882	5	491	38	1	0	1,006.06
	男	0	1	0	364	223	7	24	5,882	10	6	2	0	0	1,006.06
駅・鉄道施設	女	0	6	7	321	137	7	21	4,064	60	114	15	0	2	1,006.06
	男	7	10	0	1,131	784	10	164	5,578	133	5	0	2	0	1,006.06
その他	女	88	572	576	1,867	2,381	223	474	107,618	6,955	1,261	157	61	28	75,445
	男	176	1,373	-	4,729	7,264	514	2,374	217,919	15,261	93	17	93	9	75,445

注:「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

## エ 配偶者による暴力事件

配偶者による暴力事件（殺人、傷害及び暴行）（注）の検挙件数は、平成12年以降増加傾向にあったが、平成16年は1,694件で前年に比べて24件（1.4%）減少し、夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力事件についても1,554件で前年に比べて20件（1.3%）減少した。平成17年は1,939件で、前年に比べ245件（14.5%）増加し、夫による妻（内縁関係にある者を含む。）への暴力事件についても1,749件で前年に比べ195件（12.5%）増加している（図表4-11-(1)-5）。

注：配偶者による暴力事件には、いわゆる配偶者からの暴力事件だけでなく、例えば、殺人では嘱託殺人、保険金目的殺人等、多様なものが含まれる。

図表4-11-(1)-5 配偶者による殺人、傷害及び暴行事件の検挙件数の推移

区分	年次	平8	平9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
												件数	率(%)
殺人(件)		1,118	1,142	1,222	1,098	1,219	1,157	1,238	1,258	1,224	1,224	0	0.0
	うち配偶者	155	155	189	170	197	191	197	215	206	218	12	5.8
	うち夫によるもの	112	101	129	105	134	116	120	133	127	126	-1	-0.8
傷害		15,020	16,060	15,840	15,589	21,616	22,348	23,199	23,222	22,716	22,962	246	1.1
	うち配偶者	325	365	295	403	888	1,097	1,250	1,269	1,198	1,342	144	12.0
	うち夫によるもの	309	340	273	375	838	1,065	1,197	1,211	1,143	1,264	121	10.6
	うち傷害致死	179	176	176	191	168	191	180	173	135	138	3	2.2
	うち配偶者	22	16	13	19	17	14	18	18	14	20	6	42.9
	うち夫によるもの	22	13	12	17	17	10	15	16	12	17	5	41.7
暴行		4,965	5,262	5,016	4,730	7,151	7,740	8,223	9,341	10,525	13,519	2,994	28.4
	うち配偶者	44	32	35	36	127	156	219	234	290	379	89	30.7
	うち夫によるもの	43	31	33	36	124	152	211	230	284	359	75	26.4
合計		21,103	22,464	22,078	21,417	29,986	31,245	32,660	33,821	34,465	37,705	3,240	9.4
	うち配偶者	524	552	519	609	1,212	1,444	1,666	1,718	1,694	1,939	245	14.5
	うち夫によるもの	464	472	435	516	1,096	1,333	1,528	1,574	1,554	1,749	195	12.5

注1：解決事件を除く。

注2：配偶者には内縁関係にある者を含む。

### 【事例】 少女らに対する連続監禁致傷事件（警視庁）

平成16年3月8日、保護観察中であった男（24）は、インターネットで知り合った少女に暴行・脅迫を加え、以後約3ヶ月にわたって、ホテルや自宅マンションに監禁し、傷害を負わせた。男は、同様の手口で他の少女ら3人に対して監禁等を繰り返していた（5月11日検挙）。

## (2) 子どもを被害者とする犯罪

### ア 子ども犯罪被害の状況

平成17年における刑法犯に係る子ども（少年、20歳未満の者をいう。以下同じ。）の犯罪被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は、32万6,042件（全体の17.4%）となっている（図表4-11-(2)-1）。

子どもの被害件数を主な罪種別に見ると、窃盗が27万5,732件（子どもの被害全体の84.6%）で最も多く、次いで傷害が6,522件（同2.0%）、暴行が6,329件（同1.9%）、強制わいせつが4,970件（同1.5%）、恐喝が4,871件（同1.5%）などとなっている。

また、子どもが被害者となる割合の高い罪種について見ると、略取・誘拐（77.6%）、強制わいせつ（56.8%）、公然わいせつ（53.5%）、恐喝（45.4%）及び強姦（42.1%）などが全刑法犯被害件数に占める子どもの割合（17.4%）より高くなっている（図表4-11-(2)-2）。

図表4-11-(2)-1 子ども刑法犯被害件数

区分	年次	平16	平17	増減	
				件数	率（%）
全刑法犯	被害件数	2,137,322	1,871,293	-266,029	-12.4
	少年	356,426	326,042	-30,384	-8.5
	（割合%）	16.7	17.4	0.7	-
	成人	1,780,896	1,545,251	-235,645	-13.2
	（割合%）	83.3	82.6	-0.7	-

図表4 - 11 - (2) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平16	平17	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,414	1,386	-28	-2.0
	うち少年	181	151	-30	-16.6
	(割合%)	12.8	10.9	-1.9	-
強盗	被害件数	6,795	5,606	-1,189	-17.5
	うち少年	762	635	-127	-16.7
	(割合%)	11.2	11.3	0.1	-
強姦	被害件数	2,176	2,076	-100	-4.6
	うち少年	986	875	-111	-11.3
	(割合%)	45.3	42.1	-3.2	-
暴行	被害件数	23,691	25,815	2,124	9.0
	うち少年	6,378	6,329	-49	-0.8
	(割合%)	26.9	24.5	-2.4	-
傷害	被害件数	35,937	34,484	-1,453	-4.0
	うち少年	6,943	6,522	-421	-6.1
	(割合%)	19.3	18.9	-0.4	-
脅迫	被害件数	2,436	2,399	-37	-1.5
	うち少年	369	317	-52	-14.1
	(割合%)	15.1	13.2	-1.9	-
恐喝	被害件数	14,169	10,730	-3,439	-24.3
	うち少年	6,798	4,871	-1,927	-28.3
	(割合%)	48.0	45.4	-2.6	-
窃盗	被害件数	1,698,380	1,459,925	-238,455	-14.0
	うち少年	302,233	275,732	-26,501	-8.8
	(割合%)	17.8	18.9	1.1	-
詐欺	被害件数	64,656	66,597	1,941	3.0
	うち少年	1,333	1,703	370	27.8
	(割合%)	2.1	2.6	0.5	-
強制わいせつ	被害件数	9,184	8,751	-433	-4.7
	うち少年	5,505	4,970	-535	-9.7
	(割合%)	59.9	56.8	-3.1	-
公然わいせつ	被害件数	981	1,045	64	6.5
	うち少年	548	559	11	2.0
	(割合%)	55.9	53.5	-2.4	-
逮捕・監禁	被害件数	639	576	-63	-9.9
	うち少年	155	140	-15	-9.7
	(割合%)	24.3	24.3	0.0	-
略取・誘拐	被害件数	320	277	-43	-13.4
	うち少年	252	215	-37	-14.7
	(割合%)	78.8	77.6	-1.2	-

## イ 就学別の犯罪被害の状況

平成17年における子どもの被害件数を就学別に人口当たりで見ると、その他少年（未就学児童、小学生及び中学生を除いた少年をいう。以下同じ。）が3,453.52件で最も多く、次いで中学生の1,873.36件、小学生の340.41件、未就学児童の8.27件の順となっている。

また、罪種別に被害に遭う割合の高い層を就学別の人口当たりで見ると、殺人では未就学児童が高く、強盗、強姦、暴行、傷害、脅迫、窃盗、詐欺、強制わいせつ、公然わいせつ及び逮捕・監禁ではその他少年が高くなっている。更に恐喝では中学生、略取・誘拐では中学生及びその他少年が高くなっている（図表4-11-(2)-3）。

図表4-11-(2)-3 就学別の犯罪被害件数（平成17年）

区分	罪種	合計	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他
被害件数		1,871,293	1,386	5,606	2,076	25,815	34,484	2,399	10,730	1,459,925	66,597	8,751	1,045	576	277	251,626
	人口当	1,465.53	1.09	4.39	1.63	20.22	27.01	1.88	8.40	1,143.36	52.16	6.85	0.82	0.45	0.22	197.06
少年計		326,042	151	635	875	6,329	6,522	317	4,871	275,732	1,703	4,970	559	140	215	23,023
	人口当	1,331.00	0.62	2.59	3.57	25.84	26.62	1.29	19.88	1,125.62	6.95	20.29	2.28	0.57	0.88	93.99
未就学		571	78	0	3	111	123	1	0	1	0	126	0	1	31	96
	人口当	8.27	1.13	0.00	0.04	1.61	1.78	0.01	0.00	0.01	0.00	1.83	0.00	0.01	0.45	1.39
小学生		24,513	27	12	41	872	329	38	198	20,901	23	1,164	113	3	71	721
	人口当	340.41	0.37	0.17	0.57	12.11	4.57	0.53	2.75	290.25	0.32	16.16	1.57	0.04	0.99	10.01
中学生		68,640	6	54	165	1,450	1,840	76	1,685	58,699	88	698	145	25	40	3,669
	人口当	1,873.36	0.16	1.47	4.50	39.57	50.22	2.07	45.99	1,602.05	2.40	19.05	3.96	0.68	1.09	100.14
その他少年		232,318	40	569	666	3,896	4,230	202	2,988	196,131	1,592	2,982	301	111	73	18,537
	人口当	3,453.52	0.59	8.46	9.90	57.92	62.88	3.00	44.42	2,915.58	23.67	44.33	4.47	1.65	1.09	275.56
成人計		1,545,251	1,235	4,971	1,201	19,486	27,962	2,082	5,859	1,184,193	64,894	3,781	486	436	62	228,603
	人口当	1,497.47	1.20	4.82	1.16	18.88	27.10	2.02	5.68	1,147.57	62.89	3.66	0.47	0.42	0.06	221.53

注1：「人口当」は、人口10万人当たりの認知件数である。

注2：人口は、総務省統計局の推定人口（平成16年10月1日現在）による。

注3：「未就学」は、総務省統計局の推定人口（平成16年10月1日現在）の0～5歳を計上した。

注4：「小学生」と「中学生」の人口は、文部科学省学校基本調査（平成16年版）による。

## ウ 場所別被害の発生状況

平成17年において子どもの就学別に犯罪の被害に遭う割合が高い場所について見ると、未就学児童については共同住宅、道路上及び一戸建住宅が高く、小学生、中学生については駐車(輪)場と道路上が高くなっている（図表4-11-(2)-4）。

また、罪種別に子どもが被害に遭う割合が高い場所について見ると、強盗、暴行、傷害、恐喝、強制わいせつ、公然わいせつ、逮捕・監禁及び略取・誘拐については道路上、殺人、強姦については共同住宅、窃盗については駐車(輪)場、脅迫、詐欺については一戸建住宅が高くなっている（図表4-11-(2)-5）。

図表 4 - 11 - (2) - 4 就学別・場所別被害発生件数（平成17年）

区分	総数		少年								成人			
	件数	(割合%)	未就学		小学生		中学生		その他		件数	(割合%)		
			件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)	件数	(割合%)				
被害総数	1,871,293	100.0	326,042	100.0	571	100.0	24,513	100.0	68,640	100.0	232,318	100.0	1,545,251	100.0
一戸建住宅	232,552	12.4	15,516	4.8	71	12.4	1,788	7.3	4,223	6.2	9,434	4.1	217,036	14.0
共同住宅	206,300	11.0	23,666	7.3	159	27.8	2,996	12.2	4,794	7.0	15,717	6.8	182,634	11.8
学校（幼稚園）	26,512	1.4	14,379	4.4	20	3.5	546	2.2	2,849	4.2	10,964	4.7	12,133	0.8
駐車（輪）場	632,543	33.8	149,993	46.0	28	4.9	9,321	38.0	30,941	45.1	109,703	47.2	482,550	31.2
道路上	312,082	16.7	68,312	21.0	74	13.0	5,038	20.6	14,558	21.2	48,642	20.9	243,770	15.8
都市公園	11,522	0.6	5,476	1.7	44	7.7	1,612	6.6	1,417	2.1	2,403	1.0	6,046	0.4
空き地	13,923	0.7	2,556	0.8	4	0.7	176	0.7	591	0.9	1,785	0.8	11,367	0.7
列車内	11,472	0.6	1,193	0.4	0	0.0	21	0.1	109	0.2	1,063	0.5	10,279	0.7
駅・鉄道施設	13,630	0.7	4,870	1.5	7	1.2	67	0.3	528	0.8	4,268	1.8	8,760	0.6
その他	410,757	22.0	40,081	12.3	164	28.7	2,948	12.0	8,630	12.6	28,339	12.2	370,676	24.0

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

図表 4 - 11 - (2) - 5 罪種別・場所別被害発生件数（平成17年）

区分	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐	その他	合計
被害総数	1,386	5,606	2,076	25,815	34,484	2,399	10,730	1,459,925	66,597	8,751	1,045	576	277	251,626	1,871,293
少年計	151	635	875	6,329	6,522	317	4,871	275,732	1,703	4,970	559	140	215	23,023	326,042
一戸建住宅	31	9	75	115	255	80	98	13,552	681	221	3	6	15	375	15,516
共同住宅	59	72	199	404	472	57	142	19,535	415	832	15	22	17	1,425	23,666
学校（幼稚園）	2	1	8	198	605	21	147	12,888	23	80	5	0	5	396	14,379
駐車（輪）場	11	65	84	424	721	12	747	139,136	25	328	34	12	14	8,380	149,993
道路上	15	326	140	3,485	2,145	76	2,195	48,681	98	2,056	391	56	127	8,521	68,312
都市公園	4	32	29	321	658	15	354	3,171	10	212	27	3	11	629	5,476
空き地	4	8	34	37	102	1	56	1,534	0	61	4	1	1	713	2,556
列車内	0	0	0	90	49	4	13	574	2	377	16	1	0	67	1,193
駅・鉄道施設	0	3	3	257	176	5	130	3,922	20	84	10	1	2	257	4,870
その他	25	119	303	998	1,339	46	989	32,739	429	719	54	38	23	2,260	40,081

注：「列車内」とは、地下鉄内、新幹線内及びその他の列車内とした。

## エ 子ども対象・暴力的性犯罪被害の状況

子ども対象・暴力的性犯罪（13歳未満の少年が被害者となった強姦、強制わいせつ、強盗強姦（いずれも致死又は致死傷及び未遂を含む。）及びわいせつ目的略取誘拐（未遂を含む。）をいう。）の認知件数は、平成15年まで増加傾向にあったが、平成16年以降減少し、平成17年は1,484件で前年に比べ312件（17.4%）減少している。

罪種別に見ると、前年に比べわいせつ目的略取誘拐が15件（34.9%）、強制わいせつが295件（17.6%）と大幅に減少している（図表 4 - 11 - (2) - 6）。

図表 4 - 11 - (2) - 6 罪種別被害発生件数

区分	年次	平 8	平 9	平10	平11	平12	平13	平14	平15	平16	平17	増減	
		件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	率 (%)	
子ども対象・暴力的性犯罪		1,202	1,377	1,318	1,527	1,790	2,137	1,960	2,236	1,796	1,484	-312	-17.4
強盗強姦		0	1	0	2	1	0	1	0	0	0	0	-
強姦		61	82	63	65	72	60	90	93	74	72	-2	-2.7
強制わいせつ		1,063	1,229	1,199	1,391	1,668	2,037	1,815	2,087	1,679	1,384	-295	-17.6
わいせつ目的略取誘拐		78	65	56	69	49	40	54	56	43	28	-15	-34.9

### (3) 高齢者を被害者とする犯罪

#### ア 高齢者の犯罪被害の状況

平成17年における刑法犯に係る高齢者（高齢者とは、65歳以上の者とした。以下同じ。）の被害件数（「被害者の年齢不明」、「法人・団体」及び「被害なし」を除く認知件数をいう。以下同じ。）は17万8,881件で、刑法犯被害件数に占める高齢者の割合は9.6%となっている（図表4 - 11 - (3) - 1）。

高齢者の被害件数を主な罪種別に見ると、窃盗が13万9,177件（高齢者の被害全体の77.8%）で最も多く、次いで詐欺が8,521件（同4.8%）、傷害が1,791件（同1.0%）、暴行が929件（同0.5%）、強盗が522件（同0.3%）などとなっている。

また、高齢者が被害者となる割合の高い罪種について見ると、殺人（16.9%）、詐欺（12.8%）などが全刑法犯被害件数に占める高齢者の割合（9.6%）より高くなっている（図表4 - 11 - (3) - 2）。

図表4 - 11 - (3) - 1 高齢者の刑法犯被害件数

区分	年次	平16	平17	増減	
				件数	率（%）
全刑法犯	被害件数	2,137,322	1,871,293	-266,029	-12.4
	65歳以上	201,168	178,881	-22,287	-11.1
	（割合%）	9.4	9.6	0.2	-
	64歳以下	1,936,154	1,692,412	-243,742	-12.6
	（割合%）	90.6	90.4	-0.2	-

図表4 - 11 - (3) - 2 罪種別被害状況

区分	年次	平16	平17	増減	
				件数	率(%)
殺人	被害件数	1,414	1,386	-28	-2.0
	うち65歳以上 (割合%)	250 17.7	234 16.9	-16 -0.8	-6.4 -
強盗	被害件数	6,795	5,606	-1,189	-17.5
	うち65歳以上 (割合%)	709 10.4	522 9.3	-187 -1.1	-26.4 -
強姦	被害件数	2,176	2,076	-100	-4.6
	うち65歳以上 (割合%)	10 0.5	14 0.7	4 0.2	40.0 -
暴行	被害件数	23,691	25,815	2,124	9.0
	うち65歳以上 (割合%)	701 3.0	929 3.6	228 0.6	32.5 -
傷害	被害件数	35,937	34,484	-1,453	-4.0
	うち65歳以上 (割合%)	1,813 5.0	1,791 5.2	-22 0.2	-1.2 -
脅迫	被害件数	2,436	2,399	-37	-1.5
	うち65歳以上 (割合%)	164 6.7	153 6.4	-11 -0.3	-6.7 -
恐喝	被害件数	14,169	10,730	-3,439	-24.3
	うち65歳以上 (割合%)	301 2.1	265 2.5	-36 0.4	-12.0 -
窃盗	被害件数	1,698,380	1,459,925	-238,455	-14.0
	うち65歳以上 (割合%)	158,575 9.3	139,177 9.5	-19,398 0.2	-12.2 -
詐欺	被害件数	64,656	66,597	1,941	3.0
	うち65歳以上 (割合%)	9,112 14.1	8,521 12.8	-591 -1.3	-6.5 -
強制わいせつ	被害件数	9,184	8,751	-433	-4.7
	うち65歳以上 (割合%)	18 0.2	19 0.2	1 0.0	5.6 -
公然わいせつ	被害件数	981	1,045	64	6.5
	うち65歳以上 (割合%)	8 0.8	9 0.9	1 0.1	12.5 -
逮捕・監禁	被害件数	639	576	-63	-9.9
	うち65歳以上 (割合%)	7 1.1	15 2.6	8 1.5	114.3 -
略取・誘拐	被害件数	320	277	-43	-13.4
	うち65歳以上 (割合%)	5 1.6	1 0.4	-4 -1.2	-80.0 -



## イ 場所別被害の発生状況

平成17年において罪種別に高齢者（男女別）が被害に遭う割合の高い場所について見ると、女性の殺人、強姦、傷害、脅迫、恐喝、窃盗、詐欺、強制わいせつ及び逮捕・監禁については一戸建住宅、強盗、暴行、公然わいせつについては道路上が高くなっている。また、男性の殺人、脅迫、恐喝、窃盗及び詐欺については一戸建住宅、強盗、暴行及び傷害については道路上が高くなっている（図表4 - 11 - (3) - 3）。

図表4 - 11 - (3) - 3 罪種別・場所別被害発生件数（平成17年）

区分	罪種	殺人	強盗	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	強制わいせつ	公然わいせつ	逮捕・監禁	略取・誘拐
		被害総数	女 133	291	14	252	569	40	81	53,399	4,699	18	8	4
	男	101	231	0	677	1,222	113	184	85,778	3,822	1	11	0	
一戸建住宅	女	76	102	7	61	172	26	40	12,749	2,926	5	1	3	
	男	50	63	0	70	217	40	53	23,507	1,882	0	0	0	
共同住宅	女	29	22	0	41	116	6	15	3,359	641	5	0	0	
	男	22	17	0	46	152	18	16	4,222	354	0	0	1	
学校（幼稚園）	女	0	1	0	0	1	1	1	100	0	0	0	0	
	男	0	0	0	2	4	0	0	198	0	0	0	0	
道路上	女	11	103	1	73	127	2	10	12,148	145	4	5	0	
	男	8	64	0	288	390	14	46	9,497	287	0	0	1	
駐車（輪）場	女	2	8	0	4	13	0	2	5,907	28	1	1	1	
	男	3	12	0	33	73	2	13	16,702	36	0	0	2	
都市公園	女	1	0	0	2	3	0	1	197	1	0	0	0	
	男	0	1	0	12	25	1	2	285	5	0	1	0	
空き地	女	0	0	0	1	8	0	0	277	3	0	0	0	
	男	0	0	0	3	15	1	1	1,002	0	0	0	0	
列車内	女	0	0	0	0	2	0	0	189	0	0	0	0	
	男	0	0	0	5	3	0	0	295	1	0	0	0	
駅・鉄道施設	女	0	1	0	3	7	1	1	434	14	0	0	0	
	男	2	0	0	17	14	0	0	300	12	0	0	0	
その他	女	14	54	6	67	120	4	11	18,039	941	3	1	0	
	男	16	74	0	201	329	37	53	29,770	1,245	1	0	7	

## 第 5 資料

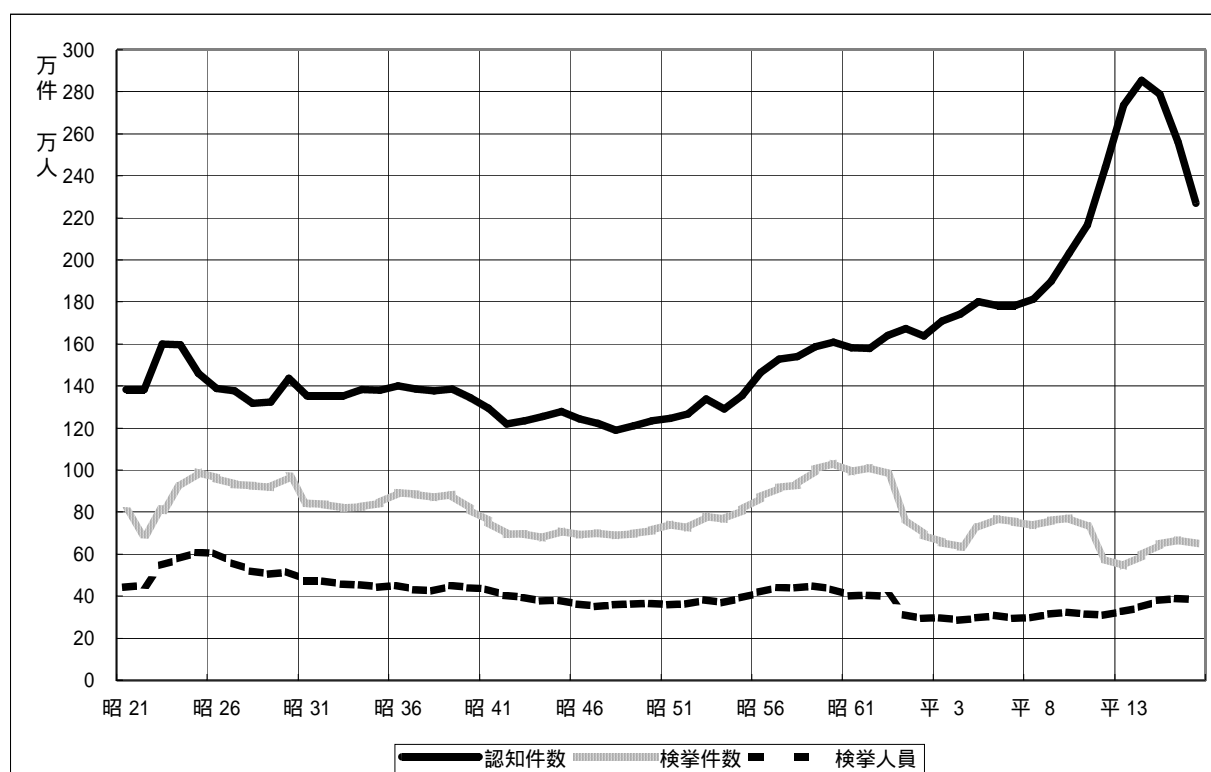
(余白)

図表 5 - 1 刑法犯の認知・検挙状況の推移

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 21	1,384,222	800,431	442,579
昭 22	1,382,210	693,845	455,097
昭 23	1,599,968	808,619	546,991
昭 24	1,597,891	920,855	579,897
昭 25	1,461,044	991,107	607,769
昭 26	1,387,289	962,455	606,686
昭 27	1,377,273	931,863	557,521
昭 28	1,317,141	927,012	519,707
昭 29	1,324,333	916,804	503,063
昭 30	1,435,652	968,626	515,480
昭 31	1,354,102	842,660	470,522
昭 32	1,354,429	838,210	471,600
昭 33	1,353,930	818,715	457,212
昭 34	1,382,792	825,511	454,898
昭 35	1,378,817	841,718	442,527
昭 36	1,400,915	892,547	451,586
昭 37	1,384,784	885,465	430,153
昭 38	1,377,476	868,207	425,473
昭 39	1,385,358	885,168	449,842
昭 40	1,343,625	812,996	440,563
昭 41	1,293,877	756,230	433,545
昭 42	1,219,840	692,913	402,738
昭 43	1,234,198	697,407	393,831
昭 44	1,253,950	675,183	377,826
昭 45	1,279,787	710,078	380,850
昭 46	1,244,168	690,027	361,972
昭 47	1,223,546	700,378	348,788
昭 48	1,190,549	688,328	357,738
昭 49	1,211,005	696,536	363,309
昭 50	1,234,307	713,031	364,117

年次	認知件数(件)	検挙件数(件)	検挙人員(人)
昭 51	1,247,631	743,048	359,360
昭 52	1,268,430	723,509	363,144
昭 53	1,336,922	779,697	381,742
昭 54	1,289,405	765,945	368,126
昭 55	1,357,461	811,189	392,113
昭 56	1,463,228	870,513	418,162
昭 57	1,528,779	916,058	441,963
昭 58	1,540,717	929,321	438,705
昭 59	1,588,693	1,002,923	446,617
昭 60	1,607,697	1,032,879	432,250
昭 61	1,581,411	990,650	399,886
昭 62	1,577,954	1,012,076	404,762
昭 63	1,641,310	982,165	398,208
平 元	1,673,268	772,320	312,992
平 2	1,636,628	692,593	293,264
平 3	1,707,877	654,538	296,158
平 4	1,742,366	636,290	284,908
平 5	1,801,150	723,610	297,725
平 6	1,784,432	767,844	307,965
平 7	1,782,944	753,174	293,252
平 8	1,812,119	735,881	295,584
平 9	1,899,564	759,609	313,573
平 10	2,033,546	772,282	324,263
平 11	2,165,626	731,284	315,355
平 12	2,443,470	576,771	309,649
平 13	2,735,612	542,115	325,292
平 14	2,853,739	592,359	347,558
平 15	2,790,136	648,319	379,602
平 16	2,562,767	667,620	389,027
平 17	2,269,293	649,503	386,955

注：道路上の交通事故に係る業務上（重）過失致死傷及び危険運転致死傷（昭和40年以前は、すべての業務上（重）過失致死傷）を除く。



図表5 - 2 刑法犯の

区分		年次				
		平8	平9	平10	平11	平12
人口(10万人)		1,259	1,262	1,265	1,267	1,269
刑法犯総数	認知件数	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470
	犯罪率	1,439.3	1,505.2	1,607.5	1,709.3	1,925.5
重要犯罪	認知件数	11,286	12,366	12,725	14,682	18,281
	犯罪率	9.0	9.8	10.1	11.6	14.4
重要窃盗犯	認知件数	301,310	305,328	330,369	367,174	423,281
	犯罪率	239.3	241.9	261.2	289.8	333.6
凶悪犯	認知件数	7,010	7,684	8,253	9,087	10,567
	犯罪率	5.6	6.1	6.5	7.2	8.3
殺人	認知件数	1,218	1,282	1,388	1,265	1,391
	犯罪率	1.0	1.0	1.1	1.0	1.1
強盗	認知件数	2,463	2,809	3,426	4,237	5,173
	犯罪率	2.0	2.2	2.7	3.3	4.1
放火	認知件数	1,846	1,936	1,566	1,728	1,743
	犯罪率	1.5	1.5	1.2	1.4	1.4
強姦	認知件数	1,483	1,657	1,873	1,857	2,260
	犯罪率	1.2	1.3	1.5	1.5	1.8
粗暴犯	認知件数	37,506	40,570	41,751	43,822	64,418
	犯罪率	29.8	32.1	33.0	34.6	50.8
うち)暴行	認知件数	6,469	7,254	7,367	7,792	13,225
	犯罪率	5.1	5.7	5.8	6.1	10.4
うち)傷害	認知件数	17,876	19,288	19,476	20,233	30,184
	犯罪率	14.2	15.3	15.4	16.0	23.8
うち)恐喝	認知件数	12,226	12,947	13,900	14,768	18,926
	犯罪率	9.7	10.3	11.0	11.7	14.9
窃盗犯	認知件数	1,588,698	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164
	犯罪率	1,261.9	1,319.8	1,414.3	1,507.8	1,679.4
侵入窃盗	認知件数	223,590	221,678	237,703	260,981	296,486
	犯罪率	177.6	175.7	187.9	206.0	233.6
乗り物盗	認知件数	687,960	696,370	705,431	694,375	754,939
	犯罪率	546.4	551.8	557.7	548.0	594.9
非侵入窃盗	認知件数	677,148	747,495	845,915	955,037	1,079,739
	犯罪率	537.8	592.3	668.7	753.8	850.9
知能犯	認知件数	61,187	61,316	59,271	53,528	55,184
	犯罪率	48.6	48.6	46.9	42.2	43.5
うち)詐欺	認知件数	49,394	49,426	48,279	43,431	44,384
	犯罪率	39.2	39.2	38.2	34.3	35.0
風俗犯	認知件数	6,439	6,763	6,686	7,448	9,801
	犯罪率	5.1	5.4	5.3	5.9	7.7
うち)強制わいせつ	認知件数	4,025	4,398	4,251	5,346	7,412
	犯罪率	3.2	3.5	3.4	4.2	5.8
その他の刑法犯	認知件数	111,279	117,688	128,536	141,348	172,336
	犯罪率	88.4	93.3	101.6	111.6	135.8

注1：犯罪率は、人口10万人当たりの認知件数をいう。

注2：人口は、総務省統計局の推計人口（各年10月1日現在）を四捨五入し、10万人単位にした数値である。

罪種別犯罪率の推移

平13	平14	平15	平16	平17	年次	
					人口(10万人)	区分
1,273	1,274	1,276	1,277	1,278	人口(10万人)	
2,735,612	2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	認知件数	刑法犯総数
2,148.9	2,240.0	2,186.6	2,006.9	1,775.7	犯罪率	
21,530	22,294	23,971	22,568	20,388	認知件数	重要犯罪
16.9	17.5	18.8	17.7	16.0	犯罪率	
443,502	478,476	469,148	407,929	338,967	認知件数	重要窃盗犯
348.4	375.6	367.7	319.4	265.2	犯罪率	
11,967	12,567	13,658	13,064	11,360	認知件数	凶悪犯
9.4	9.9	10.7	10.2	8.9	犯罪率	
1,340	1,396	1,452	1,419	1,392	認知件数	殺人
1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	犯罪率	
6,393	6,984	7,664	7,295	5,988	認知件数	強盗
5.0	5.5	6.0	5.7	4.7	犯罪率	
2,006	1,830	2,070	2,174	1,904	認知件数	放火
1.6	1.4	1.6	1.7	1.5	犯罪率	
2,228	2,357	2,472	2,176	2,076	認知件数	強姦
1.8	1.9	1.9	1.7	1.6	犯罪率	
72,801	76,573	78,759	76,616	73,772	認知件数	粗暴犯
57.2	60.1	61.7	60.0	57.7	犯罪率	
16,928	19,442	21,937	23,691	25,815	認知件数	うち)暴行
13.3	15.3	17.2	18.6	20.2	犯罪率	
33,965	36,324	36,568	35,937	34,484	認知件数	うち)傷害
26.7	28.5	28.7	28.1	27.0	犯罪率	
19,566	18,403	17,595	14,424	10,978	認知件数	うち)恐喝
15.4	14.4	13.8	11.3	8.6	犯罪率	
2,340,511	2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	認知件数	窃盗犯
1,838.6	1,866.2	1,752.2	1,551.7	1,349.8	犯罪率	
303,698	338,294	333,233	290,595	244,776	認知件数	侵入窃盗
238.6	265.5	261.2	227.6	191.5	犯罪率	
827,593	775,435	695,791	629,722	556,987	認知件数	乗り物盗
650.1	608.7	545.3	493.1	435.8	犯罪率	
1,209,220	1,263,759	1,206,820	1,061,257	923,309	認知件数	非侵入窃盗
949.9	992.0	945.8	831.1	722.5	犯罪率	
53,007	62,751	74,754	99,258	97,500	認知件数	知能犯
41.6	49.3	58.6	77.7	76.3	犯罪率	
43,104	49,482	60,298	83,015	85,596	認知件数	うち)詐欺
33.9	38.8	47.3	65.0	67.0	犯罪率	
11,841	12,220	13,034	12,346	12,085	認知件数	風俗犯
9.3	9.6	10.2	9.7	9.5	犯罪率	
9,326	9,476	10,029	9,184	8,751	認知件数	うち)強制わいせつ
7.3	7.4	7.9	7.2	6.8	犯罪率	
245,485	312,140	374,087	379,909	349,504	認知件数	その他の刑法犯
192.8	245.0	293.2	297.5	273.5	犯罪率	

図表 5 - 3 刑法犯の都道府県別

年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
都道府県						
認知件数(件)	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612
北海道	75,969	84,863	82,688	81,820	86,786	92,832
札幌	50,005	55,619	52,417	53,208	59,084	63,359
函館	6,049	7,069	6,726	6,257	6,337	6,921
旭川	8,243	9,925	10,471	9,842	9,518	9,617
釧路	8,753	8,632	9,135	8,843	8,530	9,425
北見	2,919	3,618	3,939	3,670	3,317	3,510
東北管区	99,767	108,935	113,628	116,770	129,958	142,929
青森	11,496	11,116	10,755	12,941	16,730	17,051
岩手	15,042	15,925	14,997	13,610	13,865	15,125
宮城	33,418	35,854	38,821	42,820	47,207	49,887
秋田	6,766	10,240	12,201	11,419	12,159	12,768
山形	8,832	10,223	11,151	11,749	12,171	13,029
福島	24,213	25,577	25,703	24,231	27,826	35,069
東京	232,103	235,767	251,180	268,006	291,371	292,579
関東管区	531,482	549,966	605,107	650,000	724,467	786,208
茨城	36,211	37,198	41,168	44,356	52,110	60,681
栃木	27,795	27,733	28,620	31,996	33,819	36,321
群馬	23,220	24,768	29,657	29,744	28,822	32,544
埼玉	121,897	119,319	131,984	142,972	156,842	170,963
千葉	96,667	107,287	122,549	136,521	152,516	164,721
神奈川	116,526	123,328	134,613	143,134	169,968	179,692
新潟	25,894	25,179	24,530	25,827	25,309	33,205
山梨	8,476	8,682	9,335	9,978	12,533	13,761
長野	25,682	27,141	28,173	29,252	32,110	34,764
静岡	49,114	49,331	54,478	56,220	60,438	59,556
中部管区	170,370	183,375	209,203	247,302	276,653	323,682
富山	9,699	9,660	10,841	11,154	12,005	17,660
石川	9,371	8,763	10,304	11,376	12,804	16,805
福井	7,377	8,374	9,542	9,666	10,886	11,671
岐阜	23,373	26,503	28,068	33,266	39,177	48,088
愛知	101,498	109,317	129,383	158,791	176,119	190,212
三重	19,052	20,758	21,065	23,049	25,662	39,246
近畿管区	343,787	362,040	384,956	393,293	473,887	606,204
滋賀	20,046	21,114	22,405	22,907	26,288	31,258
京都	42,884	44,636	49,637	49,176	54,078	63,051
大阪	184,976	192,435	196,383	200,102	252,367	327,262
兵庫	64,635	68,685	75,166	78,857	94,150	129,197
奈良	15,386	16,483	20,063	20,477	25,043	31,163
和歌山	15,860	18,687	21,302	21,774	21,961	24,273
中国管区	95,140	102,819	107,967	115,581	121,984	138,510
鳥取	6,323	6,007	6,348	6,509	6,682	7,468
島根	7,097	8,042	7,508	6,915	7,533	8,695
岡山	23,862	26,633	28,174	30,135	31,883	37,678
広島	40,675	44,207	48,185	53,388	52,827	59,352
山口	17,183	17,930	17,752	18,634	23,059	25,317
四国管区	46,858	47,876	52,882	53,792	61,257	66,853
徳島	7,262	6,976	8,296	8,846	10,717	11,181
香川	8,736	8,427	10,002	12,047	13,412	15,744
愛媛	19,583	20,891	22,530	21,386	24,407	26,987
高知	11,277	11,582	12,054	11,513	12,721	12,941
九州管区	216,643	223,923	225,935	239,062	277,107	285,815
福岡	119,954	126,006	124,071	133,238	153,630	157,749
佐賀	6,803	7,448	7,304	7,960	11,025	12,391
長崎	9,641	10,137	10,420	11,917	13,493	14,097
熊本	21,559	20,659	21,824	21,814	26,874	27,034
大分	11,884	11,715	12,248	13,292	15,202	15,625
宮崎	13,043	13,818	13,881	14,586	15,905	15,588
鹿児島	18,663	19,168	19,379	17,677	19,487	19,905
沖縄	15,096	14,972	16,808	18,578	21,491	23,426

認知件数の推移

平 14	平 15	平 16	平 17	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	-293,474	-11.5	認知件数(件)
94,091	93,863	88,249	73,071	-15,178	-17.2	北海道
63,792	62,143	59,413	49,839	-9,574	-16.1	札幌
6,617	7,717	7,920	6,115	-1,805	-22.8	函館
10,637	10,817	9,042	7,567	-1,475	-16.3	旭川
9,312	9,564	8,912	6,740	-2,172	-24.4	釧路
3,733	3,622	2,962	2,810	-152	-5.1	北見
145,801	135,031	120,581	102,900	-17,681	-14.7	東北管区
19,202	18,940	17,360	14,769	-2,591	-14.9	青森
15,011	13,686	12,885	11,289	-1,596	-12.4	岩手
49,261	43,376	40,211	33,357	-6,854	-17.0	宮城
11,978	10,616	9,565	8,604	-961	-10.0	秋田
14,331	12,852	11,423	10,352	-1,071	-9.4	山形
36,018	35,561	29,137	24,529	-4,608	-15.8	福島
301,913	299,406	283,326	253,912	-29,414	-10.4	関東管区
831,091	819,702	782,924	673,226	-109,698	-14.0	茨城
67,672	64,844	55,633	52,266	-3,367	-6.1	栃木
39,061	40,469	37,943	33,380	-4,563	-12.0	群馬
39,803	40,753	42,643	35,453	-7,190	-16.9	埼玉
177,762	179,276	181,350	157,047	-24,303	-13.4	千葉
168,366	164,278	147,587	131,037	-16,550	-11.2	神奈川
190,173	186,290	183,148	142,920	-40,228	-22.0	新潟
35,947	35,413	31,391	28,174	-3,217	-10.2	山梨
15,245	14,130	12,967	10,683	-2,284	-17.6	長野
34,054	31,974	29,822	26,753	-3,069	-10.3	静岡
63,008	62,275	60,440	55,513	-4,927	-8.2	中部管区
342,534	361,021	328,699	306,274	-22,425	-6.8	富山
16,311	15,501	14,206	13,168	-1,038	-7.3	石川
16,666	17,770	14,648	12,739	-1,909	-13.0	福井
13,884	12,501	10,060	8,324	-1,736	-17.3	岐阜
51,956	46,956	43,160	38,649	-4,511	-10.5	愛知
196,117	225,706	208,170	198,937	-9,233	-4.4	三重
47,600	42,587	38,455	34,457	-3,998	-10.4	近畿管区
617,794	578,761	520,896	485,308	-35,588	-6.8	滋賀
32,183	27,801	23,841	18,750	-5,091	-21.4	京都
65,082	63,291	63,593	57,586	-6,007	-9.4	大阪
300,429	285,307	255,697	249,511	-6,186	-2.4	兵庫
164,445	153,080	135,119	121,539	-13,580	-10.1	奈良
32,017	28,018	23,942	21,365	-2,577	-10.8	和歌山
23,638	21,264	18,704	16,557	-2,147	-11.5	中国管区
147,661	139,054	119,383	101,354	-18,029	-15.1	鳥取
8,215	9,302	8,688	7,382	-1,306	-15.0	島根
9,055	9,217	8,864	7,586	-1,278	-14.4	岡山
45,386	43,423	37,195	32,102	-5,093	-13.7	広島
59,330	53,512	44,325	36,938	-7,387	-16.7	山口
25,675	23,600	20,311	17,346	-2,965	-14.6	四国管区
69,314	75,122	69,488	61,117	-8,371	-12.0	徳島
11,432	12,369	10,552	9,655	-897	-8.5	香川
19,475	22,185	20,800	16,997	-3,803	-18.3	愛媛
25,599	27,380	24,654	22,167	-2,487	-10.1	高知
12,808	13,188	13,482	12,298	-1,184	-8.8	九州管区
303,540	288,176	249,221	212,131	-37,090	-14.9	福岡
168,190	154,834	128,545	106,805	-21,740	-16.9	佐賀
13,222	14,351	13,033	11,040	-1,993	-15.3	長崎
13,952	14,454	13,911	12,833	-1,078	-7.7	熊本
28,684	28,973	25,628	22,191	-3,437	-13.4	大分
17,158	17,362	15,482	13,035	-2,447	-15.8	宮崎
17,703	16,389	13,610	12,030	-1,580	-11.6	鹿児島
18,990	18,899	17,128	14,934	-2,194	-12.8	沖縄
25,641	22,914	21,884	19,263	-2,621	-12.0	



図表5 - 4 刑法犯の都道府県別

年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
都道府県						
検挙件数(件)	735,881	759,609	772,282	731,284	576,771	542,115
北海道	16,943	15,391	17,407	14,287	13,927	13,369
札幌	9,989	9,484	10,088	8,066	8,253	8,228
函館	1,398	1,200	1,416	1,284	994	1,268
旭川	1,996	2,009	2,967	2,320	2,103	1,663
釧路	2,762	1,725	1,892	1,799	1,902	1,364
北見	798	973	1,044	818	675	846
東北管区	48,648	51,566	49,894	44,749	35,915	36,609
青森	7,625	7,843	7,656	5,819	4,368	4,226
岩手	5,013	4,995	4,216	4,414	3,553	3,562
宮城	10,090	11,003	10,030	9,871	9,045	10,081
秋田	4,348	5,351	5,599	4,941	5,068	4,720
山形	6,631	7,309	7,216	5,597	4,485	4,152
福島	14,941	15,065	15,177	14,107	9,396	9,868
東京	87,916	86,424	87,184	87,021	76,585	75,288
関東管区	208,041	219,863	223,597	216,317	155,527	147,948
茨城	21,328	21,035	22,224	17,046	11,289	11,870
栃木	11,885	12,422	11,998	10,658	8,304	6,332
群馬	13,558	13,476	12,215	12,526	10,267	9,256
埼玉	30,535	28,757	28,478	26,839	26,239	25,019
千葉	27,775	29,264	31,134	31,833	24,462	24,131
神奈川	58,499	62,570	68,758	70,269	41,611	37,531
新潟	14,976	14,700	14,000	13,191	10,400	9,693
山梨	3,203	4,250	4,185	3,982	2,679	2,033
長野	12,568	13,951	12,503	11,412	7,604	7,239
静岡	13,714	19,438	18,102	18,561	12,672	14,844
中部管区	88,045	88,315	90,289	84,249	56,722	55,510
富山	6,044	5,548	5,854	4,636	3,577	3,845
石川	5,465	5,474	5,650	5,373	3,647	3,939
福井	5,254	6,112	6,454	5,304	4,308	3,500
岐阜	9,981	11,750	11,356	10,290	6,617	6,548
愛知	52,100	50,239	50,691	47,130	30,932	30,398
三重	9,201	9,192	10,284	11,516	7,641	7,280
近畿管区	130,526	137,526	141,252	127,518	101,872	91,039
滋賀	7,370	7,660	7,018	5,612	5,536	5,629
京都	13,765	15,219	16,592	14,882	13,774	13,766
大阪	65,019	66,852	65,291	54,390	41,255	37,497
兵庫	25,958	27,477	30,556	31,581	25,844	21,799
奈良	9,094	9,480	10,567	10,153	9,873	7,902
和歌山	9,320	10,838	11,228	10,900	5,590	4,446
中国管区	45,661	48,714	51,420	46,596	43,809	37,631
鳥取	3,904	3,790	4,146	3,970	3,642	2,889
島根	4,593	4,779	4,451	3,767	3,376	3,166
岡山	10,803	10,941	11,435	11,550	10,413	10,572
広島	20,399	22,292	23,305	19,742	17,956	13,251
山口	5,962	6,912	8,083	7,567	8,422	7,753
四国管区	25,323	24,677	24,792	25,574	23,918	21,187
徳島	4,903	4,765	4,754	4,769	4,666	5,155
香川	6,061	4,996	5,147	5,882	4,808	4,385
愛媛	6,987	7,673	7,138	7,452	7,010	6,381
高知	7,372	7,243	7,753	7,471	7,434	5,266
九州管区	84,778	87,133	86,447	84,973	68,496	63,534
福岡	31,367	32,040	37,815	37,560	27,234	24,259
佐賀	3,710	4,307	3,639	3,363	3,194	3,960
長崎	6,749	7,566	6,896	6,277	5,912	5,837
熊本	12,500	11,200	11,691	10,891	9,692	9,003
大分	3,924	4,497	4,355	4,861	4,103	3,825
宮崎	6,198	5,952	5,719	5,539	4,744	4,757
鹿児島	9,252	11,261	9,032	8,493	7,391	6,625
沖縄	11,078	10,310	7,300	7,989	6,226	5,268

検挙件数の推移

平 14	平 15	平 16	平 17	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
592,359	648,319	667,620	649,503	-18,117	-2.7	検挙件数(件)
14,612	17,909	21,213	22,257	1,044	4.9	北海道
9,138	11,181	14,041	15,101	1,060	7.5	札幌
1,207	1,561	2,086	1,564	-522	-25.0	函館
1,962	2,077	2,244	3,029	785	35.0	旭川
1,594	2,025	1,939	1,789	-150	-7.7	釧路
711	1,065	903	774	-129	-14.3	北見
40,534	43,432	38,726	36,939	-1,787	-4.6	東北管区
5,398	5,855	5,235	5,029	-206	-3.9	青森
4,265	4,495	4,452	4,306	-146	-3.3	岩手
10,412	11,976	10,516	9,819	-697	-6.6	宮城
4,600	4,869	4,589	4,162	-427	-9.3	秋田
4,808	5,130	4,125	5,069	944	22.9	山形
11,051	11,107	9,809	8,554	-1,255	-12.8	福島
75,952	85,995	89,252	86,444	-2,808	-3.1	東京
157,464	170,652	189,826	188,264	-1,562	-0.8	関東管区
13,864	13,977	16,662	15,967	-695	-4.2	茨城
7,603	9,355	10,268	9,065	-1,203	-11.7	栃木
9,909	10,054	14,067	11,052	-3,015	-21.4	群馬
22,735	25,788	32,413	31,161	-1,252	-3.9	埼玉
29,908	33,458	32,902	35,528	2,626	8.0	千葉
36,537	40,019	46,458	47,286	828	1.8	神奈川
10,123	10,096	9,127	8,146	-981	-10.7	新潟
2,667	3,245	3,062	4,472	1,410	46.0	山梨
8,533	8,748	8,970	8,490	-480	-5.4	長野
15,585	15,912	15,897	17,097	1,200	7.5	静岡
81,883	80,140	76,286	74,913	-1,373	-1.8	中部管区
4,650	4,829	4,085	3,802	-283	-6.9	富山
8,296	6,667	6,406	5,272	-1,134	-17.7	石川
4,191	4,369	3,520	4,388	868	24.7	福井
8,089	9,446	8,284	9,636	1,352	16.3	岐阜
48,600	46,468	45,095	42,313	-2,782	-6.2	愛知
8,057	8,361	8,896	9,502	606	6.8	三重
93,386	106,410	105,720	106,802	1,082	1.0	近畿管区
6,228	8,191	7,565	8,153	588	7.8	滋賀
12,811	15,908	16,089	15,385	-704	-4.4	京都
39,100	42,137	41,341	41,290	-51	-0.1	大阪
23,803	25,973	28,817	28,846	29	0.1	兵庫
6,844	9,253	7,802	9,022	1,220	15.6	奈良
4,600	4,948	4,106	4,106	0	0.0	和歌山
40,844	41,564	39,438	37,386	-2,052	-5.2	中国管区
3,598	4,541	3,574	3,437	-137	-3.8	鳥取
3,246	3,506	3,166	3,652	486	15.4	島根
9,515	9,710	9,713	9,361	-352	-3.6	岡山
13,424	13,525	14,568	12,279	-2,289	-15.7	広島
11,061	10,282	8,417	8,657	240	2.9	山口
20,065	21,543	20,703	21,134	431	2.1	四国管区
4,413	5,084	3,899	4,411	512	13.1	徳島
4,906	5,415	5,791	4,934	-857	-14.8	香川
6,278	6,694	7,150	8,008	858	12.0	愛媛
4,468	4,350	3,863	3,781	-82	-2.1	高知
67,619	80,674	86,456	75,364	-11,092	-12.8	九州管区
27,197	37,121	40,152	34,059	-6,093	-15.2	福岡
4,066	4,176	4,137	4,216	79	1.9	佐賀
6,377	6,896	8,465	5,861	-2,604	-30.8	長崎
8,884	9,546	11,731	8,944	-2,787	-23.8	熊本
4,866	5,483	5,716	4,911	-805	-14.1	大分
3,954	4,606	4,412	4,568	156	3.5	宮崎
7,581	6,619	6,083	6,130	47	0.8	鹿児島
4,694	6,227	5,760	6,675	915	15.9	沖縄

図表5 - 5 刑法犯の都道府県別

年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
都道府県						
検挙人員(人)	295,584	313,573	324,263	315,355	309,649	325,292
北海道	8,726	9,479	10,876	9,287	10,119	10,302
札幌	5,459	6,020	7,068	5,952	6,428	6,563
函館	742	690	860	739	738	811
旭川	1,130	1,348	1,315	1,164	1,342	1,268
釧路	938	901	1,034	920	1,079	1,026
北見	457	520	599	512	532	634
東北管区	18,317	21,133	21,744	20,361	20,372	22,092
青森	2,623	2,606	2,867	2,658	2,391	2,979
岩手	2,409	2,612	2,706	2,453	2,197	2,377
宮城	4,462	5,569	5,602	5,059	5,444	6,127
秋田	2,158	2,641	2,705	2,785	2,462	2,874
山形	2,050	2,284	2,704	2,438	2,828	2,540
福島	4,615	5,421	5,160	4,968	5,050	5,195
東京	55,829	49,246	47,630	47,957	46,562	47,026
関東管区	73,822	82,141	80,770	79,027	80,034	83,177
茨城	5,249	6,401	5,966	5,750	5,613	5,957
栃木	2,832	3,552	3,746	3,555	3,596	3,773
群馬	3,580	3,918	4,180	3,790	4,079	4,113
埼玉	11,358	11,248	11,358	11,187	12,767	14,017
千葉	9,375	10,790	11,000	11,493	11,223	12,210
神奈川	24,234	26,869	25,664	24,102	22,737	22,411
新潟	5,705	6,496	5,806	5,474	5,306	5,337
山梨	1,182	1,304	1,252	1,348	1,390	1,469
長野	3,938	5,120	4,705	4,828	4,788	4,522
静岡	6,369	6,443	7,093	7,500	8,535	9,368
中部管区	24,004	25,294	26,392	26,244	25,906	29,152
富山	2,236	2,354	2,414	2,553	2,487	2,878
石川	1,705	1,769	1,827	2,020	2,013	2,284
福井	1,697	1,935	1,954	1,703	1,999	2,043
岐阜	3,023	3,486	3,408	3,134	3,419	3,661
愛知	12,216	12,460	12,928	13,502	12,854	14,532
三重	3,127	3,290	3,861	3,332	3,134	3,754
近畿管区	55,294	60,948	66,970	65,798	59,594	63,293
滋賀	2,025	2,187	2,160	1,704	2,112	2,669
京都	6,996	8,055	9,401	8,533	7,512	8,636
大阪	28,797	30,447	32,858	33,600	29,605	31,015
兵庫	13,099	15,433	17,454	17,014	15,354	15,800
奈良	2,362	2,657	2,800	2,818	2,960	3,022
和歌山	2,015	2,169	2,297	2,129	2,051	2,151
中国管区	19,688	21,888	23,649	22,283	22,582	22,812
鳥取	1,751	1,899	1,938	1,957	1,910	2,167
島根	1,443	1,977	1,864	1,606	1,778	1,620
岡山	4,892	5,082	5,887	5,496	5,973	6,406
広島	8,213	8,894	9,346	8,657	8,482	8,179
山口	3,389	4,036	4,614	4,567	4,439	4,440
四国管区	9,370	10,641	10,952	10,451	10,347	10,783
徳島	1,801	1,870	2,024	1,784	1,939	2,063
香川	2,118	2,365	2,790	2,696	2,591	2,664
愛媛	3,431	4,035	3,634	3,633	3,795	3,919
高知	2,020	2,371	2,504	2,338	2,022	2,137
九州管区	30,534	32,803	35,280	33,947	34,133	36,655
福岡	13,570	14,349	15,571	15,097	13,570	14,221
佐賀	1,556	1,612	1,924	1,798	1,969	2,325
長崎	2,912	3,252	3,319	3,124	3,418	3,727
熊本	3,733	4,023	4,180	3,688	3,823	4,391
大分	1,964	2,177	2,470	2,331	2,677	2,640
宮崎	1,850	2,039	1,898	2,032	2,292	2,340
鹿児島	3,080	3,425	3,590	3,405	3,779	3,667
沖縄	1,869	1,926	2,328	2,472	2,605	3,344

検拳人員の推移

平 14	平 15	平 16	平 17	増減		年次 都道府県
				件数	率(%)	
347,558	379,602	389,027	386,955	-2,072	-0.5	検拳人員(人)
10,801	12,484	14,383	13,197	-1,186	-8.2	北海道
7,112	8,323	9,590	8,577	-1,013	-10.6	札幌
826	993	1,300	1,210	-90	-6.9	函館
1,234	1,328	1,394	1,426	32	2.3	旭川
1,083	1,210	1,449	1,280	-169	-11.7	釧路
546	630	650	704	54	8.3	北見
25,636	26,731	24,975	22,934	-2,041	-8.2	東北管区
3,649	4,005	3,537	3,248	-289	-8.2	青森
2,923	2,910	2,886	2,631	-255	-8.8	岩手
7,214	7,772	7,413	6,341	-1,072	-14.5	宮城
2,837	2,758	2,652	2,336	-316	-11.9	秋田
2,941	2,958	2,635	2,887	252	9.6	山形
6,072	6,328	5,852	5,491	-361	-6.2	福島
47,828	54,280	57,612	58,837	1,225	2.1	東京
88,294	96,636	103,931	107,113	3,182	3.1	関東管区
5,630	5,960	6,957	6,835	-122	-1.8	茨城
4,332	5,114	5,680	5,910	230	4.0	栃木
4,568	4,756	4,870	4,684	-186	-3.8	群馬
14,438	15,631	18,433	19,589	1,156	6.3	埼玉
13,652	15,411	16,308	17,230	922	5.7	千葉
23,928	26,576	28,817	30,365	1,548	5.4	神奈川
5,566	5,550	5,739	5,758	19	0.3	新潟
1,743	1,968	1,934	2,547	613	31.7	山梨
5,133	5,403	5,125	4,811	-314	-6.1	長野
9,304	10,267	10,068	9,384	-684	-6.8	静岡
33,566	34,389	35,756	33,449	-2,307	-6.5	中部管区
3,052	3,076	2,791	2,612	-179	-6.4	富山
2,906	2,994	2,964	2,892	-72	-2.4	石川
2,415	2,438	1,965	1,823	-142	-7.2	福井
5,165	5,199	5,449	4,875	-574	-10.5	岐阜
15,825	16,344	18,058	16,857	-1,201	-6.7	愛知
4,203	4,338	4,529	4,390	-139	-3.1	三重
66,169	69,678	69,537	70,851	1,314	1.9	近畿管区
3,133	3,231	3,152	2,988	-164	-5.2	滋賀
8,333	8,667	9,784	10,178	394	4.0	京都
31,235	33,456	32,201	31,919	-282	-0.9	大阪
17,590	17,560	17,743	19,179	1,436	8.1	兵庫
3,455	3,710	3,439	3,711	272	7.9	奈良
2,423	3,054	3,218	2,876	-342	-10.6	和歌山
23,669	24,941	23,614	22,914	-700	-3.0	中国管区
2,071	2,390	2,081	1,988	-93	-4.5	鳥取
1,735	1,813	1,894	1,821	-73	-3.9	島根
6,309	7,196	6,476	6,567	91	1.4	岡山
8,519	8,500	8,586	8,079	-507	-5.9	広島
5,035	5,042	4,577	4,459	-118	-2.6	山口
11,562	12,519	12,648	11,931	-717	-5.7	四国管区
2,218	2,454	2,275	2,076	-199	-8.7	徳島
2,954	3,387	3,456	3,203	-253	-7.3	香川
3,982	4,105	4,225	3,974	-251	-5.9	愛媛
2,408	2,573	2,692	2,678	-14	-0.5	高知
40,033	47,944	46,571	45,729	-842	-1.8	九州管区
16,407	22,838	21,912	20,866	-1,046	-4.8	福岡
2,118	2,243	2,200	2,059	-141	-6.4	佐賀
3,886	3,907	3,894	4,106	212	5.4	長崎
4,598	4,963	4,812	4,872	60	1.2	熊本
2,936	3,378	3,517	2,897	-620	-17.6	大分
2,489	2,724	2,691	2,787	96	3.6	宮崎
3,765	3,836	3,569	3,796	227	6.4	鹿児島
3,834	4,055	3,976	4,346	370	9.3	沖縄

図表 5 - 6 刑法犯の包括罪種別

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
刑法犯	認知件数(件)	1,812,119	1,899,564	2,033,546	2,165,626	2,443,470	2,735,612	
	検挙件数(件)	735,881	759,609	772,282	731,284	576,771	542,115	
	検挙人員(人)	295,584	313,573	324,263	315,355	309,649	325,292	
凶悪犯	認知件数	7,010	7,684	8,253	9,087	10,567	11,967	
	検挙件数	6,237	6,733	6,991	6,859	7,175	7,320	
	検挙人員	5,459	6,633	6,949	7,217	7,488	7,490	
粗暴犯	認知件数	37,506	40,570	41,751	43,822	64,418	72,801	
	検挙件数	28,046	29,967	29,638	28,488	39,211	39,924	
	検挙人員	37,110	40,432	39,755	37,874	50,419	50,428	
窃盗犯	認知件数	1,588,698	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511	
	検挙件数	566,207	586,648	597,283	561,148	407,246	367,643	
	検挙人員	162,675	175,632	181,329	172,147	162,610	168,919	
知能犯	認知件数	61,187	61,316	59,271	53,528	55,184	53,007	
	検挙件数	58,178	57,811	55,118	47,827	44,322	37,800	
	検挙人員	11,478	11,639	11,286	10,562	11,341	11,539	
風俗犯	認知件数	6,439	6,763	6,686	7,448	9,801	11,841	
	検挙件数	5,841	6,124	5,899	5,438	5,809	6,066	
	検挙人員	7,655	6,923	7,239	6,110	6,112	6,166	
その他	認知件数	111,279	117,688	128,536	141,348	172,336	245,485	
	検挙件数	71,372	72,326	77,353	81,524	73,008	83,362	
	検挙人員	71,207	72,314	77,705	81,445	71,679	80,750	

図表 5 - 7 凶悪犯の罪種別

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
凶悪犯	認知件数(件)	7,010	7,684	8,253	9,087	10,567	11,967	
	検挙件数(件)	6,237	6,733	6,991	6,859	7,175	7,320	
	検挙人員(人)	5,459	6,633	6,949	7,217	7,488	7,490	
殺人	認知件数	1,218	1,282	1,388	1,265	1,391	1,340	
	検挙件数	1,197	1,225	1,356	1,219	1,322	1,261	
	検挙人員	1,242	1,284	1,365	1,313	1,416	1,334	
強盗	認知件数	2,463	2,809	3,426	4,237	5,173	6,393	
	検挙件数	1,974	2,232	2,614	2,813	2,941	3,115	
	検挙人員	2,390	3,152	3,379	3,762	3,797	4,096	
放火	認知件数	1,846	1,936	1,566	1,728	1,743	2,006	
	検挙件数	1,749	1,804	1,369	1,458	1,372	1,540	
	検挙人員	710	749	693	750	789	783	
強姦	認知件数	1,483	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228	
	検挙件数	1,317	1,472	1,652	1,369	1,540	1,404	
	検挙人員	1,117	1,448	1,512	1,392	1,486	1,277	

認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平17	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
2,853,739	2,790,136	2,562,767	2,269,293	-293,474	-11.5	認知件数(件)	刑法犯
592,359	648,319	667,620	649,503	-18,117	-2.7	検挙件数(件)	
347,558	379,602	389,027	386,955	-2,072	-0.5	検挙人員(人)	
12,567	13,658	13,064	11,360	-1,704	-13.0	認知件数	凶悪犯
7,604	8,238	7,924	7,418	-506	-6.4	検挙件数	
7,726	8,362	7,519	7,047	-472	-6.3	検挙人員	
76,573	78,759	76,616	73,772	-2,844	-3.7	認知件数	粗暴犯
40,425	42,296	41,128	44,037	2,909	7.1	検挙件数	
49,615	49,530	46,801	49,156	2,355	5.0	検挙人員	
2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	-256,502	-12.9	認知件数	窃盗犯
403,872	433,918	447,950	429,038	-18,912	-4.2	検挙件数	
180,725	191,403	195,151	194,119	-1,032	-0.5	検挙人員	
62,751	74,754	99,258	97,500	-1,758	-1.8	認知件数	知能犯
39,884	40,574	36,299	38,151	1,852	5.1	検挙件数	
13,173	13,653	14,850	15,053	203	1.4	検挙人員	
12,220	13,034	12,346	12,085	-261	-2.1	認知件数	風俗犯
5,633	6,165	6,070	6,422	352	5.8	検挙件数	
5,912	5,886	5,688	6,373	685	12.0	検挙人員	
312,140	374,087	379,909	349,504	-30,405	-8.0	認知件数	その他
94,941	117,128	128,249	124,437	-3,812	-3.0	検挙件数	
90,407	110,768	119,018	115,207	-3,811	-3.2	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平17	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
12,567	13,658	13,064	11,360	-1,704	-13.0	認知件数(件)	凶悪犯
7,604	8,238	7,924	7,418	-506	-6.4	検挙件数(件)	
7,726	8,362	7,519	7,047	-472	-6.3	検挙人員(人)	
1,396	1,452	1,419	1,392	-27	-1.9	認知件数	殺人
1,336	1,366	1,342	1,345	3	0.2	検挙件数	
1,405	1,456	1,391	1,338	-53	-3.8	検挙人員	
6,984	7,664	7,295	5,988	-1,307	-17.9	認知件数	強盗
3,566	3,855	3,666	3,269	-397	-10.8	検挙件数	
4,151	4,698	4,154	3,844	-310	-7.5	検挙人員	
1,830	2,070	2,174	1,904	-270	-12.4	認知件数	放火
1,234	1,448	1,513	1,361	-152	-10.0	検挙件数	
815	866	867	791	-76	-8.8	検挙人員	
2,357	2,472	2,176	2,076	-100	-4.6	認知件数	強姦
1,468	1,569	1,403	1,443	40	2.9	検挙件数	
1,355	1,342	1,107	1,074	-33	-3.0	検挙人員	

図表 5 - 8 粗暴犯の罪種別

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
粗暴犯	認知件数(件)		37,506	40,570	41,751	43,822	64,418	72,801
	検挙件数(件)		28,046	29,967	29,638	28,488	39,211	39,924
	検挙人員(人)		37,110	40,432	39,755	37,874	50,419	50,428
凶器準備集合	認知件数		31	41	37	34	36	42
	検挙件数		31	41	36	33	36	43
	検挙人員		259	384	193	180	222	497
暴行	認知件数		6,469	7,254	7,367	7,792	13,225	16,928
	検挙件数		4,993	5,274	5,035	4,751	7,195	7,852
	検挙人員		5,877	6,492	5,885	5,505	8,119	8,636
傷害	認知件数		17,876	19,288	19,476	20,233	30,184	33,965
	検挙件数		15,078	16,098	15,892	15,644	21,731	22,544
	検挙人員		21,076	22,826	22,795	21,952	29,359	29,584
脅迫	認知件数		904	1,040	971	995	2,047	2,300
	検挙件数		852	943	910	869	1,524	1,590
	検挙人員		844	974	961	896	1,458	1,525
恐喝	認知件数		12,226	12,947	13,900	14,768	18,926	19,566
	検挙件数		7,092	7,611	7,765	7,191	8,725	7,895
	検挙人員		9,054	9,756	9,921	9,341	11,261	10,186

図表 5 - 9 窃盗犯の

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
窃盗犯	認知件数(件)		1,588,698	1,665,543	1,789,049	1,910,393	2,131,164	2,340,511
	検挙件数(件)		566,207	586,648	597,283	561,148	407,246	367,643
	検挙人員(人)		162,675	175,632	181,329	172,147	162,610	168,919
侵入窃盗	認知件数		223,590	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698
	検挙件数		174,116	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456
	検挙人員		15,866	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712
乗り物盗	認知件数		687,960	696,370	705,431	694,375	754,939	827,593
	検挙件数		125,117	127,704	121,075	108,657	69,698	65,435
	検挙人員		51,920	50,401	50,426	48,672	39,469	39,813
非侵入窃盗	認知件数		677,148	747,495	845,915	955,037	1,079,739	1,209,220
	検挙件数		266,974	292,825	310,390	299,507	228,420	212,752
	検挙人員		94,889	109,372	115,423	108,241	109,490	115,394

認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平17	増減		年次	区分
				件数・人員	率 (%)		
76,573	78,759	76,616	73,772	-2,844	-3.7	認知件数(件)	粗暴犯
40,425	42,296	41,128	44,037	2,909	7.1	検挙件数(件)	
49,615	49,530	46,801	49,156	2,355	5.0	検挙人員(人)	
30	34	27	16	-11	-40.7	認知件数	凶器準備集合
30	29	28	16	-12	-42.9	検挙件数	
283	419	279	95	-184	-65.9	検挙人員	
19,442	21,937	23,691	25,815	2,124	9.0	認知件数	暴行
8,348	9,539	10,666	13,703	3,037	28.5	検挙件数	
9,132	10,124	11,002	13,970	2,968	27.0	検挙人員	
36,324	36,568	35,937	34,484	-1,453	-4.0	認知件数	傷害
23,453	23,659	22,938	23,304	366	1.6	検挙件数	
29,862	28,999	27,069	27,130	61	0.2	検挙人員	
2,374	2,625	2,537	2,479	-58	-2.3	認知件数	脅迫
1,572	1,567	1,581	1,638	57	3.6	検挙件数	
1,527	1,457	1,388	1,522	134	9.7	検挙人員	
18,403	17,595	14,424	10,978	-3,446	-23.9	認知件数	恐喝
7,022	7,502	5,915	5,376	-539	-9.1	検挙件数	
8,811	8,531	7,063	6,439	-624	-8.8	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平17	増減		年次	区分
				件数・人員	率 (%)		
2,377,488	2,235,844	1,981,574	1,725,072	-256,502	-12.9	認知件数(件)	窃盗犯
403,872	433,918	447,950	429,038	-18,912	-4.2	検挙件数(件)	
180,725	191,403	195,151	194,119	-1,032	-0.5	検挙人員(人)	
338,294	333,233	290,595	244,776	-45,819	-15.8	認知件数	侵入窃盗
98,335	109,920	104,816	104,454	-362	-0.3	検挙件数	
13,696	14,208	13,548	12,564	-984	-7.3	検挙人員	
775,435	695,791	629,722	556,987	-72,735	-11.6	認知件数	乗り物盗
57,928	56,867	61,308	58,841	-2,467	-4.0	検挙件数	
39,589	41,265	38,952	37,768	-1,184	-3.0	検挙人員	
1,263,759	1,206,820	1,061,257	923,309	-137,948	-13.0	認知件数	非侵入窃盗
247,609	267,131	281,826	265,743	-16,083	-5.7	検挙件数	
127,440	135,930	142,651	143,787	1,136	0.8	検挙人員	



図表 5 - 10 侵入窃盗の

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
侵入窃盗	認知件数(件)		223,590	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698
	検挙件数(件)		174,116	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456
	検挙人員(人)		15,866	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712
うち)住宅対象	認知件数		113,827	113,782	123,863	134,492	154,074	161,883
	検挙件数		92,482	86,664	87,351	82,373	57,893	45,752
	検挙人員		5,774	5,688	5,813	5,755	5,275	5,144
空き巣	認知件数		80,361	79,746	87,393	99,174	117,725	124,387
	検挙件数		68,716	62,427	62,106	58,433	43,163	35,319
	検挙人員		4,026	3,920	4,064	3,963	3,734	3,678
忍込み	認知件数		26,619	27,335	28,971	28,268	28,537	29,093
	検挙件数		18,311	19,307	20,268	19,593	11,972	8,235
	検挙人員		993	1,002	959	1,039	867	796
居空き	認知件数		6,847	6,701	7,499	7,050	7,812	8,403
	検挙件数		5,455	4,930	4,977	4,347	2,758	2,198
	検挙人員		755	766	790	753	674	670
うち)金庫破り	認知件数		5,474	5,885	6,197	7,923	11,942	10,643
	検挙件数		2,523	2,945	3,120	2,494	2,881	3,154
	検挙人員		335	420	369	376	472	577
うち)学校荒し	認知件数		5,872	6,354	5,992	6,061	6,099	5,987
	検挙件数		4,416	4,438	4,402	3,522	2,642	2,564
	検挙人員		1,240	1,352	1,163	1,134	1,012	1,067
うち)事務所荒し	認知件数		36,926	35,921	38,668	43,781	54,483	51,333
	検挙件数		27,150	26,413	27,771	24,222	17,670	15,235
	検挙人員		2,073	1,956	1,865	1,968	1,718	1,774
うち)出店荒し	認知件数		35,716	33,875	36,728	41,714	41,613	43,678
	検挙件数		27,609	26,568	25,308	24,262	16,677	13,068
	検挙人員		2,705	2,715	2,612	2,400	2,085	2,211

図表 5 - 11 乗り物盗の

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
乗り物盗	認知件数(件)		687,960	696,370	705,431	694,375	754,939	827,593
	検挙件数(件)		125,117	127,704	121,075	108,657	69,698	65,435
	検挙人員(人)		51,920	50,401	50,426	48,672	39,469	39,813
自動車盗	認知件数		33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275
	検挙件数		19,264	18,291	18,210	15,241	11,415	13,390
	検挙人員		5,380	5,264	5,495	5,028	4,590	4,933
オートバイ盗	認知件数		240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517
	検挙件数		49,883	50,610	43,678	40,356	23,708	19,440
	検挙人員		19,669	19,131	18,697	17,296	15,143	14,707
自転車盗	認知件数		413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801
	検挙件数		55,970	58,803	59,187	53,060	34,575	32,605
	検挙人員		26,871	26,006	26,234	26,348	19,736	20,173

手口別認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平 17	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
338,294	333,233	290,595	244,776	-45,819	-15.8	認知件数(件)	侵入窃盗
98,335	109,920	104,816	104,454	-362	-0.3	検挙件数(件)	
13,696	14,208	13,548	12,564	-984	-7.3	検挙人員(人)	
189,336	190,473	170,991	142,945	-28,046	-16.4	認知件数	うち)住宅対象
51,897	59,133	57,948	60,486	2,538	4.4	検挙件数	
5,241	5,318	5,209	4,875	-334	-6.4	検挙人員	
147,500	146,808	133,159	111,700	-21,459	-16.1	認知件数	空き巣
37,950	44,368	43,521	45,611	2,090	4.8	検挙件数	
3,721	3,776	3,686	3,477	-209	-5.7	検挙人員	
32,860	34,893	29,456	24,159	-5,297	-18.0	認知件数	忍込み
11,642	12,452	12,211	12,362	151	1.2	検挙件数	
832	863	889	741	-148	-16.6	検挙人員	
8,976	8,772	8,376	7,086	-1,290	-15.4	認知件数	居空き
2,305	2,313	2,216	2,513	297	13.4	検挙件数	
688	679	634	657	23	3.6	検挙人員	
10,345	9,262	7,844	6,472	-1,372	-17.5	認知件数	うち)金庫破り
3,212	3,294	3,157	3,300	143	4.5	検挙件数	
615	678	509	544	35	6.9	検挙人員	
6,365	6,647	5,024	3,923	-1,101	-21.9	認知件数	うち)学校荒し
1,949	2,400	2,214	2,009	-205	-9.3	検挙件数	
1,001	1,239	1,115	894	-221	-19.8	検挙人員	
49,411	43,686	36,511	30,465	-6,046	-16.6	認知件数	うち)事務所荒し
16,897	16,472	13,016	11,988	-1,028	-7.9	検挙件数	
1,648	1,588	1,421	1,313	-108	-7.6	検挙人員	
48,719	48,526	39,739	34,573	-5,166	-13.0	認知件数	うち)出店荒し
14,700	17,385	16,922	16,106	-816	-4.8	検挙件数	
2,213	2,311	2,055	1,837	-218	-10.6	検挙人員	

手口別認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平 17	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
775,435	695,791	629,722	556,987	-72,735	-11.6	認知件数(件)	乗り物盗
57,928	56,867	61,308	58,841	-2,467	-4.0	検挙件数(件)	
39,589	41,265	38,952	37,768	-1,184	-3.0	検挙人員(人)	
62,673	64,223	58,737	46,728	-12,009	-20.4	認知件数	自動車盗
12,791	11,931	13,765	14,898	1,133	8.2	検挙件数	
4,775	4,599	3,823	3,366	-457	-12.0	検挙人員	
198,642	154,979	126,717	104,155	-22,562	-17.8	認知件数	オートバイ盗
15,725	12,447	11,715	11,621	-94	-0.8	検挙件数	
13,106	11,213	9,203	8,665	-538	-5.8	検挙人員	
514,120	476,589	444,268	406,104	-38,164	-8.6	認知件数	自転車盗
29,412	32,489	35,828	32,322	-3,506	-9.8	検挙件数	
21,708	25,453	25,926	25,737	-189	-0.7	検挙人員	

図表5 - 12 非侵入窃盗の

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
非侵入窃盗	認知件数(件)	677,148	747,495	845,915	955,037	1,079,739	1,209,220	
	検挙件数(件)	266,974	292,825	310,390	299,507	228,420	212,752	
	検挙人員(人)	94,889	109,372	115,423	108,241	109,490	115,394	
うち) ひったくり	認知件数	20,515	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838	
	検挙件数	11,696	13,373	19,636	20,597	14,796	12,925	
	検挙人員	1,845	2,118	2,605	3,304	3,072	3,078	
うち) すり	認知件数	23,483	22,181	21,019	21,928	24,526	25,691	
	検挙件数	11,718	11,064	9,597	8,189	5,012	4,412	
	検挙人員	932	972	953	967	813	770	
うち) 車上ねらい	認知件数	210,080	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	
	検挙件数	70,207	71,028	74,473	73,715	45,666	43,176	
	検挙人員	2,772	2,639	2,857	2,892	2,933	3,027	
うち) 部品ねらい	認知件数	47,348	52,726	61,192	73,824	101,338	129,380	
	検挙件数	9,000	8,699	10,548	10,206	6,527	6,650	
	検挙人員	1,875	1,716	1,745	1,965	2,006	2,082	
うち) 自動販売機 ねらい	認知件数	116,853	146,674	181,444	222,328	190,490	170,470	
	検挙件数	32,459	41,746	43,906	45,754	30,707	18,851	
	検挙人員	1,803	1,781	2,010	2,192	2,084	2,329	
うち) 万引き	認知件数	90,496	106,181	112,237	105,227	112,559	126,110	
	検挙件数	77,940	91,870	96,828	88,532	87,366	92,319	
	検挙人員	74,723	89,333	94,656	85,832	86,643	91,816	

図表5 - 13 知能犯の罪種別

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
知能犯	認知件数(件)	61,187	61,316	59,271	53,528	55,184	53,007	
	検挙件数(件)	58,178	57,811	55,118	47,827	44,322	37,800	
	検挙人員(人)	11,478	11,639	11,286	10,562	11,341	11,539	
詐欺	認知件数	49,394	49,426	48,279	43,431	44,384	43,104	
	検挙件数	46,582	46,233	44,405	38,340	35,255	30,017	
	検挙人員	8,256	8,748	8,651	8,178	8,492	8,495	
横領	認知件数	1,621	1,569	1,355	1,229	1,553	1,995	
	検挙件数	1,518	1,483	1,242	1,112	1,229	1,505	
	検挙人員	913	930	882	759	971	1,067	
偽造	認知件数	9,973	10,100	9,458	8,737	9,091	7,671	
	検挙件数	9,879	9,873	9,293	8,245	7,690	6,050	
	検挙人員	1,999	1,598	1,474	1,388	1,631	1,634	
汚職	認知件数	147	173	147	100	115	171	
	検挙件数	147	172	146	99	112	170	
	検挙人員	240	282	228	172	188	255	
あっせん 利得処罰法	認知件数	-	-	-	-	-	-	
	検挙件数	-	-	-	-	-	-	
	検挙人員	-	-	-	-	-	-	
背任	認知件数	52	48	32	31	41	66	
	検挙件数	52	50	32	31	36	58	
	検挙人員	70	81	51	65	59	88	

手口別認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平17	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
1,263,759	1,206,820	1,061,257	923,309	-137,948	-13.0	認知件数(件)	非侵入窃盗
247,609	267,131	281,826	265,743	-16,083	-5.7	検挙件数(件)	
127,440	135,930	142,651	143,787	1,136	0.8	検挙人員(人)	
52,919	46,354	39,399	32,017	-7,382	-18.7	認知件数	うち) ひったくり
18,434	14,861	13,561	10,406	-3,155	-23.3	検挙件数	
3,158	2,953	2,259	1,851	-408	-18.1	検挙人員	
24,590	25,338	19,198	15,446	-3,752	-19.5	認知件数	うち) すり
4,400	4,149	3,791	3,632	-159	-4.2	検挙件数	
796	836	970	938	-32	-3.3	検挙人員	
443,298	414,819	328,921	256,594	-72,327	-22.0	認知件数	うち) 車上ねらい
48,881	60,479	63,171	53,465	-9,706	-15.4	検挙件数	
3,322	3,491	3,238	2,634	-604	-18.7	検挙人員	
128,539	120,726	112,161	103,772	-8,389	-7.5	認知件数	うち) 部品ねらい
7,260	8,515	10,668	11,786	1,118	10.5	検挙件数	
2,429	2,345	2,134	1,973	-161	-7.5	検挙人員	
174,718	147,878	112,965	88,180	-24,785	-21.9	認知件数	うち) 自動販売機 ねらい
28,962	28,152	29,748	23,409	-6,339	-21.3	検挙件数	
2,850	3,231	2,560	2,027	-533	-20.8	検挙人員	
140,002	146,308	158,020	153,972	-4,048	-2.6	認知件数	うち) 万引き
101,445	106,925	114,465	115,636	1,171	1.0	検挙件数	
100,849	105,792	112,783	113,953	1,170	1.0	検挙人員	

認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平17	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
62,751	74,754	99,258	97,500	-1,758	-1.8	認知件数(件)	知能犯
39,884	40,574	36,299	38,151	1,852	5.1	検挙件数(件)	
13,173	13,653	14,850	15,053	203	1.4	検挙人員(人)	
49,482	60,298	83,015	85,596	2,581	3.1	認知件数	詐欺
31,547	30,364	26,617	29,384	2,767	10.4	検挙件数	
9,507	10,194	11,238	11,648	410	3.6	検挙人員	
2,151	2,183	2,543	2,347	-196	-7.7	認知件数	横領
1,503	1,375	1,517	1,453	-64	-4.2	検挙件数	
1,184	1,088	1,210	1,111	-99	-8.2	検挙人員	
10,883	12,103	13,547	9,410	-4,137	-30.5	認知件数	偽造
6,608	8,675	8,032	7,175	-857	-10.7	検挙件数	
2,112	2,124	2,236	2,033	-203	-9.1	検挙人員	
178	130	111	112	1	0.9	認知件数	汚職
174	127	107	111	4	3.7	検挙件数	
283	195	139	230	91	65.5	検挙人員	
1	0	1	1	0	0.0	認知件数	あっせん 利得処罰法
1	0	1	1	0	0.0	検挙件数	
2	0	0	0	0	-	検挙人員	
56	40	41	34	-7	-17.1	認知件数	背任
51	33	25	27	2	8.0	検挙件数	
85	52	27	31	4	14.8	検挙人員	

図表 5 - 14 風俗犯の罪種別

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
風俗犯	認知件数(件)	6,439	6,763	6,686	7,448	9,801	11,841	
	検挙件数(件)	5,841	6,124	5,899	5,438	5,809	6,066	
	検挙人員(人)	7,655	6,923	7,239	6,110	6,112	6,166	
賭博	認知件数	590	604	515	293	278	290	
	検挙件数	588	604	515	291	278	290	
	検挙人員	4,100	3,253	3,372	2,327	1,905	2,077	
わいせつ	認知件数	5,849	6,159	6,171	7,155	9,523	11,551	
	検挙件数	5,253	5,520	5,384	5,147	5,531	5,776	
	検挙人員	3,555	3,670	3,867	3,783	4,207	4,089	
うち) 強制わいせつ	認知件数	4,025	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326	
	検挙件数	3,438	3,786	3,498	3,388	3,602	3,887	
	検挙人員	1,675	1,854	1,890	1,926	2,286	2,236	
うち) 公然わいせつ	認知件数	1,203	1,290	1,250	1,212	1,554	1,771	
	検挙件数	1,193	1,261	1,217	1,163	1,377	1,438	
	検挙人員	1,114	1,143	1,096	1,102	1,179	1,261	

図表 5 - 15 その他の刑法犯の

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
その他の刑法犯	認知件数(件)	111,279	117,688	128,536	141,348	172,336	245,336	
	検挙件数(件)	71,372	72,326	77,353	81,524	73,008	83,362	
	検挙人員(人)	71,207	72,314	77,705	81,445	71,679	80,750	
うち) 占有離脱物横領	認知件数	58,592	58,955	64,025	67,635	55,850	63,775	
	検挙件数	58,361	58,726	63,783	67,383	55,271	62,773	
	検挙人員	61,107	61,372	66,687	70,053	57,138	64,628	
うち) 公務執行妨害	認知件数	1,268	1,434	1,395	1,531	2,082	2,354	
	検挙件数	1,256	1,423	1,384	1,508	2,049	2,302	
	検挙人員	1,379	1,567	1,492	1,569	1,997	2,057	
うち) 住居侵入	認知件数	11,246	12,281	13,308	14,549	20,976	26,686	
	検挙件数	3,666	3,999	4,013	4,094	4,818	5,245	
	検挙人員	2,336	2,489	2,679	2,868	3,445	3,856	
うち) 逮捕・監禁	認知件数	366	437	429	417	564	586	
	検挙件数	359	418	405	382	509	492	
	検挙人員	587	658	663	640	754	847	
うち) 略取・誘拐	認知件数	251	284	221	249	302	237	
	検挙件数	250	279	211	244	272	211	
	検挙人員	189	167	141	164	180	179	
うち) 盗品等	認知件数	1,188	1,258	1,382	1,502	1,731	2,388	
	検挙件数	1,193	1,248	1,373	1,495	1,725	2,372	
	検挙人員	1,197	1,197	1,373	1,486	1,688	2,322	
うち) 器物損壊等	認知件数	36,406	41,064	46,009	53,552	87,943	145,936	
	検挙件数	4,585	4,574	4,714	4,958	6,364	7,662	
	検挙人員	2,494	2,773	2,850	2,861	4,062	4,222	

認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平 17	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
12,220	13,034	12,346	12,085	-261	-2.1	認知件数(件)	風俗犯
5,633	6,165	6,070	6,422	352	5.8	検挙件数(件)	
5,912	5,886	5,688	6,373	685	12.0	検挙人員(人)	
300	208	249	221	-28	-11.2	認知件数	賭博
300	202	243	213	-30	-12.3	検挙件数	
1,928	1,725	1,422	1,771	349	24.5	検挙人員	
11,920	12,826	12,097	11,864	-233	-1.9	認知件数	わいせつ
5,333	5,963	5,827	6,209	382	6.6	検挙件数	
3,984	4,161	4,266	4,602	336	7.9	検挙人員	
9,476	10,029	9,184	8,751	-433	-4.7	認知件数	うち) 強制わいせつ
3,367	3,893	3,656	3,797	141	3.9	検挙件数	
2,130	2,273	2,225	2,286	61	2.7	検挙人員	
2,052	2,422	2,391	2,420	29	1.2	認知件数	うち) 公然わいせつ
1,573	1,706	1,669	1,741	72	4.3	検挙件数	
1,371	1,456	1,451	1,502	51	3.5	検挙人員	

罪種別認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平 17	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
312,140	374,087	379,909	349,504	-30,405	-8.0	認知件数(件)	その他の刑法犯
94,941	117,128	128,249	124,437	-3,812	-3.0	検挙件数(件)	
90,407	110,768	119,018	115,207	-3,811	-3.2	検挙人員(人)	
71,782	90,163	101,869	95,520	-6,349	-6.2	認知件数	うち) 占有離脱物横領
70,240	87,587	95,845	90,897	-4,948	-5.2	検挙件数	
72,283	89,358	96,083	91,306	-4,777	-5.0	検挙人員	
2,621	3,007	3,129	3,327	198	6.3	認知件数	うち) 公務執行妨害
2,544	2,909	2,957	3,188	231	7.8	検挙件数	
2,194	2,508	2,705	2,868	163	6.0	検挙人員	
33,872	40,348	37,857	34,518	-3,339	-8.8	認知件数	うち) 住居侵入
6,461	7,820	8,566	8,961	395	4.6	検挙件数	
4,214	5,361	5,993	6,107	114	1.9	検挙人員	
630	643	639	576	-63	-9.9	認知件数	うち) 逮捕・監禁
523	522	480	428	-52	-10.8	検挙件数	
887	822	762	642	-120	-15.7	検挙人員	
251	284	320	277	-43	-13.4	認知件数	うち) 略取・誘拐
215	231	232	204	-28	-12.1	検挙件数	
173	151	187	176	-11	-5.9	検挙人員	
2,987	4,519	5,547	5,403	-144	-2.6	認知件数	うち) 盗品等
2,967	4,457	5,310	5,198	-112	-2.1	検挙件数	
2,916	4,345	4,935	4,889	-46	-0.9	検挙人員	
196,018	230,743	226,059	205,312	-20,747	-9.2	認知件数	うち) 器物損壊等
9,607	11,100	12,332	12,884	552	4.5	検挙件数	
4,931	5,331	5,522	6,362	840	15.2	検挙人員	

図表 5 - 16 街頭犯罪・侵入犯罪の

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
街頭 犯 罪 関 係	路上強盗	認知件数(件)	826	1,034	1,119	1,495	2,070	2,509
		検挙件数(件)	684	824	873	925	930	968
		検挙人員(人)	1,058	1,497	1,503	1,609	1,645	1,658
		うち少年(人)	791	1,178	1,098	1,111	1,122	1,103
		少年の割合(%)	74.8	78.7	73.1	69.0	68.2	66.5
	ひったくり	認知件数	20,515	26,980	35,763	41,173	46,064	50,838
		検挙件数	11,696	13,373	19,636	20,597	14,796	12,925
		検挙人員	1,845	2,118	2,605	3,304	3,072	3,078
		うち少年	1,331	1,568	1,871	2,420	2,179	2,190
		少年の割合	72.1	74.0	71.8	73.2	70.9	71.2
	強姦	認知件数	1,483	1,657	1,873	1,857	2,260	2,228
		うち街頭	454	535	668	648	825	806
		街頭の割合	30.6	32.3	35.7	34.9	36.5	36.2
	強制 わいせつ	認知件数	4,025	4,398	4,251	5,346	7,412	9,326
		うち街頭	2,400	2,686	2,399	3,196	4,475	5,786
		街頭の割合	59.6	61.1	56.4	59.8	60.4	62.0
	略取・誘拐	認知件数	251	284	221	249	302	237
		うち街頭	170	202	166	181	216	179
		街頭の割合	67.7	71.1	75.1	72.7	71.5	75.5
	暴行	認知件数	6,469	7,254	7,367	7,792	13,225	16,928
うち街頭		4,177	4,722	4,801	5,051	8,734	11,352	
街頭の割合		64.6	65.1	65.2	64.8	66.0	67.1	
傷害	認知件数	17,876	19,288	19,476	20,233	30,184	33,965	
	うち街頭	10,273	11,306	11,157	11,687	16,965	19,400	
	街頭の割合	57.5	58.6	57.3	57.8	56.2	57.1	
恐喝	認知件数	12,226	12,947	13,900	14,768	18,926	19,566	
	うち街頭	8,199	8,802	9,344	10,419	13,230	13,856	
	街頭の割合	67.1	68.0	67.2	70.6	69.9	70.8	
自動車盗	認知件数	33,722	34,489	35,884	43,092	56,205	63,275	
	検挙件数	19,264	18,291	18,210	15,241	11,415	13,390	
	検挙人員	5,380	5,264	5,495	5,028	4,590	4,933	
	うち少年	2,257	2,106	2,091	1,658	1,531	1,691	
	少年の割合	42.0	40.0	38.1	33.0	33.4	34.3	
オートバイ盗	認知件数	240,400	234,649	246,364	242,977	253,433	242,517	
	検挙件数	49,883	50,610	43,678	40,356	23,708	19,440	
	検挙人員	19,669	19,131	18,697	17,296	15,143	14,707	
	うち少年	19,109	18,749	18,202	16,872	14,746	14,288	
	少年の割合	97.2	98.0	97.4	97.5	97.4	97.2	
自転車盗	認知件数	413,838	427,232	423,183	408,306	445,301	521,801	
	検挙件数	55,970	58,803	59,187	53,060	34,575	32,605	
	検挙人員	26,871	26,006	26,234	26,348	19,736	20,173	
	うち少年	15,466	16,476	16,675	16,271	12,991	13,843	
	少年の割合	57.6	63.4	63.6	61.8	65.8	68.6	
車上ねらい	認知件数	210,080	217,171	252,092	294,635	362,762	432,140	
	検挙件数	70,207	71,028	74,473	73,715	45,666	43,176	
	検挙人員	2,772	2,639	2,857	2,892	2,933	3,027	
	うち少年	798	793	742	704	658	663	
	少年の割合	28.8	30.0	26.0	24.3	22.4	21.9	
部品ねらい	認知件数	47,348	52,726	61,192	73,824	101,338	129,380	
	検挙件数	9,000	8,699	10,548	10,206	6,527	6,650	
	検挙人員	1,875	1,716	1,745	1,965	2,006	2,082	
	うち少年	1,149	1,024	1,054	1,234	1,259	1,329	
	少年の割合	61.3	59.7	60.4	62.8	62.8	63.8	
自動販売機 ねらい	認知件数	116,853	146,674	181,444	222,328	190,490	170,470	
	検挙件数	32,459	41,746	43,906	45,754	30,707	18,851	
	検挙人員	1,803	1,781	2,010	2,192	2,084	2,329	
	うち少年	740	821	789	1,044	1,196	1,593	
	少年の割合	41.0	46.1	39.3	47.6	57.4	68.4	
侵入 犯 罪 関 係	侵入強盗	認知件数(件)	1,004	1,002	1,314	1,649	1,786	2,335
		検挙件数(件)	727	734	897	1,020	1,024	1,116
		検挙人員(人)	610	719	854	993	982	1,094
		来日外国人検挙件数(件)	46	37	56	103	91	97
		来日外国人検挙人員(人)	65	43	63	160	132	138
侵入窃盗	認知件数	223,590	221,678	237,703	260,981	296,486	303,698	
	検挙件数	174,116	166,119	165,818	152,984	109,128	89,456	
	検挙人員	15,866	15,859	15,480	15,234	13,651	13,712	
	来日外国人検挙件数	2,402	2,416	2,885	4,744	6,396	6,147	
	来日外国人検挙人員	308	362	390	438	674	688	
住居侵入	認知件数	11,246	12,281	13,308	14,549	20,976	26,686	
	検挙件数	3,666	3,999	4,013	4,094	4,818	5,245	
	検挙人員	2,336	2,489	2,679	2,868	3,445	3,856	
	来日外国人検挙件数	97	100	95	182	159	195	
	来日外国人検挙人員	65	67	44	78	98	99	

認知・検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平 17	増減		年次	区分	
				件数・人員	率(%)			
2,888	2,955	2,695	2,192	-503	-18.7	認知件数(件)	路上強盗	
1,104	1,226	955	836	-119	-12.5	検挙件数(件)		
1,631	1,865	1,377	1,285	-92	-6.7	検挙人員(人)		
1,027	1,227	763	707	-56	-7.3	うち少年(人)		
63.0	65.8	55.4	55.0	-0.4	ポイント	少年の割合(%)		
52,919	46,354	39,399	32,017	-7,382	-18.7	認知件数	ひったくり	
18,434	14,861	13,561	10,406	-3,155	-23.3	検挙件数		
3,158	2,953	2,259	1,851	-408	-18.1	検挙人員		
2,166	1,957	1,352	1,025	-327	-24.2	うち少年		
68.6	66.3	59.8	55.4	-4.4	ポイント	少年の割合		
2,357	2,472	2,176	2,076	-100	-4.6	認知件数	強姦	
869	832	732	663	-69	-9.4	うち街頭		
36.9	33.7	33.6	31.9	-1.7	ポイント	街頭の割合		
9,476	10,029	9,184	8,751	-433	-4.7	認知件数	強制わいせつ	
5,915	6,145	5,510	5,254	-256	-4.6	うち街頭		
62.4	61.3	60.0	60.0	0.0	ポイント	街頭の割合		
251	284	320	277	-43	-13.4	認知件数	略取・誘拐	
175	213	237	199	-38	-16.0	うち街頭		
69.7	75.0	74.1	71.8	-2.3	ポイント	街頭の割合		
19,442	21,937	23,691	25,815	2,124	9.0	認知件数	暴行	
12,814	14,477	15,319	16,332	1,013	6.6	うち街頭		
65.9	66.0	64.7	63.3	-1.4	ポイント	街頭の割合		
36,324	36,568	35,937	34,484	-1,453	-4.0	認知件数	傷害	
20,465	20,097	19,218	17,961	-1,257	-6.5	うち街頭		
56.3	55.0	53.5	52.1	-1.4	ポイント	街頭の割合		
18,403	17,595	14,424	10,978	-3,446	-23.9	認知件数	恐喝	
12,514	11,089	8,534	6,346	-2,188	-25.6	うち街頭		
68.0	63.0	59.2	57.8	-1.4	ポイント	街頭の割合		
62,673	64,223	58,737	46,728	-12,009	-20.4	認知件数	自動車盗	
12,791	11,931	13,765	14,898	1,133	8.2	検挙件数		
4,775	4,599	3,823	3,366	-457	-12.0	検挙人員		
1,680	1,542	1,216	938	-278	-22.9	うち少年		
35.2	33.5	31.8	27.9	-3.9	ポイント	少年の割合		
198,642	154,979	126,717	104,155	-22,562	-17.8	認知件数	オートバイ盗	
15,725	12,447	11,715	11,621	-94	-0.8	検挙件数		
13,106	11,213	9,203	8,665	-538	-5.8	検挙人員		
12,650	10,669	8,735	8,188	-547	-6.3	うち少年		
96.5	95.1	94.9	94.5	-0.4	ポイント	少年の割合		
514,120	476,589	444,268	406,104	-38,164	-8.6	認知件数	自転車盗	
29,412	32,489	35,828	32,322	-3,506	-9.8	検挙件数		
21,708	25,453	25,926	25,737	-189	-0.7	検挙人員		
14,710	16,316	15,342	14,732	-610	-4.0	うち少年		
67.8	64.1	59.2	57.2	-2.0	ポイント	少年の割合		
443,298	414,819	328,921	256,594	-72,327	-22.0	認知件数	車上ねらい	
48,881	60,479	63,171	53,465	-9,706	-15.4	検挙件数		
3,322	3,491	3,238	2,634	-604	-18.7	検挙人員		
816	776	681	527	-154	-22.6	うち少年		
24.6	22.2	21.0	20.0	-1.0	ポイント	少年の割合		
128,539	120,726	112,161	103,772	-8,389	-7.5	認知件数	部品ねらい	
7,260	8,515	10,668	11,786	1,118	10.5	検挙件数		
2,429	2,345	2,134	1,973	-161	-7.5	検挙人員		
1,574	1,468	1,255	1,204	-51	-4.1	うち少年		
64.8	62.6	58.8	61.0	2.2	ポイント	少年の割合		
174,718	147,878	112,965	88,180	-24,785	-21.9	認知件数	自動販売機ねらい	
28,962	28,152	29,748	23,409	-6,339	-21.3	検挙件数		
2,850	3,231	2,560	2,027	-533	-20.8	検挙人員		
2,163	2,453	1,933	1,479	-454	-23.5	うち少年		
75.9	75.9	75.5	73.0	-2.5	ポイント	少年の割合		
2,436	2,865	2,776	2,205	-571	-20.6	認知件数(件)	侵入強盗	侵入
1,314	1,402	1,458	1,328	-130	-8.9	検挙件数(件)		
1,134	1,310	1,356	1,255	-101	-7.4	検挙人員(人)		
157	141	154	125	-29	-18.8	来日外国人検挙件数(件)	侵入窃盗	犯罪
163	218	201	170	-31	-15.4	来日外国人検挙人員(人)		
338,294	333,233	290,595	244,776	-45,819	-15.8	認知件数		
98,335	109,920	104,816	104,454	-362	-0.3	検挙件数		
13,696	14,208	13,548	12,564	-984	-7.3	検挙人員		
6,754	8,482	8,396	9,160	764	9.1	来日外国人検挙件数	住居侵入	関係
658	704	565	524	-41	-7.3	来日外国人検挙人員		
33,872	40,348	37,857	34,518	-3,339	-8.8	認知件数		
6,461	7,820	8,566	8,961	395	4.6	検挙件数	住居侵入	
4,214	5,361	5,993	6,107	114	1.9	検挙人員		
205	283	314	364	50	15.9	来日外国人検挙件数		
110	134	127	114	-13	-10.2	来日外国人検挙人員		



図表 5 - 17 来日外国人刑法犯の

区分		年次		平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
		検挙件数(件)	検挙人員(人)						
総数	検挙件数(件)	19,513	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199		
	検挙人員(人)	6,026	5,435	5,382	5,963	6,329	7,168		
凶悪犯	検挙件数	162	187	228	267	242	308		
	検挙人員	212	213	251	347	318	403		
うち)殺人	検挙件数	53	69	52	41	44	45		
	検挙人員	73	83	62	50	54	59		
うち)強盗	検挙件数	84	87	130	195	164	219		
	検挙人員	114	103	160	278	236	309		
侵入強盗	検挙件数	46	37	56	103	91	97		
	検挙人員	65	43	63	160	132	138		
非侵入強盗	検挙件数	38	50	74	92	67	122		
	検挙人員	49	60	97	118	104	171		
粗暴犯	検挙件数	272	265	272	282	494	508		
	検挙人員	279	313	305	338	568	578		
うち)傷害	検挙件数	164	184	192	178	347	339		
	検挙人員	191	199	213	224	393	378		
窃盗犯	検挙件数	15,952	19,128	19,078	22,404	19,952	14,823		
	検挙人員	3,399	3,155	3,098	3,404	3,803	4,135		
侵入窃盗	検挙件数	2,402	2,416	2,885	4,744	6,396	6,147		
	検挙人員	308	362	390	438	674	688		
うち)住宅対象	検挙件数	1,080	1,300	1,685	3,032	4,518	3,617		
	検挙人員	102	117	124	148	335	275		
乗り物盗	検挙件数	6,626	8,506	4,692	1,173	776	923		
	検挙人員	725	608	526	459	383	501		
うち)自動車盗	検挙件数	197	316	520	217	225	450		
	検挙人員	66	94	109	92	92	142		
非侵入窃盗	検挙件数	6,924	8,206	11,501	16,487	12,780	7,753		
	検挙人員	2,366	2,185	2,182	2,507	2,746	2,946		
うち)部品ねらい	検挙件数	146	102	600	994	828	634		
	検挙人員	51	43	48	59	64	91		
うち)車上ねらい	検挙件数	869	1,371	1,551	4,151	1,702	1,883		
	検挙人員	42	48	74	109	129	124		
うち)ひったくり	検挙件数	74	79	538	165	133	156		
	検挙人員	20	19	60	29	33	40		
うち)すり	検挙件数	1,033	1,919	1,501	1,252	762	901		
	検挙人員	57	96	96	152	117	76		
うち)自動販売機 ねらい	検挙件数	1,862	1,520	4,377	7,036	6,706	1,061		
	検挙人員	269	135	210	295	173	51		
うち)万引き	検挙件数	1,572	1,829	1,732	1,830	1,867	2,349		
	検挙人員	1,342	1,363	1,364	1,467	1,820	2,175		
知能犯	検挙件数	1,513	680	740	523	819	643		
	検挙人員	497	305	319	264	277	267		
うち)偽造	検挙件数	1,111	339	404	300	418	249		
	検挙人員	424	209	185	186	187	154		
風俗犯	検挙件数	50	93	107	79	85	95		
	検挙人員	132	173	169	150	122	133		
うち)強制わいせつ	検挙件数	15	37	77	58	51	67		
	検挙人員	16	33	35	32	35	47		
その他	検挙件数	1,564	1,317	1,264	1,580	1,355	1,822		
	検挙人員	1,507	1,276	1,240	1,460	1,241	1,652		
うち)占有離脱物 横領	検挙件数	1,353	1,065	1,037	1,202	974	1,336		
	検挙人員	1,351	1,051	1,049	1,214	967	1,342		
うち)住居侵入	検挙件数	97	100	95	182	159	195		
	検挙人員	65	67	44	78	98	99		
うち)略取・誘拐	検挙件数	4	10	10	13	10	12		
	検挙人員	7	33	24	32	16	19		

注：「住宅対象」とは、侵入窃盗のうち、空き巣、忍込み及び居空きをいう。

罪種・手口別検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平 17	増減		年次	区分
				件数・人員	率(%)		
24,258	27,258	32,087	33,037	950	3.0	検挙件数(件)	総数
7,690	8,725	8,898	8,505	-393	-4.4	検挙人員(人)	
323	336	345	315	-30	-8.7	検挙件数	凶悪犯
353	477	421	396	-25	-5.9	検挙人員	
34	37	40	51	11	27.5	検挙件数	うち)殺人
41	61	52	52	0	0.0	検挙人員	
247	255	269	236	-33	-12.3	検挙件数	うち)強盗
280	369	338	319	-19	-5.6	検挙人員	
157	141	154	125	-29	-18.8	検挙件数	侵入強盗
163	218	201	170	-31	-15.4	検挙人員	
90	114	115	111	-4	-3.5	検挙件数	非侵入強盗
117	151	137	149	12	8.8	検挙人員	
550	568	526	679	153	29.1	検挙件数	粗暴犯
628	633	591	774	183	31.0	検挙人員	
372	386	331	408	77	23.3	検挙件数	うち)傷害
430	438	379	471	92	24.3	検挙人員	
20,604	22,830	27,521	28,525	1,004	3.6	検挙件数	窃盗犯
4,395	4,555	4,717	4,344	-373	-7.9	検挙人員	
6,754	8,482	8,396	9,160	764	9.1	検挙件数	侵入窃盗
658	704	565	524	-41	-7.3	検挙人員	
4,852	6,722	7,006	8,149	1,143	16.3	検挙件数	うち)住宅対象
345	399	346	340	-6	-1.7	検挙人員	
1,180	1,108	1,579	1,737	158	10.0	検挙件数	乗り物盗
505	620	580	548	-32	-5.5	検挙人員	
700	601	958	1,178	220	23.0	検挙件数	うち)自動車盗
136	155	112	133	21	18.8	検挙人員	
12,670	13,240	17,546	17,628	82	0.5	検挙件数	非侵入窃盗
3,232	3,231	3,572	3,272	-300	-8.4	検挙人員	
888	566	766	953	187	24.4	検挙件数	うち)部品ねらい
69	69	70	51	-19	-27.1	検挙人員	
3,111	3,010	4,795	5,042	247	5.2	検挙件数	うち)車上ねらい
105	100	179	111	-68	-38.0	検挙人員	
164	126	35	78	43	122.9	検挙件数	うち)ひったくり
43	52	26	32	6	23.1	検挙人員	
831	853	817	1,161	344	42.1	検挙件数	うち)すり
84	81	87	64	-23	-26.4	検挙人員	
4,384	5,335	7,336	6,751	-585	-8.0	検挙件数	うち)自動販売機 ねらい
37	61	29	22	-7	-24.1	検挙人員	
2,564	2,441	2,844	2,743	-101	-3.6	検挙件数	うち)万引き
2,415	2,389	2,588	2,476	-112	-4.3	検挙人員	
678	728	797	721	-76	-9.5	検挙件数	知能犯
339	497	564	525	-39	-6.9	検挙人員	
448	461	538	481	-57	-10.6	検挙件数	うち)偽造
228	343	381	348	-33	-8.7	検挙人員	
87	90	85	99	14	16.5	検挙件数	風俗犯
76	93	139	133	-6	-4.3	検挙人員	
64	70	58	66	8	13.8	検挙件数	うち)強制わいせつ
30	42	46	50	4	8.7	検挙人員	
2,016	2,706	2,813	2,698	-115	-4.1	検挙件数	その他
1,899	2,470	2,466	2,333	-133	-5.4	検挙人員	
1,487	2,022	1,968	1,781	-187	-9.5	検挙件数	うち)占有離脱物 横領
1,516	2,009	1,938	1,801	-137	-7.1	検挙人員	
205	283	314	364	50	15.9	検挙件数	うち)住居侵入
110	134	127	114	-13	-10.2	検挙人員	
8	8	2	10	8	400.0	検挙件数	うち)略取・誘拐
18	7	6	19	13	216.7	検挙人員	

図表4 - 18 来日外国人刑法犯の

区分		年次	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
総数	検挙件数(件)		19,513	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199
	検挙人員(人)		6,026	5,435	5,382	5,963	6,329	7,168
アジア州	検挙件数		15,960	17,903	16,454	17,399	18,201	13,245
	検挙人員		4,763	4,241	4,043	4,514	4,804	5,160
韓国	検挙件数		1,940	1,984	1,758	1,984	2,001	1,134
	検挙人員		725	509	538	580	590	581
中国	検挙件数		6,186	5,849	7,918	12,487	14,331	9,491
	検挙人員		2,661	2,457	2,401	2,823	3,111	3,343
うち)台湾	検挙件数		309	129	260	138	99	117
	検挙人員		124	93	87	92	60	94
うち)香港等	検挙件数		81	184	229	61	56	429
	検挙人員		33	44	33	10	13	17
イラン	検挙件数		458	294	210	155	100	271
	検挙人員		150	103	72	66	64	68
インドネシア	検挙件数		128	101	83	75	72	47
	検挙人員		85	53	68	77	35	43
スリランカ	検挙件数		36	57	114	16	23	36
	検挙人員		24	34	19	16	23	26
タイ	検挙件数		276	186	120	117	125	83
	検挙人員		145	119	84	90	85	71
パキスタン	検挙件数		97	247	88	63	93	178
	検挙人員		46	34	32	40	56	57
バングラディシュ	検挙件数		32	52	23	18	21	15
	検挙人員		31	32	17	16	24	19
フィリピン	検挙件数		629	541	887	727	375	370
	検挙人員		326	315	269	237	241	243
ベトナム	検挙件数		5,557	7,755	4,123	848	501	688
	検挙人員		274	329	340	347	377	469
マレーシア	検挙件数		280	561	812	597	211	261
	検挙人員		135	115	81	60	40	50
ミャンマー	検挙件数		71	106	132	70	39	66
	検挙人員		50	46	36	41	29	25
トルコ	検挙件数		63	20	45	89	138	412
	検挙人員		12	13	12	40	33	27
その他	検挙件数		207	150	141	153	171	193
	検挙人員		99	82	74	81	96	138
ヨーロッパ州	検挙件数		307	317	314	268	392	362
	検挙人員		257	247	236	238	270	325
イギリス	検挙件数		50	68	61	26	120	51
	検挙人員		34	63	38	27	33	48
フランス	検挙件数		36	19	31	19	19	10
	検挙人員		17	20	15	11	18	11
ロシア	検挙件数		123	132	143	151	153	241
	検挙人員		121	112	129	136	150	204
その他	検挙件数		98	98	79	72	100	60
	検挙人員		85	52	54	64	69	62
南北アメリカ州	検挙件数		3,138	3,308	4,804	7,369	4,237	4,466
	検挙人員		906	859	1,018	1,129	1,156	1,565
アメリカ	検挙件数		496	365	111	131	160	183
	検挙人員		131	107	89	79	102	106
コロンビア	検挙件数		387	557	215	217	24	249
	検挙人員		56	53	61	36	27	76
ブラジル	検挙件数		979	1,202	3,278	5,110	3,273	3,457
	検挙人員		304	347	536	658	682	958
ペルー	検挙件数		1,098	990	1,023	1,250	482	425
	検挙人員		310	264	255	263	261	326
その他	検挙件数		178	194	177	661	298	152
	検挙人員		105	88	77	93	84	99
アフリカ州	検挙件数		56	58	56	43	60	78
	検挙人員		43	46	46	40	56	66
オセアニア州	検挙件数		51	82	61	54	57	46
	検挙人員		57	41	39	41	43	50
無国籍・国籍不明	検挙件数		1	2	0	2	0	2
	検挙人員		0	1	0	1	0	2

注：「香港等」とは、中国国籍を有する者のうち、香港特別行政区又は香港特別行政区以外の政府（シンガポール、マレーシア等）が発給した身分証明書を有する者をいう。

国籍別検挙状況の推移

平 14	平 15	平 16	平 17	前年同期比		年次		
				件数・人員	率(%)	検挙件数(件)	検挙人員(人)	
								区分
24,258	27,258	32,087	33,037	950	3.0	検挙件数(件)	総数	
7,690	8,725	8,898	8,505	-393	-4.4	検挙人員(人)		
17,406	20,199	22,530	22,381	-149	-0.7	検挙件数	アジア州	
5,573	6,498	6,516	6,043	-473	-7.3	検挙人員		
1,211	1,424	1,454	1,466	12	0.8	検挙件数	韓国	
473	496	617	536	-81	-13.1	検挙人員		
9,691	11,677	11,638	11,739	101	0.9	検挙件数	中国	
3,632	4,554	4,408	3,884	-524	-11.9	検挙人員		
429	116	215	255	40	18.6	検挙件数	うち)台湾	
102	82	85	100	15	17.6	検挙人員		
88	26	83	118	35	42.2	検挙件数	うち)香港等	
27	28	38	45	7	18.4	検挙人員		
94	70	29	66	37	127.6	検挙件数	イラン	
69	47	23	60	37	160.9	検挙人員		
88	82	87	51	-36	-41.4	検挙件数	インドネシア	
79	65	84	68	-16	-19.0	検挙人員		
120	34	301	389	88	29.2	検挙件数	スリランカ	
34	27	49	69	20	40.8	検挙人員		
96	70	79	207	128	162.0	検挙件数	タイ	
83	68	72	103	31	43.1	検挙人員		
84	60	122	153	31	25.4	検挙件数	パキスタン	
51	44	37	45	8	21.6	検挙人員		
33	43	46	50	4	8.7	検挙件数	バングラディシュ	
30	28	43	41	-2	-4.7	検挙人員		
458	420	364	431	67	18.4	検挙件数	フィリピン	
294	329	353	386	33	9.3	検挙人員		
760	681	739	792	53	7.2	検挙件数	ベトナム	
583	549	576	592	16	2.8	検挙人員		
284	48	46	25	-21	-45.7	検挙件数	マレーシア	
54	40	56	29	-27	-48.2	検挙人員		
19	45	29	26	-3	-10.3	検挙件数	ミャンマー	
18	25	25	20	-5	-20.0	検挙人員		
4,272	5,353	7,350	6,779	-571	-7.8	検挙件数	トルコ	
26	67	27	28	1	3.7	検挙人員		
196	192	246	207	-39	-15.9	検挙件数	その他	
147	159	146	182	36	24.7	検挙人員		
378	370	432	556	124	28.7	検挙件数	ヨーロッパ州	
348	336	387	444	57	14.7	検挙人員		
68	57	63	76	13	20.6	検挙件数	イギリス	
71	47	56	75	19	33.9	検挙人員		
34	60	29	46	17	58.6	検挙件数	フランス	
29	35	27	44	17	63.0	検挙人員		
164	153	251	307	56	22.3	検挙件数	ロシア	
151	160	220	213	-7	-3.2	検挙人員		
112	100	89	127	38	42.7	検挙件数	その他	
97	94	84	112	28	33.3	検挙人員		
6,314	6,505	8,930	9,881	951	10.6	検挙件数	南北アメリカ州	
1,636	1,733	1,824	1,833	9	0.5	検挙人員		
137	154	154	198	44	28.6	検挙件数	アメリカ	
128	119	135	156	21	15.6	検挙人員		
645	1,066	862	1,768	906	105.1	検挙件数	コロンビア	
116	109	86	101	15	17.4	検挙人員		
4,967	4,520	7,001	6,811	-190	-2.7	検挙件数	ブラジル	
952	1,005	1,116	1,064	-52	-4.7	検挙人員		
436	620	631	814	183	29.0	検挙件数	ペルー	
327	364	344	369	25	7.3	検挙人員		
129	145	282	290	8	2.8	検挙件数	その他	
113	136	143	143	0	0.0	検挙人員		
91	107	106	144	38	35.8	検挙件数	アフリカ州	
67	81	81	119	38	46.9	検挙人員		
69	75	87	75	-12	-13.8	検挙件数	オセアニア州	
63	75	86	65	-21	-24.4	検挙人員		
0	2	2	0	-2	-100.0	検挙件数	無国籍・国籍不明	
3	2	4	1	-3	-75.0	検挙人員		

図表5 - 19 刑法犯の発生場所別認知件数（全刑法犯、

発生場所	罪種・手口	刑法犯	凶悪犯	殺人				強盗		放火	強姦	粗暴犯
				殺人	強盗	うち路上強盗						
						うち侵入強盗	うち路上強盗					
住宅		2,269,293	11,360	1,392	5,988	2,205	2,192	1,904	2,076	73,772		
一戸建住宅		448,885	3,701	802	855	703	17	1,099	945	11,613		
共同住宅		234,792	1,541	403	348	322	1	624	166	4,658		
共同住宅（4階建以上）		214,093	2,160	399	507	381	16	475	779	6,955		
共同住宅（3階建以下）		96,352	965	196	289	190	14	149	331	3,477		
共同住宅（3階建以下）		117,741	1,195	203	218	191	2	326	448	3,478		
事業所等		594,981	2,872	156	2,051	1,479	22	382	283	16,936		
一般事務所		80,863	218	37	53	45	1	113	15	1,860		
店舗		448,429	2,465	90	1,968	1,421	13	172	235	12,555		
商店		295,830	1,546	20	1,425	1,020	9	91	10	4,095		
デパート		37,478	53	2	37	5	2	13	1	460		
コンビニエンスストア		26,068	741	6	728	665	4	3	4	1,162		
ドラッグストア		13,484	48	0	45	25	0	3	0	58		
ディスカウントストア		17,803	46	0	45	13	0	1	0	180		
その他のスーパーマーケット		104,860	272	4	232	57	1	34	2	1,007		
コンビニエンスストア		4,559	36	0	36	29	0	0	0	96		
貴金属店		730	9	0	8	7	0	1	0	7		
古物店		2,364	12	0	12	8	0	0	0	36		
給油所		9,354	39	0	39	28	1	0	0	214		
その他の商店		79,130	290	8	243	183	1	36	3	875		
サービス営業店		152,599	919	70	543	401	4	81	225	8,460		
生活環境営業		112,643	712	67	351	229	4	74	220	7,815		
一般ホテル・旅館		7,600	82	9	27	11	0	8	38	332		
サウナ等公衆浴場		9,307	4	0	1	1	0	1	2	166		
映画館劇場等		787	1	0	0	0	0	1	0	30		
ばちこ屋・まあじゃん屋等		21,519	59	4	51	21	0	4	0	866		
景品交換所		103	15	0	15	11	0	0	0	4		
ゲームセンター		9,610	14	0	14	4	2	0	0	492		
その他の風俗営業店		5,646	51	2	30	24	0	4	15	724		
個室付浴場		86	2	0	2	1	0	0	0	6		
モーテル・ラブホテル等		2,725	202	4	57	24	1	4	137	143		
その他の店舗型風俗特殊営業店		762	30	1	23	22	0	3	3	83		
深夜飲食店		14,646	102	26	46	41	0	10	20	2,417		
その他の飲食店		39,852	150	21	85	69	1	39	5	2,552		
金融機関等		25,808	191	2	187	172	0	1	1	335		
質屋		272	14	0	14	12	0	0	0	5		
貸金業		3,414	31	1	30	29	0	0	0	27		
銀行		13,633	30	0	30	24	0	0	0	182		
郵便局		4,611	94	0	94	90	0	0	0	64		
信用金庫・組合		1,888	13	0	13	12	0	0	0	21		
農(漁)業協同組合		1,990	9	1	6	5	0	1	1	36		
公営競技場		746	0	0	0	0	0	0	0	41		
競馬場		270	0	0	0	0	0	0	0	5		
競輪場		226	0	0	0	0	0	0	0	17		
オートレース場		64	0	0	0	0	0	0	0	2		
競艇場		186	0	0	0	0	0	0	0	17		
スポーツ・行業施設		13,402	16	1	5	0	0	6	4	269		
ゴルフ場		2,633	1	0	1	0	0	0	0	17		
その他のスポーツ施設		9,801	13	1	3	0	0	5	4	230		
遊園地動物園		968	2	0	1	0	0	1	0	22		
学校(幼稚園)		38,516	66	4	8	2	2	38	16	1,770		
病(医)院診療所		15,859	56	24	11	9	2	17	4	526		
神社仏閣		11,314	67	1	11	2	4	42	13	225		
街頭		1,097,545	4,102	351	2,903	1	2,101	185	663	41,255		
道路上		359,711	2,767	215	2,270	0	1,806	39	243	28,291		
駐車(輪)場		668,435	781	59	448	1	216	95	179	6,231		
都市公園		15,210	172	28	79	0	58	16	49	1,931		
空き地		17,195	116	11	17	0	10	27	61	401		
公共交通機関等		33,573	59	18	20	0	4	8	13	3,720		
地下鉄内		1,580	0	0	0	0	0	0	0	148		
新幹線内		630	0	0	0	0	0	0	0	16		
その他の列車内		9,682	1	0	1	0	0	0	0	709		
駅		17,219	33	7	15	0	4	5	6	2,484		
その他の鉄道施設		922	2	0	1	0	0	0	1	93		
航空機内		50	0	0	0	0	0	0	0	11		
空港		669	2	1	1	0	0	0	0	51		
船舶内		427	2	1	0	0	0	0	1	10		
海港		1,889	19	9	2	0	0	3	5	68		
バス内		505	0	0	0	0	0	0	0	130		
その他の交通機関		2,170	193	19	57	0	2	0	117	537		
タクシー内		1,314	34	0	34	0	0	0	0	255		
その他の自動車内		856	159	19	23	0	2	0	117	282		
その他の街頭		1,251	14	1	12	0	5	0	1	144		
地下街地下道路		679	9	0	8	0	3	0	1	101		
高速道路		572	5	1	4	0	2	0	0	43		
その他		127,882	685	83	179	22	52	238	185	3,968		

凶悪犯、粗暴犯、窃盗犯）（平成17年）

凶器準備集合	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗犯				罪種・手口	発生場所
					侵入窃盗	乗り物盗	自動車盗			
16	25,815	34,484	2,479	10,978	1,725,072	244,776	556,987	46,728		総数
1	2,925	6,156	1,008	1,523	314,951	146,243	81,580	4,722		住宅
0	935	2,456	556	711	163,683	85,537	35,482	2,970		一戸建住宅
1	1,990	3,700	452	812	151,268	60,706	46,098	1,752		共同住宅
0	1,063	1,768	227	419	65,364	22,864	24,112	783		共同住宅（4階建以上）
1	927	1,932	225	393	85,904	37,842	21,986	969		共同住宅（3階建以下）
2	5,330	8,289	713	2,602	474,612	88,567	34,306	2,624		事務所等
2	434	878	200	346	62,635	34,572	3,353	1,594		一般事務所
0	4,344	5,872	377	1,962	364,118	43,451	20,332	968		店舗
0	1,666	1,458	117	854	261,497	22,703	14,869	688		商店
0	152	137	14	157	34,963	198	1,867	14		デパート
0	523	417	23	199	20,882	420	2,131	179		コンビニエンスストア
0	26	24	3	5	12,757	578	292	8		ドラッグストア
0	84	66	6	24	16,585	466	586	9		ディスカウントストア
0	441	337	25	204	98,054	1,811	6,430	76		その他のスーパーマーケット
0	40	36	1	19	3,880	239	609	8		レタリング店
0	3	1	0	3	532	100	21	2		貴金属店
0	15	11	2	8	1,963	380	120	29		古物店
0	78	84	7	45	5,540	2,286	165	78		給油所
0	304	345	36	190	66,341	16,225	2,648	285		その他の商店
0	2,678	4,414	260	1,108	102,621	20,748	5,463	280		サービス営業店
0	2,499	4,205	234	877	82,482	19,269	4,280	216		生活環境営業
0	73	167	14	78	5,228	742	116	23		一般ホテル・旅館
0	72	84	7	3	8,722	188	110	9		サウナ等公衆浴場
0	14	12	1	3	672	14	49	1		映画館劇場等
0	383	373	23	87	17,642	537	911	62		ばちこ屋・まあじゃん屋等
0	1	0	1	2	53	35	0	0		景品交換所
0	183	167	3	139	8,188	209	976	10		ゲームセンター
0	214	464	11	35	3,562	712	370	15		その他の風俗営業店
0	4	1	1	0	67	11	2	1		個室付浴場
0	24	78	8	33	1,382	146	18	9		モーテル・ラブホテル等
0	22	47	2	12	496	121	24	3		その他の店舗型風俗特殊営業店
0	690	1,562	61	104	8,644	3,544	208	17		深夜飲食店
0	819	1,250	102	381	27,826	13,010	1,496	66		その他の飲食店
0	57	55	22	201	7,625	516	255	24		金融機関等
0	1	1	1	2	126	23	3	0		質屋
0	5	5	1	16	822	62	4	0		貸金業
0	26	15	11	130	3,676	10	102	1		銀行
0	18	15	3	28	1,184	48	46	1		郵便局
0	3	3	3	12	518	19	17	1		信用金庫・組合
0	4	16	3	13	1,299	354	83	21		農(漁)業協同組合
0	22	17	0	2	601	5	49	1		公営競技場
0	2	3	0	0	237	1	15	1		競馬場
0	9	7	0	1	173	3	21	0		競輪場
0	1	1	0	0	50	1	4	0		オートレース場
0	10	6	0	1	141	0	9	0		競艇場
0	100	137	4	28	11,913	958	879	39		スポーツ・行業施設
0	5	9	1	2	2,448	424	18	14		ゴルフ場
0	87	117	3	23	8,605	502	839	25		その他のスポーツ施設
0	8	11	0	3	860	32	22	0		遊園地動物園
0	358	1,132	98	182	25,177	5,103	9,746	24		学校(幼稚園)
0	148	288	35	55	13,215	3,437	652	19		病(医)院診療所
0	46	119	3	57	9,467	2,004	223	19		神社仏閣
11	16,332	17,961	605	6,346	836,227	346	423,466	35,757		街頭
5	11,731	12,170	404	3,981	240,755	3	123,434	5,519		道路上
3	1,657	2,973	112	1,486	551,782	127	289,404	29,036		駐車(輪)場
3	473	968	30	457	7,610	23	2,085	11		都市公園
0	84	224	12	81	12,134	5	3,837	1,154		空き地
0	2,135	1,330	32	223	23,103	182	4,674	35		公共交通機関等
0	95	49	1	3	1,266	0	0	0		地下鉄内
0	8	8		0	589	0	0	0		新幹線内
0	436	238	10	25	7,975	0	0	0		その他の列車内
0	1,412	883	17	172	10,349	91	4,554	5		駅
0	40	38	1	14	321	46	32	3		その他の鉄道施設
0	5	6	0	0	31	0	0	0		航空機内
0	32	16	1	2	426	5	10	1		空港
0	4	6	0	0	374	0	0	0		船舶内
0	14	48	1	5	1,492	40	78	26		海港
0	89	38	1	2	280	0	0	0		バス内
0	198	233	12	94	238	0	0	0		その他の交通機関
0	138	95	2	20	116	0	0	0		タクシー内
0	60	138	10	74	122	0	0	0		その他の自動車内
0	54	63	3	24	605	6	32	2		その他の街頭
0	43	34	1	23	420	1	29	0		地下街地下道路
0	11	29	2	1	185	5	3	2		高速道路
2	1,228	2,078	153	507	99,282	9,620	17,635	3,626		その他

図表5 - 20 刑法犯の発生場所別認知件数（非侵入窃盗、

発生場所	罪種・手口		非侵入窃盗						知能犯
	オートバイ盗	自転車盗	うちひったくり	うちすり	うち車上ねらい	うち部品ねらい	うち自動販売機ねらい		
総数	104,155	406,104	923,309	32,017	15,446	256,594	103,772	88,180	97,500
住宅	23,617	53,241	87,128	113	0	22,148	12,381	4,307	41,016
一戸建住宅	10,211	22,301	42,664	0	0	14,143	4,652	1,832	27,205
共同住宅	13,406	30,940	44,464	113	0	8,005	7,729	2,475	13,811
共同住宅（4階建以上）	6,575	16,754	18,388	84	0	3,648	4,102	1,034	7,566
共同住宅（3階建以下）	6,831	14,186	26,076	29	0	4,357	3,627	1,441	6,245
事業所等	3,870	27,812	351,739	162	6,635	14,677	3,943	34,959	43,204
一般事務所	562	1,197	24,710	2	10	1,762	1,914	11,016	5,308
店舗	2,712	16,652	300,335	149	6,342	10,700	1,665	22,951	37,234
商店	1,723	12,458	223,925	100	3,802	5,973	1,228	18,249	11,949
デパート	160	1,693	32,898	25	1,739	219	46	130	870
コンビニエンスストア	241	1,711	18,331	9	44	1,077	68	880	1,258
ドラッグストア	28	256	11,887	4	33	244	11	469	153
ディスカウントストア	82	495	15,533	4	135	362	29	408	401
その他のスーパーマーケット	597	5,757	89,813	52	1,387	2,412	183	3,159	1,643
リサイクル店	59	542	3,032	1	18	300	11	109	184
貴金属店	4	15	411	0	2	16	6	13	101
古物店	17	74	1,463	0	4	50	83	41	152
給油所	44	43	3,089	0	0	133	48	401	2,728
その他の商店	491	1,872	47,468	5	440	1,160	743	12,639	4,459
サービス営業店	989	4,194	76,410	49	2,540	4,727	437	4,702	25,285
生活環境営業	842	3,222	58,933	40	2,136	4,100	356	2,782	9,065
一般ホテル・旅館	19	74	4,370	2	36	152	34	190	1,443
娯楽等公衆浴場	34	67	8,424	1	46	423	9	127	132
映画館劇場等	1	47	609	0	112	4	2	6	10
ばちこ屋・まあじゃん屋等	287	562	16,194	24	553	1,764	94	198	290
景品交換所	0	0	18	0	1	0	0	1	19
ゲームセンター	107	859	7,003	8	638	151	31	253	104
その他の風俗営業店	42	313	2,480	0	85	97	42	195	468
個室付浴場	1	0	54	0	0	2	0	2	8
モーテル・ラブホテル等	3	6	1,218	2	1	85	4	54	738
その他の店舗型風俗特殊営業店	2	19	351	0	5	11	6	48	38
深夜飲食店	34	157	4,892	0	268	244	18	71	1,754
その他の飲食店	312	1,118	13,320	3	391	1,167	116	1,637	4,061
金融機関等	48	183	6,854	5	54	134	29	520	16,104
質屋	0	3	100	0	0	1	0	3	84
貸金業	0	4	756	0	0	2	1	1	2,390
銀行	12	89	3,564	3	37	32	4	5	9,065
郵便局	11	34	1,090	0	11	25	1	9	3,029
信用金庫・組合	3	13	482	2	2	15	4	11	1,191
農(漁)業協同組合	22	40	862	0	4	59	19	491	345
公営競技場	18	30	547	1	194	11	7	13	25
競馬場	8	6	221	1	66	1	2	3	10
競輪場	5	16	149	0	71	2	1	4	8
オートレース場	2	2	45	0	12	4	3	5	3
競艇場	3	6	132	0	45	4	1	1	4
スポーツ・行楽施設	81	759	10,076	3	156	482	45	1,387	91
ゴルフ場	0	4	2,006	0	1	99	5	425	17
その他のスポーツ施設	78	736	7,264	2	93	364	39	864	63
遊園地動物園	3	19	806	1	62	19	1	98	11
学校(幼稚園)	415	9,307	10,328	6	27	1,647	243	759	166
病(医)院診療所	155	478	9,126	2	66	262	96	172	390
神社仏閣	26	178	7,240	3	190	306	25	61	106
街頭	73,342	314,367	412,415	31,521	7,972	213,926	84,274	30,234	9,966
道路上	22,183	95,732	117,318	31,065	1,701	46,156	8,591	15,059	5,716
駐車(輪)場	49,977	210,391	262,251	354	89	163,167	73,970	11,845	1,153
都市公園	190	1,884	5,502	39	90	1,254	107	524	47
空き地	708	1,975	8,292	3	4	3,010	1,072	2,365	37
公共交通機関等	283	4,356	18,247	45	5,983	267	530	434	1,831
地下鉄内	0	0	1,266	2	779	0	0	2	6
新幹線内	0	0	589	0	246	0	0	6	1
その他の列車内	0	0	7,975	2	3,544	0	0	4	31
駅	255	4,294	5,704	37	1,268	73	142	331	1,592
その他の鉄道施設	4	25	243	4	12	4	21	26	21
航空機内	0	0	31	0	1	0	0	1	3
空港	3	6	411	0	21	4	5	5	130
船舶内	0	0	374	0	7	6	58	1	2
海港	21	31	1,374	0	4	180	304	57	20
バス内	0	0	280	0	101	0	0	1	25
その他の交通機関	0	0	238	1	13	0	0	0	914
タクシー内	0	0	116	0	2	0	0	0	854
その他の自動車内	0	0	122	1	11	0	0	0	60
その他の街頭	1	29	567	14	92	72	4	7	268
地下街地下道路	0	29	390	13	81	1	1	3	21
高速道路	1	0	177	1	11	71	3	4	247
その他	3,326	10,684	72,027	221	839	5,843	3,174	18,680	3,314

知能犯、風俗犯、その他の刑法犯) (平成17年)

うち詐欺	風俗犯	うち強制わいせつ	その他の刑法犯	うち占有離脱物横領	うち公務執行妨害	うち住居侵入	うち略取・誘拐	うち器物損壊等	罪種・手口	発生場所								
											総数	住宅	一戸建住宅	共同住宅	共同住宅(4階建以上)	共同住宅(3階建以下)	事務所等	一般事務所
85,596	12,085	8,751	349,504	95,520	3,327	34,518	277	205,312		総数								
40,280	2,544	2,185	75,060	3,097	215	21,608	41	48,357		住宅								
26,818	474	377	37,231	423	93	11,919	16	23,962		一戸建住宅								
13,462	2,070	1,808	37,829	2,674	122	9,689	25	24,395		共同住宅								
7,380	1,302	1,136	17,678	1,341	56	3,433	14	12,400		共同住宅(4階建以上)								
6,082	768	672	20,151	1,333	66	6,256	11	11,995		共同住宅(3階建以下)								
34,981	1,588	749	55,769	5,161	362	10,856	19	37,133		事務所等								
3,923	104	59	10,738	297	117	3,161	1	6,696		一般事務所								
30,549	1,248	485	30,809	3,651	195	4,861	12	20,744		店舗								
8,965	702	217	16,041	2,181	49	2,570	6	10,650		商店								
578	65	39	1,067	198	4	64	2	724		デパート								
781	94	27	1,931	537	19	49	0	1,260		コンビニエンスストア								
83	11	4	457	63	1	82	0	302		ドラッグストア								
288	16	5	575	114	4	103	1	335		ディスカウントストア								
1,128	115	60	3,769	896	6	390	2	2,311		その他のスーパーマーケット								
149	117	5	246	51	0	25	0	164		リサイクル店								
78	1	1	80	6	0	22	0	49		貴金属店								
109	21	5	180	10	1	38	0	99		古物店								
2,658	5	2	828	75	5	182	0	551		給油所								
3,113	257	69	6,908	231	9	1,615	1	4,855		その他の商店								
21,584	546	268	14,768	1,470	146	2,291	6	10,094		サービス営業店								
8,320	500	243	12,069	1,109	129	1,948	6	8,348		生活環境営業								
1,354	39	32	476	50	9	85	0	287		一般ホテル・旅館								
123	39	38	244	45	6	52	0	129		サウナ等公衆浴場								
4	13	3	61	12	0	5	0	41		映画館劇場等								
180	28	15	2,634	509	4	231	0	1,809		ばちんこ屋・まあじゃん屋等								
17	0	0	12	0	0	7	0	4		景品交換所								
55	44	14	768	189	2	33	0	520		ゲームセンター								
422	121	25	720	52	14	84	0	537		その他の風俗営業店								
4	0	0	3	0	0	0	0	3		個室付浴場								
710	27	25	233	7	1	31	3	161		モーテル・ラブホテル等								
29	44	1	71	8	1	6	1	50		その他の店舗型風俗特殊営業店								
1,694	44	33	1,685	35	53	252	0	1,290		深夜飲食店								
3,728	101	57	5,162	202	39	1,162	2	3,517		その他の飲食店								
13,185	9	2	1,544	175	10	174	0	1,005		金融機関等								
48	0	0	43	0	0	9	0	13		質屋								
1,545	0	0	144	4	0	16	0	115		貸金業								
7,891	3	2	677	114	2	21	0	421		銀行								
2,531	6	0	234	25	6	30	0	154		郵便局								
935	0	0	145	21	1	9	0	109		信用金庫・組合								
235	0	0	301	11	1	89	0	193		農(漁)業協同組合								
13	3	2	76	43	0	2	0	19		公営競技場								
4	1	1	17	9	0	1	0	7		競馬場								
4	0	0	28	18	0	1	0	5		競輪場								
2	0	0	9	6	0	0	0	3		オートレース場								
3	2	1	22	10	0	0	0	4		競艇場								
66	34	21	1,079	143	7	167	0	722		スポーツ・行業施設								
8	4	4	146	10	0	37	0	90		ゴルフ場								
55	27	14	863	114	7	122	0	599		その他のスポーツ施設								
3	3	3	70	19	0	8	0	33		遊園地動物園								
143	116	98	11,221	929	13	2,136	6	7,891		学校(幼稚園)								
317	58	56	1,614	100	30	350	0	977		病(医)院診療所								
49	62	51	1,387	184	7	348	0	825		神社仏閣								
8,418	7,215	5,254	198,780	83,007	2,253	231	199	107,759		街頭								
4,924	4,809	3,510	77,373	50,969	1,792	0	158	21,070		道路上								
960	906	650	107,582	25,802	287	108	21	80,256		駐車(輪)場								
42	379	259	5,071	2,990	28	27	11	1,696		都市公園								
21	101	79	4,406	2,413	13	0	1	1,897		空き地								
1,577	874	636	3,986	800	94	96	2	2,629		公共交通機関等								
5	76	59	84	6	4	1	0	70		地下鉄内								
0	2	0	22	4	0	0	0	18		新幹線内								
26	576	438	390	57	1	2	0	318		その他の列車内								
1,479	166	104	2,595	609	69	63	2	1,747		駅								
16	19	15	466	53	4	8	0	221		その他の鉄道施設								
1	0	0	5	0	0	0	0	4		航空機内								
27	2	1	58	24	2	8	0	16		空港								
1	0	0	39	0	0	9	0	21		船舶内								
11	9	3	281	31	3	5	0	200		海港								
11	24	16	46	16	11	0	0	14		バス内								
764	110	94	178	10	35	0	6	60		その他の交通機関								
719	7	7	48	6	1	0	0	40		タクシー内								
45	103	87	130	4	34	0	6	20		その他の自動車内								
130	36	26	184	23	4	0	0	151		その他の街頭								
19	31	22	97	11	3	0	0	79		地下街地下道路								
111	5	4	87	12	1	0	0	72		高速道路								
1,917	738	563	19,895	4,255	497	1,823	18	12,063		その他								